

平成30年度沖縄振興特別推進市町村交付金事業計画
成果目標

平成31年3月8日

那覇市	1	嘉手納町	140
宜野湾市	25	北谷町	145
石垣市	36	北中城村	148
浦添市	50	中城村	157
名護市	60	西原町	162
糸満市	66	与那原町	166
沖縄市	72	南風原町	172
豊見城市	80	渡嘉敷村	180
うるま市	85	座間味村	185
宮古島市	92	粟国村	188
南城市	99	渡名喜村	190
国頭村	104	南大東村	193
大宜味村	108	北大東村	195
東村	111	伊平屋村	198
今帰仁村	113	伊是名村	203
本部町	117	久米島町	207
恩納村	121	八重瀬町	212
宜野座村	123	多良間村	217
金武町	127	竹富町	220
伊江村	130	与那国町	224
読谷村	134		

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	1	観光案内所外国人対応スタッフ配置事業	H25 ～ H33	外国人観光客への利便性の確保を図るため、外国語の話せるスタッフを配置した観光案内所の運営を支援する。	・英語、中国語、韓国語での観光案内の実施に必要なスタッフ(常勤7名、パート4名)配置等に係る経費を支援する。 ・アンケートの実施等により利用者の満足度及びニーズを把握し、サービスの更なる充実に努める。	・外国人観光客の案内所の利用者年間17,700人 ・本事業について、外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 本事業について、外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証。	【H30成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。 ・外国人観光客のうち大多数が「利便性が確保された」と回答した割合を値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	2	交流オアシス整備事業	H24 ～ H32	観光客と市民との交流・憩いの場を創出するため、公有地及び道路残地等を活用した小広場、オープンスペース(交流スペース)の整備を行う。	交流スペースの設置工事:2箇所 (設置箇所:壺屋)	本事業による整備した小広場(交流スペース)について、観光客へのアンケート調査を実施し、小広場を交流・憩いの場として活用できたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 H31～H32年度 設置工事:2箇所	【H30成果目標設定の考え方】 観光客のうち大多数が「小広場を交流・憩いの場として活用できた」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	3	バス停上屋整備事業	H24 ～ H33	観光客がバス停で強烈な日差しや風雨を避け快適に利用できるようにするため、バス停上屋を整備する。	バス停上屋の設置工事:2基 (設置箇所:おもろまち)	本事業により、整備を行ったバス停上屋について、観光客へのアンケート調査等を実施し、快適にバスを待てるようになったか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 H31～H33年度 上屋設置:7基	【H30成果目標設定の考え方】 観光客のうち大多数が「快適にバスを待てるようになった」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	4	歴史散歩道整備事業	H24 ～ H33	観光客が那覇の歴史に感じて歩くことができるようにするため、歴史散歩道を整備する。	歴史散歩道の整備:道標設置工事3基 (整備路線:赤田寒川線) 道路整備工事5路線(整備路線:上間6号外4路線)	本事業により、整備を行った歴史散歩道について、観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じて歩くことができたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 H31～33年度 整備工事:首里・小禄・那覇・真和志地域	【H30成果目標設定の考え方】 観光客のうち大多数が歴史を感じて歩くことができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	5	亜熱帯庭園都市の道づくり基礎調査事業	H27 ~ H30	観光客が道路を安全で快適に移動できるよう、道路の環境改善を図るため、基礎調査を行う。	現況路線の調査・評価を行い、道路環境改善のための整備基本方針を設定する。 (調査箇所:那覇西・北地域)	那覇西・北地域における道づくり基礎調査の完了	【H34成果目標】 供用開始後1年目(平成34年度)の目標を以下のとおりとする。 本事業により整備した道路について、観光客へのアンケート調査等を実施し、安全・快適に移動できるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。 【今後のスケジュール】 事業後は、整備基本方針に基づいた道路の整備を行い、整備完了後に観光客等に満足度調査を行う。	【H34成果目標設定の考え方】 観光客のうち大多数が「安全・快適に移動できる」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	7	亜熱帯庭園都市の道路美化事業	H24 ~ H33	幹線市道や観光地周辺市道の美化(剪定・除草・植栽整備等)を推進し、観光地としてふさわしい道路環境及び景観を創出する。	・幹線市道及び観光地周辺市道の除草:約20,000㎡ ・街路樹の剪定:約500本 ・泉崎牧志線及び久茂地前島線植栽工事:約1,200㎡	本事業(剪定・除草・植栽整備等)による道路美化の対象路線について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に道路美化(剪定・除草・植栽整備)を行い観光地としてふさわしい道路環境及び景観を創出する。	【H30成果目標設定の考え方】 観光客のうち大多数が当該路線について観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	8	花いっぱい運動推進事業	H24 ~ H33	亜熱帯ならではの緑化景観を創出するため、市内の観光振興に資する路線沿線を対象に、市民等へ草花苗を配布し、花壇への植付等を行う。	・対象路線沿線の市民、自治会、学校関係、ボランティア団体等へ草花苗の配布数:約14,000鉢 ・公共花壇の年間管理:5箇所	本事業により、花壇への植付を行った路線について、観光客へアンケート調査を実施し、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 H31年度 14,000鉢、5箇所 H32年度 14,000鉢、5箇所 H33年度 14,000鉢、5箇所 上記の活動目標を達成し、緑化推進を図ることで、観光振興に資する。	【H30成果目標設定の考え方】 観光客等のうち大多数が観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	9	リュウキュウマツ害虫対策事業	H24 ~ H33	観光資源である景観の保護を図るため、県木であるリュウキュウマツへの薬剤注入等により、マツ枯れ予防対策を行う。	リュウキュウマツ薬剤樹幹注入 310本 対象公園 16公園	リュウキュウマツへの薬剤注入の完了	【H32成果目標】 予防達成率を90%以上とする。 【今後のスケジュール】 毎年度、対象公園内における、リュウキュウマツ約310本に薬剤注入を行う予定	【H32成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	10	那覇爬龍船競漕振興事業	H24 ～ H33	観光誘客を図るため、那覇市の伝統行事「那覇ハーリー」の開催の支援等を行う。	・「那覇ハーリー」事業等の開催支援 ・「那覇ハーリー」会場設営・ボランティアスタッフ配置・広報 ・「那覇ハーリー」における雑踏警備の実施	那覇ハーリー来場者数:192,000人	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、「那覇ハーリー」の開催の支援等を行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	11	那覇大綱挽振興事業	H24 ～ H33	観光誘客を図るため、那覇市の伝統行事「那覇大綱挽」の開催の支援等を行う。	・「那覇大綱挽まつり」の綱製作など事業実施に係る支援 ・「那覇大綱挽まつり」会場設営・ボランティアスタッフ配置・広報 ・「那覇大綱挽まつり」における雑踏警備の実施	「那覇大綱挽」来場者数:274,000人	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、「那覇大綱挽」の開催の支援等を行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	12	琉球王朝祭り首里振興事業	H24 ～ H33	観光誘客を図るため、観光資源である「琉球王朝祭り首里」の開催の支援等を行う。	・「琉球王朝祭り首里」の古式行列等を支援 ・「琉球王朝祭り首里」における雑踏警備を実施	「琉球王朝祭り首里」来場者数:48,600人	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、「琉球王朝祭り首里」の開催の支援等を行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	13	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」支援事業	H25 ～ H33	観光誘客を図るため、観光資源である「琉球王朝絵巻行列」の開催の支援等を行う。	・首里城祭「琉球王朝絵巻行列」の開催支援	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」来場者数:37,100人	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、「琉球王朝絵巻行列」の開催の支援等を行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	14	プロ野球キャンプ等支援事業	H24 ～ H33	読売巨人軍春季那覇キャンプ及びプロ野球公式戦を実施することで、観光誘客を図る。	・巨人主催試合を「那覇の日」協賛試合として「キャンプ地那覇」のPR活動を実施し、キャンプ誘客を図る。 ・雨天時に対応する屋外ブルペン用大型テントを設置する。 ・屋外ブルペン及びグラウンド等を整備し、キャンプ実施支援を行う。 ・奥武山野球場内に選手食堂を整備する。 ・陸上競技場、補助競技場をプロ野球キャンプ仕様に整備作業を行う。 ・来場者と選手の安全確保を行う。 ・公式戦開催に向け主催者の事業費を支援する。 ・ガイドブック・ノベルティグッズを制作し、観光PRの広報活動を実施する。	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 108,600人 ・プロ野球公式戦1試合入場者数:13,400人	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、読売巨人軍春季那覇キャンプの誘致及びプロ野球公式戦への支援等を行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	15	プロ野球キャンプにぎわい創出事業	H24 ～ H33	読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント、案内看板等を設置することにより、キャンプ会場を訪れる観光誘客を図る。	・キャンプ期間中ステージイベント等の実施 ・案内施設等の設置 ・運営(インフォメーションブース、受付ブース、選手ケータリングブース、警備員控室、マスク控室、スタッフ控室、ゴミ箱の設置、各種案内看板の設置、夜間警備 ・キャンプ休養日警備。 ・広報活動の実施	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 108,600人	【今後のスケジュール】 今後もキャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント、案内看板等を設置することにより、キャンプ会場を訪れる観光誘客を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	16	国際通りトランジットマイル推進事業	H24 ～ H33	観光客・地元客の誘客を図るため、国際通り商店街振興組合連合会が実施するトランジットモールの取組を支援する。	国際通り商店街振興組合連合会のトランジットモール実施を支援 実施回数:35回 過去5か年の平均値で設定。 【参考】 H24:35回 H25:37回 H26:35回 H27:36回 H28:34回	歩行者通行量1日:21,600人	【今後のスケジュール】 引き続き、トランジットモール実施を支援する。 来街者からのアンケート調査を活用して、ビジョンに基づき魅力を強化し、誘客につなげる。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	17	一万人のエイサー踊り隊推進事業	H24 ～ H33	観光誘客を図るため、観光資源である「一万人のエイサー踊り隊」の開催支援等を行う。	一万人のエイサー踊り隊の開催支援。(8月上旬に開催、H30年度で24回目の実施)	来場者数:96,000人	【今後のスケジュール】 引き続き、一万人のエイサー踊り隊の開催を支援する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	18	那覇まちまーい推進事業	H24 ～ H33	観光客の誘客を図るため、地元ガイドと那覇市内の観光地を巡る「那覇まちまーい」の支援を行う。	「那覇まちまーい」の実施に係る費用の支援	参加者数 17,300人	【今後のスケジュール】 今後も観光客の誘客を図るため、地元ガイドと那覇市内の観光地を巡る「那覇まちまーい」の支援を行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	19	歴史博物館企画展事業	H24 ～ H33	地域の歴史・文化を学べる機会を増やすため、歴史博物館において、沖縄の歴史・文化に特化した企画展を開催する。	・企画展の開催(年間4回) ・ファン・ホスター作製(年間4回) ・資料梱包運搬業務(年間1回)	来館者数 11,400人	【今後のスケジュール】 H31～33 那覇・沖縄の歴史文化に関する企画展の開催。 【H33成果目標】 来館者数 11,550人	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 【H33成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		H30成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
1	20	公衆無線LANサービス提供モデル事業	H24 ～ H30	外国人観光客の利便性の向上を図るため、公衆無線LANサービスを提供するとともに、県の公衆無線LANサービスとの認証連携の構築や、民間事業者が主体となるWi-Fiサービスの提供、運用を検討する。	・沖縄県が推奨するBeekinawa Free Wi-Fiとの認証連携実現に向けた関係者協議及びシステム改修 ・アクセスポイントの再配置	・Wi-Fi認証数(外国人観光客) 61,000回/(月平均) ・提供しているWi-Fiの満足度(外国人観光客)(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートにより検証。 ・民間事業者が主体となるWi-Fi提供環境の構築 認証手続きの効率化 サービス提供エリアの拡大 AP配置位置の最適化 認証画面への広告バナー導入	【今後のスケジュール】(平成31年度) 民間事業者が主体となるWi-Fiサービス提供。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 ・外国人観光客のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	21	国際通り情報発信大型ビジョン活用事業	H24 ～ H33	市内観光地への観光誘客を促進するため、観光拠点である国際通りにおいて、大型ビジョンを活用して那覇市の観光PR映像、ARコンテンツ、イベント中継等の観光情報を発信する。	・観光プロモーション映像等の放映(毎日9:00～20:00) ・那覇大綱挽等のイベント中継(年10回以上)	視聴者測定システムによる集計数 H28年度実績比5.2%程度増の16,300人(月平均)	【今後のスケジュール】 大型ビジョンの多用途活用により中心市街地の魅力向上を図り、来街者の増加に取組む。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	22	外国人観光客受入整備事業	H26 ～ H33	外国人観光客の受入体制の整備を図るため、那覇クルーズ促進連絡協議会の活動支援、市街地や周辺店舗・事業所へサポート要員の派遣、語学講座の実施等を行う。	・店舗へのサポート要員の派遣 ・語学講座の開催 ・クルーズ船受入に係る事業に対する支援	外国人観光客にアンケートを実施し、受入体制について満足であるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も外国人観光客の受入体制の整備を図るため実施する。	【H30成果目標設定の考え方】 外国人観光客のうち大多数が受入体制について満足であると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	23	マチグラー総合案内所事業	H26 ～ H33	観光客の利便性の確保を図るため、中心商店街(マチグラー)に、案内所を設置する。	案内所の運営 案内スタッフ 常時1名以上配置(開所時間9時～20時 年中無休 元旦除く) マチグラーの案内、広報誌の配布	案内所利用者数: 24,200人 (H28年度実績 20,377人)	【今後のスケジュール】 引き続き、案内所を運営する。 案内スタッフの配置:常時1名以上 マチグラーの案内・広報誌の配布	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	24	沖縄国際映画祭関連事業	H25 ～ H33	観光客の誘客を図るため、沖縄映画祭開催に係る運営費の一部を実行委員会に補助する。	沖縄国際映画祭関連イベントの実施に対する支援	沖縄国際映画祭 国際通りレッドカーペット観客数: 92,000人	【今後のスケジュール】 今後も観光客の誘客を図るため、沖縄映画祭開催に係る運営費の一部を実行委員会に補助を行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	25	観光イベント等映像発信事業	H25 ~ H33	市内観光地への観光誘客を促進するため、移動式車載大型ビジョンを活用して、観光客向けに那覇市の観光情報を発信する。	移動式車載大型ビジョンによるイベント時の現場映像の放映および県外・国外観光客への観光案内・PR等:75回/年 ・クルーズ船の那覇港寄港時の歓送迎:40回 ・沖縄国際映画祭:1回 ・那覇ハーリー:3回 ・那覇大綱挽まつり:2回 ・琉球王朝祭り首里:1回 ・那覇マラソン:2回 ・読売巨人軍那覇キャンプ:キャンプ期間中随時 ・那覇市観光基本計画の推進に資するイベント:10回	来客数等 ・クルーズ船来客数:370,000人(実績値) ・沖縄国際映画祭(国際通りレッドカーペット)観客数:92,000人 ・那覇ハーリー来場者:192,000人 ・那覇大綱挽まつり来場者:274,000人 ・琉球王朝祭り首里来場者:48,600人 ・読売巨人軍那覇キャンプ:見学者数108,600人 (合計 1,085,200人)	【今後のスケジュール】 今後も移動式車載大型ビジョンを活用して、観光客向けに那覇市の観光情報を発信する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	26	亜熱帯庭園都市の公園美化事業	H24 ~ H33	観光客の利便性の確保を図るとともに、観光地としてふさわしい公園を創出することができるようするため、トイレ整備、公園の美化(剪定・植栽)等を行う。	・トイレ整備工事の実施(実施箇所:旭ヶ丘公園) ・植栽剪定業務の実施(実施箇所:漫湖公園)	本事業について、観光客等へのアンケート調査等を実施し、トイレが整備されたことにより利便性が確保されたか、観光地としてふさわしい公園景観であると感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 H31年度実施予定箇所 ・トイレ整備工事(漫湖公園) ・植栽剪定業務(末吉公園)	【H30成果目標設定の考え方】 観光客等のうち大多数が「トイレが整備されたことにより利便性が確保された、観光地としてふさわしい公園景観であると感じた」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	27	観光入込統計調査事業	H28 ~ H33	那覇市における国内観光客の旅行動向の実態を把握し、その結果の活用を図る。	・那覇空港において年4回1,400人を対象としたアンケート調査を実施する。調査項目には、娯楽、観光案内、観光資源及び旅行全体に関する満足度を設け、観光施策全般に対する評価の把握・分析を行う。 ・県実施の各種調査の基礎データ(クルーズ船、修学旅行、宿泊施設数等)を基に、那覇市分を調査し、県内全体の各種数値と本市との比較・検証を行う。	観光入込統計調査の完了	【今後のスケジュール】 (平成31年度) 宿泊人数及び平均泊数について年平均伸び率(H29年度とH30年度)を比較すること等で事業のあり方を検証する。 年平均伸び率の比較 ・宿泊人数の年平均伸び率1.8%増 ・平均宿泊数の年平均9.8%増	【H31成果目標設定の考え方】 基本計画の将来目標値と直近のH28実績に基づき設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		H30成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
1	28	バリアフリー改装補助事業	H26 ～ H30	観光客の利便性の確保を図るため、観光客が利用する既存の民間商業施設等の改装工事を支援し、バリアフリー化を行う。 ・店舗等のバリアフリー改装への支援：5施設		バリアフリー改装補助事業を利用した観光客に、施設がバリアフリー化されたことにより利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業の成果を検証する。	【今後のスケジュール】 平成31年度以降は、事業所向けのバリアフリーセミナーを開催する等の意識啓発に継続して力を入れる。	【H30成果目標設定の考え方】 バリアフリー改装した店舗を利用した観光客のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	29	那覇市営奥武山野球場イメージアップ事業	H28 ～ H30	奥武山野球場のプロ野球キャンプ及び公式戦を継続実施し観光誘客を図るとともに、野球の全国・九州等大規模大会の開催を誘致するため、鉄骨大屋根部分の塩害防止対策及びイメージアップ塗装を行う。 ・那覇市営奥武山野球場大屋根鉄骨部分の錆除去・防食工事 ・イメージアップ塗装工事(第2期) ・工事監理業務委託(第2期)の着手		那覇市営奥武山野球場大屋根鉄骨部分の塩害防止対策及びイメージアップ塗装工事(第2期)と工事監理業務委託(第2期)の着手	【H31成果目標】 供用開始後1年目(平成31年度)の目標を以下のとおりとする。 読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 96,200人 プロ野球公式戦 1試合入場者数：13,300人 全国・九州等大規模大会の開催誘致3大会	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	30	めんそーれ観光充実事業	H28 ～ H30	観光地としてふさわしい景観等を確保するため、国際通りを中心に迷惑行為の指導、是正要請等を行う。 ・具体的手法の検討(月1回以上) ・是正要請活動の実施(月25日以上(通り会との連携による要請は随時)) ・広報活動の実施(市の広報誌やホームページを活用し随時)		「迷惑行為防止重点地区」における看板等の違法な設置に関する指導件数460件以内	【今後のスケジュール】 民間事業者主導での継続実施を含め、今後のあり方を検討。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した	
1	31	那覇と周辺離島の連携による観光振興事業	H29 ～ H33	周辺離島航路発着場において観光案内所を設置し、本市や沖縄観光全般(特に周辺離島)に係る観光情報を提供し、観光客の利便性の確保を目的とする。 ・泊港旅客ターミナル内に臨時観光案内所を設置(7～9月の間の3か月間、午前中を想定。) ・多言語対応を行う。		・観光案内所利用者数：6,000名。 ・本事業について、観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 観光客の利便性確保のため、H33年度まで事業を継続実施する。	【H30成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。 ・観光客のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	32	観光危機管理推進事業	H30	観光危機発生時における観光客の安全確保を図るため、「那覇市観光危機管理計画」を策定する。 ・既存計画と連携・運動しながら、本市の特性(空港・港の存在、ホテル集積、二次交通拠点、密集する商店街等)に即した実態調査、課題整理、危機管理体制の構築を行う。		那覇市観光危機管理計画の策定完了	【H31成果目標】 策定した観光危機管理計画を活用した危機管理体制の運用訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方を検証する。	【H31成果目標設定の考え方】 観光危機管理計画を活用した運用訓練の実施・検証を行うことを成果目標に設定した。	

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	33	景観まちづくり推進事業	H24 ～ H30	沖縄らしい風景づくりを促進し、観光地の景観としてふさわしいデザインを創出するため、公共デザインマニュアル案を作成する。	公共デザインマニュアル案の検討	公共デザインマニュアル案の作成完了	<p>【H33成果目標】 事業終了後の目標を以下のとおりとする。 本事業による公共デザインマニュアルを活用し整備した施設周辺において、観光客へのアンケート調査等を実施し、観光地の景観としてふさわしいデザインであると感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 H31:公共デザインマニュアルの合意形成(市内部及び関係団体への周知等) H32:公共デザインマニュアル活用による設計調整開始 H33:公共デザインマニュアルを活用し整備した施設周辺において、観光客へのアンケート調査等を実施</p>	【H33成果目標設定の考え方】 観光客のうち大多数が観光地の景観としてふさわしいデザインであると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	34	福州園再整備事業	H28 ～ H32	観光客を含めた利用者数の増加を図るため、県内唯一の中国式庭園である福州園において、機能強化を行う。	福州園再整備の実施設計業務の着手	福州園再整備の実施設計業務の完了	<p>【H33成果目標】 利用者数 100,000人</p> <p>【今後のスケジュール】 H31 整備工事 H32 整備工事</p>	【H33成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	35	第一牧志公設市場再整備推進事業	H26 ～ H33	那覇市の観光振興に寄与する拠点施設である第一牧志公設市場を再整備することにより、観光客の誘客を図る。 今年度は、施設本体の実施設計、補償契約業務及びリース方式により仮設店舗の建設を実施する。	施設本体の実施設計の実施 仮設店舗の建設工事の実施 補償契約業務の実施 商業支援業務等の実施	<p>(1)施設本体の実施設計の完了 (2)仮設店舗の建設工事の完了 (3)補償契約業務の完了 (4)商業支援業務等の完了</p>	<p>【H34成果目標】 年間来訪者数目標256万人</p> <p>【今後のスケジュール】 H31 現市場の解体、仮設店舗での営業 H32～33 新市場工事、仮設店舗での営業 H34 供用開始予定</p>	【H34成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
								事業概要
1	36	貸切バス乗降場・待機場整備事業	H30	貸切バスの国際通り周辺での路上駐車による交通混雑の緩和を図るため、貸切バスの乗降場・待機場を整備する。	乗降場・待機場の整備 舗装工事 機械設置工事	・県庁北口付近及び牧志駅付近への貸切バスの一日平均流入台数：2割減	【今後のスケジュール】 今後も引き続き乗降場を運営することにより、貸切バスによる国際通り周辺の路上駐車及び交通混雑の緩和を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 H28年度に実施した貸切バス路上混雑対策実験事業の実績を勘案して設定した。
1	37	物語性のあるランドマーク創造事業	H29 ～ H33	平成29年度に作成した「ランドマーク戦略プラン」内で製作したストーリー・物語をSNSなどを通じ広め、那覇市内の認知度が低い観光資源の認知度向上を図る。	・県内メディア等を活用して、ストーリー及びphotogenicポイントなどの周辺情報を発信し、認知度を高める。 ・公式SNS(Instagramなど)を開設し、H29年度に撮り貯めた素材を活用しストーリーや周辺より深い、ユニークな情報を発信し那覇ファンを造成する。	・SNS等での発信完了	【H31成果目標】 ・PRサイトへアクセスした人のうち、拡散(いいね、リツイート等)した人の割合8%以上 ・本事業について、29年度に開設したPRサイトにアクセスした人へのアンケート調査を実施し、訪問したい(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。 【今後のスケジュール】 ・県外・海外メディアを活用しての情報発信、認知度向上を図る。 ・公式SNSの拡充。 ・新たなコンテンツの展開	【H31成果目標設定の考え方】 ・那覇市観光案内所Facebookの29年度実績が8%という事を参考に設定した。 ・事業の成果目標として、29年度に開設したPRサイトにアクセスした人へのアンケート調査を実施し、認知度が低い観光資源を訪問したいと回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
2	1	市魚マグロ等水産物流通支援事業	H24 ～ H33	「那覇市の魚(市魚) マグロ」の消費促進を図るため、漁業組合等のイベントへ助成を行うとともに、民間企業及び組合等への業務委託をし、PR活動を実施する。	・イベント等開催：1回 ・イベント等開催支援：3回 ・料理教室開催支援：3回	・市内世帯のマグロの年間支出金額の維持：5,909円以上 ・PRイベント来場者47,200人 ・学生等若者向けの料理教室等マグロPR事業の参加者：83人 ・アンケートを実施し、その結果「マグロが市魚であることを知っているか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に漁業組合等へ助成や企業及び組合等への業務委託を行うことで、マグロの消費促進を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。 ・アンケート調査を実施し、大多数が「マグロが市魚であること」の認知度向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	2	漁船近代化機械設置推進事業	H24 ～ H33	漁業者数の維持を図るため、漁船の近代化機械等の整備を支援する。	漁船近代化機器等の設置経費への支援実施：10件	漁業者数 174名	【今後のスケジュール】 今後も継続的に漁船の近代化機械等の整備を支援することで、漁業者数の維持を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	3	外国人漁業研修生受入推進事業	H26 ～ H33	マグロ延縄漁船数の維持及び確保を図るため、市内漁協が実施する外国人漁業研修生受入事業を支援する。	外国人研修生受入:20名	マグロ延縄漁船数 47隻	【今後のスケジュール】 今後も継続的に市内漁協が実施する外国人漁業研修生受入事業を支援することで、マグロ延縄漁船数の維持及び確保を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	1	中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業	H24 ～ H33	販路開拓の前段となる商談会へ出展して、商談の機会を増やし、商談成約を図る。	・販路拡大支援:7件 (県外5件、海外2件)	商談成約率(商談成約件数/商談件数)が10%以上	【今後のスケジュール】 中小企業者支援の実施 【H33成果目標】 ・商談件数:1,500件 (H24～H33累計) ・商談成約率 10年間平均値:10%以上	【H33成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	2	那覇の物産展事業	H24 ～ H33	那覇市長賞を受賞した商品、その他市内事業者の商品を知ってもらい、売上増加に繋げるため、「那覇の物産展」の開催等を行う。	・那覇市長賞商品の選定 ・那覇の物産展の企画・開催	物産展来場者数 74,000人	【今後のスケジュール】 今後も市長賞商品の選定及び物産展を開催する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	3	沖縄の産業まつり事業	H25 ～ H33	那覇市長賞を受賞した商品、その他市内事業者の商品を知ってもらい、売上増加に繋げるため、沖縄の産業まつりに出展する市内事業者への支援を行う。	市町村コーナーならびにその他一般ブースへの出展支援:10社	「沖縄の産業まつり」来場者数 222,400人	【今後のスケジュール】 今後も市内事業者の出展助成を行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	4	企業誘致活動サポート事業	H24 ～ H33	本市への県外企業の誘致を推進するため、企業誘致活動等を実施する。	意向調査:3,000社以上に実施 企業訪問:本市へ立地可能性の高い企業を50社以上訪問 市内投資環境視察や勉強会及びビジネスマッチング:1回 市内不動産の情報のWEB発信:50件以上	誘致企業:3社	【今後のスケジュール】 今後も継続的に本市への県外企業の誘致を推進するため、企業誘致活動を実施し、雇用の創出及び経済振興を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	5	市内企業経営基盤強化事業	H27 ～ H33	市内中小企業の経営基盤の強化に役立てるため、海外商談会出展準備講座をはじめ、各種セミナー等を開催する。	海外商談会準備講座参加企業数:5社 経営基盤強化セミナー:12回	セミナー等に参加した事業者に対するアンケート調査等で「セミナーへの参加等により経営基盤の強化に役立った」との回答割合:80%以上を含め、アンケート調査により本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も市内事業者を対象に各種セミナーを開催する。	【H30成果目標設定の考え方】 セミナー等に参加した事業者のうち大多数が経営基盤の強化に役立ったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		H30成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
3	6	頑張るマチグラー支援事業	H25 ～ H33	観光客及び地元客の誘客を図るため、商店街等が行う事業を支援する。	【補助】 商店街振興組合等が取り組む、中心商店街の活性化に向けた事業への支援(20件程度) 【通行量調査】 市内38地点で、歩行者通行量の調査を行う。	中心商店街の平日歩行者通行量 117,000人	【今後のスケジュール】 引き続き中心商店街で実施するハード整備、誘客活動等の事業支援を行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	7	なは産業支援センター育成支援事業	H28 ～ H33	なは産業支援センターに入居する企業等の育成を図るため、相談等の支援を行う。	経営課題に対する各種相談及び指導:50回以上 企業ニーズや関連業界のトレンドに関する教育研修・セミナー:5回以上 事業マッチング支援:5件以上 地域の企業、学校、住民等、参加型のキャリア教育支援又はキャリアアップ支援に繋がるイベントの開催。	対象となる事業者に対するアンケート調査等を実施し、支援を受けたことで、企業経営に役立ったか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に経営課題の相談や指導、セミナー等を実施し、なは産業支援センター入居企業及び市内・県内企業を育成し、産業の振興発展、経済活性化を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 事業者のうち大多数が支援を受けたことで、企業経営に役立ったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	8	企業立地促進事業	H28 ～ H33	雇用の創出及び企業の立地促進を図るため、市外から市内へ新規に事務所を設置した企業に助成を行う。	・市民新規雇用支援 ・市内立地企業への支援	・新規常用雇用者数:60名 ・新規企業立地社(申請者):7社	【今後のスケジュール】 今後も、雇用の創出及び企業の立地促進を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	9	なはし創業・就職サポートセンター運営事業	H24 ～ H33	創業・就業の支援を図るため、創業・就職相談等を行う。	・創業・就職相談実施 ・創業・就職セミナー開催	・相談窓口利用者数 2,400人 ・創業者 15人 ・就職した人数の割合 2.4%	【今後のスケジュール】 今後も創業・就職支援の体制づくりを図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績と那覇市創業支援事業計画を勘案して設定した。	
3	10	新商品開発支援事業	H29 ～ H33	那覇市の観光・地域資源を活用した商品、サービスの販売や売上の促進を図るため、新たな特産品、土産品、サービスの企画・開発を支援する。	・支援対象事業者数:4社以上	新商品(またはサービス)開発数:4件以上	【今後のスケジュール】 商品・サービスの販売・売上計画を立て、販売等を行う。 【H31成果目標】 各事業者が設定した目標(販売額等)を達成した商品等の件数が開発した商品等の全件数に占める割合80%以上	【H31成果目標設定の考え方】 各事業者において、概ね達成したと考えられる値として設定した。	
3	11	「なはけいざいMAGAZINE」発刊事業	H29 ～ H33	那覇市経済産業施策事業の周知を図るため、タブロイド判の広報紙(発刊物)を作成し、配布する。	「なはけいざいMAGAZINE」発刊 年4回	那覇市の経済産業施策事業の認知度(年間平均値34%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に那覇市経済産業施策に特化した広報紙を作成する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	12	まちなか商店街再生プロジェクト事業	H29 ~ H30	那覇市の中心商店街への来街者増加を図るため、道路を活用したまちなか商店街の再生計画案を作成する。	・法令・要件の整理 ・関係者調整(道路管理者・警察等) ・会議開催(庁内・商店街等)	再生計画案の作成完了	【今後のスケジュール】 ・平成31年度、計画に基づく施策の実施 【H32年度の成果目標】 通行人数 140,000人	【H32成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	13	那覇市ぶんかテンプス館施設機能強化事業	H30	利用者のための空調設備機器を整備することにより、利用者の快適性の向上を図る。	空調設備工事 実施設計 工事実施 工事監理	高効率型空調設備機器への更新工事了	【H31成果目標】 利用者へ空調設備に関するアンケートを実施し、空調設備機器の機能強化により快適性が向上されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業の効果を検証する。	【H31成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、利用者へのアンケート調査を実施し、快適性が向上したと回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
3	14	民間資金調達促進マッチング事業	H30 ~ H33	中小企業の資金調達の支援を図るため、市内の企業及び起業家等の施策に対し、民間等の資金の投資を促す環境を整備する。	(1)募集・事前審査 (2)出資マッチングの場の開催 (3)プレゼン審査通過後のサポート	投資実行率:50%	【今後のスケジュール】 中小企業の多様な資金調達方法及び民間資金投資環境整備を進めていく。	【H30成果目標設定の考え方】 市内事業所数および応募企業数等を勘案し設定した。
4	1	那覇港総合物流センター整備事業	H25 ~ H30	物流拠点の形成を図ることにより、取扱貨物の増大に向けて那覇港総合物流センターを整備する。	総合物流センター建設工事(物流棟外装工事及び設備工事等)の実施。	那覇港総合物流センターの整備の完了	【H31成果目標】 那覇港総合物流センターの取扱貨物量の増 4,580TEU/年間 【今後のスケジュール】 H31.4:那覇港総合物流センター開業予定	【H31成果目標設定の考え方】 事業計画上の貨物取扱量を成果目標として設定した。
4	2	万国津梁のロマンあふれる交流のみなとまちづくり事業	H29 ~ H33	那覇港において、歓送迎セレモニーを行うことにより、クルーズ船の寄港回数の増加を図る。	地域一体となったクルーズ船の歓送迎セレモニーの実施等。	クルーズ船の寄港回数 307回以上	【今後のスケジュール】 引き続き地域一体となったクルーズ船の歓送迎セレモニーを実施し、クルーズ船の寄港回数の増加を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	1	生き生き人材育成支援施設整備事業	H26 ～ H31	人材育成を図るとともに、住民の学習・交流活動を支援するための拠点施設を整備する。	・建設工事の実施 ・建設工事の監理業務の実施 ・磁気探査業務の実施	・磁気探査業務の完了 ・建設工事(一部)の完了 ・建設工事監理業務(一部)の完了	【H32成果目標】 供用開始後1年目(平成32年度)の目標を以下のとおりとする。 人材育成のための講座参加者数 5,200人以上 地域交流等の活動 語学、方言、伝統芸能などのサークル団体活動、地域交流活動等 13,000人以上 【今後のスケジュール】 ・H31年度 建設工事、工事監理、 備品整備 ・H32年度 供用開始	【H32成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	1	基礎学力向上のための学習支援事業	H24 ～ H33	小学校への学習支援員の配置及び申請のある小中学校への学習支援ボランティアの派遣により学力の向上を図る。	・学習支援員の配置 小学校(全36校) ・学習支援ボランティアの派遣 小中学校(学校の申請による)	沖縄県学力到達度調査の県との差 小学校算数(3年):1.6ポイント(H24～ H28平均1.5ポイント) 中学校数学(2年):3.2ポイント(H24～ H28平均3.1ポイント)	【今後のスケジュール】 学習支援員及び学習支援ボランティアを派遣し、継続して支援を行う。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	2	英語指導員配置事業	H24 ～ H33	英語指導員を配置することにより、長期的な英語指導を行い、英語能力の向上を図る。	・英語指導員の配置 小学校(外国人14人、日本人18人) 中学校(外国人10人)	・英語能力判定テストにおける英検4級レベルの生徒割合 59.8%以上(前年度の実績以上)	【今後のスケジュール】 英語指導員を小学校及び中学校に配置し、長期的な英語指導を行う。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	3	特別支援教育充実事業(小・中学校)	H24 ～ H33	特別な支援を要する児童生徒へ、教育相談員の派遣や特別支援教育ヘルパーの配置を行うことにより、学校生活や学習上の困難の改善を図るための支援を行う。	・特別支援教育ヘルパー配置 小中学校:計88人 ・学校の要請による相談員の派遣: 教育相談・検査・面談等の実施	特別支援教育ヘルパーの対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 教育相談員や特別支援教育ヘルパーを配置し、支援を要する児童生徒への継続した支援を行う。	【H30成果目標の考え方】 保護者のうち大多数が満足したと考えられる値として設定した。また、アンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	4	特別支援教育充実事業 (幼稚園・認定こども園)	H24 ～ H33	特別な支援を要する園児に対応した支援等を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	<p>【特別支援教育ヘルパーの配置】 特別な支援を要する園児数に応じて適切な人数を各園へ配置する <ヘルパー配置基準> (1)障がい者手帳1級・療育手帳Aレベル程度 1人に対し1人配置 (2)障がい者手帳2級・療育手帳Bレベル程度 2人に対し1人配置 (3)その他支援を要する幼児 5人に対し1人配置 (配置目途数)教育時間中46人、預かり保育時間中17人</p> <p>【特別支援教育主任ヘルパーの配置】 障がい者手帳1級又は療育手帳Aレベル相当で、且つ個別支援計画等による支援を特に必要とする園児が在籍する園に配置する(配置目途数)7人 【巡回相談員の派遣】 対象園児の保護者やヘルパー、学級担任等の相談依頼に応じて派遣する(派遣目途数)23園×2回配置基準に沿った適正配置に努める。</p>	特別支援教育のヘルパー対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる園児の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に実施し、特別支援教育の拡充を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が満足したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6	5	発達支援強化事業(乳幼児期)	H27 ～ H33	<p>発達の気になる乳幼児の就学後の学校生活での不適応行動を少なくするために、小学校就学前の段階から、発達の気になる乳幼児及び子どもとのかかわり方に不安を持つ保護者等の早期把握、早期支援を行う。</p> <p>・健診後の発達相談、親子教室、育児教室等の開催を通して、早期把握、早期支援を行う。</p> <p>・母子保健推進協議会の発達支援部会を開催する。</p>	「相談したいことが相談できた」「子どもへの対応について学ぶことができた」(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 事業をとおして発達の気になる乳幼児及び子どもとのかかわり方に不安を持つ保護者等の早期把握、早期支援を行う。	【H30成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が「相談したいことが相談できた」「子どもへの対応について学ぶことができた」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
6	6	幼稚園預かり保育推進事業	H24 ～ H30	預かり保育の実施により、保護者の育児における負担感の軽減を図る。	配置基準に沿った適正配置に努める。	預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、対象となる園児の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 H31に全幼稚園が廃止となるため、H30年度で事業終了。	【H30成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が育児負担が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	7	不登校対策等支援事業	H24 ～ H33	不登校など課題のある児童生徒に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。	臨床心理士等の配置数:9人 きら星学級支援員の配置数:9人 " 事務員の配置数:1人 学習支援員の配置数: 上半期2人 下半期4人	不登校児童生徒の登校復帰率 小学校 55%以上 中学校 62%以上	【今後のスケジュール】 不登校児童生徒等の教育相談全般に継続的支援を行う。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	8	教育相談支援員・生徒サポーター配置事業	H24 ～ H33	学校内の相談室等において不登校傾向にある児童生徒の相談・支援等を行うことで、不登校の改善を図る。	教育相談支援員の配置率(数) 小学校:100%(36校:36人) 中学校:100%(17校:17人) 生徒サポーターの配置率(数) 中学校:100%(17校×2人)	不登校児童生徒の登校復帰率 小学校 55%以上 中学校 62%以上	【今後のスケジュール】 学校内の相談室において不登校傾向にある児童生徒の相談・支援を継続的に行う。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	9	青少年旗頭事業	H24 ～ H33	伝統文化の保存継承を図るため、那覇の伝統文化である旗頭を活用した文化活動を実施する。	・児童生徒へ伝統文化の旗頭演舞指導を実施 ・児童生徒の成果発表の場として旗頭フェスタ開催 ・旗頭の制作及び修繕	旗頭フェスタに参加した児童生徒数: 940人	【今後のスケジュール】 今後も伝統文化の保存継承を図るため「旗頭フェスタ」を開催する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	10	街頭指導(がいとうPolaris)事業	H24 ～ H33	青少年の非行の未然防止と早期発見・早期対応のため、専任指導員を学校外に配置し、巡回指導等を行う。	専任指導員の配置数:6人 青少年指導員の配置数:80人	19歳以下の青少年の深夜徘徊補導割合 3.2%	【今後のスケジュール】 今後も継続的に巡回指導を行い青少年の非行未然防止と早期発見及び対応を行う	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	11	児童のスポーツ県外派遣補助金	H24 ～ H33	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる。	県外大会派遣児童生徒支援	児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答(80%以上)を含め、派遣された児童・生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 大会等派遣児童生徒数(累計) H33年度:3,600人	【H30成果目標の考え方】 対象の保護者のうち大多数が児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6	12	児童・生徒の県外派遣旅費補助金(大会派遣)	H24 ～ H33	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる。	児童生徒の県外大会派遣支援	児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答(80%以上)を含め、児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒の県外派遣の補助を継続的にを行い、費用の一部を助成することにより、大会への積極的な参加を促す。	【H30成果目標の考え方】 対象の保護者のうち大多数が児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	13	自然体験学習事業	H24 ~ H33	児童の豊かな社会性を育むため、自然体験学習実施学校数:小学校:27校(5年生対象)、自然体験活動を実施する。	自然体験学習実施学校数:小学校:27校(5年生対象)	自然教室を通して、児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したと評価する学校の割合(88.9%以上)を含め、学校からの報告により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】対象学年において、自然体験活動を継続して実施する。	【H30成果目標の考え方】過去の実績を勘案して設定した。
6	14	学校施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化)	H24 ~ H33	小中学校校舎等の塩害を防止し長寿命化を図るため、校舎等外壁面の塗装対応を行う。	・校舎等外壁の塗装:小学校1校、中学校2校 ・実施設計:小学校2校、中学校2校	学校長及び教育委員会による点検を実施する。 外壁等の剥離件数:0件 外壁の亀裂等件数:0件	【今後のスケジュール】H31~H33...各年度小学校1校、中学校1校	【H30成果目標設定の考え方】事業の効果(劣化の抑制状況)を確認するため、学校長及び教育委員会による点検を実施し、事業を実施した建物に剥離や亀裂等生じないこと(0件)を成果目標とした。 過年度に実施した事業については、学校長による点検を実施する。
6	15	学力向上に向けた調査研究事業	H25 ~ H33	授業の改善に資するため、学力調査を小学校で実施し、その結果を分析して、教師が指導するに当たっての資料を提供する。	小学校第2学年、第4学年の、全国での位置づけが判る学力調査の実施により、実態や課題を把握し、結果概要を作成し学力向上の推進を図る。	調査結果を踏まえて、指導方法等、授業の改善に役立ったか(80%以上)を含め、教師へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】那覇市内全36小学校が全国平均を超えることを目指し、また定着を確認するため平成33年度まで毎年実施予定。	【H30成果目標設定の考え方】対象の教師のうち大多数が授業の改善に役立ったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6	16	なは若者人材育成支援事業	H27 ~ H33	地域とのつながりや交流の機会を提供することで、青年、児童生徒の豊かな社会性を育むため、青少年育成団体への支援等を行う。	青少年育成団体の開催事業及び地域自主開催の成人式実行委員会の支援 ・成人式準備委員会:2回 ・シンポジウム:1回 ・成人式アワード ・少年の主張大会 ・少年自然体験の船 ・青少年健全育成綱引き大会	・成人式アワード参加や成人式当日までの取り組みを通じて、社会性(他人と協力し、感謝する姿勢)が向上したとの回答(80%以上)を含め、成人式アワード参加者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。 ・児童生徒が社会性(体験を通して他人との協力や思いやる姿勢)が向上したとの回答(80%以上)を含め、活動に参加した児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】青少年育成団体の支援を継続し、青年、児童生徒の豊かな社会性を育む。	【H30成果目標設定の考え方】対象者のうち大多数が社会性が向上したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		H30成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
6	17	幼稚園情操教育充実事業	H28 ～ H30	情操教育により、園児の感性や情緒の発育を促すため、公立幼稚園にシルバー世代の方を派遣し、幼稚園開園時間前を利用し園児と共同で美化活動等を行う。	委託により全園へ高齢者を派遣する。派遣する高齢者の方には事業の目的をよく理解してもらい、うちなー口等の文化や高齢者の知恵に触れさせるなど、両親・教諭の世代とは違った交流の感覚や楽しさを園児に感じてもらう。また、花壇の水かけや草むしり等を共に行うことで、気持ちよく過ごせる環境を整え、美を感じる感性や植物等への興味関心を高めさせる。	情操教育が行われたことで、高齢者とのふれあいや、草花の世話を通して、思いやりの心が育まれたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 H31に全幼稚園が認定こども園へ移行し、当該事業の活動時間(7:30～9:30)が保育中となるため、幼稚園開園時間前の活用が困難となり、H30年度で事業を終了する。	【H30成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が思いやりの心が育まれたと考えられる値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
6	18	電子黒板等整備事業	H24 ～ H30	市立小学校第1～4学年及び6学年の学級増となった全普通教室へ電子黒板を整備し、同時に教育研究所へ貸出用のタブレット端末を60台整備することによって、教員により効果的・効率的な板書や資料提示ができることにより、分かりやすい授業環境を整える。	・電子黒板の整備 小学校第1～4学年及び6学年の学級増の普通教室 437台 ・貸出用タブレット端末の整備 60台	市立小学校第1～4学年及び6学年で学級数が増となった普通教室への電子黒板整備率 100% 教育研究所への貸出用タブレット端末60台の整備完了	【H31成果目標】 児童へのアンケート 本事業について、電子黒板を導入した学年の児童へのアンケート調査を実施し、授業がわかりやすくなった(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。 教師へのアンケート 本事業について、電子黒板を導入した学年の教師へのアンケート調査を実施し、電子黒板等の使用により効果的・効率的な板書や資料提示ができた(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【H31成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、電子黒板を導入した学年の児童へのアンケート調査を実施し、授業がわかりやすくなったと回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。 事業の成果目標として、電子黒板を導入した学年の教師へのアンケート調査を実施し、電子黒板等の使用により効果的・効率的な板書や資料提示ができたと回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。	
7	1	文化芸術ふれあい事業	H24 ～ H33	沖縄の伝統芸能文化や優れた芸術作品にふれる機会の確保を図るため、「組踊公演」等を行う。	組踊の公演及びワークショップの開催	組踊公演への来場者 580人以上	【今後のスケジュール】 継続的に優れた文化に触れる機会を確保するため、公演等を実施していく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
7	2	市民文化育成発信事業	H24 ～ H33	沖縄の伝統芸能文化や芸術文化の活動にかかわる機会の確保を図るため、「なは市民芸術展」等を行う。	なは市民芸術展を1回開催 うちなーぐち講座を実施し、その成果公演を1回開催	「うちなーぐち講座」参加者 210人以上 「なは市民芸術展」参加者 1,545人以上	【今後のスケジュール】 継続的に市民参加・総合型の事業を実施し、市民文化活動の活性化を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	詳細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7	3	市民文化支援事業	H24 ～ H33	那覇市の指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能の保存継承を図る。	本市の市指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能の保存、伝承、普及、後継者育成などに関わる事業に対し補助金を交付する。	市民文化支援事業の対象となる市内の民俗芸能団体数 12団体(約390名)	【今後のスケジュール】 本市の民俗芸能を保存継承するため、継続的に支援を実施していく。	【H30成果目標設定の考え方】 民俗芸能を保存継承するため、現状を維持することとし、民俗芸能団体数を指標として設定した。
7	4	伝統文化継承種まき事業	H24 ～ H33	沖縄の伝統文化を学習、体験する機会の確保を図るため、保育所へ伝統文化の専門講師を派遣する。	公立保育所への伝統文化を学習及び体験のための講師派遣:6ヶ所(各市立保育所が存立する地域の伝統文化に精通する講師を保育所に派遣)	伝統文化を学習・体験した園児数 407人(6保育所)	【今後のスケジュール】 今後も地域の伝統文化を学習・体験する環境を整備し、伝統文化の活性化と子どもたちの地域愛、郷土愛を育み、伝統文化の継承や児童の表現力を養う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
7	5	子どもが輝くまちづくり事業	H24 ～ H33	子どもたちの伝統芸能活動等の発表の場として、「子どもフェスタinなは」を開催する。	伝統芸能の保存継承を図るため、「子どもフェスタinなは」の開催を支援する。	子どもフェスタ参加した児童生徒数: 730人	【今後のスケジュール】 今後も伝統芸能の保存継承や新たな文化活動の創出を図るため「子どもフェスタinなは」の開催を支援する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
7	6	郷土資料整備事業	H24 ～ H33	市民が沖縄の文化を学べる環境を整備し、沖縄の文化の理解を深めるため、郷土に関する関係資料を提供する。	郷土関係資料の購入:約700点	沖縄の文化への理解が深まったか(80%以上)を含め、郷土資料利用者へのアンケートにより、本事業の在り方について検証する。	【今後のスケジュール】 平成33年度まで郷土関係資料を各年度約700点購入し、当該資料を市民に提供して地元への関心を高めることにより文化の継承・発展につなげる。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が沖縄の文化への理解が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
7	7	新文化芸術発信拠点施設整備事業	H24 ～ H32	市民、県民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動を行う場の確保を図るため、新文化芸術発信拠点施設を建設する。 本年度は、施設本体の建設工事、拠点施設用地拡大のための用地取得等を実施する。	用地取得業務 一式 施設本体建設工事 一式 建設工事業務委託(工事監理) 一式	・用地取得業務 完了 ・施設本体建設工事 初年度完了 ・建設工事業務委託(工事監理) 初年度完了	【H33成果目標】 年間利用者数 延べ20万人 【今後のスケジュール】 H31 建設工事(2年目)、用地取得等 H32 建設工事(最終年度)等 H33 開館	【H33成果目標設定の考え方】 施設規模や稼働日数等を想定し設定した。
7	8	御細工所跡緊急発掘調査事業	H27 ～ H30	歴史の継承を図るため、発掘調査、資料整理(分析)等を行うとともに、成果物の展示会等を実施する。	素材となる調査報告書・図録、さらにモニメント(説明板)などの成果物の作成を行う。またこれらを周知するため展示会を実施する。	・調査報告書および図録の原稿(部分)作成をとおして遺跡の実態把握 ・パネル展見学者数 500人(2箇所)	【今後のスケジュール】 H31 自主展示会年1回、イベント展示年1回開催	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	9	壺屋の歴史・文化発信事業(特別展事業)	H24 ~ H33	歴史の継承を図るため、壺屋焼博物館において、沖縄の焼物の魅力を発信する特別展等を実施する。	・特別展の開催(約50日) ・解説会の実施(2回) ・シンポジウムの実施(1回)	・特別展観覧者数3,600人 ・シンポジウム等参加者120人	【今後のスケジュール】 H33 特別展の開催、解説会等の実施	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
7	10	なは青年祭補助事業	H29 ~ H33	地域における伝統芸能の保存継承や新たな文化活動の創出を図るため、市内の青年団体が日頃の活動の成果を披露する「なは青年祭」の開催を支援する。	・「なは青年祭」を開催、青年団体の活動発表の場を創出	なは青年祭の出演団体、参加者数 18団体、260人	【今後のスケジュール】 今後も地域における伝統芸能の保存継承や新たな文化活動の創出を図るため「なは青年祭」の開催を支援する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
7	11	文化芸術発信拠点施設整備事業(パレット)	H24 ~ H30	幅広い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動等の場を提供するため、パレット市民劇場において、施設整備と機能強化を図る。	舞台機構機能強化工事実施	舞台機構機能強化工事完了	【H31成果目標】 年間利用者数61,000人以上 【今後のスケジュール】 本事業で実現可能となった舞台演出等の内容を、事業主催者に対して案内を行いながら、利用者の満足度向上を図り、施設利用の定着と利用者数向上に繋げていく。	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
8	1	認可外保育施設の環境整備事業	H24 ~ H33	認可外保育施設において、指導監督基準を維持継続し保育環境の向上を図るため、改修整備費の補助を行う。 また、施設の衛生環境の向上を図るため、認可外保育施設の害虫駆除を行う。	改修施設数 2施設 衛生消毒及び防虫駆除実施施設数 約65施設	改修実施施設 2施設 保育環境の衛生管理の実施 65施設	【H31成果目標】 保育従事者や保護者等に対するアンケート調査を実施し、施設の改修等により保育環境が向上したか(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【H31成果目標の考え方】 保育従事者や保護者等のうち大多数が保育環境が向上したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
8	2	児童クラブ賃借料補助金	H24 ~ H33	児童クラブの運営を支援することにより、子供たちが安心・安全な環境で保育を受けることができるようになることで、育児の負担感の軽減を図る。	民間賃貸物件を賃借して活動している放課後児童クラブに対し、賃借料補助を行う。 ・対象放課後児童クラブ数:50クラブ	対象となる児童の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 賃借料補助を行うことで、公的施設で活動している児童クラブとの格差是正、保護者の負担軽減及び利用児童の増加を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が負担が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
8	3	ナハノホイク案内人(ナビ)設置事業(コンシェルジュ設置)	H25 ~ H33	市内の保育施設への入園の支援を図るため、保育施設情報総合サイトによる情報発信等を行う。	・保育施設情報相談員(1名)を設置しての相談対応 ・保育施設情報総合サイト「ナハノホイク」を活用した相談対応	待機児童数の減少割合 10%以上	【今後のスケジュール】 保育施設情報総合サイト「ナハノホイク」を有効に活用し、認可外保育所を含めた保育・教育資源の紹介等の保育相談をきめ細かにを行い、待機児童の解消を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8	4	認可外保育施設・絵本読み聞かせ実施事業	H25 ～ H33	「絵本等読み聞かせ」の定着を図るため、保育従事者に「絵本等読み聞かせ」に関する研修等を行う。	研修実施 絵本等配付 一施設あたり約20冊 (絵本等とは、絵本、紙芝居も含む)	保育の内容等を記載する保育計画において「絵本の読み聞かせ」を導入した割合 80%以上	【今後のスケジュール】 「絵本等読み聞かせ」の定着を図る目的により保育計画等の導入率を把握し、今後も維持できるよう継続していく。	【H30成果目標設定の考え方】 概ね読み聞かせが実施されているといえる数値として設定した。
8	5	ふれあいのまちづくり事業	H27 ～ H33	生活課題を抱える、障がい者や高齢者、生活困窮者等からの相談を受け、課題の解決を資するため、総合相談窓口を設置する。	専任相談員の配置:1名	対象となる相談者等へのアンケートで、相談したことにより課題の解決に役立ったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も生活課題を抱え、困っている人が気軽に相談でき、早期に支援が受けられるよう相談窓口の体制を継続的に強化する。	【H30成果目標設定の考え方】 生活課題を抱えた相談者が相談したことにより課題の解決に役立ったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
8	6	ボランティア振興事業	H27 ～ H33	ボランティア活動を促すため、ボランティアを養成するとともに、ボランティア活動のコーディネート等を行う。	ボランティア支援員の配置:1名	・ボランティア登録者数(新規) 82人 ・ボランティアのマッチング件数 250件	【今後のスケジュール】 ボランティア活動を促すため、今後もボランティア活動のコーディネートを継続的に実施していく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
8	7	発達障がい者サポート事業	H27 ～ H33	発達障がい者本人及びその家族への支援を行い、負担感・不安感の軽減を図る。	・ペアレントトレーニング:85回実施 ・ティーチャーズトレーニング:28回実施 ・就労及び本人への支援活動:1000人	本事業により負担感・不安感が軽減されたと感じた割合(80%以上)を含め、対象となる発達障がい者の家族・支援者へのアンケート調査により本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ペアレントトレーニング及びティーチャーズトレーニングを継続実施し、ニーズにあわせて内容を改善し、支援者のスキルアップを図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が負担感・不安感が軽減されたと感じたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
9	1	海外移住那覇市出身者研修受入事業	H24 ～ H33	那覇市と関連が深い国や地域等を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、研修や沖縄伝統芸能・文化、歴史等を学ぶ機会を提供する。	・海外の那覇市民会から研修生の受入:2名 ・沖縄伝統芸能・文化、歴史等を学ぶ機会の提供	受け入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含めアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 南米各国の那覇市民会等において、那覇市との懸け橋となる人材育成を図るため、継続的に実施していく。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数がより興味を持ったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
9	2	那覇長崎平和交流事業	H25 ～ H33	平和について理解を深めるため、長崎市にて開催される「青少年ピースフォーラム」に生徒を派遣する等の事業を行う。	・長崎市へ派遣する平和学習派遣生徒を選定:8名 ・沖縄戦を学ぶ事前研修を実施し、長崎市で開催する「青少年ピースフォーラム」へ派遣	参加生徒の平和等に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、対象生徒及び保護者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 戦争の恐ろしさについて理解を深め、平和の尊さを学び、平和に対する意識の高揚や次の世代へ継承する人材育成を図るため、継続的に実施していく。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
10	未来に羽ばたく臨港型都市再開発事業	H24 ~ H33	那覇軍港返還後の土地活用を円滑に進めるための跡地利用計画の策定に向け、地権者等との合意形成を図る。	地権者等合意形成活動 ・次世代の会による先進地視察(1回) ・次世代の会定例会(10回) ・地権者向け情報誌発行(3回:3000部発行)	跡地利用計画に対する合意形成活動参加者が合意形成活動へ評価すると回答した者の割合(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 H31 那覇軍港周辺エリアのまちづくり構想の検討 H32 那覇軍港跡地の開発計画の検討(まちづくり基本構想等の作成) H33 那覇軍港跡地の開発計画の検討(概略開発計画の作成)	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が合意形成活動へ評価すると思われる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
11	救命講座普及啓発推進事業	H24 ~ H33	災害時等において市民及び観光客等の安全の確保を図るため、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。	・定期救命講習会の実施:27回(普通救命講習 /12回、普通救命講習/8回、上級救命講習/3回、普及員講習/4回) ・出前救命講習会の実施:114回 ・応急手当の重要性及び救命講習に関するPR活動:10回	応急手当講習受講者数:6,000人以上 救命講習会の受講者へアンケートを実施し、応急手当に自信がある、できると思うか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も目標設定の講習会を継続的に開催し、市民の救命能力の向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 受講者のうち大多数が緊急時に応急手当を実施できると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
11	災害時応急給水体制強化事業	H28 ~ H30	災害時発生時において、本土から離れ速やかに緊急時の広域的な支援が得にくい沖縄の事情を踏まえ、応急給水体制の強化を図るため、応急給水活動に必要な機材等の導入を行う。	車輛積載型加圧式給水タンク(1,650ℓ)2基購入	応急給水訓練を実施(1回以上/年)することにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 那覇市防災訓練を含む応急給水訓練を定期的の実施し、応急防災力の向上を図る。	【H30成果目標の考え方】 本事業の目的から、本来災害時の給水量等を設定すべきであるが、実際に災害が発生しないことには検証が困難なため、当該給水訓練等(1回以上/年)により検証を行うことで、職員のスキルアップ及び応急防災力の向上に繋がると考え、成果目標と設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
12	1	地下壕対策事業	H24 ～ H33	地下壕に起因する事故の危険性を軽減させるため、危険性のある地下壕の埋め戻し等の対策を行う。	・地下壕対策工事(1箇所)の着手 ・次年度以降地下壕対策予定箇所(3箇所)の実施設計の着手	・地下壕対策工事(1箇所)の完了 ・次年度以降地下壕対策予定箇所(3箇所)の実施設計完了	【H31成果目標】 対策を実施した地下壕での事故発生件数 0件 【今後のスケジュール】 平成31年度 地下壕対策工事完了(1箇所) 平成32年度 地下壕対策工事完了(2箇所) 地下壕実施設計完了(1箇所) 平成33年度 地下壕対策工事完了(1箇所)	【H31成果目標設定の考え方】 危険性のある地下壕の対策工事を行うことで、陥没・落盤等の事故や、子供たちの地下壕への侵入による事故の防止に繋がると考え、設定した。
12	2	亜熱帯庭園都市形成推進調査(道路)	H24 ～ H30	長期未着手の都市計画道路について、住民の理解を得ながら、道路の整備計画を進めるため、予備設計等の準備を行う。	大中町細街路予備設計の検討	大中町内細部街路について都市計画変更(案)の策定に向けた道路予備設計を実施する。 延長:約3.2km 路線数:19路線 幅員:4～9m	【H31成果目標】 当該事業の実施後における都市計画変更に向けた手続きを進める中で、変更案に対する地域住民等の理解度(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。 【今後のスケジュール】 平成31年度以降、道路予備設計をもとに、関係機関と調整を図り、地域住民の理解を得ながら都市計画変更の手続きを進める。	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
12	3	亜熱帯庭園都市形成推進調査(市街地再生)	H29 ～ H30	地元のまちづくりへの理解を高めるため、まちづくりを進めるための調査・検討を行う。	・まちづくり勉強会の開催 ・まちづくり方針(案)の検討	勉強会参加者のまちづくりに対する理解度(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も地元と連携して良好な環境づくりや住みよいまちづくりに取り組む。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
13	1	職場が主体的に取り組む健康づくり実践支援事業	H25 ～ H30	職場において、健康づくり活動を始めるきっかけを作り、健康意識の向上を図る。	・公募、審査の実施 ・支援件数:10事業所 ・支援事業所への進捗状況確認 ・相談支援:10事業所×4回/年 ・補助事業所の健康状況を評価 ・検証 ・報告会の開催1回 ・平成26年～29年に助成した事業所へのヒアリング(全27事業所) 職場での健康づくり活動への支援を行う。	・チャレンジ活動に参加後、健康意識の向上ができたと回答した従業員 80%以上	【今後のスケジュール】 補助事業所の取り組みを集約し、職場における健康づくりのモデルとして那覇市ホームページに掲載するとともに、補助事業所が継続的な取り組みが行えるよう助言を実施する。	【H30成果目標設定の考え方】 ・健康課題に応じて各補助事業所ごとに、チャレンジ目標を設定していることから事業所の取組達成率について、大多数の事業所で達成したと考えられる数値として「80%以上」と設定した。 ・参加事業所に勤める従業員のうち大多数が意識向上ができたと考えられる値として設定した。
13	2	那覇市健康ウォーキング推進事業	H26 ～ H33	市民の運動習慣化を推進するため、健康ウォーキング大会やウォーキング講座等を開催する。	健康ウォーキング大会 1回 ウォーキング講座 5回	○健康ウォーキング大会 ・参加者 4,000人以上 ・参加者にアンケートを実施し、今後もウォーキングを継続すると回答した(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する ○ウォーキング講座 講座受講者へアンケートを実施し、講座終了後もウォーキングを継続すると回答した(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 平成31年度～33年度 健康ウォーキング大会の開催 「健康フェア」「なは青年祭」との同時開催 開催数:1回/年 大会参加者数:4,000人 (H26年度からの参加者数維持) ウォーキング講座の開催 開催数:5講座(20回)/年 講座参加者数:600人 (H26年度からの参加者数維持)	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 ・対象者のうち大多数が運動の習慣化が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
13	3	生活習慣病重症化予防モデル事業	H26 ～ H32	生活習慣病の合併症・重症化を防ぐため、保健指導を実施する。	対象者への保健指導率80% (3,000人中2,400人) 糖尿病台帳から 要医療者に対する保健指導率50% (175人中88人) 保健指導(面談、電話、文書)	・要医療者の受療率 50% ・要医療者の翌年度健診結果改善率 70% 【参考】 ・受療率 = 保健指導を受けた者のうち、対象リスクの治療のため、医療機関を受診した人数 / 保健指導を実施した人数 ・改善率 = 翌年度の健診結果で改善した人数 / 前年度保健指導実施者で翌年度の健診結果がある人数	【今後のスケジュール】 事業の継続を通して、糖尿病の重症化を予防し、新規透析導入者を増やさないことを目指す。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
13	4	歯とお口の健康普及啓発推進事業	H27 ～ H33	歯科疾患の予防に関する知識、習慣の普及を図るため、デンタルフェアの開催を支援する。	・デンタルフェア開催支援 6月:1会場、11月:3会場で開催 6月はイベントを同時開催 (本庁・新都心、首里、真和志)	・来場者数 4,724人	【H31成果目標】 ・来場者数:4,960人 【H32成果目標】 ・来場者数:5,208人 【H33成果目標】 ・来場者数:5,468人	【H30-H33成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
13	5	健康長寿ゆいまーるモデル事業	H28 ～ H30	生活習慣病の予防に向けて、食生活や生活習慣の改善に係る知識の普及を図る。	・「健康づくり市民会議」に参加する職場・地域・大学・専門学校が取り組む健康づくり実践への支援事業実施 ・健康づくり市民会議の開催:2回 ・ホームページ等を活用した広報の実施 ・健康づくりポイント制度事業実施	生活習慣病予防に向け、食生活や生活習慣を見直すことの必要性について理解できたと回答した健康づくり市民会議参加団体数の割合 80%以上	【今後のスケジュール】 平成30年度に本事業は終了。 平成31年度からは、健康づくり市民会議参加団体を「那覇市健康づくり応援団(仮称)」として、継続して健康づくりの意識向上のため連携する予定。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が生活習慣病予防に向け、食生活や生活習慣を見直すことの必要性について理解できたと考えられる値として設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	道路景観整備事業	H24 ～ H30	はごろも祭りやプロ野球キャンプやコンサートなど、各種イベント行事が行われるコンベンションエリア(市立球場や野外劇場、ビーチがある海浜公園や沖縄コンベンションセンター、ホテルなど)と国道58号を接続する市道を、良好な景観形成を目的として道路整備をすることで、宜野湾市の観光振興に寄与する。	主要観光道路(市道)景観整備 【真志喜26号】約621mの整備 歩道部:舗装改良、車両乗入口改修、外灯設置、樹木移植 植栽樹改良、植樹樹(プランター)設置	道路景観整備対象路線の整備完了	【H31成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客や市民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 良好な景観形成を目的とした道路整備を行うことで、コンベンションエリアへの集客の増加や、歩行者の安全性、快適性の向上を図る。	【H31成果目標設定の考え方】 概ね肯定的な評価を得られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	はごろも祭り・カチャーシー大会運営事業	H24 ～ H33	沖縄の伝統芸能であるカチャーシーの保存継承を図るとともに、地域活性化及び商工・観光振興の観点から「はごろも祭り・カチャーシー大会」を支援し、観光誘客を図る。	はごろも祭り・カチャーシー大会への支援	カチャーシー大会演舞者数: 個人の部:50名、団体の部:25団体 はごろも祭り・カチャーシー大会来場者数:150,000人	【今後のスケジュール】 同大会を継続して開催することにより、市民意識の高揚と親睦を深め、来場者数の増加を図り、西海岸地域活性化に繋げていく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	
1	企画展開催事業	H24 ～ H33	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催し、市の歴史・文化の継承及び観光誘客を図る。	企画展を開催:2本	企画展1本あたりの平均入館者数: 1,300人以上	【今後のスケジュール】 年間2本以上企画展を開催する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	
1	宜野湾市産業まつり支援事業	H24 ～ H33	市の特産品のPRや産業振興及び観光振興を図るため、宜野湾市産業まつりの開催を支援する。	宜野湾市産業まつりへの支援	宜野湾市産業まつり来場者数 26,000人	【今後のスケジュール】 来場者数の増加に向け、まつりの開催時期、内容を改善しながらH33年度まで支援を継続する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	
1	文化財説明板・標識設置事業	H24 ～ H33	観光振興及び文化教育に資するため、市指定・登録文化財の所在地に標識や説明板を設置し、市民等が学べる機会を増やし、市の歴史・文化の継承を図る。	文化財標識・説明板設置件数:2件 文化財説明板と標識を作成設置する。 地域文化財案内板:1件 地域文化財案内板を自治会事務所等に設置する。	文化財標識・説明板設置件数:2件 地域文化財案内板:1件	【平成31年度成果目標】 地域文化財を活用した学習会等への参加人数 220人以上 【今後のスケジュール】 地域・市民の方々が市の自然・歴史・文化に対する知識と理解が深められることにより、文化財を活かした「地域学習」や「地域づくり」に反映され、地域に愛着と誇りを育む「地域アイデンティティ創出の糸口」となる。	【H31成果目標設定の考え方】 類似の学習会(市文化課主催の文化財教室)等を参考に設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			琉球海炎祭支援事業	H25 ～ H33	日本で一番早い夏の大花火をキャッチフレーズにしたイベントである。日本の夏の風物詩である花火と沖縄音楽・文化の融合によるオリジナルナリティーに溢れた沖縄最大の一大イベントであり、本市の観光振興に寄与しているため、当該イベントを支援し、観光・コンベンション機能の充実を図る。	琉球海炎祭への支援	琉球海炎祭来場者総数:15,000人 のうち県外客数:6,000人 のうち海外客数:2,000人	【今後のスケジュール】 イベント開催を支援することにより、観光・コンベンション機能の充実を図り、認知度向上のため、PRを継続して行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1			横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティ事業	H25 ～ H33	プロ野球のキャンプは、温かい沖縄を全国にアピールする絶好の機会であり、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海浜公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信することにより、キャンプ期間中の観光誘客を図る。	植樹する花の苗 (10,000鉢)	プロ野球キャンプ来場者数:26,000人	【今後のスケジュール】 キャンプ見学者数増加に向け、当該イベントを継続して開催し、情報発信強化を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1			トロピカルビーチ賑わい創出事業	H26 ～ H33	本市の観光資源であるトロピカルビーチでミュージックイベント等を開催することにより、市民の憩いの場や観光客の賑わいを創出し、アフターコンベンションの新たな観光スポットとして定着を図る。	イベントの開催	イベント来場者数:8,000人	【今後のスケジュール】 当該イベント来場者数増加に向け、企画内容を充実させ、西海岸地域における新たな観光スポットとして定着を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1			宜野湾海浜公園施設等再編整備事業	H30 ～ H33	地域住民の福祉の向上、質の高い文化芸術公演に触れる機会の確保及び観光誘客を図るため、宜野湾海浜公園及びその周辺の整備を行う。	・宜野湾海浜公園のリニューアル基本構想・基本計画の策定(市民意向把握、基本方針の決定など) ・宜野湾海浜公園屋外劇場整備基本計画の策定(利用者意向把握、施設の規模・内容の決定、利用計画など)	整備基本計画の策定	【H34成果目標】 施設利用者数:666,000人 【今後のスケジュール】 H30 基本計画策定 H31 基本・実施設計完了 H32 整備工事実施 H33 整備工事完了	【H34成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			ベイスターズキャンプ支援事業	H30	ブルペンと内野練習場を整備し、継続して合宿を受け入れる体制を確保することで、プロ野球キャンプの実施及びスポーツ合宿の実施増加に繋げる。	・屋外ブルペン、内野練習場の整備	ブルペン及び内野練習場の整備完了	【H31成果目標】 ・プロ野球キャンプ実施件数 1件 ・スポーツ合宿誘致件数 3件 【今後のスケジュール】 継続したキャンプ誘致に向けて受入れ体制を確実なものとし、他事業とも連携してキャンプ関連施設のさらなる強化を図っていく。	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1			嘉数高台公園施設整備事業	H30 ～ H33	戦跡等もあり観光地としての側面もある嘉数高台公園において、来園者の利便性向上を図るため、公園施設の整備を実施する。	・嘉数高台公園整備基本計画の策定(現況把握、基本方針の決定など)	嘉数高台公園整備基本計画の完成	【H34成果目標】 利便性の確保が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 H30 基本計画策定 H31 基本・実施設計完了 H32 整備工事実施 H33 整備工事完了	【H34成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートによる検証する。
1			プロ野球キャンプ野球場施設整備事業	H24 ～ H31	スコアボードの整備を実施し、継続して合宿を受け入れる体制を確保することで、プロ野球キャンプの実施及びスポーツ合宿の実施増加に繋げる。	・スコアボード改修実施設計(既存躯体を活用した電光掲示板化)	スコアボード改修実施設計の完了	【H31成果目標】 ・プロ野球キャンプ実施件数 1件 ・スポーツ合宿誘致件数 3件 【今後のスケジュール】 H31 スコアボード改修工事完了	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2			スクールソーシャルワーカー活用事業	H24 ～ H33	スクールソーシャルワーカー等を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校児の未然防止、減少に取り組む。	配置されたスクールソーシャルワーカー(学校配置、センター配置のコーディネーター、アドバイザー)の業務分担連携を整理、強化し問題を抱える子どもの支援及び不登校の未然防止、早期対応に向けた児童生徒の支援に取り組む。	スクールソーシャルワーカーの支援を受けている児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率 30%	【今後のスケジュール】 不登校の未然防止や早期支援には学校及び関係機関の情報連携が不可欠であり、相談、体験活動等による寄り添い支援も必要となる。具体的な連携と寄り添った支援に力を入れ、支援の必要な子ども達に対応出来る仕組みを確立していく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	2	適応指導教室事業	H24 ～ H33	教育相談を実施し、児童生徒の居場所づくりとして、宿泊・自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施するなど、適応指導教室に通級しながら生活リズムを整え、個別学習に勉強の遅れを取り戻しつつ、児童生徒の学校復帰、適応を支援する。	適応指導教室在籍児童生徒数:4名	適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率:20%	【今後のスケジュール】 他の適応指導教室との宿泊学習での交流や講師を招いての体験交流会等を行い、集団生活に適応するための意識向上やコミュニケーション能力向上を図るための支援を行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2	2	児童生徒等相談事業	H24 ～ H33	市内在住の18歳までの児童生徒及び保護者等の抱える教育上の問題について、相談支援のため青少年教育相談指導員、臨床心理士を配置し、不登校等の減少を図る	配置された臨床心理士と青少年教育相談指導員が、スクールソーシャルワーカーと連携し困り感のある子どもの相談対応を支援し、問題行動の未然防止や適応指導教室との連携により不登校児童生徒の学校復帰につなげる。	臨床心理士、青少年教育相談指導員の支援を受けた児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率 18%	【今後のスケジュール】 SSWとの連携により問題を抱える子どもの早期支援につなげるため学校訪問を増やし、相談支援につなげる。また、個人相談から小集団グループ、適応指導教室へと学校復帰に段階を経て支援していく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2	2	非行防止等巡回活動事業	H24 ～ H33	児童生徒の健全育成の観点から、関係機関や地域と連携して児童生徒の問題行動に対して必要な注意・助言・指導を行うため、夜間街頭指導員を配置する。	現在巡回している公園を中心としたポイントに加え学校との連携により必要箇所の巡回にも対応し、問題行動から不登校へと進む深夜はいかいの未然防止に努める。	夜間街頭指導件数 前年度比 12.1%減	【今後のスケジュール】 スマートフォンの普及により事件事故に巻き込まれる青少年が増加している。児童生徒等を取りまく社会環境に働きかけ信頼関係を築き必要な指導、助言をおこなう。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2	2	学習支援員活用事業	H24 ～ H33	学習に遅れをとっている児童が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かにサポートする学習支援員を配置し、個々の学力に応じた学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	学習支援員の配置:13校13人 小学校9人・中学校4人	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・小学校 国語: +2.2ポイント以上 算数: +3.0ポイント以上 ・中学校 数学: -1.5ポイント以上	【今後のスケジュール】 H32年度までに、宜野湾市総合平均と県平均との差を小学校は+5%、中学校は±0%。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2	2	派遣費補助金交付事業	H24 ～ H33	児童生徒の文化及びスポーツ活動を奨励し、県外の人との競争や交流の機会を増やすため、学校教育の一環としての県外派遣を支援する。	県外派遣された団体への支援を実施 支援団体数:15団体 (文化活動団体数:5団体、スポーツ活動団体数:10団体)	対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 H31～H33の支援団体見込数は、概ね45団体 各年度:15団体	【H30成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設置した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	スポーツ少年団派遣費補助事業	H25～H33	スポーツ活動による児童・生徒の健全育成及び県外の人との交流の機会を増やすため、一定の基準を満たすスポーツ少年団等の県外派遣を支援する。	県外へ派遣された団体等への支援を実施する。	対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】引き続きスポーツ少年団等への支援を実施する。	【H30成果目標設定の考え方】大多数の児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設置した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	特別支援教育支援員派遣事業	H28～H33	宜野湾市立の幼小中学校における障がい児の支援者として特別支援教育支援員を派遣し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員派遣(幼稚園:15人、小学校45人、中学校20人)	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】H30以降の配置 特別支援教育支援員の配置:幼稚園(9園)15人、小学校9校45人、中学校20人。対象となる幼児児童生徒の保護者のアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度80%以上を目標とする。	【H30成果目標設定の考え方】対象児童生徒の保護者のうち、大多数が満足していると考えられる値として設置した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	文化財保存整備事業	H24～H33	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるように、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行い、市の歴史・文化の継承を図る。	小祿墓石彫香炉等の修復、複製、3D計測:1件 野嵩クシヌカーの土質調査、詳細測量、実施設計:1件	小祿墓石彫香炉等の修復・複製・3D計測の実施、完了 野嵩クシヌカー実施設計の完了	【H31成果目標】 ・地域文化財を活用した学習会等への参加人数 220人以上 【今後のスケジュール】 小祿墓 H30年度:香炉等の修復、複製、3D計測 H31年度:公開 野嵩クシヌカー H29年度:基本設計完了 H30年度:実施設計完了 H32年度:工事等完了 H33年度:公開	【H31成果目標設定の考え方】類似の学習会(市文化課主催の文化財教室)等を参考に設定した。	
3	歴史公文書等整理・活用事業	H24～H33	歴史的価値を有する宜野湾市(村)の公文書等を整理し、今後の市民・利用者の資料要求に迅速に対応することを目的に、公文書等の保存及びデータベースへの登録を行い、公開基準を基に順次公開を行うことで、市民等の市の歴史・文化等への理解を深める。	・歴史的価値を有する公文書等の整理:250冊 ・公開基準に基づいた公文書の順次公開	アンケートを実施し、市の歴史や文化への理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 公文書と写真整理を継続して整理を完遂させ、公開できる簿冊等を増やすと共に、歴史公文書の順次公開をすすめていく。	【H30成果目標設定の考え方】対象者のうち大多数が、市の歴史や文化への理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	平和市民啓発事業	H24 ～ H33	全国の青少年と交流し、命の尊さや平和意識について学ぶため、8/9に長崎で開催される「平和祈念式典」及び「青少年ピースフォーラム」に市内生徒8名を派遣するとともに、平和祈念事業を実施し、若い世代や市民の平和についての理解を深める。	平和学習派遣生徒数:8人 平和祈念事業を行う	平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、生徒や市民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 H24～H33年度 平和学習派遣:各年度8人 累計80人	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、平和に対する理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4	小学校英語教育課程特例校事業	H24 ～ H33	外国人英語指導助手(ALT)及び日本人英語教師(JTE)を小学校に派遣し、児童の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(英語)の向上を図る。	ALT(外国人英語指導助手)及びJTE(日本人英語教師)を配置 :全小学校(9校) ALT9人 JTE9人	小学1～4年生 英語による質問4項目に対する平均正答率 81%以上 小学5～6年生 小学校児童英語検定において、全国と本市との平均正答率の差 +1.6ポイント以上	【今後のスケジュール】 平成33年度までに 小学1～4年生:英語による質問4項目に対する平均正答率 85%以上 小学5～6年生:小学校児童英語検定において、全国と本市との平均正答率の差 +2ポイント以上	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	
4	外国人教師招致事業	H24 ～ H33	外国人英語指導助手(ALT)を中学校に派遣し、生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(英語)の向上を図る。	ALT(外国人英語指導助手)の配置 :全中学校(4校) (各中学校1人配置)	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・中学校 英語: +1ポイント以上	【今後のスケジュール】 平成33年度までに、 沖縄県学力到達度調査において、県と本市の平均正答率の差 中学校英語 +3ポイント以上	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	
4	学校ICT活用指導支援事業	H24 ～ H33	ICT活用支援員を派遣し、教員がICT(教育用PC、電子黒板及びプロジェクター、デジタル教材など)を授業で活用できるよう支援を行い、わかりやすい授業を実施することによる学校教育の質の確保を図る。	IT活用主任嘱託員1名、補助員1名配置 情報夏期講習会 8回 情報教育研究会検証授業 13回	・ICT機器を活用した授業が分かりやすかったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。 ・ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったか(80%以上)を含め、教員へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 アンケート結果をもとに、積極的にICT機器を活用した授業の展開を促進させる。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が理解・習熟していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	市民防災事業	H27 ～ H33	宜野湾市地域防災計画に基づき食糧及び飲料水の備蓄や自主防災組織の強化、観光客等向けの津波避難誘導表示板の設置を行い、適切な被災者支援を図る。	・5,500食の備蓄食料を備蓄する。 ・552Lの保存水を備蓄する。 ・設立した自主防災組織への資機材整備の支援を行う。 ・市内西海岸地区への津波避難誘導表示板設置工事の実施	保存食及び保存水の備蓄 ・H30年度備蓄食糧 備蓄率75% ・H30年度保存水 備蓄率19% 津波避難誘導表示板設置完了 自主防災組織への資機材整備完了(2団体)	【H31成果目標】 ・津波避難訓練等で観光客や外国人等が津波避難誘導表示板を確認して避難場所を認識できたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・整備した資機材を活用した避難訓練(3回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 ・平成33年度までに目標の約2.7万食の備蓄を行ったあとは、保存期限が過ぎた食糧分の備蓄を年次的に行い、常に約2.7万食を備蓄し、大災害に備える。 ・市内すべての自治会(23自治会)において自主防災組織の結成を支援し、設立後は資機材整備に係る補助金を交付し、地域の自主防災力の向上を図る。 ・津波避難誘導表示板を設置後、観光客、外人等にスムーズな避難場所認識を行う。	【H31成果目標設定の考え方】 ・観光客、外国人等の大多数が認識できたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・過去の実績を参考に設定した。	
5	防災情報システム整備事業	H29 ～ H31	大規模災害時において、避難所間の情報収集、共有を的確に行い、適切な被災者支援を図るため、高速無線LANネットワークの構築や沿岸監視カメラの設置等、総合的な防災情報システムの整備を行う。	防災情報システム構築に係る実施設計の策定	防災情報システム実施設計の完了	【H32成果目標】 整備した防災情報システムを活用した避難訓練(3回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 平成30年度 実施設計完了 平成31年度 整備工事実施完了	【H32成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6			普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)	H24 ~ H33	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「NBミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を支援し、合意形成についての取り組みを行う。	若手の会、NBミーティングの定例会等の活動支援を行う。 字毎の意見交換会やホームページ等を通じて、関係地権者や市民へ情報を発信する。	調査内容報告書の作成	【H32成果目標】 跡地利用計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する市民、県民や地権者等の「肯定的な評価」、80%以上	【H32成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数から肯定的な評価を得られたと考えられる値として設定した。
6			普天間飛行場跡地利用計画策定事業(共同調査)	H24 ~ H33	宜野湾市と沖縄県が平成19年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。	今後の計画づくりの推進、県民・地権者との合意形成の促進、県内外に向けた「跡地利用情報」の発信	跡地利用計画(素案)に反映させる配置方針図の更新の検討	【H32成果目標】 跡地利用計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する市民、県民や地権者等の「肯定的な評価」、80%以上 【今後のスケジュール】 平成29年度 配置方針図の更新の検討 平成30年度 配置方針図の更新検討 平成31年度 配置方針図の更新 平成32年度 跡地利用計画(素案)策定	【H32成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数から肯定的な評価を得られたと考えられる値として設定した。
7			被覆資材等導入推進補助事業	H27 ~ H33	本市農業振興を図る為、防風対策施設の設置及び被覆資材等導入にかかる経費に対する支援を行い、農家の生産量の増加を図る。	H30年度申請件数:19件	被覆資材等導入面積:26,500㎡	【H31成果目標】 被覆資材等を導入したことによる生産上昇率5% 【今後のスケジュール】 台風等の気象災害や害虫による農作物被害を軽減する為、被覆資材等導入にかかる経費に対して支援し、導入面積率を上げる事で、安定的な農業生産活動を推進する。	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
8			多様な働き方就労支援事業	H28 ~ H30	子育てや介護など家庭の事情等で従来の働き方では就労が難しい方を対象として、研修によるスキル習得及び職場実習でのマッチングを図り、就労機会の創出を目指す。	就業希望者に対し、就職に優位なスキルを取得させる。	・支援者のうち新規就労に繋がった人数20名以上 ・支援者のうち新規就労に繋がった割合39%以上	【今後のスケジュール】 引き続き就労支援事業を実施し、多様な働き方につながる雇用機会を創出していく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
9	宜野湾市ひとり親家庭生活支援事業	H28 ~ H32	支援が必要なひとり親世帯の中でも自立に向けた意欲のある世帯に対し、住宅支援や就労支援等、自立に向けた支援を行う。	・生活支援コーディネーターによる就労支援及び生活全般の相談・同行支援 ・支援対象者 10世帯	支援対象者のうち自立につながった割合 80%以上	【今後のスケジュール】 支援対象者 H30年度 10世帯 H31年度 10世帯 H32年度 10世帯	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	
10	宜野湾市情報通信産業振興施設計画策定事業	H30	平成29年度実施「宜野湾市情報通信産業振興施設PFI基本構想・事業手法検討調査業務」の結果をふまえ、施設の基本計画の検討及び民間活用型事業としての事業推進のための準備を行う。	情報通信産業振興施設計画の策定(事業手法等の確定等)	基本計画策定完了	【H33成果目標】 基本構想に基づき整備した情報通信産業振興施設における入居事業者数:3件 【今後のスケジュール】 H29年度:基本構想 H30年度:基本計画策定 H31~32年度:基本構想に基づき、新たな情報通信産業施設整備に係る各種事業を実施 H33年度:供用開始	【H33成果目標設定の考え方】 既存施設の過去の実績を参考に設定した。	
11	宜野湾市都市構造基礎調査事業	H30	沖縄の抱える様々な特殊事情(軍用地接收)により、本市の都市構造は市街化が歪んだ形で進展し、不健全な都市構造にならざるを得なかった。普天間飛行場など返還跡地も含めた本市全体の土地利用の基本方針、交通施設、公園緑地の配置方針や市街地の整備方針、自然環境の保全等を定めるための基礎調査を行う。	・宜野湾市の現状把握 ・都市構造の現状把握 ・市民意向調査 等	基礎調査の完了	【H31以降成果目標】 基礎調査結果を基に策定した各分野での計画にて設定した指標を目標とした、各種施策を実施する。 【今後のスケジュール】 平成30年度:基礎調査の実施 平成31年度以降:基礎調査結果の庁内共有、各分野での計画等策定へ活用	【H31以降成果目標設定の考え方】 本事業において実施する基礎調査の結果を基に策定予定である各分野の計画にて指標を設定するため、当該計画に基づき各種施策を実施していくことを目標として設定した。	
12	地域キャリア教育支援事業	H30 ~ H32	地域の企業、学校、保護者等が連携した「未来を広げようグッジョブ体験inぎのわん連絡協議会」を開催し、子どもたちが抱える課題の共有、解決策の検討をし、小学生から高等教育機関在学生在を対象にした職業体験イベント等を実施することで、児童生徒の就業意識の向上を図る。	・未来を広げようグッジョブ体験inぎのわん連絡協議会の開催(3回) ・小学校、中学校、高校毎に職業体験プログラムの実施	就業意識の肯定的変化(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方について検証を行う。	【今後のスケジュール】 地域ぐるみでの子どもたちのキャリア教育の取り組みが充実したものになるよう、連絡協議会の活性化を図っていく。	【H30成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の意識に肯定的な変化が生じたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
13			宜野湾ベイサイド情報センター整備事業	H30 ~ H32	本市の創業支援事業計画にも情報通信産業事業者のワンストップ相談窓口として位置付けられている宜野湾ベイサイド情報センターにて、引き続き創業支援や企業立地促進を図ることにより、情報通信産業を発展させるために施設の基盤を整備する。	空調機工事の実施設計	空調機工事実施設計の完了	【H33成果目標】 入居企業数 10社 【今後のスケジュール】 平成30年度:空調機工事の実施設計 平成31年度:空調機工事、防水工事の実施設計 平成32年度:防水工事	【H33成果目標設定の考え方】 入居率100%を維持することを目標として設定した。
14			市民会館機能強化事業	H30 ~ H32	建設から35年が経過し施設の老朽化が進んでいる現在の設備等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図り、市民が質の高い文化芸術講演に触れる機会や文化活動を行う場の確保を図るため、宜野湾市民会館の整備を実施する。	・大ホール等天井落下防止設計 ・舞台照明設備機能強化工事 ・客席ダウンライトLED化設計	・大ホール等天井落下防止設計の完了 ・舞台照明装置機能強化工事の完了 ・客席ダウンライトLED化設計の完了	【H34成果目標】 年間利用者数 66,776人 【今後のスケジュール】 H30:大ホール等天井落下防止設計 舞台照明装置機能強化工事 客席ダウンライトLED化設計 H31:大ホール等天井落下防止工事 客席ダウンライトLED化工事 舞台機構機能向上工事設計 3階トイレ改修工事設計 低圧動力盤等改修工事設計 H32:舞台機構機能向上工事 3階トイレ改修工事 低圧動力盤等改修工事 H33:客席等機能強化設計及び工事	【H34成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
15			宜野湾市産業振興計画策定事業	H30	平成26年度から平成30年度までの宜野湾市産業振興計画の効果等をふまえ、更なる産業振興を図るため、次の5年間の新たな産業振興計画を策定する。	・既存の本市産業振興計画の検証 ・本市の現状と課題 ・新たな5年間の計画策定	産業振興計画の策定完了	【H30以降成果目標】 策定した産業振興計画の中で、産業振興に係る指標を設定し、当該指標を目標とした産業振興施策を実施する。 【今後のスケジュール】 策定された産業振興計画に則って事業を進め、産業振興の発展、雇用創出、街の賑わい創出を目指す。	【H30以降成果目標設定の考え方】 本事業において策定する産業振興計画の中で産業振興に係る指標を設定するため、当該計画で設定した指標を目標とした産業振興施策を実施していくことを目的として設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
16		宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業	H24 ~ H33	本市の面積の約3割を占める広大な米軍基地は、住みよいまちづくりをする上で最大の阻害要因となってきた。土地を住民から強制接収した経緯から土地の約9割以上が民有地となっており、公共用地が極端に少ない状況であり、駐留軍用地の返還後の跡地利用推進を図るため、宜野湾市特定駐留軍用地内土地取得事業基金を設置し、早急に公共用地を確保する。	基金の積立	特定事業の用に供する土地取得目標 18,000㎡(達成率約60.0%) 達成率: 先行取得目標面積(115,000㎡)に対する累積取得面積の割合	【今後のスケジュール】 返還後の跡地利用の推進を図るべく、平成33年までの間で、普天間飛行場における必要な土地について100%の取得をめざし、計画的かつ継続的に先行取得を行っていく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績及び残りの必要取得面積を勘案し設定した。

H30活動目標(指標): 平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標): 平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			観光誘客プロモーション事業	H24 ～ H33	観光誘客を図るため、観光情報の発信及びプロモーションを行う。	観光誘客PR業務	イベントブースへの平均来場者数: 1,700人 映画撮影ロケ地誘致件数:1件 視聴可能ネットワーク数:95局 アンケートにおける来島希望者の割合80%以上 応援ツアー来島人数86名以上	【今後のスケジュール】 観光誘客の年間での平準化を図り、観光需要の安定化を確保する。そのために観光動態調査等による戦略的な誘客事業を推進する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			スポーツ!ウェルカム!石垣島!事業	H24 ～ H33	プロスポーツチームやアマチュア団体の合宿を誘致し、来場観客数の増を図るため、プロスポーツキャンプ等の誘致及び受入環境の整備を行う。	スポーツツーリズムの推進とスポーツコンベンションの誘致	プロスポーツキャンプ及び大学等のスポーツクラブのキャンプ新規、継続誘致合わせて5団体以上 プロ野球キャンプ期間中を通して来場した観客数25,000人	【今後のスケジュール】 体育館施設の有効利用、スポーツツーリズムの情報提供や受入が継続できるよう来場者と選手に安全で快適な会場を提供する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			観光地受入基盤強化事業	H24 ～ H33	観光誘客を図るため、星空学びの部屋や南の島の星まつりなどを活用した星空資源広報業務を行う。また、クルーズ船寄航回数の増を図るため、クルーズ船受入事業を行う。	○星空資源広報業務 南の島の星まつりなどへの補助 クルーズ船受入事業実施 ○	星空学びの部屋の来場者数:4,300人 南の島の星まつりの来場者数:9,000人 クルーズ船寄港回数:117件以上	【今後のスケジュール】 『石垣市観光基本計画』に基づき、観光まちづくりの課題解消と推進施策に取り組む。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	南ぬ島空港観光案内所運営事業	H25 ～ H33	空港利用者の利便性の確保を図るため、空港ターミナル内において、観光案内所を運営する。	観光案内人の配置:3名	利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証	【今後のスケジュール】 本市玄関口での観光案内人による接遇力を高めること、また案内所に付加価値を図れるよう推進する。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	石垣市内文化財環境整備事業	H27 ～ H33	石垣市内にある重要文化財等を保全し、市民が学べる機会を増やすと共に、観光資源としても活用するため、指定文化財等の周辺環境を整備し、石垣市の魅力を発信する。	庭園でのヤブガラシ根絶研究1地点御嶽等の剪定(枝打ち)作業1ヵ所	指定文化財(庭園)内の植生回復と環境維持対応の完了 減災を目的とした適正な文化財の管理の完了	【H34成果目標】 地元のエコツーリズム協会が整備完了後の文化財を活用して行う史跡めぐりの実施(年12回程度開催) 【今後のスケジュール】 H31 危険枝等除去 H32 危険枝等除去 H33 多言語説明板設置、危険枝等除去	【H34成果目標設定の考え方】 月1回の開催を想定して設定した。	
1	八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業	H24 ～ H33	歴史の継承および観光資源として活用し、誘客を図ることを目的として、虫食い等により状態の良くない古文書等の修復を行うとともに、修復した資料のデジタル化を行い、それらを常設展示や企画展での展示・公開、HPや出版物等への掲載等に活用する。	所蔵資料の修復及び修復済資料のデジタル化	平成30年度の入館者数9,500人以上	【今後のスケジュール】 所蔵資料のうち状態の良くない資料を年次的に修復し、デジタル化を図りながら活用へ供する。併せて、資料の保存管理を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			石垣市民会館設備機能強化事業	H25 ～ H33	市民が質の高い文化芸術公演に触れる機会の確保を図るため、石垣市民会館の大ホール舞台機構の機能強化を行う。	大ホール舞台機構の機能強化	石垣市民会館の大ホール舞台機構の機能強化の完了	【H34成果目標】 島外のイベント会社等が主催する公演数:5件 【今後のスケジュール】 H31 音響設備機能強化工事 H32 音響設備機能強化工事 H33 照明設備機能強化工事	【H34成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			大浜地区歴史遺産活用事業	H25 ～ H31	市民が学べる機会を確保すると共に観光資源としての活用を図るため、歴史広場の整備を行う。	トイレ・東屋の建築(各1棟)	トイレ、東屋の建築完了	【H32成果目標】 地元のエコツーリズム団体や企業OB会等が実施する遺跡見学会の参加者数:200人以上 【今後のスケジュール】 H31 駐車場、芝生広場整備	【H32成果目標設定の考え方】 類似した過去のツアー実績を勘案して設定した。
2			旧空港跡地環境影響評価事業	H24 ～ H33	旧石垣空港跡地の有効利用に向けた土地区画整理事業の都市計画決定、事業認可、事業実施を図るため、都市計画決定の要件である沖縄県環境影響評価条例に基づく環境影響評価を実施する。	方法書に基づく現況調査の実施	方法書に基づく現況調査完了	【H33成果目標】 旧空港跡地約50haの有効活用 【今後のスケジュール】 H31 環境影響予測評価、準備書手続き H32 評価書手続き	【H33成果目標設定の考え方】 旧空港跡地利用計画を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	新港地区国際クルーズ船寄航誘致支援事業	H24 ～ H32	寄港する観光客の利便性の確保を図るため、トイレの整備等を行う。	トイレの整備 屋根付き歩道の一部整備 エプロンルーフ(移動式筒型通路)の整備	トイレ建築工事の完了 屋根付き歩道の一部整備完了 エプロンルーフの整備完了	【H33成果目標】 利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証 【今後のスケジュール】 H31～32 屋根付き歩道の整備	【H33成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	亜熱帯都市公園整備促進事業	H25 ～ H33	市民や観光客等の利便性の確保を図るため、石垣市特有の街区公園の整備を行う。	あんぐん公園の整備工事 あんぐん公園の便益・管理・休養施設的设计業務	あんぐん公園の整備工事の完了 あんぐん公園の便益・管理・休養施設的设计業務の完了	【H32成果目標】 街区公園として利用されているか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証 【今後のスケジュール】 H31 あんぐん公園・宮島公園整備 H33 うぶ公園整備	【H32成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が街区公園として利用されていると考える値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	平久保半島エコロード整備事業	H25 ～ H30	平久保半島の自然をスポーツツーリズムの資源として活用するため、平久保半島エコロードの整備に必要な道路整備工事を行う。	道路整備工事の実施	道路整備工事の完了	【H32成果目標の設定】 エコロードを活用して行われる「石垣島オーシャンビュートレイルラン&ウォーク大会」への参加者数810人 【今後のスケジュール】 道路整備の継続	【H32成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	H30事業内容		今後の展開方針等	補足説明等
3	石垣市資源循環アイランド推進事業	H25 ～ H30	石垣島は離島県の中の離島であり、土地利用には限りがあるため、ごみ焼却施設の代替施設を容易に建設することが出来ない。そのため、現施設の長寿命化等を図る必要があることから、ごみ等から堆肥を生成し、有効活用を図る。	堆肥化設備の導入に向けて、原料(ごみ等)の供給量や堆肥(液肥)の利用量を調査	堆肥化設備の導入に向けた報告書の作成完了	【H31成果目標の設定】 民間1社による設備導入 【今後のスケジュール】 設備導入に向け、必要に応じて官民連携の検討	【H31成果目標設定の考え方】 石垣市バイオマス活用推進計画を勘案して設定した。	
4	社会復帰支援実証事業	H27 ～ H30	失業や傷病等で長期間常用就職の機会から離れている生活困窮者に対し、一般企業での常用就職を目的として、就労の機会を提供し職業訓練を行うと同時に、就職活動の支援を行う。	生活困窮者の求職支援の実施	支援対象者の66%以上が就職	【今後のスケジュール】 生活困窮者に対する求職支援を実施する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	南の島移住・定住支援プロジェクト事業	H28 ～ H33	石垣市の人口の社会減を防止するため、移住プロモーションや、移住体験ツアー等を実施する。	官民連携の協議会の実施 移住支援のプロモーションの実施	人口の社会減60人以下	【今後のスケジュール】 人口の社会減を防止する施策を実施する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		計画 期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	離島保育士確保総合対策事業	H28 ～ H30	待機児童の解消に必要な保育士の増加を図るため、保育所等が実施する取り組みについて支援等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○島外保育士の渡航費・転居費等の支援 ○潜在保育士の再就職の支援 ○未就学児を持つ保育士の再就職の支援 ○保育士養成校への支援 <ul style="list-style-type: none"> 保育士試験離島開催に係る本部長研修への参加 保育士養成校在学学生・潜在保育士の合同就職説明会ツアーの開催 	本事業により増加した保育士による受入可能園児数:158人増	【今後のスケジュール】 待機児童解消に必要な保育士を確保する。	【H30成果目標設定の考え方】 開園を予定している保育園数を助成して設定した。
4	ひとり親家庭生活支援モデル事業	H30 ～ H33	ひとり親世帯の自立を図るため、自立へ向けた具体的な目標及び意欲があるひとり親家庭に対し、家賃補助等の住宅支援や、生活及び就労支援を行う。	年間支援対象世帯数:3世帯	1年間の支援を受け自立した世帯数:2世帯以上	【今後のスケジュール】 自立に向けた意欲のあるひとり親家庭の支援を継続して行う。	【H30成果目標設定の考え方】 他自治体の過去の実績を助成して設定した。
4	ものづくり、マーケティング総合支援事業	H27 ～ H30	島産品の海外販売量増、島産パインで規格外として廃棄されているパインの有効活用及びパイン加工施設の自立化、後継者育成による伝統技術の継承、石垣島産陶芸のPRを図るため、特産品振興と製造業やものづくりに資する支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 海外の現地バイヤーとのマッチング支援 パイン加工所の稼働補助 八重山上布技術者の養成 やきもの用原土掘削及び運搬 	<ul style="list-style-type: none"> 特産品の海外販売目標:1,900Kg 石垣島産パインアップル加工品等の生産高:5,000Kg 八重山上布の研修終了者:17人 石垣島粘土の使用窯業者数:17事業者 	【今後のスケジュール】 特産品やものづくりの更なる振興に資する施策を継続して行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を助成して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			石垣市就業支援事業	H30 ～ H33	児童生徒の島内での就業意識向上を図るため、市内の事業所等でのジョブシャドウイングを実施する。	小中学校を対象としたジョブシャドウイングの実施	島内の就業に対する意欲が向上したか(80%以上)を含め、事業のあり方についてアンケート調査により検証	【今後のスケジュール】 島内での就業意欲が向上する施策を継続して行う。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が意欲が向上したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5			"石垣産の牛"生産推進事業	H24 ～ H33	石垣の牛の出荷頭数の増加、伝染病等の防止及び、肉用牛の販売額の向上を図るため、優良繁殖雌牛の導入費用支援や靴底消毒及び、石垣牛の宣伝などを一体的に推進する。	靴底消毒の実施(空港、離島ターミナル) 優良母牛導入補助の実施 高齢母牛淘汰補助の実施 石垣牛広告を電光掲示 殺虫剤購入費補助の実施 優良肥育素牛への補助実施	平均出荷頭数:543頭/月 伝染病等にかかった頭数:0頭 石垣牛平均販売額:1,400千円以上	【今後のスケジュール】 石垣産の牛の供給量の増加及び価値向上に向けた施策を継続して行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5			農水産物プロモーション事業	H27 ～ H30	石垣島産農水産物の認知度向上のため、石垣島農水産物プロモーション並びに情報発信拠点施設(アンテナショップ)の運営を行う。	石垣島農水産物プロモーション並びに情報発信拠点施設の設置及び運営企画	情報発信拠点施設への来場者数:5,000人	【今後のスケジュール】 石垣島産農水産物の認知度向上に向けた施策を継続して行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	5	生鮮水産物流通条件不利性解消事業	H25 ～ H33	本市は離島県の離島であるため、島外への出荷は空路に限定される。しかし、空路は輸送費を多大に要し、漁家経営を圧迫する要因の一つとなっているため、沖縄本島までの空路輸送費を陸路輸送費並みにすることで、地理的不利性を解消し、島外への出荷量を増加させる。	生鮮水産物の輸送支援(沖縄本島)の実施	生鮮水産物出荷量に占める沖縄本島への出荷割合:28%	【今後のスケジュール】 沖縄本島への出荷量が更に増加するような支援を継続して行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5	5	水産振興事業	H24 ～ H33	沖縄ミーバイの生産量の増加を促進するため、沖縄ミーバイ種苗を沖縄本島の本部にある栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。	沖縄ミーバイ種苗の輸送支援	沖縄ミーバイ生産量:38.5t	【今後のスケジュール】 ミーバイ生産量の増加に資する支援を継続して行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5	5	石垣島産マグロ類販売力強化事業	H30 ～ H32	市民や観光客に島産マグロを広く知ってもらい、島内漁業の振興を図るため、試食会の開催など地域向けの販売促進活動や、インターネットを活用した情報発信ができる環境を整える。	試食会の開催 水産物の情報発信環境の構築 漁法毎によるマグロ水揚げの周知	石垣島産マグロの情報発信強化業務完了	【H31成果目標の設定】 地元セリにおけるマグロ類平均セリ単価:783円/kg 【今後のスケジュール】 H31 全国に向け島産マグロの情報を発信	【H31成果目標設定の考え方】 過去のセリ単価を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	防災体制整備事業	H24 ~ H33	災害時の市民や観光客等の安全を確保するため、災害時の情報提供手段の確保や住民の避難、災害応急対応等の諸活動の円滑化を推進する仕組みを整備する。	防災情報多様化整備実施設計の実施	石垣市防災情報システム多様化整備実施設計の完了	<p>【H33成果目標の設定】 平時の防災無線放送が確実に伝達されたか(100%)を、防災行政無線等を活用した避難訓練への参加者に対するアンケートで検証</p> <p>【今後のスケジュール】 H31 石垣市防災情報システム多様化整備工事 H32 石垣市防災情報システム多様化整備工事</p>	<p>【H33成果目標設定の考え方】 防災行政無線等を活用した避難訓練への参加者にアンケート調査等を実施し、防災無線が確実に伝達されたか等を検証することで、市民や観光客等の災害時の確実な避難誘導等ができるものと考え設定した。</p>	
6	福祉避難所兼ふれあい交流施設整備事業	H24 ~ H30	災害時において高齢者や障がい者等の要援護者(観光客含む)が、安全に安心して避難生活を送ることができる福祉避難所を確保する。平時においては、要援護者と関係団体や地域住民の交流を図ることにより、災害時の相互支援に寄与する。	福祉避難所兼ふれあい交流施設の施設整備(建築工事)	福祉避難所兼ふれあい交流施設の建築工事完了	<p>【H31成果目標の設定】 本施設を活用した避難訓練の実施(1回/年)の際に、要援護者が避難所として活用できるかを市と関係団体で協議し、本施設のあり方を検証 本施設を活用した市民等の交流を図るイベント(18回/年)を開催</p> <p>【今後のスケジュール】 平成30年度 整備工事実施・完了 平成31年度 供用開始</p>	<p>【H31成果目標設定の考え方】 避難訓練の際に要援護者が避難所として活用できる体制が整っているかを市と関係団体で協議し、本施設のあり方を検証することで、災害時に有効な活用ができると考え設定した。 指標については、「石垣市民防災の日」を定める条例に基づき設定した。</p> <p>平時に本施設を活用した要援護者と関係団体や地域住民との交流を図るイベントを開催することで、災害時の共助の機運を醸成できると考え設定した。 指標については、月1~2回のイベント開催を想定して設定した。</p>	
6	消防救助資器材等整備事業	H30	急病や事故、災害等から市民や観光客の安全を確保する救命体制を整備する。 今年度は市内のコンビニエンスストアにAED18台を配備する。	AEDを18台購入	AEDの配備完了	<p>【H31成果目標の設定】 AEDを配備したコンビニエンスストアの店員等に応急手当講習会を実施する中で、AEDによる救急処置が理解できたか(80%以上)を含め、参加者に対するアンケートにより本事業の在り方を検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 H31 ドローン導入</p>	<p>【H31成果目標設定の考え方】 本来はAEDによる救急処置によって救命に至った人数等が考えられるが、その想定をするのは困難である。従って、以下の救命体制が確保されたかを測ることとした。</p> <p>AEDによる救急処置をコンビニエンスストアの店員等が理解する。</p> <p>なお、指標については、大多数がAEDによる救急処置が理解できたと考えられる数値として80%以上とした。</p>	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考		
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		H30成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
7			児童・生徒派遣費助成事業	H24 ～ H33	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、市外・県外で開催される大会等及び選抜選手による合同練習に参加する児童生徒及びその指導者等に対し、航空運賃等の補助を行う。	県内外大会等派遣児童生徒支援	申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合80%以上	【今後のスケジュール】 児童・生徒が島外の人との競争や交流の機会を持てるような支援を継続して行う。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が島内ではできない経験をする事ができたと考えられる値として設定した。	
7			平和推進事業	H24 ～ H33	児童生徒を含め市民が平和の大切さに対する理解を深めるため、平和について学ぶ機会をつくる。	・児童生徒を対象とした「平和を考える作文」「平和を考える絵画」の実施 ・広島・長崎への平和大使派遣：4名 ・平和フォーラム等の開催	平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業の在り方について検証する 平和フォーラム等への参加者700名	【今後のスケジュール】 市民が平和について学ぶ機会をつくる。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が平和に対する理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 参加者数については、過去の実績を勘案して設定した。	
7			石垣市発達支援システム事業	H28 ～ H33	発達の気になる子の早期発見・早期支援に取り組むため、乳幼児期から就労までライフステージに応じて、臨床心理士による発達相談等を実施する。	臨床心理士2名の確保	幼児健診において発達要フォロー児と判断された幼児について、保護者が発達相談を受ける割合80%以上	【今後のスケジュール】 発達の気になる子の早期発見・早期支援に向け、より多くの保護者が発達相談を受けられる体制の構築を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が相談していると考えられる値として設定した。	

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7		気になる子のすこやかな学び支援事業	H25 ～ H33	発達支援を必要とする乳幼児や心身の発達に配慮が必要な児童生徒を抱える者の不安軽減を図るため、臨床心理士、子育て相談員を雇用し、必要に応じて各保育所・幼稚園や学校、関係機関に派遣し、教育相談や子育て相談等を行う。	臨床心理士2人配置 幼稚園に子育て相談員5人配置(農村地区1人、市街地4人)	臨床心理士等への相談により育児・発達等に対する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業の在り方について検証	【今後のスケジュール】 支援を要する乳幼児や配慮が必要な児童生徒の支援体制の構築を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が育児・発達等に対する不安が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
7		「学ぶ意欲・わかる授業」を推進する事業	H24 ～ H33	児童生徒の学力の向上を図るため、学校教育支援員の配置及び、学力先進地域より講師を招聘し教員を対象とした研修会を開催する。また、英語に対する興味・関心の向上を図るため、外国語学習支援員を派遣する。	授業時並びに放課後学習支援(学校教育支援員配置数32名) 外国語活動と英語指導支援(外国語学習支援員配置数:小学校4名、中学校2名)	沖縄県到達度調査の全体平均正答率:小学校60%以上、中学校50%以上 英語が楽しいという回答をした児童生徒の割合:80%以上	【今後のスケジュール】 決め細やかな学習支援による学力の向上及び英語に対する興味・関心の向上を図る取組を継続して行う。	【H30成果目標設定の考え方】 平均正答率は、過去の実績を勘案して設定した。 外国語活動については、対象者のうち大多数が学習向上を実感していると考えられる値として設定した。
7		石垣市学びの基礎力育成支援事業	H28 ～ H30	保育園児及び幼稚園児の小学校への円滑な移行を図るため、指定市立幼稚園に学びの基礎力育成支援アドバイザーを配置し、保幼小交流会活動を実施する。	幼稚園に学びの基礎力育成支援アドバイザー配置:1名	小学校に進級した幼稚園児及び保育園児が不登校になる人数:1人以下	【今後のスケジュール】 保育園児及び幼稚園児の小学校への円滑な移行を支援するため、継続してアドバイザーを配置する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	情報教育充実事業	H24 ～ H33	ICT機器を使用し、分かりやすい授業を実施するため、学校ICT支援員を配置し、ICT活用推進を支援するとともに、デジタル教材の整備等を行う。	○学校ICT支援員の配置:4名 ○定期教職員研修の実施(7回/年)	ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか(80%以上)を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証	【今後のスケジュール】 ICT利活用に関する研修会等を実施し、教員の指導力向上と教科におけるICT活用の定着を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が目的が達成されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
7	専門人材育成事業	H28 ～ H33	外国語対応が可能な観光業従事者を増やすため、観光業従事者を主な対象とした外国語講座を実施する。 島内から多くの教員採用試験合格者を輩出し、教育を担う人材の育成を図るため、教員採用試験対策講座を実施する。	○外国語講座の開催 一般・教職教養、専門教科試験対策講座の開催	外国語講座(英中韓)を受講する市民:100名以上 小学校教員採用試験合格者数:10人以上 中学校教員採用試験合格者数:4人以上	【今後のスケジュール】 より一層の講座内容の充実を図る。教員採用試験対策講座を継続して実施する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
7	子ども若者総合相談センター地域協議会運営事業	H26 ～ H33	不登校やニート、ひきこもり等の社会生活を円滑に営むうえで困難を有する者が必要な支援を受けられるよう、関係機関と横断的な連携を図るため、総合相談窓口を開設してワンストップ相談対応等を行い、包括的、継続的な相談並びに支援等の体制を整備する。	○子ども若者相談員の配置:1名 ○個別相談会:年4回 ○スーパーバイズ:年12回	相談件数に占めるリファラー(適切な機関につなげた)割合 80%以上	【今後のスケジュール】 支援を必要としている子どもや若者が適切な支援を受けられるよう、関係機関との連携を継続して行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7	ユースアドバイザー事業	H24 ～ H33	不登校、引きこもり等の児童生徒及び社会生活を営む上で困難を有する若者の就学・就労等の支援を行うため、ユースアドバイザーを配置し、家庭訪問などを行う。	ユースアドバイザーの配置:3名	児童生徒の学校復帰及び若者の就学・就労 7名以上	【今後のスケジュール】 支援を必要としている児童生徒や若者の支援を行うため、ユースアドバイザーの配置を継続する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
7	石垣市小中学生交流事業	H28 ～ H33	異文化に触れることで児童生徒の視野を広げるため、台湾蘇澳鎮児童生徒との相互交流や、岩手県北上市の生徒受入交流を行う。	台湾蘇澳鎮との教育交流(受入・派遣) 岩手県北上市との教育交流(受入)	異文化に触れることで交流した児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、派遣した生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証	【今後のスケジュール】 児童生徒の視野を広げるための教育交流を継続して行う。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
7	姉妹都市カウアイ郡中学生派遣事業	H27 ～ H33	国際交流を通して児童生徒の視野を広げるため、姉妹都市ハワイ州カウアイ郡へ市内の中学生を派遣する。	中学生のカウアイ郡派遣3名の実施	国際交流を通して生徒の国際的な視野が広がったか(80%以上)を含め、派遣した生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証	【今後のスケジュール】 児童生徒の視野を広げるための姉妹都市への派遣を継続して行う。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7			いきいきスポーツ活動助成事業	H26 ～ H30	児童の視野を広げるため、トップアスリートとしての経験を有する優れた指導者を招聘し、高温多湿の独特な気候の中での効果的かつ効率的な練習法の確立や競技者の底辺拡大等を行う。また、県外市町村の青少年と民泊及びスポーツ交流を行う。	スポーツ教室、スポーツ交流事業の実施	スポーツ教室を通して生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、参加者へのアンケートにより本事業のあり方を検証	【今後のスケジュール】 参加者や児童生徒の視野を広げるため、スポーツ教室や交流事業を継続して行う。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が視野が広がると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
7			不登校対策等支援員配置モデル事業	H30 ～ H33	不登校の改善を図るため、スクールライフサポーターを学校に配置し、不登校の児童生徒に対応した支援を行う。また、教室に入ることの出来ない児童生徒に対して、学校内で孤立することがないよう居場所づくり等、学校と協力し必要な支援を行う。	スクールライフサポーターの配置:2名	スクールサポーターを配置したモデル校の不登校率:小学生0.81%以下、中学生4.81%以下	【今後のスケジュール】 不登校の児童生徒に対応した支援を行うため、スクールライフサポーターの配置を継続する。	【H30成果目標設定の考え方】 本市の現在の不登校率を勘案して設定した。
8			新石垣空港国際線旅客施設強化事業	H27 ～ H31	外国人観光客の受入体制強化のため、新石垣空港国際線旅客ターミナルを中型機対応施設として拡張整備を行い、国際線旅客数の増加を図る。	国際線旅客施設建設工事の実施	平成30年6～7月より工事開始 平成30年度末出来高 30%	【H32成果目標の設定】 国際線旅客数(乗降客数) 106,400人/年間 ピーク時旅客数(片道)230人(中型機1機相当)の受入 【今後のスケジュール】 H31 工事完了、供用開始	【H32成果目標設定の考え方】 国際線の就航便数、機材及び搭乗率を踏まえ設定。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		H30成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
1		浦添市来り来り推進事業	H24 ～ H33	既存の観光資源の活用や新たな観光資源を創出するため地区ごとのまちづくり基本計画を策定する。	<ul style="list-style-type: none"> 屋富祖・オリオン通り周辺地区 ・まちづくり協議会開催(3回程度) ・住民説明会開催(2回程度) ・まちづくり基本計画及びまちづくり協議会における方針実現のための施策検討 <ul style="list-style-type: none"> 港川道路シリソカー周辺地区 ・地域住民ワークショップ開催(2回程度) ・地権者アンケート等実施 ・まちづくり事業の導入に向けた基本構想検討 	<ul style="list-style-type: none"> 屋富祖・オリオン通り周辺地区 ・まちづくり基本計画の実現に向けた施策(案)作成 <ul style="list-style-type: none"> 港川道路シリソカー周辺地区 ・まちづくり基本構想 策定 	【成果目標】 地区ごとのまちづくり基本計画を基に、住民の生活環境の向上、新たな観光スポットの創出及び観光誘客を目的とした事業の実施につなげる。	【成果目標設定の考え方】 本事業で策定するまちづくり基本計画に基づき事業を検討するため、円滑な事業実施につなげることを成果目標として設定した。	
1		てだこの都市・浦添「あまくま歩っちゃん浪漫ウォーク」事業	H24 ～ H33	観光誘客及び地域住民の健康意識の向上を図るため、「てだこウォーク」を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「てだこウォーク ～てだこの都市・浦添 あまくま歩っちゃん浪漫ウォーク～」の開催 ・プロポーザル公募による大会プロモーション及びイベントの実施 ・市内小中学校参加の推進 	・てだこウォーク参加人数 9,900人以上	【今後のスケジュール】 引き続きてだこウォーク参加人数の拡大を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1		ありんくりんクリーン事業	H24 ～ H33	史跡浦添城跡などの古城跡や中頭方西海道及び普天満参詣道などの歴史の道、石橋、歴史上の人物の墓などのほか、地域の御獄や湧水等の環境整備を行うことで、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の清掃:1箇所 ・文化財の除草等環境整備:11箇所 	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、見学者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 アンケートにより効果を測定し、検証を行いながら文化財の環境整備を行うことで、引き続き魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 大多数の見学者にとって魅力的な景観形成が図られていると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1		歴史・文化ガイダンス強化事業	H25 ～ H33	国指定史跡「浦添城跡」をはじめとする市内の文化財を浦添市の観光資源としての活用推進し歴史と文化の継承と観光誘客を図るため、市内の歴史・文化ガイダンス施設において、受入体制の充実化を行う。	市内ガイダンス施設へのガイド配置:2名/315日	ガイダンス施設入館者数:12,800名以上	【今後のスケジュール】 引き続き観光客の受入体制の強化を実施すると共に、文化財案内の充実化を推進する。	【H30成果目標設定の考え方】 入館者数増加率の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	ただこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業	H24～H33	観光地としての魅力向上や地域住民等が地元の歴史や文化に対する興味を深めるため、「沖縄らしい美しいまちなみ景観」の創出・保全・再生を図る事業。	景観計画委託業務の完了 風景づくり推進調査業務による計画策定に向けた検討等(シンボルロード、都市モノ沿線地区、西海岸周辺地区) 小学生を対象とした、まち歩き等、風景づくりに係る人材を育成するための風景学習 補助(工事)完了 風景づくり推進のためのまちなみ景観を修景するための支援 例)赤瓦、琉球石灰岩を使用した石張り工事に対する補助 地域景観資源を保全、活用、創造する自主的なまちづくり活動団体等への支援 例)浦添グスク、ようどれ探索等	景観計画委託業務の完了 地域の歴史や文化に対する興味がわいたか(80%以上)を含め、対象児童に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。 補助(工事)完了 地域の歴史や文化に対する興味がわいたか(80%以上)を含め、参加者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【H33成果目標】 魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方を検証する。 【今後のスケジュール】 H31～H33 ・地域景観の向上を図るための人材育成の実施。 ・地域景観資源を活用するための活動支援等の実施。 ・地域景観の向上を図るための景観修景のための支援を実施。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が地域の歴史や文化に対する興味が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 【H33成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観であると感じたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	地域資源復元推進事業	H24～H33	沖縄の歴史的景観を再生し、沖縄らしい風景づくりを推進し歴史・文化の継承を図るため、地域に所在する文化・観光資源である市指定文化財等や中頭方西海道等の歴史の道のルートの環境整備や民俗文化財の説明板の設置を行う。	・文化財説明板製作取付:1箇所 ・中頭方西海道石畳敷設工事:A=200㎡	・文化財説明板製作取付完了 ・中頭方西海道石畳敷設工事完了	【H34成果目標】 中頭方西海道の歴史の道及びその周辺文化財を活用したイベント等の参加者数:310人 【今後のスケジュール】 H31:仲間火又神復元整備工事 H32:中頭方西海道実施設計委託 H33:中頭方西海道石畳敷設工事	【H34成果目標設定の考え方】 類似のイベント等を参考に設定した。	
2	浦添グスクの城下まちにふさわしい道路美化事業	H24～H31	浦添グスクの麓に位置する仲間地区を、城下まちにふさわしい魅力的な観光地としての景観形成を図るため、浦添グスクの麓に位置する仲間地区について、コーラル舗装を行う。	仲間地区主要道路の美化工事業 カラーアスファルト舗装:210㎡	全体計画 7,280㎡ 平成29年度末時点 6,871㎡整備済 平成30年度末時点 7,081㎡整備済予定	【H32成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、来訪者を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【H32成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観であると感じたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	H30事業内容		今後の展開方針等	補足説明等
2	カーミージー地区海浜公園整備事業	H28 ～ H33	良好なサンゴ礁群と砂浜が残るカーミージー地区周辺に、体験学習・環境教育やエコツーリズムの拠点となる施設及び公園を整備する。	・基本設計を策定(体験学習施設及び公園)	・基本設計を策定 対象施設 ○体験学習施設 ○公園	【H36成果目標】 カーミージー地区で開催する体験学習・環境教育への参加者に対してアンケートを行い、自然環境の保全への理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する ・市外からのエコツーリズムプログラム参加者及びレンタルカヌー利用者 750人以上/年	【H36成果目標設定の考え方】 ・参加者の大多数が意識が高まったと考える値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・配備するカヌーの稼働計画及び類似施設の利用状況を勘案して設定した。	
3	悠々ロマン漆とアートに出会うまち浦添推進事業	H24 ～ H33	市民への文化の継承と観光振興を図るため、琉球漆器の歴史や文化、アジアの美を紹介する浦添市美術館において、漆芸の企画展開催、常設展や体験企画の充実化を行う。	・企画展の開催 ・広報宣伝体験事業実施 ・常設展充実事業(作品購入・修復・AVモニター活用等) ・講演会等の催事実施	漆芸の企画展及び常設展の観覧者数 : 3,600人以上	【今後のスケジュール】 インターネットでの発信と修学旅行、子ども向けの取組などに力を入れる。美術館に出来ない体験の仕組みづくりを行う。また魅力ある常設展や展覧会実施により、来館者を増やし市民への文化継承を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	島桑オージー&オバで観光・産業・街おこしプロジェクト	H24 ～ H33	定年後の地域における高齢者の労働力と沖縄在来種のシマグワを活用した産業振興を行い、桑関連商品の販売額の増加を図る。	・桑の栽培 ・商品製造 ・商品開発 ・販売促進	桑関連商品販売額: 17,600千円以上	【H33成果目標】 事業に要する桑園面積 11,000坪 乾燥桑葉原料 7,700kg 桑関連商品合計販売額 35,000千円	【H30成果目標設定の考え方】 指標は近年の販売額実績を勘案して設定した。	
4	浦添市農業フェスタ支援事業	H24 ～ H33	県内農作物・特産品、浦添特産品である島桑を原料にした桑関連商品を市民や観光客等に周知し、売上増加に繋げ地域活性化を図るため、それらを行う農協まつりを支援する。	農協まつり開催支援(支援概要) ・会場設営費 ・広告費 ・イベント費	農協まつり来場者数: 3,200人以上	【今後のスケジュール】 今後まつり内容を改善し、来場者数を増やし市産品を広く周知することで、売上の増加を目指し地域活性化を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 指標は過去の実績を参照し設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
4		浦添前田駅周辺地区賑わい創出事業	H29 ～ H32	モノレールの延長整備に伴い、本市に整備される浦添前田駅周辺地域において、観光誘客並びに観光客と地域住民間及び地域住民相互の交流機会の増加を図るため、観光交流拠点施設等の整備を行う。 今年度は広場部分の基本設計を実施するとともに、交流拠点施設に係る官民連携の可能性を検討するため、PPP事業課検討調査を実施する。	・PPP事業化検討調査を実施 (事業手法・事業スキームの検討、事業者参加可能性サウンディング調査、事業収支の検討) ・広場部分の基本設計の実施	・PPP事業化検討調査の完了 ・広場部分の基本設計の完了	【H34年度成果目標】 年間施設利用者数 10万人以上 【今後のスケジュール】 H31 事業者選定・土地取得・広場部分の実設計 H32 土地取得・施設及び広場建設工事 H33 建設工事 H34 供用開始	【H34成果目標設定の考え方】 浦添前田駅の降車人数予測を勘案して設定した。
4		浦添観光振興事業	H29 ～ H33	浦添市の魅力を国内外へ発信し、観光客誘客を図るため、観光ポータルサイトの活用やプロ野球キャンプ事業の実施、そして観光コンテンツの作成やMICE商品開発を行う。	1 浦添観光振興業務 (1)浦添PR業務(web)120件、観光イベント実施 (2)教育旅行フェア参加2回 (3)プロ野球春季キャンプファン誘客イベント2回 2 浦添歴史観光コンテンツ開発業務 (1)浦添城跡ストーリー作成1件 (2)平和学習用映像制作1件 3 MICE商品開発業務 (1)MICE商品開発2件	1 浦添観光振興業務 (1)ポータルサイト訪問者数 656,000以上 (2)教育旅行新規誘致件数 5件以上 (3)プロ野球春季キャンプファン誘客30,000人以上	【今後のスケジュール】 継続した観光情報の発信や、観光資源を活用した観光メニューを作成することで、本市を訪れる観光客の増加や認知度・満足度の向上につなげる。 【H31年度成果目標】 2 浦添歴史観光コンテンツ開発業務 (1)ストーリーを活用しポータルサイト訪問者数 721,600 (2)平和学習映像視聴件数9,000件 3 MICE商品開発業務 (1)誘致団体数2件	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 【H31年度成果目標設定理由】 2 浦添歴史観光コンテンツ開発業務 過去の実績を勘案して設定した。 3 MICE商品開発業務 過去の実績を勘案して設定した。
5		創業者定着支援事業	H28 ～ H30	市内における創業者数の増加及び安定的な継続創業を図るため、創業・ビジネス情報を発信するとともに、創業・ビジネスコンテストで選定した事業者に対し、専門家によるハンズオン支援、セミナー開催等により創業者等を支援する。	・ステップアップセミナー等の開催 ・創業・ビジネスコンテストの開催 ・支援ネットワーク構築に向けた取り組み	・対象者へのハンズオン支援の実施 ・ビジネスコンテストの開催1回 ・ステップアップセミナーの開催6回 ・支援ネットワークの構築	【H31成果目標】 創業者数:3社以上 【H36成果目標】 定着率:60%以上 定着率とは、本事業で支援した事業者が、支援終了5年後も市内で事業を行っている割合を表す。	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 【H36成果目標設定の考え方】 本事業により支援を受けて創業した方(3社以上)のうち、2社以上が定着することを目標として設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6		那覇港総合物流センター整備事業	H25 ～ H30	国際物流拠点の形成を図るため、那覇港総合物流センターの整備を行う。	総合物流センター建設工事(物流棟外装工事及び設備工事等)の実施。	那覇港総合物流センターの整備の完了	【H31成果目標】 那覇港総合物流センターの取扱貨物量の増 4,580TEU/年間	【H31成果目標設定の考え方】 事業計画上の貨物取扱量を成果目標として設定。
6		万国津梁のロマンあふれる交流のみなとまちづくり事業	H29 ～ H33	那覇港におけるクルーズ船の寄港増加を図るため、歓送迎セレモニーを行う。	地域一体となったクルーズ船の歓送迎セレモニーの実施等。	クルーズ船の寄港回数 307回以上	【今後のスケジュール】 引き続き地域一体となったクルーズ船の歓送迎セレモニーを実施し、クルーズ船の寄港回数の増加を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績(クルーズ船寄港回数)を踏まえ設定。
7		未来へ翔たく太陽っ子育成事業	H24 ～ H33	市内在住又は市内小中学校在籍の児童生徒がスポーツ・文化活動の全国大会において、県外生徒との競争や交流機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、全国大会(ブロック大会含む。)に参加する児童生徒(大会登録選手に限る)を対象として、大会開催地までの渡航に必要な費用の一部を支援する。	県外大会等派遣支援の実施	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 県外派遣機会の拡充や他県の児童生徒と交流し、技術向上や健全育成を図るため、引き続き経済的負担軽減に向けた支援を行う。	【H30成果目標設定の考え方】 対象児童生徒の大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
8		エコアイランドに向けた人材育成及びキャリア教育事業	H24 ～ H33	将来の浦添市、エコアイランド沖縄を支えていく児童の豊かな社会性を育むため、市内全11小学校の5年生全員を対象に、農漁村部での2泊3日の自然体験活動を行う。	農山漁村での2泊3日の宿泊体験学習の実施 市内全11小学校の5年生1,315名対象	事業のねらいに沿った5つの質問項目(児童対象)における事業実施後(事業実施後1ヶ月以内)調査において、肯定的な回答児童(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。 自然体験活動を通して、児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したか(80%以上)を含め、保護者アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 H30～H33 体験活動内容を充実させ、児童の職業に対する視野の拡大、自然環境についての興味、保全への意欲増大、キャリアの発達を図る	【H30成果目標設定の考え方】 大多数の児童に効果があったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 大多数の児童が社会性が向上していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
8	学力等底上げ推進支援事業	H24 ～ H33	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導による学力の底上げを図るため、各小中学校へ学校教育支援員や日本語教育支援員を配置する。	学校教育支援員 ・小学校 22名(各校1名～3名) ・中学校 10名(各校2名 5校) 日本語教育支援員 ・4名	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差を以下のとおりとする ・小学校:算数 ±0ポイント以上 ・中学校:数学 ±0ポイント以上	【今後のスケジュール】 H30年度～H33年度 学校教育支援員・日本語教育支援員の配置 ・学校教育支援員 H30年度からH33年度まで、学校教育支援員を継続配置し、沖縄県学力到達度調査における浦添市と県の差が減少し、小中学校がともに県平均以上になるように学力の底上げを図るとともに、学力の二極化の改善を図る。 ・日本語教育支援員 支援を必要とする児童が小学校を卒業し、中学校の生徒数が増加するため、より計画的な支援を継続していく。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
8	課題を抱える児童生徒支援事業	H26 ～ H33	情緒的不安を抱えた不登校児童生徒の登校復帰及びあそび・非行傾向生徒の社会的自立を支援するため、各種相談員及び自立支援員を配置する。	臨床心理相談員1名 教育相談員6名 青少年相談員6名 自立支援員4名 教育相談支援員16名 生徒サポーター5名 青少年指導員35名	不登校児童生徒復帰率 小学校:22%以上 中学校:39%以上	【今後のスケジュール】 H30 ～H33:各相談員及び支援員配置 教育相談の充実とあそび・非行傾向生徒への支援を強化する。 事業終期のH33年度において、中学校の不登校に占めるあそび・非行傾向生徒の割合が全国平均並みを目指す。	【H30成果目標設定の考え方】 過去3年間の不登校児童生徒復帰率実績を参考に設定。	
8	適応教室適応指導員配置事業	H26 ～ H33	不登校児童生徒の学校復帰を支援するため、個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談などの支援活動を行うための適応指導員を適応指導教室に配置する。	・適応指導教室に適応指導員2名配置 ・適応指導教室入級児童生徒数:5名以上 ・不登校児童生徒保護者交流会の年3回実施	支援登校率47.6%以上 【支援登校率=支援登校日数/総支援日数】	【今後のスケジュール】 H30～33年度:適応指導員2名/年 【H33成果目標】 支援登校率:50%以上	【H30成果目標設定の考え方】 過去3年間の実績を参考に設定	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
8	ICTを活用したわかる授業構築を支援するためのIT指導員派遣事業	H26 ~ H33	<p>教員のICT機器の習熟による「わかる授業」の構築及び学校教育の質の確保を図るため、教育用PC、電子黒板及び、実物投影機、情報端末等のICT機器を活用した授業を支援するためのIT指導員を学校に派遣する。</p>	<p>・16小中学校へIT指導員3名巡回派遣 ・各校(16校)に年間30日程度派遣</p>	<p>教員にアンケートを実施し、「IT指導員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)」と答えた割合:80%以上</p> <p>児童生徒にアンケートを実施し、「ICT機器を活用した授業が分かりやすかった」と答えた割合:80%以上</p> <p>アンケート結果から本事業のあり方を検証する。</p>	<p>【今後のスケジュール】 H30～33年度:IT指導員:3名/年</p> <p>【H33成果目標】 「授業でICT機器を活用して指導できる」と答えた教員の割合:90%以上 「ICT機器を活用した授業が分かりやすかった」と答えた児童生徒の割合:90%以上</p>	<p>【H30成果目標設定の考え方】 教員の大多数が習熟度が上がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 児童生徒の大多数が授業が分かりやすかったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>	
8	こどもが主体的に学習するための学校ICT機器整備事業	H27 ~ H33	<p>小中学校にICT機器を整備しICT支援員を配置することによる教員のICT機器の習熟及び学校教育の質の確保を図る。</p>	<p>・市内3小中学校へICT機器の整備 【小学校2校】 教育用タブレット端末:42台 電子黒板+PC等:普通学級+特別教室1～2台 【中学校1校】 教育用タブレット端末42台 電子黒板+PC等:普通学級+特別教室2台</p> <p>・ICT支援員3名を機器整備校に派遣(業務委託)</p>	<p>教員へのアンケートを実施し、「ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)」と答えた割合:80%以上</p> <p>児童生徒にアンケートを実施し、「ICT機器を活用した授業が分かりやすかった」と答えた割合:80%以上</p> <p>アンケート結果から本事業のあり方を検証する。</p>	<p>【今後のスケジュール】 H31～33年度:ICT支援員派遣</p> <p>【H33成果目標】 「授業でICT機器を活用して指導できる」と答えた教員の割合:90%以上 「ICT機器を活用した授業が分かりやすかった」と答えた児童生徒の割合:90%以上</p>	<p>【H30成果目標設定の考え方】 教員の大多数が習熟度が上がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 児童生徒の大多数が授業が分かりやすかったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
9	浦添市南米移住者子弟研修生受入事業	H25 ~ H33	子弟研修生の属する国と本市を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、戦前戦後を通して南米へ移住した浦添出身者の子弟を招聘し、日本語研修、文化研修及び地域交流を通じて相互の文化と歴史への理解を促進する。	南米移住者子弟研修生受入:2人 各種研修・交流を実施 ・日本語研修 ・文化研修 ・企業訪問研修 ・県外視察 ・地域との交流	事業全体を通して受入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 H31～H32においても、南米移住者子弟研修生を2人づつ受け入れる。 H33には、第7回世界のウチナーンチュ大会が開催されることから、フォローアップ研修生として6人を招聘し、大会に参加する他の浦添出身者や県系人、地域や市民との交流を通じてネットワークを広げる。 【成果目標】 帰国した研修生が移住先国において沖縄文化を受け継ぎ、市人会の発展に寄与。移住先国と浦添市の架け橋として活躍し、ネットワークの強化に貢献。また、市民との交流を通して、地域の国際化及び国際理解の高揚に資する。	【H30成果目標の考え方】 招聘した研修生の大多数が沖縄の文化や歴史により興味を持ったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
10	浦添市学童っ子応援プロジェクト	H24 ~ H33	放課後児童(学童)クラブの運営を支援することで、子ども達が安全で育成支援が充実した居場所で過ごすことができるようになり、保護者の子育てへの負担感の軽減が図られる。	放課後児童(学童)クラブへの家賃補助:7か所 (補助内容) 家賃月額半額及び上限5万円	安心・安全に子供を預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証。	【今後のスケジュール】 H31～33年度:7か所/年度 【成果目標】 保護者の負担軽減及び放課後児童(学童)クラブの運営支援を行うことで、安定かつ継続した子ども達の居場所づくりや環境づくりを図る。	【H30成果目標設定の考え方】 利用者の大多数が子育てへの負担感が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
11	浦添市中学生平和交流事業	H25 ～ H33	生徒が交流や研修を通して平和について理解を深めることを目的に、平和学習交流事業を行う。また、その生徒の学習報告会などを通して、広く周囲へも平和への理解を深める。	市立中学校5校より、中学生10人を中学生平和交流団として平和学習を実施。 ・事前研修、事後研修(県内) ・本研修(3泊4日 長崎市) ・宮崎県日向市との平和交流 ・浦添市戦没者追悼式への参加	参加生徒やそのピースメッセンジャー活動を通じての平和等に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 H31～33においても、市立中学校5校より、中学生10人を浦添市中学生平和交流団とし、県内及び長崎市で平和学習を実施する。歴史ガイド1人を平和学習指導補助として同行。 【成果目標】 研修終了後、団員は浦添市ピースメッセンジャーとして認定され、市が実施する平和に関する行事に積極的に参加し、平和のメッセージを未来に向けて多くの人に語り伝えていく。	【H30成果目標設定の考え方】 参加生徒の大多数が平和等に対する理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
11	里道及び水路の境界確定復元事業	H24 ～ H33	戦後、地籍が確定されないままに家屋等が建築された箇所等について、境界問題を解決し、今後の道路整備や緊急時避難路の確保につなげるため、里道及び水路の用地測量を実施し、境界の復元・確定を行う。	・里道及び水路の隣接地権者との境界立会による、表示登記 平成30年度における里道の登記済延長 11km	登記済延長率:69% (H30実施分:11%)	【今後のスケジュール】 今後も継続的に里道及び水路の境界確定・復元を行い、公共用地を適正に管理する。 里道及び水路の目標登記済延長率 H31:83% H32:97% H33:100% 【H34成果目標】 公共用地を適正に管理し、各種施策の実施につなげる。	【H34成果目標設定の考え方】 境界復元・確定の測量中であるため、当該測量後に策定する計画に基づき、目標値を設定し施策を実施していくことを成果目標として設定した。	
11	牧港補給地区跡地利用まちづくり活動支援事業	H24 ～ H33	地主会若手組織等の跡地利用についての各種取り組みを支援することにより、当該組織の跡地利用に向けた活動体制づくりと連携強化を図り、跡地利用の円滑な推進を図る。	・まちづくり活動支援(勉強会等4回) ・活動情報発信(1回)	勉強会への参加者に対して、跡地利用について理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も勉強会を通して跡地利用特措法等関連する法令・制度等の理解を深め、国が示す返還計画を見据えた跡地利用計画への提言書とりまとめを支援する。	【H30成果目標設定の考え方】 勉強会参加者の大多数が跡地利用に対する理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
11	牧港補給地区返還跡地転用推進基金事業	H27 ~ H32	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、牧港補給地区の土地の先行取得を実施するにあたり、基金を造成する。	公園緑地としての土地先行取得に向けた基金積立。	・特定事業の用に供する土地取得目標 33,000㎡(達成率67%) 達成率:先行取得目標面積(152,000㎡)に対する累積取得面積の割合	【今後のスケジュール】 ・H31～H33 基金積立及び土地先行取得 【H32成果目標】 ・公園緑地として、約15.2haを用地取得し、円滑な跡地利用につなげる。	【H32成果目標の考え方】 跡地利用が円滑に実施されることを目的とした土地の先行取得であるため、円滑な跡地利用につなげることを目標として設定した。	
12	CKD(慢性腎臓病)重症化予防モデル事業	H28 ~ H30	透析のリスクが高い人に対しCKD重症化予防プログラムを実施し、腎機能の維持及び生活習慣の改善を図る。	CKD重症化予防プログラムの実施 20人 前年度修了者への指導 20人	プログラム参加者について ・腎機能を維持している人の割合80%以上 ・生活習慣(食事・運動・服薬等)を改善した人の割合80%以上	【今後のスケジュール】 ・3年間の取組みをまとめHP等で市民に公表し、年間の新規透析者数を49人以下に抑制する。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
13	浦添市防犯灯LED化推進事業	H28 ~ H32	防犯灯における二酸化炭素排出量を削減するため効率性の悪い既存の防犯灯を高効率照明機器(LED)へ切り替えを図るため、防犯灯設置者の自治会に対して補助金を交付する。	防犯灯をLEDへ切り替える自治会に対して補助金を交付し、防犯灯675基をLEDへ切り替える。	切替後1年目の二酸化炭素排出量を100,000kg-CO2削減する。	【今後のスケジュール】 引き続き既存の自治会所有の防犯灯をLEDへ切り替えを図り、二酸化炭素排出量を削減する。 H32年までに自治会所有の防犯灯をLEDに切り替え、H33年の二酸化炭素排出総削減量を400,000kg-CO2削減する。(H28年比)	【H30成果目標設定の考え方】 切り替え予定の防犯灯の基数からCO2削減量を算定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	学習指導支援者配置事業	H24～H33	児童生徒の学力の向上を図るため、個々の学習指導を行う学習指導支援者を配置する。	学習指導支援員の配置:20人 対象:主に小学3年生の算数、中学2年生の数学を支援する。	沖縄県学力到達度調査における、県と本市との平均正答率の差 ・小学3年生 算数 -3ポイント以上 ・中学2年生 数学 -3ポイント以上	【今後のスケジュール】 平成33年度まで事業を継続し、沖縄県学力到達度調査(算数・数学)において、沖縄県平均正答率を上回る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
	生徒指導支援者配置事業	H24～H33	不登校の改善を図るため、不登校の児童生徒等の支援を行う生徒指導支援者を配置する。	生徒指導支援者の配置:9人 3小学校に3人、5中学校に6人。 登校支援、教育相談 関係機関(教育相談室、適応指導教室)と連携した支援	支援対象の不登校児童生徒の登校復帰人数の割合:24%以上	【今後のスケジュール】 平成33年度まで事業を継続し、不登校児童生徒数の減少を目指す。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
	小中学校英語支援員配置事業	H24～H33	児童生徒の学力(英語)の向上を図るため、小中学校へ英語支援員を配置する。	英語支援員の配置:10人 市立小・中学校にシフト配置	英検Jr.の正答率 ・ブロンズ(小学校5年生):正答率80%以上 ・シルバー(小学校6年生):正答率75%以上 沖縄県学力到達度調査における、県と本市との平均正答率の差 中学2年生 英語 -4ポイント以上	【今後のスケジュール】 平成33年度まで事業を継続し、沖縄県学力到達度調査(中学:英語)において、県平均を上回る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
	中学生海外短期留学派遣事業	H24～H33	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、市立中学の生徒をハワイ州ハワイ郡ヒロへ短期間派遣する。	派遣生徒選考人数:12人 事前研修会の実施 短期留学の実施 帰国後の研修会及び報告会の実施	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 平成33年度まで事業を継続し、各年度12人を派遣する。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野がより広まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
	適応指導教室支援員配置事業	H24～H33	適応指導教室に支援員を配置し、不登校児童生徒の個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談等を行い、学校復帰を支援する。	適応指導教室へ支援員の配置:4名 心理的・情緒的要因による不登校児童生徒および不登校気味の児童生徒について適応指導教室にて指導・支援	・適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率:28% ・適応指導教室に通級している児童生徒のうちチャレンジ登校のできた児童生徒の率:74%	【今後のスケジュール】 平成33年度まで事業を継続し、不登校児童生徒の学校復帰率40%以上を目指す。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H24～H33	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援する。	県外で開催される大会等へ派遣する児童生徒への補助金支援	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が県内ではできない経験をすることができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証。	【今後のスケジュール】平成33年度まで支援を行う。児童生徒がスポーツ及び文化活動において全国大会で活躍する機会を増やし、質の高い競技に触れさせることで、児童生徒自身の成長につなげる。	【H30成果目標設定の考え方】対象者のうち大多数が県内ではできない経験をすることができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
		小中一貫教育推進事業	H26～H33	小中一貫教育校「屋我地ひるぎ学園」において、より分かる授業を実践し学力向上を図るため、非常勤講師を配置する。	非常勤講師の配置人数：2人 中学校において相互乗り入れ授業やチームティーチング(TT)授業を全学年の主に算数・数学で実施	沖縄県学力到達度調査における、県と本市との平均正答率の差 小学校(算数)：+7ポイント以上 中学校(数学)：-8ポイント以上	【今後のスケジュール】平成33年度まで事業を継続し、これまで研究してきた教育課程の実践的取組や特色ある教育課程の取組支援を行い、児童生徒の学力向上につなげる。	【H30成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。
2		ファイターズ・キャンプ支援事業	H24～H33	北海道日本ハムファイターズのキャンプ受入体制を整えることで、見学者数の増を図る。また、観光誘客を図るため、札幌ドームで名護市PRイベント「名護デー」を開催する。	・プロ野球キャンプ時のシャトルバスの運行、球場周辺の警備員・誘導員の配置 ・札幌ドームで「名護デー」開催(球場入口にて、名護市観光案内パンフレット等の配布/観光と特産品のPRブースの設置/試合前セレモニー実施)	・北海道日本ハムファイターズのキャンプ期間中における見学者数：2,060人以上 ・名護市観光入込客数：5,984,823人以上	【今後のスケジュール】H30年度：市営球場立替工事により、キャンプ受入日数が平成30年度は5日となる予定である。	【H30成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。
		まちなか多言語案内サイン整備事業	H29～H32	外国人観光客の利便性を確保するため、市内の観光スポットを記した多言語案内版等を設置する。	・多言語誘導案内板 6基設置 ・多言語周辺案内地図板 4基設置	多言語案内版等により外国人観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方についてアンケート調査により検証。	【今後のスケジュール】H31～32年度：多言語誘導案内板：8基設置 多言語周辺案内地図板：2基設置	【H30成果目標設定の考え方】利便性を確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により当該事業のあり方を検証することとし、80%の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		第2次名護市観光振興計画策定事業	H30 ～ H31	観光誘客を図るため、第2次観光振興基本計画を策定する。	・第1次観光振興基本計画の検証 ・第2次観光振興基本計画の成果指標策定	・第1次観光振興基本計画の検証完了 ・第2次観光振興基本計画の成果指標の策定完了	【今後のスケジュール】 H30:第1次観光振興基本計画の検証、第2次観光振興基本計画の成果指標策定 H31:第2次観光振興基本計画の策定 【H32成果目標】 策定した計画について、仮称名護市観光審議会で観光施策の進捗管理や見直し等を行うことで(年2回以上)、観光施策のあり方を検証する。	【H32成果目標設定の考え方】 年度の上半期と下半期で1回ずつの開催を想定し設定した。
		名護市特産品開発等支援事業	H29 ～ H31	市内事業者の商品開発・流通等の基礎力向上を図るため、ワークショップ研修等を行う。	・商品開発に関連するワークショップの開催:5回 ・外部評価を受けるためのパイヤーの招聘等:2回 ・個別支援の実施:3社	ワークショップ研修に参加することにより、商品開発・流通等の基礎力向上に役立ったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケート調査により検証。	【今後のスケジュール】 市内事業者のスキルアップの為、ワークショップや商品開発促進における支援を継続するとともに、商談会やパイヤー招聘等を実施し、販路開拓支援も併せて実施していく。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が商品開発等の基礎力向上に役立ったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
		スポーツ施設機能強化事業	H29 ～ H30	スポーツ合宿の誘致を図るため、名護市陸上競技場及び真喜屋運動広場に備品を整備する。	備品購入品目件数:16件	スポーツ合宿誘致件数:9件	【今後のスケジュール】 名護市陸上競技場及び真喜屋運動広場で実施するスポーツ合宿の誘致を強化する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
		名護・やんばるの自然と文化拠点施設整備事業	H30 ～ H33	名護・やんばるの観光振興及び自然や文化の保全・継承に寄与することを目的として、地域の自然と文化に関する情報収集、発信、研究などの機能を備えた総合的なガイドダンス拠点となる施設を整備する。	・基本設計(建築・展示)の実施 ・造成設計の実施 ・用地測量の実施 ・土質調査の実施 ・不動産鑑定の実施	・基本設計(建築・展示)の完了 ・造成設計の完了 ・用地測量の完了 ・土質調査の完了 ・不動産鑑定の実施	【H34成果目標】 利用客数 2.4万人以上 【今後のスケジュール】 H31用地購入、実施設計、造成工事、外構工事 H32外構工事、建築工事 H33 建築工事、展示工事、備品購入 H34 新館開館予定	【H34成果目標設定の考え方】 初年度の開館期間は半年を想定し、利用者数は以下の数値を基に設定した。 ・誘致圏域(45km圏域)居住者数 ・沖縄県観光入込数(国内)の博物館来館割合 ・外国人観光客の博物館来館割合 ・名護市内児童・学生在籍数 ・沖縄県修学旅行生の需要数
		観光情報インフラ(Wi-Fi)整備	H30 ～ H32	名護市の中心市街地Wi-Fi拠点の整備に向けて、実証実験を行うとともに、基本計画を策定する。	・Wi-Fi整備基本計画の策定 ・実証実験の実施	・Wi-Fi基本計画策定完了 ・実証実験完了	(整備スケジュール) H30 基本計画策定、実証実験実施 H31 整備工事 H32 整備工事	【H33成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が魅力的な観光地としての利便性が向上されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		やがじ地域観光拠点整備事業	H28 ~ H31	修学旅行等の誘致を図るため、観光地周辺整備及び観光体験施設整備を実施する。	・オランダ墓アクセス通路 物件補償設計 ・塩づくり体験施設 実施設計 ・農業体験施設 建築工事	・オランダ墓アクセス通路 物件補償設計の完了 ・塩づくり体験施設 実施設計の完了 ・農業体験施設 建築工事の完了	(整備スケジュール) 平成28年度:基本計画策定 平成29年度:農業体験施設(土質調査、造成工事、農業体験施設整備、出荷選別施設実施設計) ・オランダ墓(土木設計) ・塩づくり体験施設(基本設計) 平成30年度:オランダ墓(物件補償設計)、農業体験施設(出荷選別施設整備) ・塩づくり体験施設(実施設計) 平成31年度:オランダ墓(アクセス通路整備、ウッドデッキ整備)、塩づくり体験施設(造成工事、塩づくり体験研修室整備)	[H32成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。
		名護市産業支援センター機能強化事業	H30 ~ H31	雇用の創出を図るため、名護市産業支援センター(5階フロア)にオフィス、会議室、トイレ等を整備するため、実施設計を行う。	実施設計の策定	実施設計の策定完了	[H32成果目標] 名護市産業支援センター5階フロアの雇用者数 28名 [今後のスケジュール] 平成30年度:実施設計 平成31年度:機能強化工事 平成32年度:供用開始	[H32成果目標設定の考え方] 本事業の目的は雇用の創出を図ることであるため、改修後の5階フロアにおける雇用者数を成果目標に設定した。数値については、他フロアの同程度の面積を専有する企業の実績を勘案して設定した。 平成32年度:28名 平成33年度:33名 平成34年度:38名
3		金融・情報特区企業招聘セミナー等広報イベント事業	H24 ~ H33	金融・情報関連企業の誘致を促進するため、企業向けの広報イベントや誘致活動、学生・市民向けの金融・IT講座を実施する。	・招聘セミナー参加企業:10社/20名 ・県外イベント来場者数:150名 ・高校生・学生・一般市民の金融・IT基礎知識の習得:150名	企業招聘セミナー、沖縄県開催企業誘致県外イベントへ参加した金融・情報通信関連企業のうち名護市へ進出した企業数:2件	[今後のスケジュール] H31~H33年度: ・金融・情報通信関連企業の経営者等を招致し、セミナーの開催 ・県外企業誘致イベントへの参加 ・高校生・学生・市民向け金融・IT基礎講座・講話の開催を継続して実施していく。	[H30成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。
4		優良繁殖雌牛導入事業	H27 ~ H31	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	優良母牛導入支援 20頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:120%以上	[今後のスケジュール] H31年度まで、毎年度20頭の導入支援	[H30成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	救命処置普及強化支援事業	H27 ～ H31	市民や観光客等に重篤な傷病者が発生した際の応急体制を確保するため、救命講習会を実施する。	・救命講習普及支援員配置数：3名 ・各種講習会回数：145回	・救命講習会参加者へのアンケートで、適切な応急対応が理解できたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証。 ・まちかど救急ステーション認定事業所：5件以上	【今後のスケジュール】 H30～H31年度： 支援員3名/年 各種講習会開催 平成31年度 市民の半数(約3万人)が救命講習を受講する。 まちかど救急ステーション認定事業者数23事業者	【H30成果目標設定の考え方】 ・参加者のうち大多数が、適切な応急対応が理解できたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・過去の実績を勘案し設定した。	
	ハブ対策事業	H27 ～ H33	地域住民や観光客の咬傷被害防止を図るため、地域住民の生活圏や観光地にハブ捕獲器を設置し定期巡回を行う。	ハブ捕獲器の設置：210器	捕獲器設置箇所周辺におけるハブによる咬傷被害件数：0件	【今後のスケジュール】 平成27年度の事業実施以降、捕獲器設置箇所におけるハブによる咬傷被害0件であることから、引き続き捕獲器の設置箇所を増やし、ハブによる咬傷被害0件を目指す。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
	防災体制強化整備事業	H29 ～ H33	住民や観光客等の安全を確保するため、市内消防団車庫等に防災資器材を設置する。	防災体制強化資器材等(消耗品・備品)の購入件数：6件	水難救助訓練の実施(1回以上/年)により防災資器材の活用のある方を検証。	【今後のスケジュール】 防災資器材を活用した水難救助訓練を実施・検証する。 回数については、設置箇所ごとの訓練を検討しており、1回以上/年とする。	【H30成果目標設定の考え方】 設置箇所ごとに1回以上/年と想定し設定した。	
	環境再生・活用整備事業	H29 ～ H33	集中豪雨により浸水している箇所の災害防止を図る。また、治水と自然を共存させた整備を行うことで環境の保全、再生を図り豊かな自然環境と共生するまちづくりを推進する。	・喜知留川河川整備実施設計の実施	・喜知留川河川整備実施設計の完了	【H34成果目標】 環境学習参加者数20人 【今後のスケジュール】 (整備スケジュール) H31 用地取得(用地測量含む)・物件補償(補償調査含む)・実施設計(橋梁設計) H32 河川工事 H33 河川工事 H34 供用開始	【H34成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	国立療養所沖縄愛楽園土地等活用基本計画策定事業	H30	国立療養所沖縄愛楽園の未利用の土地等を利活用するため、国立療養所沖縄愛楽園土地等活用基本計画を策定する。	国立療養所沖縄愛楽園土地等活用基本計画の作成	国立療養所沖縄愛楽園土地等活用基本計画の策定	【今後のスケジュール】 平成30年度 基本計画の策定 平成31年度以降 基本計画に基づく事業の検討・実施 【H31成果目標】 策定した基本計画の中で、未利用の土地等の利活用方法等を設定し、当該利活用方法に則った土地利用施策を実施する。	【H31成果目標設定の考え方】 計画策定中であり、本事業で策定した計画を基に成果目標を設定する。	
7	名護市自転車まちづくり推進事業	H24 ~ H34	温室効果ガスの排出削減による低炭素社会の構築を目指し、良好な「環境」の創出に寄与する「自転車まちづくり」を推進するため、自転車のモデルレーン(自転車指導レーン)整備を実施する。	平成30年度自転車指導レーン整備延長1,850mの整備 (宇座線 630m) (火葬場線 420m) (安田根川線 800m)	・平成30年度自転車指導レーン整備延長1,850mの整備完了 (宇座線 630m) (火葬場線 420m) (安田根川線 800m) ・自転車指導レーン整備完了箇所の自転車関連事故発生件数0件/年	【H34成果目標】 温室効果ガス排出削減量(指標)はH30から交通量調査等を行いその後設定する。 【今後のスケジュール】 H31年度 整備率:67% H32年度 整備率:71% H33年度 整備率:100% H34年度 まちなか市道部分全面供用開始	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 【H34成果目標設定の考え方】 自転車利用者数交通量調査等を実施することにより、温室効果ガス排出削減量を測定する。 指標の基となる数値はH30から調査を行いその数値を基にH34成果目標を設定する。	
8	名護湾沿岸基本構想策定事業	H30 ~ H31	名護湾沿岸地域の観光・産業振興を図るため、名護湾沿岸基本構想を策定する。 今年度は、基礎情報の収集、関係者意向調査、事例調査、対象地域の現状把握等を行う。	基本構想の策定につながる基礎情報の収集	基礎情報の収集完了	【H32成果目標】 策定した基本構想を基に、観光・産業振興に向けた施設整備など、今後のまちづくりに向けた展開及び目標について設定する。 【今後のスケジュール】 平成30年度 基礎資料の作成 平成31年度 基本構想策定	【H32成果目標設定の考え方】 構想策定中であり、本事業で策定した構想を基に成果目標を設定する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	生活感幸(観光)環境づくり事業	H24 ~ H33	観光地としての魅力の向上を図るため各地域の歴史、民俗地図等資料を作成する。また、市民等を対象に地域の風土、文化、歴史などについて学ぶ市史講座を開催する。	・各字の歴史民俗情報を調査し地図作成 ・市史講座で活用する他、窓口や本市観光協会などで配布し、市HP公開 ・糸満市史講座の開催(年2回)	・ホームページで公開した歴史民俗地図のアクセス数900件以上 ・市の歴史・文化への理解が深まったか(80%以上)を含め、市史講座参加者へのアンケートにより本事業のあり方の検証	【今後のスケジュール】 ・H31:旧摩文仁村歴史民俗調査・地図原稿作成・市史講座 ・H32:旧喜屋武村歴史民俗地図・現況図発行・市史講座 ・H33:旧摩文仁村歴史民俗地図・現況図発行・市史講座	【H30成果目標設定の考え方】 歴史民俗地図のアクセス数については、過去実績を勘案して設定した。市史講座は、大多数の参加者の理解が深まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	沖縄らしい風景づくり事業	H24 ~ H32	風景づくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、観光地としての魅力向上を図る。	・重点地区施設実施設計 ・重点地区施設整備工事(1工区) ・重点地区景観形成への支援((都市景観形成(屋根瓦等の工事)に係る助成金))	・重点地区施設整備設計完了 ・重点地区施設整備工事(1工区)完了 ・助成金による景観形成整備の完了(3件)	【H33成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、観光客等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 H31~32:施設整備設計・施設整備工事	【H33成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	歴史記録資料デジタル化事業	H30	本市の歴史・文化の継承を図るため、本市・沖縄の歴史・文化に関する資料をデジタル化して保存・再生を容易にし、『糸満市史』編集や展示等で活用する。	・歴史・文化を記録した資料群(カセットテープ等)のデジタル化	・市の歴史・文化を記録した資料群のデジタル化の完了	【H31成果目標】 ホームページで公開した市の歴史・文化に関する資料のアクセス数340件	【H31成果目標設定の考え方】 類似事業の実績を参考に設定した。	
1	糸満のくらし体感施設整備事業	H27 ~ H30	本市を訪れる観光客や市民が、旧市街地の町並みや、「海人(うみんちゅ)のまち」に根付いてきた売り手と買い手同士の取引である相対売りなどの漁労文化、また沖縄の伝統文化を体験できる施設を整備する。	・磁気探査 ・工事監理 ・施設整備工事 ・備品購入	・糸満のくらし体感施設整備工事の完了 ・備品購入の完了	【H31成果目標】 年間利用客数11万人 (市民9万人、観光客2万人) 【今後のスケジュール】 H31:供用開始	【H30成果目標設定の考え方】 事業スケジュールに基づき設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		H30成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
2		省エネ設備化推進事業	H24 ～ H30	環境にやさしい(CO2削減)取り組みを進めるため、公共施設に省エネ対応器具を導入する。	・西崎プールボイラー省エネ化実施設計の実施 ・西崎プールボイラー省エネ化整備工事の実施	・西崎プールボイラー省エネ化実施設計委託業務の完了 ・西崎プールボイラー省エネ化整備工事の完了	【H31成果目標】 西崎運動公園内ボイラー省エネによるCO2を年間約46,000kg削減 【今後のスケジュール】 H30:ボイラー施設省エネ化設計、(設計完了後)整備工事 H31:供用開始	【H31成果目標設定の考え方】 省エネ対応設備の供用開始により見込まれるCO2削減効果に基づき設定した。	
3		観光地危険生物駆除事業	H25 ～ H33	観光客等のハブ咬傷の危険性を除去し安全を確保するため、ハブ生息地域を把握し、ハブ捕獲・駆除を行う。	・ハブ捕獲器の設置150基 ・ハブ生息地の調査15カ所	・ハブ咬傷被害2件	【H30成果目標】 ハブ咬傷被害:2件 【今後のスケジュール】 H31～H33:発生区域の把握、ハブ捕獲器及び注意喚起看板等の設置を行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	
3		観光地危機管理対策事業	H28 ～ H31	大型ホテルやマリンレジャー施設、道の駅等の観光施設が立地する本市にあって、観光客の増加に伴う事故や不測の事態へ対処できる体制の確立のため、防災拠点及び指定避難所の非常食・毛布・炊出し資器材等の整備を行う。	・指定避難所への防災資機材の整備(喜屋武小学校・兼城小学校・高嶺中学校)	・指定避難所へ防災資機材の整備完了(3箇所) ・備蓄食料の備蓄率75%	【H32成果目標】 整備した資機材等を活用した避難防災訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 H31:避難所3箇所への整備予定、備蓄食料の備蓄率100%(米須小学校、青少年の家、福祉センター)	【H32成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	糸満イベント推進事業	H24 ~ H33	地域の伝統芸能の保存継承及び観光誘客を図るため、糸満ふるさと祭りへの支援を行う。 また、平和に対する意識の向上及び観光誘客を図るため、平和の光イベントへの支援を行う。	・糸満ふるさと祭りに係る運営費の補助 糸満ふるさと祭り 日程：平成30年8月 会場：糸満漁港北地区 内容：地域伝統芸能、一般団体演舞、県内アーティストステージイベントなど ・平和の光に係る運営費の補助 平和の光イベント 日程：平成30年12月～平成31年1月 会場：糸満市観光農園、平和祈念公園、道の駅いとまん(サテライト) 内容：イルミネーション、ステージイベント、平和にまつわるテーマに基づいた作品を募集し展示など	・糸満ふるさと祭り エイサー演舞者数230人 来場者数46,000人 ・平和の光 イベントに参加した市民ボランティアの数310人 来場者数92,000人	【今後のスケジュール】 イベントの魅力向上や来場者の満足度を高めながら平成33年度まで継続して補助する。	【H30成果目標設定の考え方】 ・糸満ふるさと祭り 過去の実績を参考に設定した。 ・平和の光 過去の実績を参考に設定した。	
4	滞在型観光推進事業	H24 ~ H33	潜在的な観光資源の認知拡大や地域人材の育成を図るため、観光プログラムのプロモーション活動や周遊型パスポートの配布、運用を行う。	・体験交流促進事業 サバニ乗船体験や島豆腐作り体験等、過年度で開発した観光プログラムのプロモーション活動の実施 ・周遊型パスポート事業 過年度で開発したスタンプラリー形式のパスポートを配布し、Webを開発・運用	・体験観光メニュー参加者数600人 ・周遊型観光プログラム参加者数630人	【今後のスケジュール】 体験交流促進事業については、体験メニュー商品のプロモーション実施、マーケティング調査の実施を行い、それを元に体験メニューの開発を行う。 周遊型パスポート事業については、30年度に市内の観光スポット(お店や公園、海岸など)を登録し、誘客を目指す。	【H30成果目標設定の考え方】 ・体験交流促進事業 過去の実績を参考に設定した。 ・周遊型パスポート事業 配布予定のパスポートの回収目標数に基づいて設定した。	
4	文化交流・情報発信拠点施設整備事業	H25 ~ H33	観光客のさらなる誘客と訪れる観光客の市内回遊を高めるため、地域の歴史的魅力や文化芸術活動等を内外に発信する文化交流・情報発信拠点施設を整備する。	・文化交流・情報発信拠点施設建築実施設計の実施 ・文化交流・情報発信拠点施設展示実施設計の実施 ・文化交流・情報発信拠点施設管理運営実施計画の実施	・文化交流・情報発信拠点施設建築実施設計の策定 ・文化交流・情報発信拠点施設展示実施設計の策定 ・文化交流・情報発信拠点施設管理運営実施計画の策定	【H34成果目標】 地域発信エリア(常設展示室、企画展示室)年間利用者 約25,000人 創造発信エリア(大ホール、多目的室)年間利用者 約40,000人 継承体験エリア(活動室、会議室)年間利用者 約22,000人 【今後のスケジュール】 H31:整備工事実施(第1工区)・完了 H32:整備工事実施(第2工区前期)・完了 H33:整備工事実施(第2工区後期)・完了 H34:供用開始	【H34成果目標設定の考え方】 類似事業の実績を参考に設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	再生水等循環型に関する実証事業	H29 ~ H33	再生水の農業利用や公共施設での利用(公園の芝管理等)を実用化することを目的に、再生水製造の実証試験及び再生水栽培作物の実証栽培・販売を実施し、水資源循環型を構築する。	・通年における製造機器の安定運転の実施 ・製造した再生水の施設内外での水質等の分析調査(年4回) ・有識者を含めた検討委員会の開催(年2回) ・再生水を利用した農作物の実証販売(年4回)	・調査報告書の作成	【H34成果目標】 実証事業の成果及び今後策定した基本構想・計画等を基に定めた指標を目標とした再生水の実用化に係る施策を実施していく。 【今後のスケジュール】 H31:糸満市再生水事業基本構想(案)の作成 H32:糸満市再生水事業基本計画の策定 H33:糸満市再生水事業基本設計図書の作成	【H34成果目標設定の考え方】 実証事業の成果及び基本構想・計画等で指標を定め、施策を実施することを目標として設定した。	
6	平和ガイド育成事業	H24 ~ H33	平和教育・平和観光に役立てるため、小中学生を対象に平和学習を実施し、「平和ガイド」の育成等を行う。	・平和ガイドの育成(研修6回、宿泊研修2回)	・児童生徒の平和等に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、保護者及び研修生が在籍する各学校の校長に対するアンケートにより本事業のあり方の検証	【今後のスケジュール】 平和意識の高揚並びに世代に切れ目のない「沖縄戦の継承」を図るため、「平和ガイド」の育成を継続的に行う。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者の大多数が児童生徒の平和等に対する理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
6	戦争遺構保全・活用整備事業	H26 ~ H33	平和教育・平和観光に役立てるため、戦争遺構の整備等を行う。	・戦争遺跡概要版設置(地域説明、設計、工事) ・概要看板設置検討委員会(年4回)	・概要版設置箇所4基	【H31成果目標】 概要版を設置した戦争遺跡を活用した児童生徒への平和学習会参加人数150人	【H31成果目標設定の考え方】 平和学習を実施する市内小中学校の児童生徒数に基づき設定した。	
7	確かな学力を育むサポート事業	H24 ~ H33	学習の遅れからくる劣等感等で不登校になる事案もあり、学習支援や学校生活への不応の児童生徒を指導するなど学力向上と登校復帰を図るため、学校現場へ学習・自立支援員を配置する。	・市内小中学校への学習指導等支援員の配置(小学校10校、中学校6校)	・県学力到達度調査の県との差 小学校算数 - 3%以上 中学校数学 - 2.2%以上	【今後のスケジュール】 各学校の実績・規模に合った学習指導等支援員の適正配置を行い、引き続き学習指導等支援員研修会(年3回程度)も実施。市内全小中学校の学力向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	英語指導事業	H24 ～ H33	英語指導を通じたコミュニケーション能力と国際感覚を身につけた人材育成を図るため、小中学校の英語授業における英会話指導、発音指導や学級での質の高い英語指導をサポートする英語指導助手を配置する。	・市内小中学校への英語指導助手の配置(小学校5人、中学校3人)	・小学生 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、本人へのアンケートにより本事業のあり方の検証 ・中学生 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差 +0.1ポイント	【今後のスケジュール】 引き続き市内10小学校と6中学校へ英語指導助手を配置。月に2回程度の英語指導助手連絡会を開催し、お互いの指導方法や教材などについて情報交換を行い、授業の工夫改善を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 ・小学生 大多数が興味・関心が高まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・中学生 過去の実績を参考に設定した。	
7	適応指導教室設置事業	H25 ～ H33	心理的・情緒的要因による不登校の児童生徒の登校復帰を図るため、適応指導教室を設置し、授業支援・登校支援及び教育相談を実施する。	・適応指導教室への人員配置(主任担当者1人、補助担当者1人、教育相談員2人)	・適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率35%	【今後のスケジュール】 適応指導教室へ人員配置(主任担当者、補助担当者、教育相談員)を継続し、心理的・情緒的要因による不登校児童生徒の登校復帰を引き続き支援していく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	
7	障害児学習環境づくり事業	H24 ～ H33	発達障害を含む様々な障害を持つ児童生徒に支援ヘルパーを配置する。また、保育所等他機関との連携や学校での取り組みなどを多方面からの支援が必要であることから、特別支援教育指導コーディネーターを配置する。	・障害児支援ヘルパー配置(39人)及び派遣(認定こども園、幼稚園、小・中学校) ・特別支援教育指導コーディネーター配置(2人)	・対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方の検証	【今後のスケジュール】 特別支援教育指導コーディネーターによる現場視察や現場職員との情報交換を通して、特別支援ヘルパーの適正な人員配置と効果的な支援体制の構築を図る。 各学校(園)の特別支援コーディネーターや特別支援ヘルパーへの研修会を年3回実施し、支援の充実を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が特別支援員の対応への満足度向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7		情報教育環境づくり事業	H25 ～ H33	学校のICT環境整備を行うことでパソコン及び電子黒板等を活用し、より分かりやすい授業の実現、子どもたちの情報活用能力の育成や情報教育の充実を図るため、情報教育支援員を派遣する。	・情報教育支援員の配置(1人)	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方の検証 ・情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったか(80%以上)を含め、教員へのアンケートにより本事業のあり方の検証	【今後のスケジュール】 情報教育支援員の配置を継続し、市内小中学校のコンピュータ整備及びクラス数の増加等に応じた電子黒板等整備を計画的に行う。また、教員のICT活用力向上のために、情報教育研修会の開催・授業支援のあり方については教員の補助等に努め、自立した授業が行えるよう取り組んでいく。	【H30成果目標設定の考え方】 ・児童生徒の大多数がわかりやすい授業の展開が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・教員の大多数がICT機器を活用した授業の展開するための技術の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
8		子育て応援NPO活動支援事業	H24 ～ H33	子育ての困難な親などの養育支援を行うため、NPOを活用して相談や学習会などを開催する。	・子育てが困難な状況にある家庭に対し、訪問活動や研修会等の子育て支援	・子育て支援により、育児に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方の検証	【今後のスケジュール】 新規支援者の確保の一環として、ニーズに即した魅力あるプログラムの充実に努める。 支援の質の向上を図るため、専門家によるスーパーバイズを定期的で開催する。	【H30成果目標設定の考え方】 保護者の大多数が育児に対する不安が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
8		母子生活支援モデル事業	H29 ～ H33	ひとり親家庭の子どもの心身の健全な発達等を支援するため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親家庭に対して、民間アパート等を借上げし、地域の中で自立した生活が送れるよう支援する。	・ひとり親家庭の自立に向けた支援	・支援対象者のうち自立につながった割合60%以上	【今後のスケジュール】 自立の意欲が高いひとり親家庭に対し、安定した住環境を提供するとともに、ニーズに即した一体的な取組みの展開により、きめ細かい支援を行う。	【H30成果目標設定の考え方】 他市町村の事業を参考に目標を設定した。
9		運動公園・体育施設機能強化事業	H24 ～ H30	スポーツ観光の一層の充実を図るため、本市の拠点施設である運動公園・体育施設の機能強化を図る。	・西崎運動公園芝管理 ・西崎総合体育館メインアリーナフローリング補強	・合宿誘致件数13件	【今後のスケジュール】 現在受入している合宿誘致数を施設整備することにより増加させる。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			kozaフィルムオフィス事業	H24 ～ H33	映画やドラマ等の誘致活動や撮影支援を行い、撮影件数の増加を図る。	・誘致活動(3回) ・撮影支援(12ヶ月) ・ロケ地マップ等の製作(1種類)	・撮影件数:53件	【今後のスケジュール】 引き続き撮影件数の増加に向け、誘致活動や撮影サポートを支援していく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			音楽資源活用事業	H24 ～ H33	沖縄民謡や戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなど多彩な音楽資源の展示や音楽イベント等を開催することで、観光客の誘客を図る。	・音楽資料の常設展示 ・企画展の開催(3回) ・音楽イベント等の開催(1回)	・観光客来館者数:1,700人	【今後のスケジュール】 引き続き企画展の開催や展示室の運営を実施し、観光客の誘客を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			音楽観光誘客事業	H24 ～ H33	音楽イベントの開催やライブハウスなどの音楽情報を発信することで、観光客の誘客を図る。	・音楽情報の発信(7月～2月) ・音楽イベント等の開催(2回)	・おきなわ音楽月間イベント来場者数:43,000人	【今後のスケジュール】 引き続き音楽情報の発信やおきなわ音楽月間を開催し、観光客の誘客を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			文化活動拠点施設機能強化事業	H24 ～ H33	市民が琉球舞踊や島唄、組踊りなどの伝統文化に触れる機会や活動を行う場の確保を図るため、音響設備の機能強化を行う。	・音響設備機器機能強化工事の実施	・音響設備機器機能強化工事の完了	【H31成果目標】 年間利用者数35,000人 【今後のスケジュール】 H30 工事 H31 供用開始	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			国際交流事業	H24 ～ H33	多国籍住民の相談窓口の開設を実施し、生活上等の困難の改善を図る。 市民等に語学講座や交流会等を開催し、国際感覚を持つ人材の育成を図る。	・多言語相談(週6日) ・多言語語学講座(週3回) ・多国籍住民等との交流会	・多言語相談窓口に相談して良かったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。 ・来所者数8,354人	【今後のスケジュール】 今後も多言語相談を実施し、生活上等の困難の改善を図る。 今後も多言語語学講座、多国籍住民等との交流会を開催し、国際感覚を持つ人材の育成を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が生活上等の困難の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 来所者数については、過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	エイサーのまち推進事業	H24 ～ H33	エイサーのPRや振興を通して、観光客の誘客の拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> エイサーのまちPR事業 エイサーステッカー製作 エイサーリーフレット製作 街中へのエイサーバナー等設置 エイサーPRポスターチラシ制作 沖縄全島エイサーまつり事業 ・シャトルバス運行 ・エイサーまつり空間演出業務 エイサー会館コンテンツ制作(VRアプリ開発、エイサーAR映像開発、VR体験施設開発、エイサーアーカイブ事業、映像コンテンツ作成)	<ul style="list-style-type: none"> エイサーイベント来場者数:383,848人 エイサー会館来場者数 21,088人以上 	【今後のスケジュール】 引き続きエイサーイベント参加者数の増加に向け、エイサーのまち沖縄市のPR活動を積極的に実施し、エイサーイベントの魅力・利便性の向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	観光宣伝事業	H25 ～ H33	観光PR活動を実施することで、滞在型観光の推進を図る。	各種メディアやウェブを活用した観光広報活動業務 観光キャラバン隊の派遣(6回) ガイド養成講座の実施(16回) モニターツアーの実施(4回)	<ul style="list-style-type: none"> 主要ホテル宿泊延べ人数:307,520人 	【今後のスケジュール】 観光誘客の拡大を図るため、戦略的なPR活動の実施および観光体験や新メニュー創出等の支援を継続的に実施していく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	文化芸能推進事業	H25 ～ H33	琉球舞踊やエイサーなどの伝統芸能等のイベントを開催し、市民等に伝統芸能に触れる機会を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ブレ公演(1回) 本公演(1回) 	<ul style="list-style-type: none"> おきなわ芸能フェスティバル来場者数:16,681人 	【今後のスケジュール】 引き続きおきなわ芸能フェスティバルを開催し、市民等が伝統芸能に触れる機会を確保する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	音楽産業拠点施設機能強化事業	H30	ミュージックタウン音市場の音響設備の機能強化を行い、沖縄民謡や戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなどの音楽イベントを開催し、観光客の誘客を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 音響調整卓系設備の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 音響調整卓系設備の整備完了 	【H31成果目標】 音市場ホール来場者数50,000人以上	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	観光統計調査事業	H30 ～ H33	沖縄市を訪れる観光客の旅行動向の実態を調査・分析を行い、効果的な観光宣伝に繋げるための基礎資料とする。	<ul style="list-style-type: none"> 観光入込統計調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 観光入込統計調査の完了 	【H31成果目標】 観光入込統計調査の結果を踏まえ、主要観光地の入込客数等、観光誘客に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。	【H31成果目標設定の考え方】 調査中のため、本調査結果を踏まえ、主要観光地の入れ込み客数等、観光誘客に係る目標値を設定し、観光振興施策を実施することを成果目標として設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			スポーツコンベンション推進事業	H25 ～ H33	<p>プロスポーツチームやアマチュア団体の合宿誘致を行い、スポーツ合宿宿泊者数の増加を図る。 プロスポーツ団体等のPR活動や交流イベントの開催によりホームゲームへの観客動員数増を図る。 海外からのスポーツ団体の合宿誘致に向けた調査・分析等を行い、スポーツ合宿団体の誘致を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 合宿受入:12ヶ月 誘致活動:2回 プロスポーツ団体等活動支援 3団体 交流イベント開催:4回 サッカースクール開催:10回 スポーツコンベンション受入体制整備業務の実施 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ合宿延べ宿泊者数:16,795人 ホームタウンプロスポーツチームのホームゲーム年間来場者数 122,563人 スポーツコンベンション受入体制整備業務の完了 	<p>【今後のスケジュール】 スポーツ合宿者の増加に向けた誘致活動および2020年東京オリンピックに向けた合宿誘致活動の強化を図る。また、H30に受入体制の整備を行い、H31にスポーツ団体の受入を始める。</p> <p>【H31成果目標】 スポーツ団体誘致数2団体以上</p>	<p>【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p> <p>【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>
2			モータースポーツ推進事業	H27 ～ H31	<p>モータースポーツイベントを開催し、観光客の誘客を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> モータースポーツイベントの実施 1回 	<ul style="list-style-type: none"> イベント来場者数:39,240人 	<p>【今後のスケジュール】 引き続きモータースポーツの振興を図るイベント等を実施することにより、モータースポーツに関する理解と機運を高める。</p>	<p>【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>
3			道路景観形成推進事業	H24 ～ H33	<p>観光地周辺道路を植栽整備することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 道路整備工事1路線(安田中学校線) 	<ul style="list-style-type: none"> 魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 	<p>【今後のスケジュール】 引き続き市内の道路整備を実施する。</p>	<p>【H30成果目標設定の考え方】 路線利用者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>
3			緑化景観推進事業	H30 ～ H33	<p>観光地周辺道路を亜熱帯植物を配置することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 壁面緑化パネルに季節の花を入替える。(3回) 亜熱帯植物(ハイビスカス)の植栽(430本) 	<ul style="list-style-type: none"> 魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 	<p>【今後のスケジュール】 今後も継続的に亜熱帯植物を配置し、沖縄らしい風景づくりを行い観光地としての魅力向上を図る。</p>	<p>【H30成果目標設定の考え方】 市民や観光客などの来街者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>
4			こども科学力育成事業	H24 ～ H33	<p>科学イベント等を開催し、こどもたちの科学への興味関心を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 科学イベント開催(3回) 科学ワークショップ開催(30回) 出前科学教室(100コマ) 科学研究支援(6校) 	<ul style="list-style-type: none"> 参加児童生徒の科学への興味・関心が高まったか(93%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 	<p>【今後のスケジュール】 引き続き科学普及イベント・ワークショップ開催による意識啓発及び出前科学教室による学力向上に取り組んでいく。</p>	<p>【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業	H24～H33	児童生徒の学力に応じた個々の学習支援を行うことで、学力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 日本語指導員の配置 4人 外国語指導助手の配置 25人 学習支援員の配置 24人 学校支援専門員 5人 学習支援コーディネーター 1人 外国語指導コーディネーター 1人 外国語クラブ活動 10校 研修会の開催 学力調査(1回) 中学校放課後学習支援教室8校 	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 小学校:県との差-1ポイント以内を目指す。 中学校:県との差-3ポイント以内を目指す。 	<p>【今後のスケジュール】 引き続き支援員等を配置することにより、沖縄県学力到達度調査の正答率向上に取り組んでいく。</p>	<p>【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>	
4	気になる子等の学びを支援する事業	H24～H33	<p>特別な支援を要する障害がある園児児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。</p> <p>また、不登校など課題のある児童生徒に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園特別支援担当36人(補助者含む) 幼稚園特別支援教育補助者18人 心理士2人 保健師1人 就学支援員1人 特別支援教育コーディネーター1人 市スクールカウンセラー16校 心の教室相談員8校 市スクールソーシャルワーカー1人 学校支援教育補助者8人 特別支援教育補助者33人 心理検査(2回) 介助者派遣11人 適応指導教室教育相談員2人 適応指導教室指導員2人 適応指導教室巡回支援指導員4人 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者へのアンケートで、発達の状況に応じた特別支援員の対応への満足度80%以上 対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上 不登校児童生徒登校復帰率 15%以上 	<p>【今後のスケジュール】 特別な支援が必要な児童生徒や不登校・学力不振の児童生徒の個々のニーズに柔軟に対応した支援を継続して実施していく。</p>	<p>【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が個々のニーズに対応できたと考えられる値を設定した、また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 登校復帰率は、過去の実績を勘案して設定した。</p>	
4	青少年等支援事業	H25～H33	巡回指導、相談、支援等を行い、青少年等の健全育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 青少年教育相談指導員 8人配置 青少年指導員の夜間街頭指導 延べ2417人 若者相談窓口担当相談員 1人配置 	<ul style="list-style-type: none"> 午前・午後巡回指導件数 前年度比 8.5%減 夜間・合同街頭指導件数 前年度比 4.6%減 社会復帰件数 9件以上 	<p>【今後のスケジュール】 午前・午後の巡回指導や夜間の街頭指導を行い、青少年の健全育成を図る。</p>	<p>【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	中学生海外短期ホームステイ派遣事業	H25～H33	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成する。	・中学生10名を海外短期ホームステイへ派遣する。	・保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野が広がったと感じた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 国際的な視野を持つ人材育成するため、短期ホームステイ活動支援を実施していく。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4	学校ICT整備活用支援事業	H30～H32	ICT機器を活用することによる学校教育の質の確保を図る。	各小中学校電子黒板の整備 ・小学校350台 ・中学校150台 ・ICT支援員の各校への配置	・児童・生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 ICT支援員を配置し、ICTを活用した「わかる授業」「参加する授業」等の学校教育の質の確保を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数が分かりやすかったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
5	若年者就労等支援事業	H24～H33	職業人講話やマナー講座等を通じて、小中高校生の就業意識の向上を図る。	・学校における職業人講話、マナー講座等の実施(8校)	・児童生徒へのアンケートで就業意識の向上が図られた(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 講演会等を開催し、就業意識の向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が就業意識の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
5	就労支援センター事業	H25～H33	就労相談や就労支援講座等を実施し、求職者の就職決定に繋げる。	・就労相談 約2,000人/年 ・就労支援講座等の開催 6回 ・職場体験 35件	・就職決定者割合47.3%	【今後のスケジュール】 就労相談、就労支援講座、職場体験、職業斡旋を行い、就職決定に繋げる。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を助案して設定した。	
5	中小企業人材育成支援事業	H25～H30	市内中小企業者に対し、技術力の向上や能力開発のため、資格取得講座を実施し、中小企業人材のスキルアップを図る。	・資格取得講座の開催(8講座)	・研修を受講した人のうち、資格取得者数12人以上	【今後のスケジュール】 これまでの取り組みの成果等を検証していく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を助案して設定した。	
6	地域防災対策事業	H24～H33	自主防災組織の結成及び体制を強化し、防災施設と活動拠点の整備を行うことで、地域防災力の向上を図る。	・防災組織の結成(2組織) ・防災組織資機材・倉庫整備(3組織) ・防災倉庫整備(1箇所)	・整備した防災資機材等を活用した避難訓練を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 防災訓練の回数については、各防災組織が1回以上訓練するものとする。	【今後のスケジュール】 自主防災組織及び資材整備を行うことで、地域防災力の向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 各防災組織が1回以上訓練するものとして設定した	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	災害時緊急避難通路整備事業	H24 ~ H32	里道を活用した災害時緊急避難通路を整備し、津波等の自然災害などに対する防災力の向上を図る。	・比屋根地区1路線30mの整備工事	・比屋根地区1路線30mの整備工事の完了	【H33成果目標】 本避難路を活用した避難訓練の実施(1回/年)により、本事業のあり方を検証する。 【今後のスケジュール】 H30 整備工事 H31 用地測量・用地購入 H32 整備工事	【H33成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した	
6	水難救助支援車整備事業	H30	水難救助支援車を整備し、クルーズ船の寄港により外国人観光客が多く訪れる中城湾港泡瀬地区での水難事故等への防災体制の向上を図る。	・水難救助支援車の整備(1台)	・水難救助支援車の配備完了(1台)	【H31成果目標】 本水難救助支援車を活用した水難救助訓練の実施(18回/年)により、水難救助支援車の活用方法を検証していく。	【H31成果目標設定の考え方】 市の警防規程及び救助隊規程に基づき設定している。	
7	里道および水路の境界確定復元事業	H24 ~ H33	不明確な里道及び水路の位置を確定することで、(仮)沖縄市法定外公共物整備計画を策定し、里道・水路の占用許可・用途廃止等を行う。	・里道 10,500mの境界確定測量 ・水路 3,000mの境界確定測量	確定測量の完了 表示登記申請の完了	【H33成果目標】 策定した(仮)沖縄市法定外公共物整備計画の中で、個人敷地に占用されている里道・水路の占用手続、用途廃止に係る年度毎の目標値(用途廃止率等)を設定し、当該数値を目標とした施策を実施する。 【今後のスケジュール】 H30~32 確定測量・表示登記 H33 確定測量・表示登記・(仮)沖縄市法定外公共物整備計画策定 H34~ 占用手続・用途廃止手続	【H33成果目標設定の考え方】 測量中であるため、当該測量により策定された計画に基づき、目標値を設定し施策を実施していくことを成果目標として設定した。	
8	東部海浜地区開発事業	H25 ~ H33	市民や県民等に対する東部海浜地区開発事業のPRを行い、東部海浜地区への利活用が円滑に行われるよう、認知度向上を図る。 県内外企業等に対する東部海浜地区開発事業のPRを行い、東部海浜地区への企業誘致を図る。	・イベント実施回数 5回 ・県外企業プレゼン 5回	・来場者等へのアンケートによる認知度(50%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後県・県と連携し県内外企業等に事業PR(事業プレゼン等)を戦略的に実施し、企業誘致の促進および認知度向上を図る。 【H33成果目標】 企業誘致件数1件	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し、東部海浜開発事業の認知度向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 【H33成果目標設定の考え方】 誘致先の状況を勘案し設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
9			平和推進事業	H30 ～ H33	沖縄戦の体験や教訓を考える取組を行い、沖縄戦への理解を深める。	・9月7日沖縄市民平和の日記念事業 市民向けイベント開催:1回 市内小中学校におけるイベント開催:8校 ・平和大使活用イベント開催:1回 ・沖縄市平和事業推進アクションプラン(改訂計画)策定	・沖縄戦への理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も9月7日沖縄市民平和の日記念事業等を継続的に開催し、沖縄戦への理解を深め継承していく。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が沖縄戦への理解が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
10			郷土資料整備事業	H27 ～ H33	郷土地域資料の購入・収集を行い、市民が沖縄の歴史文化を学べる環境を整備し、沖縄の歴史文化に係る理解を深める。	・郷土地域資料の購入・収集 420点	・郷土地域資料利用者へのアンケートで、沖縄の歴史文化への理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業のあり方をアンケートで検証する。	【今後のスケジュール】 今後も郷土地域資料の購入・収集を行い、市民が沖縄の歴史文化に係る学習環境の充実に取り組んでいく。	【H30成果目標設定の考え方】 郷土地域資料利用者のうち大多数が歴史文化に係る理解が深まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
11			自然学習普及事業	H30 ～ H33	市民が沖縄の自然を学べる環境を整備し、自然環境の保全への理解を深めることで、環境保全に資する。	・自然講座の開催15回 ・展示会開催1回 ・展示標本作製300種 ・普及書作製 1回	・自然体験学習を通して、沖縄の自然環境について理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業のあり方をアンケートで検証する。	【今後のスケジュール】 今後も講座や普及書等により沖縄の自然を学べる環境整備に取り組んでいく。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が沖縄の自然環境について理解が深まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
12			沖縄こどもの国推進事業	H27 ～ H33	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の誘客促進のため、デジタルサイネージコンテンツ制作及び、マーケティングの実施を行う。	・デジタルサイネージ活用動画制作等業務の実施 ・マーケティング実施支援業務の実施を行う。	・デジタルサイネージ活用動画制作等の完了 ・マーケティング実施支援業務の完了	【H31成果目標】 入園者数60万人 【今後のスケジュール】 計画事業スケジュールに基づき、適正な事業実施を行い、沖縄こどもの国の充実に図る。	【H31成果目標設定の考え方】 「沖縄こどもの国施設整備基本計画」に基づき、目標入園者数を設定

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
13	沖縄こどもの国施設整備事業	H24 ～ H33	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国において、施設の魅力を高め、県内外の来園者を増加させることにより、こどもの文化創造活動の支援及び親子のふれあい余暇の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> サル舎施設演出工事の実施 琉球弧エリア環境演出工事の実施 ワンダーミュージアムの展示品等整備の実施 ワンダーミュージアムの空調整備実施 猛獣舎新築工事(その2)の実施 	<ul style="list-style-type: none"> サル舎施設演出工事の完了 琉球弧エリア環境演出工事の完了 ワンダーミュージアムの展示品等整備の完了 ワンダーミュージアムの空調整備完了 猛獣舎新築工事(その2)の完了 ・入園者数48万人	【H31成果目標】 入園者数60万人 【今後のスケジュール】 H31年度：里山の迷宮エリア(第1期)整備工事等 H32年度：里山の迷宮エリア(第2期)整備工事等 H33年度：琉球弧エリア拡張整備工事等	【H31成果目標設定の考え方】 「沖縄こどもの国施設整備基本計画」に基づき、目標入園者数を設定	

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	文化観光創出事業	H24 ～ H33	H25年度策定の「豊見城城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、用地を取得し必要な施設等の設計や整備等を実施する。	・駐車場施設の整備	駐車場施設の整備完了	【H34成果目標】 年間来場者数 延べ2万人 【今後のスケジュール】 ・用地取得と物件補償（～H31年） ・施設整備（～H33年）	【H34成果目標設定の考え方】 類似観光施設の実績を参考に設定した。	
1	とみぐすく祭り事業	H26 ～ H33	歴史文化に育まれた子どもエイサーや豊見城ハーリーなど貴重な地域資源を活用した祭りを開催し、本市の成長力、若い力を県内外に広くアピールし、新たな観光の場として誇りと愛着の持てる「ひと・そら・みどりがつながるまちとみぐすく」の実現を目的とする。	とみぐすく祭りの開催	・ハーリー大会参加チーム数 63チーム ・来場者数：77,000人	【今後のスケジュール】 地域資源を活用した祭りを継続的に開催し、来場者数及び県外観光客の増加を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	
1	観光振興地域環境美化強化事業	H25 ～ H33	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、大型商業施設及び宿泊施設などが所在する豊崎、瀬長地域の市道植樹樹の除草清掃や、プランターの植栽管理を行い美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	植栽樹の管理(1387樹、3回除草清掃) プランターの植栽管理(464個)	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 植樹樹の除草清掃、花木の植栽管理(灌水等)を継続して行う。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	新しい公共交通システム導入可能性調査検討事業	H28 ～ H31	新たな公共交通システムの導入を目指し、公共交通の利便性向上を図り、公共交通の利用促進を促すため、昨年度の検討、整理を行った実施施策に基づいて、市内一周バスのルート変更に向けた調査、手続きを行う。	市内一周バスのルート変更に向けた調査、手続き	・市内一周バス再編に伴う社会実証実験計画の作成完了	【H32成果目標】 市内一周バス再編により利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケート及び実態調査で検証する。 【今後のスケジュール】 変更ルートに関する評価、検証を行い、鉄軌道を含めた新たな公共交通システムの導入に向けた課題整理を行う。	【H32成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケート及び実態調査により検証する。	

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	とみぐすく産業フェスタ事業	H25～H33	市民や観光客等に市産品を広く知ってもらい、売上増加に繋げるため、とみぐすく産業フェスタへの支援を行う。	とみぐすく産業フェスタ開催に係る経費を負担する。	とみぐすく産業フェスタ来場者数34,000人	【今後のスケジュール】 企画・イベント等の見直しを図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	
2	優良母牛導入支援事業	H27～H31	農家の所得向上に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	優良母牛導入に対する補助	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛と価格差割合「110%以上」	【今後のスケジュール】 優良母牛導入頭数 H30:16頭(4年目導入率65%) H31:16頭(5年目導入率83%) H32:16頭(6年目導入率100%)	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	特別な支援を必要とする子の巡回相談事業	H26～H33	公立幼稚園及び公立・法人・認可外保育施設における「特別な支援を必要とする子」への保育の充実ときめ細かい対応及び早期発見を図るため、臨床心理士の専門指導員を配置し、相談・支援を行う。	臨床心理士配置数:2人	臨床心理士への相談により育児や保育に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者・保育士へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き臨床心理士による巡回・個別相談を実施し、特別な支援を要する子を抱える保護者や保育士の負担感・不安感の軽減を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 保護者や保育士の大多数が育児や保育に関する不安の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	心理相談事業	H28～H33	乳幼児健診及び事後フォローとして行う親子教室、個別相談に臨床心理士を配置し、発達支援を必要とする乳幼児を抱える保護者の育児不安軽減を図る。	臨床心理士配置数:1人 乳幼児健診 24回 親子教室 10回 心理相談(面談) 35回	臨床心理士への相談により育児に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 健診及び相談支援部門と保育部門の連携の確立	【H30成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が育児に関する不安の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	幼稚園特別支援教育支援員配置事業	H28～H30	市立幼稚園において特別支援教育支援員が対象児の実態に応じ、個別または複数配置で支援を行う。	特別支援教育支援員の配置 幼稚園:18人	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 平成31年度から公立幼稚園6施設が公私連携幼保連携型認定こども園(民間運営へ移行)、1施設が公立認定こども園に移行するため、平成31年度からは公立1施設への正規職員の集約により市単独で事業を行う。	【H30成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が特別支援員の学校生活や学習上の困難に対する支援により改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			特別支援教育支援員配置事業	H28 ~ H33	小中学校において、特別に支援を要する児童生徒の教育活動の充実を図るため、特別支援教育支援員を配置し支援を行う。	特別支援教育支援員の配置:26人 特別支援教育コーディネーターの派遣による教育相談・指導助言・面談等の実施。	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 平成33年度まで継続的に配置し、十分な教育を受けることができるように配慮する。	【H30成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が特別教育支援員の教育相談等の支援により教育活動の充実が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4			学力向上サポート事業	H24 ~ H33	市内各小中学校への教員の補助として学力向上推進補助員を配置し、きめ細かい支援を行うことで学力向上を図る。	学力向上推進補助員配置数(各学校1人) 小学校:8人 中学校:3人	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ・小学校:+2.3ポイント ・中学校:+2.2ポイント	【今後のスケジュール】 継続的に配置し、平成33年度の県平均正答率との差を小学校+2.6ポイント、中学校+2.5ポイントを目指す。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4			スクールソーシャルワーカー配置事業	H27 ~ H33	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境の改善を図り、児童相談所等関係機関とのネットワーク構築のため、スクールソーシャルワーカーを配置し、社会福祉の観点から支援を行う。	SSW配置数:3人 市内小学校8校、中学校3校への巡回配置	支援対象ケース改善率32%	【今後のスケジュール】 平成33年度まで継続的にSSWを配置し、関係機関との連携構築を行い、維持する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4			不登校等対策支援事業	H24 ~ H33	不登校や問題行動を抱える児童生徒に対し各種支援員を配置し、生徒指導や教育相談等の適切な支援を行うことにより登校復帰及び社会的自立を支援する。	学習支援補助員配置数:中学校3人、 適応指導教室2人 登校支援員配置数:小学校4人(小学校2校につき1人)	不登校児童生徒復帰率20%以上	【今後のスケジュール】 継続的に各種支援員を配置し、平成33年度の学校復帰率30%を目指す。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4			英語教育推進事業	H25 ~ H33	国際化時代に対応できる人材の育成を目的に、小中学校へ外国人英語講師を巡回配置し、小学校の外国語活動や総合的な学習時間に日本人英語教師を派遣する。	外国語英語教師(ALT)の配置数:4名 日本人英語指導講師(JTE)派遣校数 小学校:8校	・小学生 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、本人へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・中学生 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差 +3.5ポイント	【今後のスケジュール】 継続的に外国人英語講師の配置、日本人英語講師の派遣を行い、児童生徒の英語学習および国際理解の向上を図るとともに、平成33年度の県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差+3.8ポイントを目指す。	【H30成果目標設定の考え方】 〔小学生〕対象者のうち大多数が英語に対する興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 〔中学生〕過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	情報教育補助員派遣事業	H24～H33	パソコン教室の授業へ情報教育補助員を派遣し、ICTを活用した授業をサポートすることで児童生徒の情報活用能力の向上を図る。	情報教育補助員配置数:2人	ICT機器を活用できたと感じた児童生徒の割合:65%以上	【今後のスケジュール】 継続的に情報教育補助員を配置し、平成33年度のICT機器を活用できたと感じた児童生徒の割合80%以上を目指す。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	児童生徒派遣費補助事業(部活分)	H25～H33	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒派遣費の一部を助成	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 継続して児童生徒派遣費の一部助成を行う	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4	児童生徒派遣費補助事業(部活外)	H25～H33	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒派遣費の一部を助成	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 平成33年度まで児童生徒の派遣費の助成を行う	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4	青少年国際交流事業	H25～H33	市内在住の中学生をハワイ州へ派遣し、英語環境で生活することを通して、英語に対する興味関心を更に高め、主体的、意欲的に学習する機会を提供して、次代を担う国際的な人材を育成する。	市内中学生14名をハワイ州に派遣報告会の開催(1回)	派遣後、団員アンケートで「将来、国際関係の仕事をしたまたは国際科に進学したい」と回答した人の割合が8割以上	【今後のスケジュール】 派遣予定数 H30年度～H33年度:各年度14名 合計56名	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、国際関係の仕事をしたまたは国際科に進学したいと考えられる値として設定した。	
4	お仕事体験事業	H30	豊見城市在住の小中学生を対象に、将来の職業観を育むため、仕事の疑似体験ができるイベントを実施する。	年1回の事業実施	就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 事業の実施をとおし、より効率のよい小中学生の職業観育成方法を検討する。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、就業意識が向上したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			電子黒板整備事業	H25 ～ H33	わかりやすい授業を実施し学校教育の質の確保を図るため、電子黒板を整備する。	電子黒板の整備7台	児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(75%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 教室数増となった普通教室等に電子黒板を整備し、全教室への整備を目指す。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5			竈(饒波)修復事業	H27 ～ H31	豊見城市の葬制文化を伝える資料である「竈」を修復し、企画展等で活用することで、地域独自の民俗・祭祀・葬制等といった地域文化の伝承を図る。	竈の修復作業	竈の修復作業の完了	【H31成果目標】 「竈」本体の修復完了後の企画展示会の来場者数:600人 【今後のスケジュール】 H31 企画展開催等の活用	【H31成果目標設定の考え方】 類似の企画展の実績を参考に設定した。
5			組踊継承事業	H29 ～ H30	豊見城が題材となっている組踊「雪払」について、継承と活用しやすい環境を整えるため、復元台本の増補と上演を行い、更に上演後に上演台本を制作する。	組踊「雪払」上演 1回	組踊出演者数 23名 上演来場者数 646名	【今後のスケジュール】 H31 上演台本制作	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
5			戦争体験等映像化事業	H29 ～ H30	沖縄戦終結から72年が経過し、体験者が自ら語り記憶を継承することが困難になってきている。そこで、沖縄戦を含めた「アジア・太平洋戦争」の体験者取材し、個々の証言等を基に映像資料を編集制作し、平和を伝える学習材を整備する。	戦争体験者等基礎調査 証言撮影10名分 証言編集 ダイジェスト版の製作	証言映像30名分の完成 学習材の整備完了	【H31成果目標】 整備した学習材を活用した企画展示会の来場者数:600人 【今後のスケジュール】 H31 市内学校へ配布 より広範囲での公開方法の検討	【H31成果目標設定の考え方】 類似の講座等の実績を参考に設定した。
6			豊見城総合公園体育施設機能強化事業	H28 ～ H30	オリンピック・パラリンピック等のスポーツコンベンション誘致を推進するため、施設の現状と課題を抽出し、誘致に必要な条件を整理し計画的な整備を行う。	総合公園陸上競技場グラウンド機能強化工事業務の実施及び備品整備	総合公園陸上競技場グラウンド機能強化工事完了及び備品整備	【H31成果目標】 合宿誘致件数:5件 【今後のスケジュール】 合宿誘致件数:5件(H32) 利用者数等:30,000人(H32)	【H31成果目標設定の考え方】 類似施設の合宿誘致件数実績を参考に設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	企業誘致推進業務委託事業	H24 ~ H33	企業誘致活動を実施し、県外企業の市内進出につなげる	企業誘致推進員を県外に配置し企業誘致活動を実施	目標企業誘致件数:3社以上	【今後のスケジュール】 引き続き県外企業の誘致を図るため、事業を実施する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定	
	コンカレントエンジニア人材養成事業	H24 ~ H33	ものづくりに関する人材養成研修を実施し、技術者の技術力向上を図る	・ME(モールドエンジニア)研修:基礎知識の習得(5ヶ月) ・PM(プロジェクトマネージャ)研修:具体的事例をテーマとした研修(1~5ヶ月) ・CE(コンカレントエンジニア)研修:具体的事例(PM研修からレベルUP)をテーマとした研修(1~5ヶ月) ・短期研修:企業向けの短期的な研修(1~5日間)	技術力が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査により本研修のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き技術者の技術力向上を図るため、事業を実施する。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が技術力が向上したと考えられる値として設定。また本事業の在り方についてアンケートにより検証	
	商品プロモーション事業	H25 ~ H33	物産展への出展支援やPR活動及び商品開発の支援や商談会を行うことで、市内中小企業の販路拡大や売上の向上を図る	・物産展への出展支援 ・PR活動 ・商談会 ・商品開発講座	・物産展の1事業者平均売上額76,100円以上 ・商談成立件数13件以上 ・商品開発講座参加者へのアンケートで講座内容が商品開発等への参考となったか(80%以上)を含め、本講座のあり方を検証	【今後のスケジュール】 うるま市の豊かな農水畜産物を使用した商品開発は事業者の自助努力で開発できるよう講座の開催及び助言を行い、事業者自身が知識を身に付け、売上効果が高くなるような仕組みを継続して構築していく	【H30成果目標設定の考え方】 売上額及び商談成立件数について、過去の実績を勘案して設定。 商品開発講座については、参加者のうち、大多数が参考になったと考えられる値として設定。また、本講座のあり方についてアンケートで検証。	
	EV自動車コミュニティ構築事業	H25 ~ H33	EV自動車を活用した観光施設内での周遊や観光施設間での交通等の実証実験を実施し、EV車の普及に伴う産業振興を図る	・EV自動車導入可能性調査 ・EV自動車実証実験	EV自動車実証実験の完了	【H31成果目標】 観光産業でのEV車の普及台数2台	【H31成果目標設定の考え方】 H30事業内容を勘案して設定	
	国際物流トライアル推進事業	H30 ~ H33	市内事業者の新たな物流モデル構築の取組に対して実証実験を実施し、取扱貨物量の増加を図る	・市内事業者の物流効率化が図られる輸送モデルのニーズ把握 ・輸送モデルの創出に向けた実証実験	輸送モデル実証実験の完了	【H34成果目標】 国際物流トライアル推進事業における中城湾振興地区での取扱貨物1モデルあたり2,880トン以上 【今後のスケジュール】 H33まで実証実験に取り組む	【H34成果目標設定の考え方】 定期航路化に必要なトン数を勘案して設定	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	H30事業内容		H30活動目標(指標)	今後の展開方針等
		産業基盤整備推進事業	H30 ～ H31	企業の工場用地の確保に向けた産業基盤整備計画を策定し、工場用地の確保を図る	産業基盤基礎調査の実施 (所有者、土地利用規制、近隣施設環境状況、環境アセスメント、誘致先としての可能性について調査等)	産業基盤基礎調査の完了	【H32成果目標】 策定した産業基盤整備計画の中で、工場用地の確保に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした産業振興施策を実施 【今後のスケジュール】 H30 基礎調査 H31 計画策定	【H32成果目標設定の考え方】 調査・計画策定中のため、計画策定後に目標値を設定し、当該数値を目標とした施策を実施することを設定
		研究開発支援事業	H30 ～ H33	市内の企業に研究開発費の一部を支援し、製品開発に繋げる	市内のベンチャー企業等に対し、研究機器使用料に係る経費補助	商品の開発件数1件以上	【今後のスケジュール】 開発件数の増加を目指し、継続的な支援とその体制を構築する	【H30成果目標設定の考え方】 事業内容を勘案し設定
2		うるま市地域雇用人材育成事業	H24 ～ H33	求人企業に既存支援制度の活用に向けた助言や就職イベント等を行い、雇用の拡大につなげる	・各種支援制度活用への助言 ・就職イベントの開催	本研修受講後の新規雇用者数50人	【今後のスケジュール】 求職者及び立地企業に対し、継続して支援を行い立地企業の人材の確保、失業率の改善、継続雇用につなげる	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定
		うるま市就労支援事業	H24 ～ H33	求職者に対するきめ細かな支援を行い、雇用の拡大につなげる また、児童生徒にキャリア教育を実施し、働くことを考えてもらうきっかけづくりを行うことで、勤労観や職業観の育成を図る	・求職者への総合的な就業支援の実施 ・小中高生へのキャリア教育の実施	・就労支援を行った新規雇用者数310人 ・小中高生へのアンケートを実施し、働くことへの興味・関心が湧いた(80%以上)を含め、アンケート調査により本研修のあり方を検証	【今後のスケジュール】 求職者に対し、継続的な支援体制の強化を図るとともに将来を担う児童・生徒の就業意識の向上や就労観・職業観の醸成に努める	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定 ・大多数の小中高生が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる値として設定。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する
3		観光商品開発流通促進事業	H24 ～ H33	体験型観光商品メニューのPR活動を実施し、観光客の誘致を図る	体験型観光商品メニューのPR	体験型観光商品メニューを体験した観光客数 1,100人以上	【今後のスケジュール】 引き続き体験型観光商品メニューのPR活動を実施し、観光客の誘致を図る	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定
		メディア活用による戦略的観光誘客促進事業	H24 ～ H33	うるま市の魅力を県内外に向けPRするため、雑誌やインターネット等のメディアを活用した観光情報配信等を行い、観光客の誘客を図る	うるま市観光情報フェイスブックによる情報発信	主要施設来場者数 355,051人以上	【今後のスケジュール】 市の魅力を県内外に向け継続的にPRし、観光誘客を図る	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	H30成果目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
		うるま市スポーツ振興計画策定事業	H30	生涯スポーツによる住民の健康増進、競技スポーツによる青少年の人材育成、及びスポーツ交流による観光振興を図ることを目的とし、「うるま市スポーツ推進計画」を策定する。	・本市の現状把握調査やスポーツへの意識調査の実施 ・策定検討委員会の開催	うるま市スポーツ推進計画策定の完了	【H31成果目標】 策定したスポーツ推進計画の中で、住民の健康増進、青少年の人材育成、観光振興に係る目標値を設定し、当該数値を目標としたスポーツ推進施策を実施する。	【H31成果目標設定の考え方】 当該計画において策定された指標に基づきスポーツ推進施策を実施していくことを目標として設定
		具志川多種目球技場整備機材導入事業	H30	芝整備機材を調達し、年間を通して「良好な芝生環境」を整備することにより、サッカーキャンプ誘致を図る。	・芝整備機材(リールモア、スーパー等)の調達	芝整備機材(リールモア、スーパー等)の導入完了	【H31成果目標】 サッカーキャンプ誘致数:1件以上	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定
		うるま市スポーツコンベンション誘致戦略策定事業	H30	スポーツキャンプの誘致等を目的とし、本市が所有する各種体育施設等を活用したスポーツコンベンション誘致戦略を策定する。	・各種基礎調査の実施 ・策定検討委員会の開催	・スポーツコンベンション誘致戦略策定の完了	【H31成果目標】 スポーツキャンプや合宿、スポーツイベント等誘致数:15件以上	【H31成果目標設定の考え方】 近隣市町村の実績を参考に設定
		石川体育館機能強化事業	H30 ~ H32	石川体育館の機能強化を行い、スポーツ合宿の誘致等を図る。	・スポーツ合宿誘致等に必要機能の調査実施 ・機能強化コンセプトの検討 ・機材や設備の配置図面の策定	・石川体育館機能強化計画策定の完了	【H33成果目標】 石川体育館を活用したスポーツ合宿等の誘致数:1件以上 【今後のスケジュール】 H30 計画策定 H31 実施設計 H32 整備工事 H33 運用開始	【H33成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定
		地域Wi-Fi環境整備事業	H30	無線アクセスポイントを整備し、外国人観光客の利便性向上を図る。	無線アクセスポイントの整備	無線アクセスポイントの整備完了	【H31成果目標】 外国人観光客に対して、Wi-Fiの満足度(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートにより検証する	【H31成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が満足したと考えられる値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	H24～H33	世界遺産として登録されている勝連城跡の周辺に体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点施設を整備し、観光客の誘客を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・入口ゲート整備工事 ・入口ゲート建築工事 ・造成工事 ・護岸整備工事 ・排水路整備工事 ・駐車場一部工事 ・トイレ実施設計 ・観光ターミナル実施設計 ・歴史文化施設建築実施設計 ・歴史文化施設展示実施設計 ・入口広場分筆測量 ・用地取得 ・物件移転(一般補償) ・物件移転(公共補償) 	<ul style="list-style-type: none"> ・入口ゲート整備工事完了 ・入口ゲート建築工事完了 ・造成工事 ・護岸整備工事完了 ・排水路整備工事完了 ・駐車場一部工事完了 ・トイレ実施設計完了 ・観光ターミナル実施設計完了 ・歴史文化施設建築実施設計完了 ・歴史文化施設展示実施設計完了 ・入口広場分筆測量完了 ・用地取得完了 ・物件移転(一般補償)完了 ・物件移転(公共補償)完了 	【H34成果目標】 年間入場者数300千人 【今後のスケジュール】 H30 入口ゲート、駐車場等 工事 H31 入口広場、歴史文化施設等 工事 H32 歴史文化施設等 工事 H33 物産観光施設等 工事 H34 全面供用開始	【H34成果目標設定の考え方】 過去に策定した計画を参考に設定	
5	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24～H33	景観地区の指定により、各景観地区ごとのまちづくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、観光地としての魅力向上を図る	景観地区等指定業務(伊計地区) <ul style="list-style-type: none"> ・景観資源調査 ・ワークショップ3回 ・地域説明会1回 ・かわら版作成及び配布 200部×4回 まちなみ景観助成(南風原・浜比嘉地区)	景観地区指定委託業務(伊計地区)の完了 まちなみ景観助成(南風原・浜比嘉地区)の完了	【H34成果目標】 伊計地区について、観光地として魅力的な景観であると感じるか(80%以上)を含め、本業務のあり方をアンケート調査により検証する。 南風原・浜比嘉地区について、観光地として魅力的な景観であると感じるか(80%以上)を含め、本業務のあり方をアンケート調査により検証 【今後のスケジュール】 景観地区指定業務 H29 基礎調査 H30～33 指定に向けた取組、指定後はまちなみ景観助成を実施 南風原・浜比嘉地区について、H33まで引き続き助成を続け、観光地としての魅力向上を図る	【H34成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、観光地として魅力的な景観形成が図られていると考えられる値として設定。また本事業の在り方についてアンケートにより検証	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの、
 H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6			島アートプロジェクト事業	H24 ～ H33	これまで開催してきた島アートの効果の検証やフォーラムを実施し、次年度以降の本事業での観光客の誘致を図る	・フォーラムの開催(1回) ・津堅島でのアートの可能性調査	・フォーラムの来場者数160人以上 ・津堅島での可能性調査の完了	【H31成果目標】 アートイベント来場者数12,000人以上	【H30成果目標設定の考え方】 会場の収容人数を勘案して設定 【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定
6			島しょ地域高速ブロードバンド整備事業	H30	島しょ地域(平安座・宮城・伊計・浜比嘉)における超高速ブロードバンド基盤整備率をうるま市内と同程度まで向上させ、ICT利用による利便性を全県的に等しく享受する	超高速ブロードバンド環境整備及びサービスを提供する通信事業者への補助	超高速ブロードバンド整備の完了	【H31成果目標】 島しょ地域(平安座・宮城・伊計・浜比嘉)における超高速ブロードバンドサービス利用率20%以上	【H31成果目標設定の考え方】 他事業の実績を参考に設定
7			肉用牛生産拡大強化事業	H26 ～ H30	農家の経営安定に向けた子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	優良繁殖雌牛の導入支援を行う	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合102%以上	【今後のスケジュール】 安定的肉用牛の生産に向けて継続的に支援を行う	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定
			循環型農業促進事業	H30 ～ H31	循環型農業促進事業基本計画を策定し、家畜排せつ物の堆肥化による農地への還元に向けた循環型農業の促進を目指す	循環型農業促進事業基本計画の策定を行う うるま市農業の現状把握 うるま市農業の課題整理 うるま市農業の課題分析 意見交換会の開催 報告書の作成 業務打合せ	うるま市農業の現状把握と課題整理及び課題分析の完了	【H32成果目標】 策定した循環型農業促進事業基本計画の中で、循環型農業の促進に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした農業振興施策を実施 【今後のスケジュール】 H31 循環型農業促進事業基本計画策定	【H32成果目標設定の考え方】 計画策定中のため、農業振興施策実施につなげることを成果目標として設定
			うるま市の頑張る農業を応援する事業	H30 ～ H32	強化型ハウスの整備に必要な支援を行い、出荷量の向上を図る	災害に強い栽培施設の導入を行う	強化型パイプハウス設置の完了	【H31成果目標】 ナス出荷量10トン	【H31成果目標設定の考え方】 沖縄県農林水産部指標を参考に設定

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8			小学校学力向上対策推進事業	H24 ～ H33	児童の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る	学習支援員18名を配置し、授業や放課後の補習授業、サマースクールにおいて効果的な学習支援を行う 対象学年:小学5年 対象科目:算数	沖縄県学力到達度調査沖縄県平均正答率と本市の差 小5算数平均正答率 県平均以上	【今後のスケジュール】 継続的に理解度が遅い児童や、学習意欲の低い児童を中心に支援することで主体的な学習姿勢と学力の定着が図られる	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定
			中学校学力向上対策推進事業	H24 ～ H33	生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る	学習支援員10名を配置し、授業や放課後の補習授業、サマースクールにおいて効果的な学習支援を行う 対象学年:中学2年 対象科目:数学	沖縄県学力到達度調査沖縄県平均正答率と本市の差 中2数学 - 1.5	【今後のスケジュール】 継続的に理解度が遅い児童や、学習意欲の低い児童を中心に支援することで主体的な学習姿勢と学力の定着が図られる	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定
9			配慮を要する子巡回指導事業	H24 ～ H33	「配慮を要する子」の保育等に関し、市内保育施設に勤務する職員に対して、専門指導員による助言や研修会等を行い、保育の質の向上を図る	・巡回指導対象保育施設件数91ヶ所 ・研修会 年4回開催	・巡回指導における相談処理件数142件 ・研修内容が理解できたか(90%以上)を含め、当該研修のあり方について、アンケート調査により検証	【今後のスケジュール】 引き続き専門指導員による助言や研修会等を行い、保育の質の向上を図る	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定
			放課後児童クラブ支援事業	H24 ～ H33	支援員による放課後児童クラブへの運営指導や助言を行い、運営の健全化を図る 放課後児童支援員等への研修会を実施し、放課後児童クラブ支援員の質の向上を図る	・支援員4人による放課後児童クラブへの訪問指導480回 ・資質向上のため放課後児童支援員等への研修会の開催10回	・放課後児童クラブ運営健全化割合54%以上 ・研修会に参加した放課後児童支援員等へのアンケートで研修内容の理解ができたか(80%以上)を含め、当該研修のあり方について検証	【今後のスケジュール】 今後も訪問指導・研修会の充実を図り、安定した放課後児童クラブ運営が維持されつつ、安心して子育てができる環境整備を図る	【H30成果目標設定の考え方】 ・過去の事績を勘案して設定 ・支援員の大多数が研修の内容を理解できたと考えられる値として設定。また、アンケートにおいて研修のあり方を検証する
			ひとり親家庭生活支援モデル事業	H25 ～ H33	ひとり親家庭に対し、資格取得や債務整理、転職等による正規雇用につなげるにより、ひとり親家庭の自立に繋げる 児童生徒への自主学習のサポートを行い、学習習慣の定着を図る	・借上居室数(10部屋) ・生活スキルアップ講座等開催数(12回) ・弁護士相談の件数(30回) ・自主学習サポート回数(144回)	・本事業によるひとり親家庭の自立世帯割合95% ・保護者へのアンケートで、学習習慣の定着が図れたか(80%以上)を含め、当該支援のあり方について、検証	【今後のスケジュール】 入居世帯の年齢層、世帯構成に合わせ、必要な支援計画を作成 県母子会やハローワーク、企業立地雇用推進課との連携し、就労や資格取得講座開催の情報提供を行い、早期自立へ向け、継続的に支援	【H30成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定 ・サポートした児童生徒のうち、大多数が学習習慣の定着が図られたと考えられる値として設定。また、アンケートにより当該支援のあり方について検証する

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
10	中学校教育指導推進事業	H24 ~ H33	特別な支援を要する不登校の児童生徒等に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る また、児童生徒及び家族が抱える様々な問題に対して、多様な支援方法を用い課題解決を図る	スクールソーシャルワーカー4名配置	・不登校児童生徒復帰率59%以上 (のべ復帰者/のべ不登校者) ・児童生徒及び家族からの相談件数(実数)に対しての課題解決件数割合23%以上	【今後のスケジュール】 スクールソーシャルワーカーを増員し、学校での相談活用やケース会議、関係機関と連携を強化を図り特別な支援を要する児童生徒へ継続的に支援	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定	
	教育相談事業	H24 ~ H33	教育相談室に相談員を配置し、幼児・児童生徒・教師・保護者の教育上の問題や悩みの相談に応じ支援し、課題の解決を図る	教育相談員配置数(8人)	相談件数に対しての課題解決割合34%以上	【今後のスケジュール】 継続的に各地区に有資格者の相談員を配置し、知能検査や発達検査を教育相談にいかし、不登校の未然防止に向け、学校や園での教師コンサルに対応できる体制を整える	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定	
	適応指導教室事業	H24 ~ H33	小中学生の心理的・情緒的要因による不登校児童生徒に対し、適応指導教室を開級し、児童生徒に自立心や社会性を高めることを目指す	適応指導教室指導員配置数(4人)	・体験活動に参加することができた割合78%以上 ・中学3年生の卒業後の進路決定割合89%以上	【今後のスケジュール】 入級前の子や午前の通級が不安定な子等の居場所確保のために継続して支援体制を整える	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定	
	地域連携音楽環境整備事業	H30	現在、部活動において楽器が不足しており、十分な練習活動ができない状況である 部活動に必要な楽器を配置することにより、部員の音楽に対する意欲の向上及び地域連携を図る	市立小中学校13校の環境を整備(楽器配置)を行う	・楽器の配置によって部員の音楽に対する意欲が向上したか(80%以上)を含め、部活動のあり方についてアンケート調査により検証 ・地域イベント参加 13件	【今後のスケジュール】 楽器配置により、今後児童生徒の音楽に対する意欲のより一層の向上及び地域イベントへの積極的な参加が図られる	【H30成果目標設定の考え方】 ・対象者のうち大多数が音楽に対する意欲が向上が図られたと考えられる値として設定。また本事業の在り方についてアンケートにより検証する ・地域イベントについては、各校1回以上参加するものとして設定	
11	うるま市自主防災組織育成事業	H25 ~ H33	自主防災組織の結成を推進し、地域防災力の向上を図る	・新たに結成された自主防災組織に対する防災資機材整備補助実施(8団体) ・自治会や自主防災会へ防災説明会や訓練支援 防災説明会(5回)訓練支援(5回)	整備した防災資機材等を活用した防災訓練を実施することにより、本事業のあり方についてアンケート調査により検証 防災訓練の回数については、各防災組織が1回以上訓練を実施	【今後のスケジュール】 平成30年度以降・継続して自主防災組織の結成を推進し、各年度において、3団体程度の自主防災組織を結成し、防災資機材を整備する。 嘱託員を配置し、きめ細かい支援を行い、地域防災力の向上を図る	【H30成果目標設定の考え方】 各防災組織が1回以上訓練するものとして設定	
12	うるま市健康増進機能強化事業	H30	うるま市健康福祉センターに運動器具を設置し、市民の健康増進を図る	運動器具一式の整備	モニターへアンケート調査を実施し、健康増進が図られたか(80%以上)を含め、運動器具使用のあり方を検証	【今後のスケジュール】 体質の改善がなされれば健康増進が図れると考えられることから、モニターへ体重、体脂肪等の測定結果を加味したアンケート調査を実施し、検証する	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が健康増進が図られたと考えられる値として設定。また本事業の在り方についてアンケートにより検証する	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	宮古島市neo歴史文化ロード整備事業	H24 ～ H33	宮古島市各地に点在している文化財を活用した観光誘客を図るため、散策コースの策定及びコース上の文化財環境整備(案内板・説明版・除草清掃等)、WEB公開システムの更新、文化財へのアクセス路基本設計等を実施する。	・城辺東・城辺北コースの策定とパンフレットの作成 ・文化財WEB公開システムの追加更新 ・平成24年～平成29年度で策定した4コースの環境整備除草清掃作業 ・標注及び説明板の10基の設置 ・国指定天然記念物「宮古島保良の石灰華段丘」へのアクセス経路の基本設計の実施。	入域観光客数710,000人以上	【今後のスケジュール】 H31 上野・野原コースの策定 H32 下地東、四島コースの策定 H33 パーフェクトガイドブック作成	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考にして設定した。	
1	ムイガー展望施設整備事業	H29 ～ H30	宮古島南部の景勝地であるムイガー断崖において、観光客の利便性の向上を図るため、展望施設の階段・手すり・ベンチ等を整備する。	既設階段整備 96.55㎡ 手すり整備 42.3m 遊歩道整備 149.32㎡ 階段新設 37.66m トイレの撤去 1基 休憩所の設置 12㎡ 展望スペース×3 3㎡・6㎡・16㎡ ロータリー整地 435.10㎡	ムイガー展望施設整備の完了	【H31成果目標】 観光客等を対象に、観光地としての魅力利便性の向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 H30 工事 H31 供用開始	【H31成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	伊良部地区観光地総合整備事業	H28 ～ H32	伊良部地区の観光地である、白鳥崎公園の利便性向上を図るため、園路整備(木道橋)のための実施設計を行う。	観光地の整備に必要な実施設計の委託。	観光地の整備に向けた実施設計の完成。	【H32成果目標】 観光客の利便性向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 H30 実施設計 H31 工事 H32 供用開始	【H32成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	新城海岸環境整備事業	H28 ～ H32	新城海岸トイレ・シャワー施設における水利用の衛生面を改善し、観光客の利便性向上を図るため、水道管敷設のための調査・設計を行う。	敷設工事の調査・設計(施工方法の検討・調査等)業務実施。	新城海岸水道管敷設実施設計業務の完了	【H32成果目標】 観光客の利便性向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 H30年度 水道管敷設調査設計 H31年度 水道管敷設工事	【H32成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	多言語観光案内サイン整備事業	H29～H33	増加する外国人観光客の利便性・安全性の確保を図るため、多言語による観光案内サイン、安全確保・遊泳等に関する注意喚起サインを整備する。	・安全確保サイン設置 2基 (新城ビーチ・吉野ビーチ) ・牧山公園サイン設置 2基	・安全確保サイン設置の完了 2基 (新城ビーチ・吉野ビーチ) ・牧山公園誘導サイン設置の完了 2基	【H31成果目標】 クルーズ船客アンケートによる多言語案内表記の満足度(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 H30 案内サイン・誘導サイン (新城海岸、吉野海岸、綾道城辺コース、牧山公園) H31 案内サイン・誘導サイン (カヤツファ、綾道伊良部コース、綾道上野コース、通り池) H32 案内サイン・張替 (佐和田の浜、白鳥崎、ナウサギバナタ)	【H31成果目標設定の考え方】 クルーズ船客アンケート調査結果の過去の実績を参考に設定。	
2	観光地アクセス道路環境美化強化事業	H24～H33	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地へのアクセス道路の環境美化(除草・清掃)を行う。	観光地アクセス道路環境美化の実施:(32路線)	観光地周辺について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 観光地アクセス道路環境の美化強化のため、引き続き取り組みを実施する。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地としてふさわしい道路環境及び景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	観光地公園環境美化強化事業	H24～H33	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地として利用されている公園の環境美化清掃を行う。	観光地公園12ヶ所の環境美化作業実施	観光地公園について、観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 観光客の増加による観光地環境の変化に注視しながら、最適な回数、美化活動箇所、内容を検討する。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地としてふさわしい景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	宮古島オリジナルMICE促進事業	H28～H30	ドーム型施設を活用した企業報奨・研修旅行・イベント等の増加を図るため、キーパーソン招聘、イベント・インセンティブツアーの誘致等、宮古島オリジナルのMICE促進活動を実施する。	宮古島オリジナルのMICE促進委託業務の実施	イベント、企業研修等誘致件数 12件以上	【今後のスケジュール】 将来は、島全体をリゾートMICEと位置づけドームを含めた既存の施設や観光資源を活用した宮古島のオリジナルMICE事業を構築し、新たな交流人口拡大へ向けた取り組みを展開する。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を参考に設定。	
3	クルーズ船観光受入体制強化事業	H29～H33	クルーズ船観光客の受入体制強化に向け、観光案内所の設置・運営、歓送迎セレモニーの開催、情報の発信・収集等を行い、観光客の誘客を図る。	クルーズ船受入体制強化業務委託の実施 ・観光案内所の設置・運営 ・臨時CIQ設置 ・歓送迎セレモニー ・二次交通対策 ・パンフレットなど情報発信 ・アンケートなど情報収集	クルーズ船観光客数429,550人以上	【今後のスケジュール】 H30 漲水埠頭供用開始 H32 クルーズターミナル供用開始	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			誘客促進事業	H24 ～ H33	本市への観光誘客を図るため、ウェブサイトやSNSの活用、県内外での観光イベント参加等による観光プロモーション活動を実施する。	観光PRイベント等への参加 ウェブサイトやSNS等を活用したプロモーションの実施(コンテンツ等の整備) 閑散期対策(コンテンツの開発)	入域観光客数710,000人以上	【今後のスケジュール】 プロモーション活動を継続的に実施し、平成29年度入域観光客数71万人以上を目指す。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考にして設定。
3			下地島空港観光アクセス調査事業	H30 ～ H31	ターミナルの供用開始により、新たに多くの観光客利用が見込まれる下地島空港の利便性向上を図るため、市内要所との交通アクセスの確保に向けた調査を実施する。	下地島空港観光アクセス調査の実施	下地島空港観光アクセス調査の完了	【H31成果目標】 下地島空港 市内要所間のアクセスが可能となる2次交通を1ルート以上確立する。	【H31成果目標設定の考え方】 調査中のため、事業内容を踏まえ設定。
3			下地島空港旅客に向けたコンテンツ創出事業	H30 ～ H31	下地島空港を利用する観光客等の誘客を図るため、地域の資源・魅力を発信する短時間周遊や体験型プログラム等のコンテンツを創出する。	体験型観光コンテンツ創出業務の実施	体験型観光コンテンツ創出業務の完了	【H32成果目標】 H31事業内容を踏まえ、コンテンツ利用者数に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興策につなげる。 【今後のスケジュール】 H30事業成果を踏まえ、H31にモニターツアーを実施する。	【H31成果目標設定の考え方】 調査中のため、観光振興策につなげることを成果目標として設定。
4			宮古島市天然ガス資源事業化推進事業	H28 ～ H30	天然ガスによる発電利用や付随水(温泉水)の利活用を図るため、小規模農業実証、温浴事業(民間企業)の企業誘致等を実施する。	・天然ガスを利用した発電による小規模農業実証 ・天然ガスの付随水(温泉水)を利活用するため、温浴事業主体の誘致を行う。 ・施業案(実施計画書)の策定	・農作物の収穫量144kg/年 ・温浴事業企業誘致1社 ・施業案(実施計画書)の策定完了	【H32成果目標】 本事業の報告を踏まえ目標を設定し、天然ガスを利用した事業の円滑な実施につなげる 【今後のスケジュール】 H31 鉱業権の取得	【H30成果目標設定の考え方】 収穫量については、栽培棚の広さ・1株あたりの重さ・日数を根拠に設定した。企業誘致については、温浴事業選定条件を基に設定した。 【H32成果目標設定の考え方】 実証中のため、円滑な事業実施につなげることを目標として設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			エコアイランド宮古島ブランド化推進事業	H28 ～ H31	市民や事業者のエコへの関心を高めるため、webページによる情報発信、市民が気軽に参加できるワークショップやイベントの開催を実施する。	・Webページ運営 ・ワークショップの開催(6回) ・イベントの開催(2回)	・エコ活動イベント参加者500人 ・Webページアクセス数25,000件	【今後のスケジュール】 今後も継続的にWebページ運営、市民が気軽に参加できるワークショップやイベントを実施していく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4			電気自動車普及促進事業	H28 ～ H30	EV車の普及を推進し、CO2削減による環境保全を図るため、集合住宅への充電器整備にかかる実証、自動車整備事業者・技術者を対象にした勉強会、高校生を対象とした出前講座等を実施する。	・EVに関する情報発信・啓蒙 ・集合住宅への充電器整備に係る課題解決に向けた実証 ・自動車整備事業者・技術者を対象にした勉強会の実施、工業高校生を対象に出前講座の実施	・EVの普及台数:320台 ・EV整備士育成プログラム参加者数8社 8人	【今後のスケジュール】 今後も継続的にEVに関する情報発信等を実施していく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 ・H29事業の実績を勘案し設定した。
5			生鮮水産物流通条件不利性解消事業	H25～ H33	沖縄本島への輸送が空路に限定される生鮮水産物の出荷量増加を図るため、出荷が同距離の陸路輸送費並みの運賃となるよう補助金を交付する。	生鮮水産物の空路輸送に対する補助(3漁協)	生鮮水産物の沖縄本島への出荷量(190トン)	【今後のスケジュール】 島内消費と島外出荷との需給バランスを勘案しつつ、漁獲物の集出荷状況の現状確認を引き続き行いながら、島外出荷の拡大及び成果目標の達成につなげていく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5			宮古島市海業センター整備事業	H24 ～ H31	安定的な種苗生産供給による養殖業の生産量向上を図るため、宮古島市海業センターの機能強化に向けた取水管敷設および取水施設機械設備整備を行う。	取水管敷設工事(海上施工)・取水施設電気設備工事の実施	取水管敷設工事の完了L=480m 取水施設機械設備工事の完了	【H32成果目標】 種苗生産量 ・シラヒゲウニ稚ウニ 25,000個 ・タイワンガサミ稚蟹140,000尾 H32年度養殖業生産量1,173t / 年 【今後のスケジュール】 H31 研修施設建築工事 水槽施設整備工事 太陽光発電設置工事 H32 供用開始予定	【H32成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	来間東航路標識灯設置事業	H30～H31	航路の安全性を確保するため、南バヤオ(伊良部南浮魚礁)への航路標識設置に向けた調査・設計を実施する。	来間東航路標識等設置調査測量設計の実施	来間東航路標識等設置調査測量設計の完了	【H32成果目標】 来間東航路夜間航行事故発生件数0件 【今後のスケジュール】 H31 航路標識灯(灯標)設置工事	【H32成果目標設定の考え方】 航路標識灯の設置によって漁業者の航行の安全が図られ、無事故となることが成果であると考えられるため、事故発生件数を指標とした。	
6	救命処置普及強化支援事業	H28～H33	観光客等の事故や傷病の発生に対する応急手当の普及を図るため、専属の救命講習普及支援員を配置し、救命講習会の開催等を行う。	・救命講習普及支援員3名の配置 ・定例救命講習会の実施:21回 (普通救命講習 /15回、普通救命講習 /3回、上級救命講習/3回) ・出前救命講習会の実施:随時受付開催 ・救命講習に関する普及啓発活動	救命講習受講者数1,500人	【今後のスケジュール】 H30～32年度 ・救命講習普及支援員配置 ・定例救命講習会実施 ・出前救命講習会の実施 ・救命講習会に関する普及啓発活動	【H30成果目標設定の考え方】 過去実績を踏まえ設定した。	
6	水難救助体制強化整備事業	H29～H30	入域観光客数の増加に伴い発生が懸念される水難事故等へ対応するため、水難救助車・災害支援車を導入する。	・水難救助車1台の購入 ・災害支援車1台の購入	・水難救助車の配備完了(1台) ・災害支援車の配備完了(1台)	【今後のスケジュール】 宮古島市における水難救助体制の強化を図り観光客及び市民の安全を確保する。 【H31成果目標】 本水難救助車と災害支援車を活用した水難救助訓練の実施(33回/年)による、水難救助車等の活用方法の検証。	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を踏まえ設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	課題を抱える児童生徒の支援事業	H24 ～ H33	課題や問題のある児童生徒の生活環境や不登校の改善を図るため、個々に応じた適切な指導・支援を行うスクールソーシャルワーカーおよび問題行動学習支援員を配置する。	・スクールソーシャルワーカー6名配置 ・問題行動学習支援員3名配置	不登校児童生徒復帰率50%以上	【今後のスケジュール】 SSWr事業の周知とSSWrのスキルアップのため事例検討会、教育相談等連絡会、福祉医療等制度の勉強会等の研究及び研修を実施する。 また、学校訪問による情報連絡会の開催、連携支援を実施する。生徒の登校復帰を目指した取り組みを行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
7	選手派遣支援事業	H24 ～ H33	島外との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、スポーツや文化活動において、地区選抜代表選手として県大会や全国大会へ派遣される旅費に対し補助金を交付する。	児童生徒の大会派遣(県内・県外)	児童生徒が広い視野を持たか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒に広い視野をもたせるため大会派遣への支援を行う	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持たたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
7	地域連携小中学校吹奏楽環境整備事業	H30	市内小中学校の吹奏部において、楽器が不足しており、十分な練習活動ができない状況にある。必要な楽器を整備し、児童生徒の意欲向上及び地域活性化を図る。	吹奏楽器の整備 小学校4校 中学校2校	・楽器整備完了	【H31成果目標】 ・楽器の整備により部員の音楽に対する意欲が向上したか(80%以上)を含め、部活動のあり方についてアンケート調査により検証する。 ・楽器購入後に参加した複数のイベントへの総来場者数:6,000 【今後のスケジュール】 児童生徒の意欲のより一層の向上を目指し部活動を充実させるとともに、地域イベントへの積極的な参加を促す。	【H31成果目標設定の考え方】 ・児童生徒のうち大多数が意欲が向上したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。 ・過去の実績を勘案して設定した。	
7	電子黒板整備事業	H30 ～ H32	わかりやすい授業を構築し学校教育の質の確保を図るため、市内小中学校の普通学級及び特別教室に電子黒板を整備する。	電子黒板の整備 小学校31台 中学校43台 小中一貫校18台	電子黒板の整備完了	【H31成果目標】 児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 引き続き電子黒板の整備を推進し、学校教育の質の確保を図る。	【H31成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数が電子黒板を活用した授業が分かりやすかったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8			「テレワーク@宮古島」事業	H28 ～ H30	情報通信関連企業の誘致により新規就業者を創出するため、宮古島市へ開設意欲のある企業への訪問による誘致活動、現地ツアー開催による島内企業とのビジネスマッチング等を実施する。	・企業訪問 ・ビジネスマッチング交流会(2回) ・協議会の開催(1回) ・宮古島市役所下地庁舎機能強化	ビジネスマッチング件数2件以上	【H31成果目標】 ・新規就業者4人以上	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考にして設定した。 【H31成果目標設定の考え方】 H31供用開始予定であるオフィススペースの部屋数を勘案して設定した。
8			高等教育機関の設置検討事業	H28 ～ H30	宮古島市における高等教育機関の設置を図るため、学校経営等の実証に向けた基盤整理のための調査・検討を行う。	高等教育機関の設置に向けた調査・検討業務の実施	高等教育機関の設置に向けた調査・検討業務の完了	【H31成果目標】 実証を行う高等教育機関1校以上 【今後のスケジュール】 H30事業成果を踏まえ、H31に実現性検証を行う高等教育機関を1校以上選定する。	【H31成果目標設定の考え方】 調査中のため、事業内容を踏まえ設定。
9			平良港総合物流センター整備事業	H29 ～ H32	平良港において近年増加する取扱物流量に対応できるようにするため、総合物流センターを整備する。	基本設計の実施	基本設計の完了	【今後のスケジュール】 H30 基本設計 H31 実施設計 H32 工事 H33 供用開始 【H33成果目標】 取扱物流量132千t	【H33成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
10			地下水保全調査事業	H29 ～ H31	平良地下水流域の保全や伊良部島における水源開発を図るため、基礎調査を行う。	1) 平良地下水流域の塩化進入状況等調査の実施 2) 伊良部島における水源可能性基礎調査の実施	1) 平良地下水流域の塩化進入状況等調査の完了 2) 伊良部島における水源可能性基礎調査の完了	【H31成果目標】 1) 本事業の調査結果を踏まえ、平良地下水流域の水道水源保全地域を設定するための取組につなげる。 【H32成果目標】 2) 本事業の調査結果を踏まえ、伊良部島における水源地を確保するための取組につなげる。 【今後のスケジュール】 2) H31 伊良部島における水源可能性調査	【H31成果目標設定の考え方】 1) 調査中のため、平良地下水流域の水道水源保全地域を設定するための取組につなげることを成果目標として設定した。 【H32成果目標設定の考え方】 2) 調査中のため、伊良部島における水源地を確保するための取組につなげることを成果目標として設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	1	スポーツツーリズム推進事業	H24 ~ H31	市陸上競技場における天然芝の適正管理を行い、プロサッカーチームのキャンプ受入に適した環境整備を行うことで、プロ・サッカーチームのキャンプ誘致に繋げる。	良質な芝生を維持する為の適正管理。	プロ・サッカーチームのキャンプ誘致件数：3チーム	【今後のスケジュール】 継続的に芝生の適正管理を行うことで、プロ・サッカーキャンプ誘致に繋げ、観光振興を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 キャンプ実施期間(1-2月)に受入可能な最大チーム数を設定した。
1	2	尚巴志活用マスタープラン実施事業	H26 ~ H31	平成25年度に策定した「尚巴志活用マスタープラン」を実施する事業であり、尚巴志関連の文化資源を活用し、地域の歴史文化を学ぶ機会を創出することで、市の歴史文化に関する理解を深める。	1 尚巴志の普及・啓発・情報発信 ・「紙芝居学校アウトリーチ」 市内小学校9校(各1回) ・「文化講演会」1回 2 地域興しの人材育成 ・「尚巴志塾事業」講座6回 3 エコミュージアムの創造 ・「文化遺産巡りコンサート」 市内文化遺産所在地区4箇所(各1回) ・「地域孫会議事業」 上記開催地区4箇所(各1回) ・「琉歌募集事業」	各事業実施後、参加者に対するアンケートを実施し、市の歴史文化への理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 事業完了時、「尚巴志」の認知度が高まり、獲得した知識をそれぞれが情報発信していくことで、南城市の知名度向上に繋げ、観光客増を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が市の歴史文化への理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	3	南城市産商品販売力強化事業	H27 ~ H32	市産商品の売上増加を図るため、市内外でのイベントで販売促進活動を行う。	・市内イベント等での販売活動2回 ・県内主要商業施設での販売活動1回	商品の売上額：717,064円以上	【今後のスケジュール】 市内外での販路拡大と売上強化を図り、強化の度合いで販路先拡大を目指す。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	4	プロ・サッカーキャンプ等受入施設整備事業	H27 ~ H30	陸上競技場及び体育館施設の機能強化を行うことで、プロ・サッカーチームのキャンプ誘致に繋げる。今年度は、サッカーキャンプ等で活用する備品整備を行う。	トレーニング器具等の導入	プロ・サッカーチームのキャンプ誘致件数：3チーム	【今後のスケジュール】 プロ・サッカーキャンプの受入体制を充実させ、本市の滞在型観光を推進する。	【H30成果目標設定の考え方】 キャンプ実施期間(1-2月)に受入可能な最大チーム数を設定した。

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	5	海外交流推進事業	H28 ~ H31	アジアからの外国人観光客の増加を図るため、アジアから学生インターンシップを受け入れ、海外からの視点で南城市の観光における魅力や課題を探り、地域の観光関連事業者へ共有を図るとともに、外国人観光客に関するシーズやニーズを調査し、南城市の観光振興に繋げていく。	・アジアからのインターンシップ受け入れの実施 ・アジアに向けた観光PR活動の実施 ・市内観光事業者へのセミナー開催(成果共有)	外国人観光客数:40,000人以上	【今後のスケジュール】 各関係セクターと連携しながら、インターンシップカリキュラムをブラッシュアップし、積極的かつ効果的に香港市場とのネットワークを形成する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	6	南城型エコミュージアム実施計画策定事業	H28 ~ H31	観光誘客を図るため、自然・歴史・文化・人など地域の魅力ある資源を活用し、新たな観光資源を創出するため、市内27地域のエコミュージアム計画を策定する。 今年度は、南城型エコミュージアム実施計画(各論その2)を策定する。	・地域説明会実施箇所:9地域 ・企画提案参加学生チーム:9チーム	南城型エコミュージアム実施計画(各論その2)策定(9地域)	【今後の成果目標】 地域ごとのエコミュージアム計画を基に、観光誘客を目的とした事業の実施に繋げる。 【今後のスケジュール】 H30 実施計画(各論その2)策定(9地域) H31 実施計画(各論その3)策定(9地域)	【今後の成果目標設定の考え方】 本事業において策定するエコミュージアム計画の中で観光誘客に係る指標を設定するため、当該計画で設定した指標を目指した観光誘客に繋がる事業を実施していくことを目的とする。
1	7	アジアユース人材育成・ネットワーク形成事業	H29 ~ H31	アジア諸国と、3市村(南城市、伊江村、渡嘉敷村)の中・高校生が、豊かな自然や歴史、文化などの地域資源に恵まれた環境の沖縄で共に生活しながら地域の課題に取り組み、体験交流を深める中で、国や文化を越えた友情を育み、多種多様な文化や社会、考え方があることを直に学ぶ機会を設けることで、国際的な広い視野を持たせる。	研修プログラムの実施(約2週間)	生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 本事業で構築された人的ネットワークの輪を継続して活かせるよう事業展開する。	【H30成果目標設定の考え方】 生徒の保護者のうち大多数が国際的な視野が広まったと感じられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	8	観光振興将来拠点地整備事業	H25 ~ H31	大規模な公共駐車場を整備することで、各種イベント時の駐車場不足等の課題を解消し、利便性を確保する。	・造成工事 ・面整備 ・管理施設工事 ・擁壁工事 ・用地購入	公共駐車場の整備	【H31成果目標】 駐車場利用者の利便性が確保された(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該駐車場のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 H30 造成工事、面整備、管理施設工事、擁壁工事、用地購入等 H31 造成工事、面整備、管理施設工事、擁壁工事等	【H31成果目標設定の考え方】 一部供用開始後、駐車場利用者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	9	観光施設危機管理対策事業	H28 ~ H32	本市を訪れた観光客が災害時等、安全に避難することができる環境を整備し、安心・安全な観光地を形成する。 今年度は、市内の観光関連施設にAEDを設置することで、緊急時における利用者の即時応急体制を確保する。	観光関連施設へのAED設置：5カ所	AEDを整備した施設において、救急救命(AED)講習を実施する中でアンケートを実施し、その結果「AEDを使用した適切な応急対応が理解できた」と回答した割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 H31 避難誘導サイン設置 H32 避難誘導サイン設置	【H30成果目標設定の考え方】 整備を行った施設において、救急救命(AED)講習会参加者のうち大多数が適切な応急処置が理解できたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	10	南城市デジタルアーカイブ実施事業	H30 ~ H33	歴史の継承及び観光誘客を図るため、市内に点在する歴史・文化財・伝統芸能といった文化遺産のデジタルアーカイブ化を実施し、情報公開・発信を行う。 今年度は、実施計画書を策定する。	基礎調査の実施 ・市内文化遺産の精査 ・デジタルコンテンツのニーズの調査 ・先進事例の調査 ・検討委員会の開催	デジタルアーカイブ実施計画書の策定	【H32成果目標】 デジタルアーカイブ化を行ったコンテンツへのアクセス数：5,000件 【今後のスケジュール】 H30 実施計画書 H31 計画書に基づきデジタル化・公開・活用 H32 計画書に基づきデジタル化・公開・活用	【H32成果目標設定の考え方】 類似事業の実績を参考に設定した。

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	1	平和学習受入体制強化事業	H25 ～ H32	<p>系数アブチラガマは、経年による崩落や周辺環境の変化による壊への影響が懸念されるため、安全・安心して見学・体験ができるよう、保全対策を実施することで、平和学習の振興及び観光誘客を図る。 今年度は、ガマ内の保全対策設計を行う。</p>	保全対策設計の実施	保全対策設計の完了	<p>【H33成果目標】 年間来場者数：112,000人</p> <p>【今後のスケジュール】 H30 保全対策設計 H31 保全対策工事 H32 保全対策工事</p>	【H33成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	1	優良繁殖牛導入支援事業	H26 ～ H33	<p>農家の経営の安定化に向けて、農家に対して優良繁殖雌牛を貸し付けるものに対し支援を行う。</p>	優良母牛導入支援：50頭	<p>導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合：104%以上</p>	<p>【今後のスケジュール】 H30 導入支援：50頭 H31 導入支援：50頭 H32 導入支援：50頭 H33 導入支援：50頭</p>	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	2	優良乳用牛リース支援事業	H27 ～ H31	<p>乳用牛の改良強化を図るため、農家に対して優良乳用牛を貸し付けるものに対し支援を行う。</p>	優良乳用牛導入支援：50頭	<p>・生産乳量の増加：7,917kg以上(年間) ・乳質(脂肪率)の向上：3.91%以上</p>	<p>【今後のスケジュール】 H30 導入支援：50頭 H31 導入支援：50頭</p>	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	1	低炭素なまちづくり推進事業	H28 ～ H33	<p>防犯灯及び公共施設等の照明器具を省エネ型のLED照明に切り替え、温室効果ガスの排出削減を図る。</p>	防犯灯及び公共施設等の照明器具をLED照明へ切り替え：約560本	<p>防犯灯及び公共施設等の照明が排出する温室効果ガス(Co2)削減：約120,000kg</p>	<p>【今後のスケジュール】 年次的に自治会の防犯灯及び公共施設等の照明器具をLED照明に切り替え、温室効果ガス(Co2)削減に繋げる。</p>	【H30成果目標設定の考え方】 既存照明と同等の照度を持つLED照明へ切り替えた場合を勘案して設定した。

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	1	学習支援員配置事業	H25～H33	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うため、学習支援員を配置し、学力の向上を図る。	・市立8小学校へ学習支援員8名配置 ・市立4中学校へ学習支援員4名配置	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の差を以下のとおりとする。 ・小学校：県平均以上 ・中学校：+0.4ポイント以上	【今後のスケジュール】 継続して学習支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力向上に繋げる。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5	2	特別支援教育支援員配置事業	H25～H33	特別な支援を要する園児・児童・生徒に対応した支援を行うため、特別支援教育支援員を配置し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	・5幼稚園：特別支援教育支援員12名配置 ・8小学校：特別支援教育支援員38名配置 ・4中学校：特別支援教育支援員4名配置	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 継続して特別支援教育支援員を配置し、特別な支援を要する園児・児童・生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が支援員の対応へ満足したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5	3	小・中学校電子黒板等整備事業	H28～H30	市内小学校に電子黒板の整備を行い、ICT機器を活用した分かりやすい授業を展開することにより、学校教育の質の確保を図る。	8小学校(百名、玉城、船越、知念、佐敷、馬天、大里北、大里南)に電子黒板を整備する(1年～3年普通教室・特別支援教室)	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ICT教育へ対応した環境整備を行い、効果的に活用した授業実践など利活用の向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数がICT機器を活用した授業が分かりやすかったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6	1	なんじょう歴史文化保存継承事業	H24～H33	地域の文化財や伝統行事、沖縄戦に関することなど、本市の歴史・文化について、整理・保存及び活用することで、歴史・文化の継承を図る。	・『資料集 戦争』：会議(4回)、原稿執筆 ・『民俗』：会議(2回)、検討会議(3回)、調査・資料収集(100回)	・『資料集 戦争』原稿執筆の完了 ・『民俗』実地調査による資料収集と整理	【H31成果目標】 本事業で整理した書物を活用した学習会への参加人数：30人以上 【今後のスケジュール】 H30 「戦争」、「民俗」調査 H31 「戦争」刊行、「民俗」調査 H32 「民俗」調査 H33 「民俗」調査	【H31成果目標設定の考え方】 類似の学習会の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		国頭らしい景観形成事業	H28 ~ H30	自然や歴史等風景を生かした魅力的な観光地としての景観形成を図るため、景観計画に基づいた、景観ガイドラインを作成する。	・ガイドラインの作成 ・景観重点地区の検討 ・ワークショップの実施 ・景観条例の制定 ・景観審議会の開催	景観むらづくりガイドラインの作成完了	【H31成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、観光客や村民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 H30 景観ガイドラインの作成 景観条例制定 H31年度以降 景観計画に基づく事業の実施(景観条例の施行)	【H31成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地としてふさわしい景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1		スポーツコンベンション観光振興事業	H25 ~ H31	スポーツ施設の機能強化によるスポーツ合宿の実施増加に繋げるため、ウエイトルームを整備する。	・ウエイトルームの整備(実施設計)	ウエイトルーム実施設計の完了	【H32成果目標】 合宿誘致件数:3件以上 【今後のスケジュール】 H30年度 ウエイトルーム実施設計完了 H31年度 ウエイトルーム建築工事	【H32成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1		観光拠点施設機能強化事業	H25 ~ H30	観光拠点である「道の駅」ゆいゆい国頭において、イベント開催等の増加を図り、観光誘客につなげるため、膜張り屋根施設を整備する。	・屋外屋根付施設整備の実施(実施設計、建築工事)	膜張り屋根施設の整備(実施設計、建築工事の完了)	【H31成果目標】 膜張り屋根施設を活用したイベントの来場者数 6,204人以上 【今後のスケジュール】 H30年度 膜張り屋根施設の実施設計、建築工事	【H31成果目標設定の考え方】 過去に同じ場所で実施したイベント来場者数を参考に設定

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	国頭村観光危機管理計画策定事業	H30	災害時における観光客の安全確保を図るため、観光危機管理計画を策定する。	・観光危機管理計画の策定(委員会開催4回) ・観光危機管理体制の検討 ・勉強会の実施(2回) ・対応訓練の実施(1回)	国頭村観光危機管理計画の策定完了	【H31成果目標】 策定した観光危機管理計画を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、当該計画について検証する。 【今後のスケジュール】 平成30年度 計画策定	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	
2	ヤンバルクイナ生態保全確立事業	H26 ~ H30	ヤンバルクイナの適切な飼育体制の構築及び希少動物の保護普及啓発を図るため、飼育技術指導員及び保護普及啓発員を配置する。	・飼育及び飼育技術指導員の配置(週2日) ・保護普及啓発員(ガイド)の配置1名 ・飼育管理者(飼育技術指導員)の認定取得	・ヤンバルクイナの飼育羽数 1羽 ・希少動物の保護普及への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、村民や観光客へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続きヤンバルクイナの飼育体制の構築や希少動物の保護普及啓発活動を推進し、ヤンバルクイナの飼育頭数の維持と希少動物への興味・関心の向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が希少動物の保護普及啓発が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	国頭村ブランド牛基盤づくり支援事業	H26 ~ H32	農家の所得向上に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	・優良母牛導入支援	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合114%以上	【今後のスケジュール】 継続的に優良母牛の導入支援を実施することにより子牛のブランド化を進め、農家の所得向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	国頭村減災地域社会形成事業	H24 ~ H33	災害時において村民及び観光客等の安全を確保するため、防災マニュアル(BCP)の改定及び集落別減災計画を作成する。	・防災マニュアル(BCP)の改定の更新 ・集落別減災計画の作成(3集落)	「防災マニュアル(BCPマニュアル)」の改定完了 「集落別減災計画」を作成した集落カバー率:75%	【H31成果目標】 整備した防災マニュアル及び集落別減災計画を活用した避難訓練(10回以上/年)を実施することにより、マニュアル計画のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 H30年度:3集落 H31年度以降:H30年度までの成果(20集落中15集落完了)を踏まえ、残り5集落の計画を作成	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を基に設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	消防救助艇及び資機材搬送車整備事業	H30	水難事故等における住民や観光客等の安全の確保を図るため、救助艇・牽引車両等を整備する。	消防救助艇及び資機材搬送車の整備 ・消防救助艇 1台 ・資機材搬送車 1台	消防救助艇及び資機材搬送車の配備(国頭地区消防本部) ・消防救助艇 1台 ・資機材搬送車 1台	【H31成果目標】 水難救助訓練(1回以上/月)を実施することにより、消防救助艇及び資機材搬送車の活用あり方について検証する。 【今後のスケジュール】 平成30年度 消防救助艇及び資機材搬送車の配備	【H31成果目標設定の考え方】 国頭地区消防本部においての過去訓練実績を参考に設定した。	
5	学習支援員配置事業	H25～H32	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行い学力の向上を図るため、学習支援員を配置する。	学習支援員の配置 ・小学校 2名(各校1名)	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率の差 ・算数:-1.9ポイント以上 ・国語:-0.8ポイント以上 ・理科:-1.6ポイント以上	【今後のスケジュール】 引き続き学習支援員を配置して個々の学力に応じた学習指導を行うことにより、沖縄県学力到達度調査の正答率の上昇に取り組む。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
5	生徒指導支援員配置事業	H30～H32	不登校の児童生徒に対応した支援を行い不登校の改善を図るため、生徒指導支援員を配置する。	生徒指導支援員の配置 ・中学校 1名	不登校児童生徒復帰率 15%	【今後のスケジュール】 引き続き生徒指導支援員を配置して児童生徒に対応した生徒指導を実施することにより、不登校の改善を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 類似事業の実績を勘案して設定した。	
5	村内幼児児童生徒英語支援員配置事業	H25～H32	幼児児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図るため、英語支援員を配置する。	幼児児童生徒の英語等、語学力向上を図るため英語支援員を配置 ・認定こども園、小学校 2名 ・中学校 1名	・認定こども園 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、本人へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・中学校 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差 -2.2ポイント以上	【今後のスケジュール】 引き続き英語支援員を配置することにより、幼児児童生徒の英語に対する関心や沖縄県学力到達度調査の正答率の上昇を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 ・認定こども園・小学校 保護者及び本人のうち大多数が英語に対する興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・中学校 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		学習支援教室委託事業	H28 ～ H32	中学3年生の高校進学への支援を行うため、学習支援教室(村営塾)を設置する。	対象: 中学3年生 ・開室期間: 9月～翌年3月・週3回 ・1回3時間 ・科目: 英語・国語・数学・理科・社会 教務形態: 委託	受講生の高校受験合格率: 100%	【今後のスケジュール】 引き続き学習支援教室(村営塾)を設置し、受講生の高校進学を支援する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5		ICT活用推進事業	H27 ～ H32	ICT機器を使用したわかりやすい授業を実施することによる学校教育の質の確保を図るため、電子黒板及びタブレット端末を整備する。	・電子黒板22台(小学校13台、中学校9台) ・タブレット端末66台(小学校39台、中学校27台)	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き電子黒板及びタブレット端末の整備を推進し、ICT機器を活用したわかりやすい授業を実施することにより、社会ニーズに対応した人材の育成を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数が分かりやすい授業が展開されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6		環境保全・美化推進事業	H27 ～ H31	地域住民及び観光客の安全確保や貴重な野生生物の保護のため、ハブ・ノラネコ・ノライヌ対策を行う。	・賃金職員の配置(2人) ・各対策保護捕獲器の設置(ハブ: 30基、犬: 3基、猫: 30基) ・保護収容ネコの譲渡推進委託業務の実施	集落及び観光地内やその周辺におけるハブ咬傷被害の未然防止(咬傷被害0件) ノラネコ・ノライヌの野生化未然防止(ノラネコ・ノライヌによるヤンバルクイナの捕食11件以下)	【今後のスケジュール】 引き続き、ハブ捕獲機等の設置や保護収容ネコの譲渡を実施し、地域住民及び観光客の安全確保と野生生物の保護を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
7		多自然川づくり事業	H24 ～ H33	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を行う。	・河川工事の実施(L=245m) ・現場技術管理業務の実施 ・橋梁詳細設計業務の実施	河川工事整備率 73%(686m/全体延長L=1,200m)	【H34成果目標】 整備した河川沿いにある商店街の観光誘客イベント参加者数 720人 整備した河川での環境学習参加者数 20人 【今後のスケジュール】 平成30年度 ・河川整備工事、橋梁設計 平成31年度 ・河川整備工事、橋梁整備工事 平成32年度 ・河川整備工事 平成33年度 ・河川整備工事 平成34年度 ・供用開始	【H34成果目標設定の考え方】 類似の商店街観光誘客イベントを参考に設定した。 類似の観察会(辺土名川水生生物観察会)等を参考に設定した。

H30活動目標(指標): 平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標): 平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

大宜味村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	大宜味村観光情報発信整備事業	H24～H30	村産品を広く知ってもらい、売上増加に繋げるため、大宜味村産業まつりへの支援を行う。また、大宜味村の認知度向上を図るため、県外でPRイベントを開催する。	・産業まつり誘客イベント開催支援 ・PRイベント開催支援	・大宜味村産業まつり来場者数 5,500名以上 ・PRイベント来場者数 15,000名以上	【今後のスケジュール】 今後、さらなる交流人口の増加への取組の構築を図り、リピーターや大宜味ファンを増やしていく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	環境保全・美化推進事業	H28～H32	地域住民や観光客の安全確保及び貴重な野生生物の保護を図るため、ハブ、野良犬、野良猫対策を行う。保護した猫については譲渡強化を図る。	・賃金作業職員の配置(二人) ・賃金調査職員の配置(二人) ・各保護・捕獲器の設置(ハブ:30台、犬:3台、猫:10台) ・猫の譲渡実施	・ハブ咬傷被害:1件以下 ・ヤンバルクイナの生息率:16.7%以上 ・保護した猫の譲渡:40件以上	【今後のスケジュール】 咬傷被害等の未然防止と野生生物の保護を継続的に実施していく。	【H30成果目標設定の考え方】 ・ハブ咬傷被害については過去の実績を参考に設定した。 ・ヤンバルクイナの生息率については、環境省が調査している数値を参考に設定した。 ・保護した猫の譲渡件数については、過去の実績を参考に設定した。	
1	ふるさと河川環境再生・活用整備事業	H26～H31	観光誘客や観光教育の場としての活用を図るため、大川川の整備を行う。	・護岸整備工事の実施 L=165m ・用地購入 21筆	・累計河川工事整備率 56% (1,458m/全体延長2,600m)	【H32成果目標】 ・整備した観光周辺で花見客数 6,500名以上 ・整備した河川周辺での環境学習参加者数 500名以上 【今後のスケジュール】 H31 護岸工事・台帳整備	【H32成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	学習支援員配置事業	H25～H33	学力の向上を図るため、村内小中学校に学習支援員を配置する。	・小学校 3名(低・中・高学年 各1名) ・中学校 2名(1年～3年2名)	平成30年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ・小学校 0ポイント ・中学校 -1.5ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して村内小中学校に学習支援員を配置し、学力の向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	地域支援員配置事業	H25～H33	不登校および不登校気味の児童生徒のニーズに対応した支援を行うことで、不登校に至らない支援を行う。	・地域支援員配置数 教育委員会1人 (対象:小学校及び中学校)	・支援対象の不登校気味児童生徒のうち、不登校に至らなかった児童生徒の割合 100%	【今後のスケジュール】 今後も継続して地域支援員を配置し、不登校および不登校気味の児童生徒のニーズに対応した支援を行うことで、不登校に至らないよう支援を行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

大宜味村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	「ぶながやの里」地域人材育成支援事業	H25 ～ H33	本村の自然や文化等についての学習機会を拡充し、人材の育成を図る。	・生涯学習講座 12回以上開催	・講座受講者数 276名以上	【今後のスケジュール】 今後も本村の自然や文化、社会への基礎的な興味関心を培い、地域リーダーとなる人材の育成を図るため、本事業を継続的に実施していく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	児童生徒等県外派遣支援事業	H26 ～ H33	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援する。	・児童生徒への県外派遣支援	・派遣された児童・生徒の保護者へアンケートで、児童・生徒が県内ではできない経験ができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 村内各学校と派遣に関する情報共有に努め、事業を継続的に実施していく。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が児童・生徒が県内ではできない経験ができた、と考えられる値として設定した。	
3	低炭素社会構築事業(省エネ設備導入促進事業)	H28 ～ H30	防犯灯に環境負荷の少ないLED照明を整備し、二酸化炭素排出量の抑制を図る。	・大宜味村LED防犯灯取替工事の実施	・二酸化炭素排出削減量 6.191t-CO2/年	【今後のスケジュール】 H30年度にて村内全域事業完了。 村全体における二酸化炭素排出削減量 44.48t-CO2/年	【H30成果目標設定の考え方】 既存照明からLED照明に切り替え際のCO2排出削減量を基に設定した。	
4	カラキ活用推進プロジェクト	H28 ～ H31	カラキを活用し、村内事業者の売上げ増に繋げるため、苗木の増殖実験・商品開発等を行う。	・苗木の栽培育成 ・加工の実施体制 ・成分分析 ・商品開発 ・販路開拓、販売促進 ・挿し木8,000本の実施	・挿し木8,000本の完了 ・成分分析(乾燥葉・粉末)の完了 ・市場調査の完了 ・商品の開発 1品	【H34成果目標】 ・開発した商品を活用し村内事業者11店舗以上 【今後のスケジュール】 H31 苗木栽培技術者の養成(2人)・苗木の増殖	【H34成果目標設定の考え方】 商品材料であるカラキの安定的な供給まで挿し木から6～7年程度のため、H34に設定し、開発した商品を現在の村内販売店等の店舗数5割以上が活用していく目標として設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

大宜味村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	H30成果目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5	大宜味村幼保連携型総合施設整備事業	H28 ～ H31	働く保護者等々の子育て支援の充実を図るため、幼保連携型総合施設を整備する。	・実施設計業務の実施 ・用地測量業務の実施 ・造成工事の実施	・平成32年度の施設開園に向けた事業の着実な実施(実施設計業務の完了)	【H32成果目標】 子育て支援が充実したか(80%以上)を含め、当該施設のあり方についてアンケート調査により検証する。 【今後のスケジュール】 H31年度 工事 H32年度 開園	【H32成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が子育て支援の充実が図られた、と考えられる値として設定した。 また、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	
6	消防救助艇及び資機材搬送車整備事業	H30	住民や観光客等の安全を確保するため、国頭地区消防本部に消防救助艇及び資機材搬送車を整備する。	消防救助艇及び資機材搬送車の整備 ・消防救助艇 1台 ・資機材搬送車両 1台	・消防救助艇及び資機材搬送車の整備	【H31成果目標】 ・水難救助訓練の実施(12回以上/年) 【今後のスケジュール】 3村(国頭村・大宜味村・東村)における水難救助体制の強化を図っていく。	【H31成果目標設定の考え方】 国頭地区消防本部においての過去訓練実績を参考に設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

東村		計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	東村の魅力PR事業	H26 ～ H30	フリーペーパーの作成・配布や、東村の魅力を県内外でPRすることにより、本村への観光誘客に繋げる。	県内向けPR 県外向けPR 村内でのPRイベントの開催	村内入域観光客数316,000人以上	【今後のスケジュール】 これまで実施してきた事業の成果物等を今後のPRに活用し観光誘客につなげる。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
	東村つつじ祭り強化事業	H27 ～ H31	本村の一大イベントである東村つつじ祭りを充実させ、つつじ園内のライトアップやイベントを行なうことにより、観光振興に繋げる。	・園内ライトアップ等の実施 ・ステージイベントの充実	・来園者数 42,000人	【今後のスケジュール】 まつり開催時の内容改善等により来園者の増加を図り、観光振興につなげる。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
	東村村民の森(つつじ園・エコパーク)施設機能強化整備事業	H27 ～ H31	「東村村民の森基本計画」を元に、観光誘客に繋げる取組みとして、つつじ園内に観覧施設を整備する。	観覧施設の実施設設計(施設概要) 鉄筋コンクリート造り 1階 観覧施設 160㎡程度	観覧施設実施設計業務の作成完了	【H32成果目標】 年間利用者数 118,000人以上 【今後のスケジュール】 H30 観覧施設整備設計 H31 観覧施設整備工事	【H32成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
	東村企業研修プログラムの構築事業	H29 ～ H31	企業研修の誘致を図るため、つつじエコパーク内にあるPA(プロジェクトアドベンチャー:冒険教育)施設を企業研修向けに商品開発を行う。	モデルプログラム構築 ・PAファシリテーター養成 ・キーパーソン招聘 ・モデルプログラムの構築	モデルプログラム構築の完了	【H32成果目標】 年間企業研修 10社以上 【今後のスケジュール】 H30 モデルプログラムの開発 H31 モニターツアーの実施	【H32成果目標設定の考え方】 過去の調査結果を参考にして設定した。
2	特別支援教育支援員配置事業	H27 ～ H33	教育上、特別な支援を必要とする幼児並びに児童生徒が円滑な学校生活を送れるように、在籍する幼稚園並びに小中学校において特別支援教育支援員を配置し、適切な学習環境を保持する。	特別支援員配置数 ・小学校へ3名 ・中学校へ3名 ・幼稚園へ1名	支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる幼児並びに児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して幼稚園並びに小中学校へ支援員を配置し、幼児並びに児童生徒の学習環境の保持を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

東村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			産業支援住宅整備事業	H29 ～ H31	本村における第1次産業従事者を確保するため、宮城地区において産業支援住宅を整備する。	産業支援住宅の建築実施設計及び敷地造成外構整備設計の実施。 (施設概要) 鉄筋コンクリート造り平屋建て 4棟 1棟あたり 100㎡程度	産業支援住宅の建築実施設計及び敷地造成外構整備設計の作成完了	【H32成果目標】 第1次産業従事者入居戸数4戸 【今後のスケジュール】 H30 実施設計 H31 建設工事 H32 供用開始	【H32成果目標設定の考え方】 産業支援住宅に第1次産業従事者が定住することで、第1次産業従事者の確保が図られると考え、現時点における整備予定戸数を設定した。
4			避難経路整備事業	H30 ～ H31	地震・津波災害の対策における住民や観光客等の安心安全を確保するため、避難経路を整備する。	避難経路整備実施設計 (測量業務、設計業務) 避難経路(幅2m程度、延長90m程度)	実施設計書の作成完了	【H32成果目標】 整備された避難経路を活用した避難訓練の実施(1回/年)により、本事業を検証する。 【今後のスケジュール】 30 実施設計 H31 整備工事 H32 供用開始	【H32成果目標設定の考え方】 東村地域防災計画を参考に設定した。
			消防救助艇及び資機材搬送車整備事業	H30	水難事故等による住民や観光客等の安全を確保するため、消防救助艇及び資機材搬送車を国頭地区消防本部へ整備する。	消防救助艇及び資機材搬送車の整備 ・消防救助艇 1台 ・資機材搬送車 1台	消防救助艇及び資機材搬送車の整備	【H31成果目標】 水難救助訓練(1回以上/月)を実施することにより、消防救助艇及び資機材搬送車の活用のあり方について検証する。	【H31成果目標設定の考え方】 国頭地区消防本部における過去訓練実績を参考に設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		人材育成事業	H24 ～ H33	南国沖縄県にとって、本州の北に位置する東北地方はまさに「異文化」である。そこで、子どもたちの視野を広げることを目的として、山形県酒田市の児童生徒と文化学習会等の交流事業を行う。	小学生を対象に、山形県酒田市の児童生徒と文化学習会等の交流事業を行う。 派遣生徒数：36人	交流を通じて児童生徒の他文化に対する視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に交流事業を行うことで、子どもたちの視野を広げる。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1		教育環境充実事業	H25 ～ H33	学力の向上を図るため学習支援員を配置する。また、特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため特別支援員を配置する。	幼稚園、小中学校にそれぞれ学習支援員と特別支援員を配置する。 ・幼稚園(特)1人 ・小学校(学)3人(特)4人 ・中学校(学)1人(特)1人	・沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 小学生 -2.4ポイント以上 中学生 -4.0ポイント以上 ・対象となる児童生徒が学校生活や学習上の困難の改善を図ることができたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒の学力や学習意欲の向上を図り、児童生徒が困ることなく、学校生活を送れるようにサポートを行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1		中高生海外語学留学支援事業	H25 ～ H33	海外でのホームステイ等を通じ、外国文化の交流を行うことで、国際的な広い視野を持つ人材育成を図る。	本村今帰仁中学校に在学する中学生2人をハワイ州に2週間、北山高等学校に在学する本村出身高校生6人をジョージア州に2週間ホームステイさせる。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 留学生徒数の増加及び自己負担の軽減を図りながら、留学支援を継続する。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1		児童生徒等の県外派遣事業	H25 ～ H33	県外の人との競争や交流の機会を増やし児童生徒の視野を広げるため、村内児童生徒が、各種スポーツ大会や文化関係大会に参加するための県外派遣の費用を支援する。	小・中学校の児童生徒並びに今帰仁村に所在する県立高等学校の生徒が、各種スポーツ大会や文化関係大会に参加するための県外派遣の費用を支援する。	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に県外派遣の参加費の負担軽減を行いながら、県外での経験を積むことにより今帰仁村の次代を担う児童生徒の育成に努める。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2		環境保全美化推進事業	H24 ～ H33	観光地として魅力的な景観形成を図る為、観光地及び観光ルートの美化を行う。	今帰仁城跡及び観光地の美化及び観光ルートの美化を行う。	今帰仁城跡及び観光地等の美化を行い、観光地として魅力的な景観が確保されているか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に村内観光地の美化及び、村が管理する道路の美化を実施する。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地として魅力的な景観が確保されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2		観光力基盤強化事業	H24 ~ H33	観光誘客を図る為、村内で実施するイベントを支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 村内で実施する以下のイベントに対して補助を行う。 現代版組踊「北山の風」(8月・11月・2月) 古宇利ハーフマラソン(4月) 今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり(1月) 今帰仁まつり(10月) 今帰仁ハーリー(9月) 三村交流事業(11月) 	<ul style="list-style-type: none"> 現代版組踊「北山の風」来場数:1,400人 古宇利ハーフマラソン村外からのエントリー者数:3,440人 今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり来場者数:45,000人 今帰仁まつり来場者:10,300人 今帰仁ハーリー大会参加者数:780人 三村交流事業来場者:1,100人 	【今後のスケジュール】 村の活性化を図るため、イベント等の支援を継続して行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2		観光地安全強化事業	H24 ~ H33	今帰仁城跡に入場するためには券売所から村道を渡らないと入場できず、繁忙期にはレンタカーが増加するため危険な状況である。そのため、観光客が安全かつスムーズに入場することを目的として、交通整理員を配置する。	繁忙期である12月～3月に今帰仁城跡の駐車場及び横断歩道に交通整理員を配置する。	交通整理員が配置された箇所における事故件数0件。	【今後のスケジュール】 イベント時の来訪者の安全対策を図るため、今帰仁城跡に交通整理員を継続して配置する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2		今帰仁城跡周辺環境整備事業	H24 ~ H33	魅力的な景観形成を図る為、河川全体の自然環境を最大限に活かす、景観に配慮した河川を整備を行う。	今泊集落内を流れる普通河川(今泊港川)の整備を行う。	全体計画における4.7%整備(累積整備率38.9%)	【H34成果目標】 魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケートにより本事業を検証する。 【今後のスケジュール】 ・H31～33年度:河川の整備 ・H34年度:供用開始	【H34成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2		今帰仁城跡ガイド強化事業	H25 ~ H33	今帰仁村には世界遺産・今帰仁城跡が所在し、今帰仁グスクを学ぶ会によって来城者に無料の案内ガイドが行われている。そこで、更なる観光誘客につなげることを目的として、研修等による学ぶ会の強化を行う。	世界遺産・国指定史跡今帰仁城跡の無料案内ガイドの実施、及びガイドの資質向上を図るための講演会・研修会の実施	ガイドによる案内者数 12,200名	【今後のスケジュール】 来訪者に今帰仁城跡の歴史等について正しく理解してもらうために、ガイドの資質向上につながる講演会や研修会を継続して開催する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	2	景観形成強化事業	H24 ~ H33	魅力的な景観形成を図る為、観光アクセスルート且つ、村の昔ながらの景観が残る集落内を対象に、景観に配慮した道路整備を行う。	観光アクセスルート且つ、村の昔ながらの景観が残る集落内を対象に、景観に沿った道路整備を行う。 ・張りコンクリート設置工事 ・排水路工事	道路整備完了。	【H34成果目標】 魅力的な景観が形成されたか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケートにより本事業を検証する。 【今後のスケジュール】 H33までに観光アクセスルートを4,825mを整備する。	【H34成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	2	今帰仁城跡関連施設サイン等設置事業	H30 ~ H31	外国人観光客の利便性を確保する為、案内板の設置や、今帰仁城跡駐車場の区画線を引く等、受け入れ環境の整備を行う。	今帰仁城跡関連施設の多言語化された看板の制作・設置を行う。 ・グスク交流センター案内看板等 ・駐車場誘導看板等	駐車場誘導看板製作完了。	【H32成果目標】 外国人観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、外国人観光客等に対するアンケートにより本事業を検証する。 【今後のスケジュール】 H30～H31 駐車場誘導看板設置、グスク交流センター案内板設置	【H32成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	2	今帰仁村観光リゾート振興計画	H30	観光振興を図る為、今帰仁村の観光の現状や課題の分析などを行い、観光振興事業の指針となる今帰仁村観光リゾート振興計画を策定する。	観光リゾート振興計画を策定する。詳細は以下の通り 1 観光情勢の現状分析・課題分析 2 第二次観光振興計画の評価 3 観光動向調査(来訪者、関連事業者、住民) 4 策定委員会及び観光勉強会、作業部会 5 振興計画(案)の策定 6 パブリックコメント など	H30観光振興計画策定の完了。	【今後の成果目標】 策定する計画の中で、主要観光地の入込客数等、観光誘致に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。 【今後のスケジュール】 観光振興計画に基づく観光関連事業を展開し、本計画の目標(指標)値をもとに成果の検証を行っていく。	【今後の成果目標設定の考え方】 計画策定中のため、実施につなげることを成果目標として設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	多言語ガイドブック等作成事業	H30	外国人観光客の利便性の確保を図る為、多言語に対応できる充実した観光案内パンフレット及び観光マップ、PRポスターを作成する。	多言語観光ガイドブックや多言語観光マップ等を作成し、配布する。	・多言語観光ガイドブックの作成 ・多言語観光マップの作成 ・観光資源PRポスターの作成	【H31成果目標】 外国人観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、外国人観光客等に対するアンケートにより本事業を検証する。 【今後のスケジュール】 多言語に対応できる充実した観光案内パンフレット及び観光マップ、PRポスターを作成し情報発信等を強化する。	【H31成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	今帰仁村優良繁殖雌牛導入支援事業	H26 ~ H33	安定した素牛生産地の確立に向け、素牛のブランド化を推進するため、優良繁殖雌牛を導入する際に支援を行う。	今帰仁村和牛改良組合員が沖縄県農業協同組合の貸付牛等を導入する際に1頭あたり50万円を上限に支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合10.9%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して優良繁殖雌牛導入支援を行い、安定した素牛生産地の確立に向け、素牛のブランド化を推進する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	幼保連携一体化施設整備事業	H27 ~ H30	村の待機児童の解消を図る為、幼保連携一体化施設を整備する。	幼保連携一体化施設の整備。 (施設概要) 設置場所:今帰仁村字越地180番地 主要機能:幼児教育・保育施設 構造:RC造 階数:2階建て 床面積:2,620㎡	建築及び外構工事の完了。	【H31成果目標】 待機児童数0名 【今後のスケジュール】 H31 幼保連携一体化施設共用開始	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	花いっぱい運動の推進事業	H24 ～ H33	観光地としての魅力的な景観形成を図るため、国道及び県道沿い等に花木の植付を行い、町ぐるみで花いっぱいの環境づくりを行う。	・プランターへの植付 = 1191基 ・町花壇、観光アクセス道路沿い植栽マスの植付	観光地として魅力的であると感じる人の割合(80%以上)を含め、当該事業のあり方を観光客を対象としたアンケートで検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に花木の植付を行い、地域ぐるみの花いっぱい運動を推進する。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。	
1	ハブ咬傷防止事業	H25 ～ H33	地域住民の生活圏や観光施設周辺などにおいて、ハブが多く出没していることから、捕獲機設置による駆除を実施することで、地域住民や観光客の咬傷被害防止を図る。	ハブ捕獲器を町内約350カ所に設置	ハブによる咬傷被害件数0件	【今後のスケジュール】 今後も継続的に捕獲器設置による駆除を行い、咬傷被害防止を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 咬傷被害件数0件を目指し、設定した。	
1	伝統興行観光化事業	H25 ～ H31	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」を新たな観光資源として活用し、ナイター闘牛や闘山羊大会として定期開催することで、観光客の誘致を図る。	伝統興行の実施 2回	闘牛・闘山羊大会来場者数:800人	【今後のスケジュール】 今後も継続的にイベントを定期開催し必要な整備を行うことで、観光客の誘致を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	八重岳観光拠点整備事業	H25 ～ H30	日本一早い桜祭りとして有名な八重岳には毎年多くの観光客が訪れており、今後も本町の主要観光拠点として活用するため、親水性護岸整備を行い、さらなる観光客の誘致を図る。	親水性護岸整備工事の実施	H30年度桜まつり来場者数160,000人以上	【今後のスケジュール】 多様な利活用により観光客の入込数の増加につなげ地域の活性化を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	本部町観光振興基本計画策定事業	H30 ～ H31	本町の観光振興を推進するため、これまでの施策の検証を行うとともに、町の観光振興の指針となる観光振興基本計画を策定する。	観光振興基本計画基礎調査の実施	観光振興基本計画策定に向けた検証の完了	【H32成果目標】 策定する観光振興計画の中で、主要観光地の入込客数等、観光振興に係る目標値を設定し、当該目標に向けた観光振興施策を実施する。 【今後のスケジュール】 平成30年度 基礎調査 平成31年度 計画策定 平成32年度～ 計画に基づく各事業の実施	【H32成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標に向けた観光振興施策を実施していくことを目的として設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		園芸農業防災施設整備事業	H24 ~ H30	沖縄県では台風の襲来や病害虫の発生により農作物の被害が大きくなるため、農家経営に対する不安や生産意欲の減退などの課題がある。そこで、農業生産物の出荷量向上を図るため、台風対策用の強化型パイプハウスの導入を行う。	農業用施設整備の支援	強化型パイプハウス設置の完了	【H31成果目標】 にがり出荷量 1,800kg以上(1棟あたり) 【今後のスケジュール】 今後も継続的に強化型ハウスの整備に必要な支援を行い、出荷量の向上を図る。	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2		もとぶブランド牛基盤づくり支援事業	H25 ~ H33	肉用牛生産農家及び農業生産法人のもとぶブランド化の基盤創出のため、優良母牛の導入の支援を行う。	優良母牛導入の支援	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合107%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に優良母牛の導入支援を行い、農家の経営の安定化に向けて、ブランド化を推進する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2		メイドイン・もとぶ産品成長産業化推進事業	H28 ~ H33	本部町の地域の特性を活かしたもとぶ産品のPRや販売支援員の配置、物産展等への出展等を支援し、もとぶ産品の新規取引先の拡大を図る。	・商工会への支援の実施 (メイドインもとぶ産品のリスト化) (メイドインもとぶ産品のPR及び販売の支援) (県内外物産展等への出展支援)	新規取引契約数 10件以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に特産品PR及び販売支援を行うことで、もとぶ産品の新規取引先の拡大を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去実績を勘案し設定した。
2		もとぶ産業クラスター形成事業	H29 ~ H31	町内特産品製造事業者の特産品開発に係る助言や製造機械の導入の支援を行い、売上の向上を図る。	・もとぶ産品製造事業所の支援 (ブランディング) (製造環境の向上) (事業所連携による新たな特産品の開発)	ピーリングジェル販売額:5,040千円 絹ごしマーメイド等販売額:518千円 ブレンドティー等販売額:1,080千円 シークワサーだいふく等販売額:1,312千円 エーシーシャンプー等販売額:2,036千円 シークワサーあまざけソルベ販売額:525千円	【今後のスケジュール】 今後も継続的に特産品開発に係る助言や製造機械の導入の支援を行い、売上の向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 販売計画を基に設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	本部型就業意識向上支援事業	H29 ~ H31	町内小中高校生の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、インターンシップ等を行い、町内産業への理解や興味を深めてもらう。	ジョブシャドウイング、職場体験、インターンシップの実施(9校) 教職員向けマナー研修の実施(1回) 企業プレゼン大会の実施(1回) 町内企業体験学習会(わくわくワーク)の実施(3回)	小中高生へのアンケートを実施し、働くことへの興味・関心が湧いた(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に産学官の連携したキャリア教育を行い、働くことを考えてもらうきっかけづくりを行うことで、勤労観や職業観の育成を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が町内産業への理解や興味が深まったといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。	
4	本部町学力向上学習支援事業	H26 ~ H33	町内小・中学校に学習支援員を配置し、国語、算数・数学、英語及びその他の主要教科において児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより、学力の向上を図る。	・町立小学校 5校へ配置 ・町立中学校 2校へ配置	平成30年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 - 4.6ポイント以上 中学校 - 2.5ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に学習支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	本部っ子短期留学チャレンジ事業	H27 ~ H33	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、夏休みを利用して町内中高校生を英語圏へ短期間派遣する。	町内の中高生を英語圏へ短期間派遣(2週間)	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に町内中高校生を英語圏へ派遣し、海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野が広まったといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。	
4	学校ICT機器整備事業	H28 ~ H30	町内小中学校へのICT環境整備及びICT活用支援員を配置し、学校教員によるICT機器を活用した分かりやすい授業を展開することで学校教育の質の確保を図る。	無線LANの環境整備 2校 タブレット等の購入設置 83台 大型モニタの購入設置 12台 ICT活用支援員 1名配置	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。 ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に学校教員によるICT機器を活用した分かりやすい授業を展開することで、学校教育の質の確保を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、授業が分かりやすかった及び習熟度が上がったといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	特別支援教育環境充実事業	H28 ~ H33	特別な支援を要する幼児児童生徒(心身の障害及び発達障害)に対し、特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを配置することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員 18名配置 スクールソーシャルワーカー 1名配置	園児児童生徒の保護者へのアンケートで、支援員等を配置することにより、対象児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを配置することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の保護者が児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善が図られたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。	
5	赤土流出防止検討調査事業	H24 ~ H31	本町をはじめ沖縄県内で以前から問題とされてきている海洋への赤土流出について、その発生源に対する対策を実施し、赤土流出を軽減することで環境保全を図る。	流出対策事業(工事)実施	長田川砂防ダム堆積土浚渫量 V=3,688.9m ³	【今後のスケジュール】 調査検討業務の成果を活用し、今後も継続的に赤土流出対策を実施することで環境保全を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 設計測量時の堆積土浚渫量を参考に設定した。	
6	本部町配水安定化事業	H29 ~ H30	本町の上本部地域は海洋博公園を核として数多くの観光施設が存在している。この地域の水道は、本部町水道管理センターから嘉津宇配水池にポンプ圧送・自然流下により配水しているが、もし台風等により水道管理センターが停電すると、非常用電源の確保ができなくなるため、同配水池への圧送ができなくなり、断水してしまう。そこで、同センターに非常用電源設備を設置し、停電発生時でも安定して配水することで、観光産業・住民生活のライフラインを確保する。	水道管理センターにおける非常用電源設備の設置工事の実施	非常用電源設備の設置完了。	【H31成果目標】 停電による断水被害 0件 【今後のスケジュール】 H30 整備工事実施・完了 H31 供用開始	【H31成果目標設定の考え方】 断水被害を0件にすることを目標に設定した。	
6	防災施設機能強化整備事業	H29 ~ H31	地震津波発生時に住民や観光客を迅速に避難させるため、緊急避難路を整備し、防災力の向上を図る。	・実施設計の実施 ・用地買収の実施	・実施設計の完了 ・用地買収の完了	【H32成果目標】 ・本避難路を活用した避難訓練の実施(2回/年)により、本事業のあり方を検証する。 【今後のスケジュール】 H30 実施設計、用地買収 H31 整備工事実施・完了 H32 供用開始	【H32成果目標設定の考え方】 過去の実績等を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

恩納村		計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)	H24 ~ H33	外来種のタイワンハブやタイワンスジオが観光客の多く訪れる真栄田岬や国頭方西海道(歴史の道)等の周辺において多く出没しているため、その周辺を重点区域とし積極的に駆除し、地域住民や観光客の咬症被害防止を図る。	・ハブ生息地へのハブ捕獲器設置数:400箇所	・捕獲器設置周辺における咬傷被害件数:0件	【今後のスケジュール】 ・仲泊・前兼久地区の調査 ・拡散防止の強化 ・宇加地区の強化	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
	恩納村観光誘客・おもてなし推進事業	H24 ~ H33	各種イベントやプロモーション活動を実施することで、観光誘客を図る。また村の観光案内所である文化情報センターへ観光案内人の配置を行うことで、利便性を確保する。	・観光誘客プロモーションの実施 ・イベントの開催 ・観光案内人の配置 ・リゾートウェディング誘客強化 ・村民のおもてなしの心の啓蒙	・宿泊客数:276万人 ・イベント来場者数:15,000人以上 ・観光案内所の利用により村内観光の利便性が確保されたかについて利用者を対象としたアンケートを実施:80%以上 アンケート結果を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 観光誘客プロモーション・イベント活動をはじめ、地域資源を活用したPR活動及び観光案内人の育成等を継続して行う。	【H30成果目標の考え方】 ・宿泊者数 過去の実績を勘案して設定した。 ・イベント来場者数 過去の実績を勘案して設定した。 ・案内所利用者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
	万座毛周辺活性化施設整備事業	H24 ~ H31	万座毛へ来訪する観光客の増加を図るため、休憩所や地域の特産品販売所、展望台等の機能を有した観光拠点施設及び駐車場を整備する。今年度は駐車場整備工事、建築及び外構工事を行う。	・駐車場整備工事の実施(面積:16,744㎡) ・観光拠点施設の建築及び外構工事の実施(建築面積:1,963㎡)	・第1駐車場(路盤工まで)の完成 ・第2駐車場の完成 ・建築工事の進捗10%	【H32成果目標】 施設の年間利用者数 102万人以上 【今後のスケジュール】 平成31年度 建築、外構工事、第1駐車場(舗装工)の完成 平成32年度 供用開始	【H32成果目標の考え方】 過去の万座毛来訪者実績及び村内観光施設における利用者増加率を勘案して設定した。
	あしびなー施設整備事業	H29 ~ H31	地域の伝統芸能の保存継承及び観光誘客を図るため、観光交流施設を整備する。今年度は建築基本設計を行う。	・建築基本設計の実施	・基本設計の完了	【H32成果目標】 施設の年間利用者 1,680人以上 【今後のスケジュール】 平成31年度 建築工事 平成32年度 供用開始	【H32成果目標の考え方】 施設利用計画に基づく利用者数を成果目標とした。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

恩納村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		H30成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
2		恩納通信所跡地活用基盤整備事業	H28 ~ H31	恩納通信所跡地において、跡地の活用促進のため浸水被害の防止を図るべく、基盤整備を実施する。今年度は排水路の整備を行う。	・排水路河口部の排水路整備工事の実施	・排水路河口部(240m)の完成	【H31成果目標】 台風時等の被害件数(排水路の氾濫):0件 【今後のスケジュール】 31年度:排水路中流部から上流部(740m)の整備工事実施	【H31成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3		恩納村国際交流人材育成事業	H29 ~ H33	移住に関する歴史の伝承や村出身子弟等(ウンナンチュ)との絆を深めるとともに、国際交流の促進、諸外国との懸け橋となる人材を育成するため、研修生の派遣及び受入を実施する。	研修生の派遣及び受入を実施 派遣 2人 受入 2人	・受け入れた研修生が、沖縄の文化や歴史により興味を持ったかについてのアンケートを実施:80%以上 アンケート結果を含め、本事業のあり方について検証する。 ・派遣した研修生が、海外の子弟と交流することによって派遣先の文化や歴史に興味を持ったかについてのアンケートを実施:80%以上 アンケート結果を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・派遣予定数 31年度~H33年度:各年度2名 ・研修生受入予定数 31年度~H33年度:各年度2名	【H30成果目標の考え方】 研修生のうち大多数が沖縄または派遣先の文化や歴史に興味を持ったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4		特別支援教育支援員配置事業	H29 ~ H33	恩納村立幼小中学校に在籍する何らかの支援を要する児童生徒に対し支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。	・特別支援教育支援員充足率 100% 特別支援教育支援員配置数 幼稚園:4人 小学校:12人 中学校:6人	・特別支援員の対応について、保護者等を対象にアンケートを実施: 学校生活や学習上の困難の改善が図られた等の肯定的な回答80%以上 アンケート結果を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 特別支援教育支援員を今後も継続的に配置し、支援を必要とする児童生徒の学習環境の充実に努め、学校教育における機会均等を図る。	【H30成果目標の考え方】 支援員の対応への満足度について、アンケートを実施し、児童生徒の大多数が困難の改善が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	阪神タイガース春季キャンプ受入事業	H24 ～ H33	阪神春季キャンプ受入による観光誘客を図るため、野球場仮設ブルベンの設置やグラウンド黒土搬入等を行う。	・野球場仮設ブルベン、防球ネット、エアアーチ、パワーテント等設置 ・野球場、総合グラウンド黒土搬入	・阪神春季キャンプ見学者数(85,000人)	【今後のスケジュール】 関係団体(観光協会、商工会)との連携をして集客と滞在時間の延長を図る。	【H30年成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業	H24 ～ H33	村民が質の高い芸術公演に触れる機会の確保及び、村外からの誘客を図るため、宜野座村文化センターがらまんホールを中心に芸術文化・伝統芸能公演等を実施する。	・芸術文化、伝統芸能公演等の開催がらまんホールに於いて「伝統芸能」「音楽コンサート」「創作演劇」「ワークショップ」など様々な芸術文化・伝統芸能公演を開催する。 ・お出かけ公演 教育施設、福祉施設、観光施設等で文化事業を行い、文化芸術を通して交流できる芸術普及活動を行う。	・芸術文化・伝統芸能公演の集客数(3,000名以上) ・お出かけ公演実対象者数(5,000名以上)	【今後のスケジュール】 ・芸術文化、伝統芸能公演の開催：30公演/年 ・お出かけ公演実施：20公演/年 ・子ども育成事業実施：2事業/年	【H30年成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	宜野座村美ら島観光誘客推進事業	H25 ～ H33	宜野座村への観光誘客を図り、着地型観光を推進するため、観光誘客プロモーション活動や年間を通じたイベントの開催等を行う。	・観光誘客プロモーション活動の実施 ・年間を通じたイベントの開催(3回) ・外部専門家(アドバイザー)招聘によるWeb(HP、生産者動画など)整備の実施 ・スポーツツーリズム誘致活動	村内観光入域者数24万人以上	【今後のスケジュール】 地域ガイドの育成や先進地の取組みを吸収し、誘客プロモーションやイベントを開催して地域資源を活用した着地型観光を継続的に実施していく。	【H30年成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	宜野座村美ら島花火大会事業	H28 ～ H31	地域特性を活かしたイベントや事業実施により、村の観光振興を目指すため、秋の行楽シーズン、宜野座村や近隣市町村を訪れている観光客に対し、宜野座村の観光資源である、プロ野球阪神タイガースのキャンプ施設等のある農村公園を中心に、花火大会やステージイベントを開催し観光振興を図る。	大花火大会を開催 ・花火の打上委託 ・PRチラシの作成 ・警備員の配置	美ら島花火大会集客数(10,000人/2日間)	【今後のスケジュール】 開催の時期、内容等を検討しながら今後も花火大会を開催し観光振興を図る。	【H30年成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	パークゴルフ場施設機能強化事業	H30	観光誘客及び住民福祉の向上を図るため、パークゴルフ場の灌水設備及び放送設備の整備を行う。	・受水槽・散水栓の整備 ・放送設備の整備	・受水槽・散水栓整備完了 ・放送設備整備完了	【H31年成果目標】 ・観光客の年間利用者数 20,790人 ・村民の年間利用者数 8,910人	【H31年成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	小学校学力向上対策事業	H24 ～ H33	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながら授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を小学校に配置し、児童の学力に応じた個々の学習指導を行う。	学習支援員配置数 ・松田小学校 2名 ・宜野座小学校 4名 ・漢那小学校 2名	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上（差0ポイント以上） 小学校3年・4年・5年・6年（算数）	【今後のスケジュール】 確かな学力の定着を図り、学級全体のレベルアップを目指す。	【H30年成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	中学校学力向上対策事業	H24 ～ H33	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながらチームティーチングによる指導を行い、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を中学校に配置し、生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	学習支援員配置数 ・宜野座中 5名 各教科1名（英語・国語・数学・理科・社会）	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上（差0ポイント以上） 中学校2年（国語、数学、英語、理科、社会）	【今後のスケジュール】 学習の基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図り、学級全体のレベルアップを目指す。	【H30年成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	幼稚園預かり保育事業	H24 ～ H33	保護者が安心・安全に子どもを預け育児における負担感の軽減を図るため、各幼稚園に担当職員を配置し、預かり保育を実施する。	預かり保育担当職員配置数 ・松田幼稚園2名 ・宜野座幼稚園2名 ・漢那幼稚園2名	安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じたか（80%以上）を含め、対象となる幼児の保護者へのアンケートで事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・預かり保育受け入れ園児率を申し込み園児の100%を目指す。	【H30年成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が育児の負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	宜野座村ジュニア海外語学研修派遣事業	H28 ～ H33	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、夏休み期間中に村内の中・高校生6名を英語圏へ派遣する。	中・高校生6名を英語圏へ派遣。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか（80%以上）を含め、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も中・高校生を派遣し広い視野を持った人材を育成していく。 ・海外語学研修派遣者数（累計） H33年度 36人 ・現地プログラムの充実	【H30年成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が国際的な視野が広まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			有機の里宜野座村確立事業	H24～H33	有機の里宜野座村を目指し、沖縄県環境保全型農業推進協議会の認証を受けたエコファーマーの増加並びにエコ農産物の販売量の拡大を図るため、減農薬や、減化学肥料による環境保全型農業を推進する。	エコファーマーの認定に向けた栽培指導及び生産拡大	エコファーマーの認定者数 2名 エコ農産物販売目標130t	【今後のスケジュール】 今後もエコファーマーの認定数及び、エコ農産物販売数の増加を図ることにより環境保全型農業の推進に繋げる。	【H30年成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3			農業用観光施設モデル整備事業	H28～H31	県内外から多くのイチゴ狩り来客者を受け入れることで、観光型農業による本村観光の振興を図るため、イチゴ用ハウス及び作業棟の整備を行う。	施設整備 2,340㎡ 作業棟整備 50㎡	H30/31年 イチゴ狩り来客者 5,300名	【H31年の成果目標】 H31/32年イチゴ狩り来客者の増加13,000人 【今後のスケジュール】 H30 整備 収穫(12月頃～) H31 収穫	【H30、H31年成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3			さとうきび営農指導委託事業	H28～H32	本村の基幹作物であるさとうきびの増産を図るため、営農指導員による管理作業や営農指導等を行う。また、担い手を確保し、講習会を実施する。	適期管理作業の指導 新規栽培農家への直接指導	平成30年生産量5,264t以上	【今後のスケジュール】 栽培農家戸数を増やし栽培面積拡大に繋げる。	【H30年成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4			観光景観向上対策事業	H27～H33	観光地の景観向上を図るため、監視カメラを設置及び観光ルートに専属の監視員を配置し、観光地に放置された不法投棄物の撤去を実施する。	・不法投棄監視カメラ及び観光箇所を中心にパトロールの強化。 ・ユニック付き2t車での不法投棄回収 ・フォーク付きコンボの粗大ゴミの解体作業	・観光地における不法投棄の減少:10件/年	【今後のスケジュール】 不法投棄を減少させ、景観を向上させることで、観光振興につなげていく。	【H30年成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4			危険生物駆除捕獲事業	H27～H33	観光客や修学旅行生等の安全を確保することを目的とし、咬傷事故等を未然に防ぐため、捕獲器の設置や観光地のパトロールを実施する。	・観光各所のパトロール:12回/月 ・外来ハブの進入防御、ハブ捕獲器設置箇所:村内150箇所 ・ハチ等の捕獲・駆除体制の整備	観光地におけるハブの咬傷被害件数:0件	【今後のスケジュール】 観光客が安心して観光できるよう安全を確保し、入客数が増加するよう努める。	【H30年成果目標の考え方】 観光客が安心して観光できるよう安全を確保するため、0件を設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		宜野座村企業誘致推進事業	H28～H33	企業の誘致を図るため、企業の求める就労支援、広報普及活動、企業誘致活動等を行う。	・企業誘致ブース出展 ・招聘ツアーの実施	・企業誘致ブース来場者:200名 ・招聘ツアー参加者:20人	【今後のスケジュール】 ・他事業(人材育成・IT体験イベント等)との展開 ・企業誘致ブース・招聘ツアーの継続実施	【H30年成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6		世界のギノザンチュ子弟研修生受入事業	H29～H33	海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、宜野座村出身の海外移住者子弟を受け入れ、研修及び、村民との交流を行う。	宜野座村出身者海外移住者子弟4名を招聘し、3ヵ月間の研修を実施する。	受入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含めアンケートにより本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 ・子弟研修生受入4人 / 各年度の継続した取り組み (事業実施後の取組み) ・子弟研修生が村立小学校等で出前授業を行い、村民の国際理解教育に繋げる。	【H30年成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が沖縄の文化や歴史により興味を持ったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

金武町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	パークゴルフ場整備事業	H28 ～ H31	金武町にパークゴルフ場を整備し、観光誘客と地域住民の福祉の向上を図る。	工事の実施 (施設概要) 設置場所: 金武町並里区内 主要機能: パークゴルフ場 クラブハウス ホール数: 18ホール 構造: RC造 階数: 1階 床面積: 121.5㎡	土木工事の完了	【H32成果目標】 ・観光客の年間利用者数 15,046人 ・町民の年間利用者数 8,102人 【今後のスケジュール】 平成30年度 造成工事・土木工事 平成31年度 建築工事 平成32年度 供用開始	【H32成果目標設定の考え方】 類似施設の実績を参考に設定した。	
1	プロスポーツ受入事業	H28 ～ H33	プロスポーツキャンプを実施するために必要なグラウンド整備を行う。また、歓迎ムードを盛り上げるためのアーチやのぼり、警備員、テント等を配置する。	プロスポーツキャンプ受入体制構築 競技環境の整備 プロスポーツ受入の実施 見学者受入体制の整備 スポーツ教室の開催	プロチームキャンプの受入 4チーム以上	【今後のスケジュール】 受入れたプロチームの継続受入を図り、町のスポーツ振興及び観光振興に寄与する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	金武町フットボールセンター機能強化事業	H30	施設の利便性を向上させることにより、プロサッカーチームのキャンプ及びより大規模な大会を受け入れ、町の観光やスポーツの振興を図る。	工事の実施 (概要) 整備場所: 金武町フットボールセンター内 主要機能: 観覧席	観覧席整備工事の完了	【H31成果目標】 ・プロサッカーキャンプ実施チーム 2チーム ・大規模大会開催 5大会	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	金武町魅力PR事業	H30	観光誘客及び通過型観光客の金武町周遊を図るため、パンフレットを作成・活用し、金武町の魅力をPRする。	パンフレットの作成・配布	パンフレットの作成・配布完了	【H31成果目標】 ・金武町フリーWi-Fiの利用件数 102,965件以上	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	金武町優良繁殖雌牛導入事業	H27 ～ H31	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	優良繁殖雌牛の導入支援	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 約107%	【今後のスケジュール】 引き続き優良繁殖雌牛を導入することにより、農家の経営安定化を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標): 平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標): 平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

金武町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3		金武町就職活動支援補助事業	H27 ~ H31	雇用拡大を図るため、求職者に対する職業相談等を行う。また、児童生徒の職業意識の向上を図るため、キャリア教育を行う。	・職業相談 ・各種講座の開催:4講座 ・企業セミナー:6回 ・キャリア教育:4校	・就業率10.7%以上 ・キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き職業相談や講座、セミナーを実施し、雇用拡大を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 ・就業率は過去の実績を勘案して設定した。 ・対象者のうち、大多数が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4		小中学校学習等支援事業	H24 ~ H33	児童生徒の学力(英語)の向上を図るため、日本人英語指導員・外国人英語指導助手・英語コーディネーターを配置する。	・日本人英語指導員 小学校:2人 ・外国人英語指導助手 小学校:2人 中学校:2人 ・英語コーディネーター 教育委員会:1人	・小学校 児童英検(ブロンズ)において、全国平均との平均正答率の差-4%以上 ・中学校 英語検定3級において、校内受験者数の合格率23.5%以上	【今後のスケジュール】 引き続き、日本人英語指導員等による英語教育の充実を図り、学力の向上につなげる。	【H30成果目標設定の考え方】 平成33年度の目標率を設定し、目標に向け各年段階的に引き上げる設定とした。
4		幼稚園児預かり保育事業	H24 ~ H33	保護者の育児における負担感の軽減を図るため、預かり保育を実施する。	・預かり保育希望園児の受入	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 事業の継続実施により、保護者の就労促進に繋がり、子育て環境の改善を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が育児の負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4		特別支援教育支援事業	H24 ~ H33	支援を必要とする幼児・児童・生徒の学習や学校生活面においてのサポートを行うため、特別支援教育支援員を配置する。	特別支援教育支援員配置数 ・小学校:13人 ・中学校:5人	対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員を配置したことにより学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も支援を必要とする幼児児童生徒の学習や学校生活面においてのサポート体制を強化し、安心して学べる学習環境の構築を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が学校生活や学習上の困難が改善されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5		金武町海外移住者子弟等受入事業	H29 ~ H33	海外と本町を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、海外移住者子弟等研修生を受け入れる。	・受入人数:3人 ・研修期間 (8月~12月までの約4ヶ月間) ・研修報告(閉講式)1回	受入れた研修生へのアンケートで、沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 事業を継続し、伝統芸能や文化教養の継承および、人的な交流を通して、移住地と本町の交流の懸け橋となる人材の育成を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が沖縄の文化や歴史に興味をもったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

金武町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		金武町移民の日記念事業	H29 ~ H33	本町の移民の歴史を継承するため、顕彰式等を実施する。	・顕彰式の開催 ・移民関連の学習会 ・公演等の実施	参加者に対するアンケートで、移民の歴史に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 事業を継続し、金武町を移民発祥の地として位置づけ、移民関連事業を実施し、金武町移民の日が沖縄と移住国、または世界各国を結び付ける記念の日として定着させていく。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が移民の歴史に対する理解が深まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6		「金武町の偉人及び民話」絵本化事業	H29 ~ H31	町出身の偉人の功績や町の歴史、文化、精神を後世へ継承するため、金武町の偉人及び民話を絵本化する。	絵本の製作・配布 ・町内学校全クラス 61冊 ・県内公共図書館 48冊 ・海外町人会 35冊 ・その他(当図書館、大学図書館) 56冊	町内小学校の4年生から6年生へのアンケートで、絵本の内容について理解できたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も絵本を学校や町内イベント等で活用し、本町の歴史等を後世へ継承する。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が絵本の内容について理解できたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	伊江村ハブ対策事業	H27 ～ H32	本村に生息するハブによる健康被害から、村民及び観光客を守るため、生息地となっている観光地や海岸沿いの清掃を行い、ハブが住処を作りにくい環境を整備する。また、捕獲器を設置しハブの捕獲駆除に取り組む。	・ハブ生息地の清掃実施 (26,000㎡清掃) ・捕獲器の設置 (15基設置)	・ハブ咬傷による被害件数0件	【今後のスケジュール】 危険生物であるハブを駆除することにより、地域住民及び観光客にとって脅威となるハブの健康被害を無くし、安全な生活環境の整備を継続的に実施していく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	離島定住環境基盤整備事業	H30 ～ H31	村民が安心・安全に日常生活必需品等の荷捌きを実施できる施設を整備する。	・荷捌き施設の設計及び整備 (建築場所:本部港、147㎡) ・事務所・冷蔵保管庫の設計及び整備 (建築場所:本部港、24㎡)	・荷捌き施設の設計及び基礎工事の完了	【H31成果目標】 利便性の確保が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 H30 設計及び基礎工事の完了 H31 仕上工事等の完了及び供用開始	【H31成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	伊江村自動車航送コスト負担軽減事業	H26 ～ H33	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。このため、自動車航送コスト負担軽減の助成を行う。	・車両航送に対する運転手1名分の運賃補助(1名当り810円の補助)	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、村民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 車両航送に対する補助を行い、離島の地理的条件による不利性を軽減することで、定住促進への取り組みを継続的に実施していく。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4	優良繁殖雌牛導入事業	H26 ～ H30	農家の所得向上に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	・優良繁殖雌牛の計画導入:100頭 (素牛購入価格(税抜)×1/2補助 上限400千円(1頭当)×100頭)	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合115%以上	【今後のスケジュール】 今後の家畜市場開設時の子牛上場頭数の増加に向け、優良血統の選定、村内和牛ブランドの確立を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
5	村花・世界のゆり植栽推進事業	H24 ～ H32	村花であるテッポウユリと世界のゆり球根を植栽し、花の島づくりを推進することで、観光誘客を図る。	・テッポウユリ球根 50,000球 (リリーフィールド公園へ植栽) ・世界のゆり球根 20,000球 (リリーフィールド公園へ植栽)	・伊江島ゆり祭り来場者数31,000人	【今後のスケジュール】 品質の良い球根確保とイベント企画による来場者の増 (H32目標 33,000人)	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	観光地クリーン事業	H27 ~ H32	観光地の環境美化及び保全をし、観光地の景観形成と観光客の受け入れ態勢を強化する。	・観光地環境美化保全作業員16名雇用 【主な美化保全観光施設】 ・城山周辺 ・リリーフィールド公園 ・ミースイ公園 ・伊江港周辺 ・ニヤティヤ洞 ・湧出 ・青少年旅行村	・魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 観光地の継続的な環境美化及び保全に努め、観光客数の維持、増加につなげるべく観光振興の取り組みを継続的に実施していく。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
5	伊江村観光危機管理計画策定事業	H30	本村に訪れた観光客が災害時、安全に避難することが出来るよう計画を策定し、観光客の受入体制の強化に努める。	・伊江島観光危機管理計画の策定(観光客が災害時、安全に避難することが出来るよう計画を策定)	・伊江村観光危機管理計画の策定完了	【H32成果目標】 策定した観光危機管理計画を策定した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、当該計画について検証する。 【今後のスケジュール】 計画策定に基づき、観光関係団体に周知及び避難訓練等を実施し、共通認識を行う。	【H32成果目標設定の考え方】 本計画に基づく訓練を毎年1回実施するものとして設定した。	
5	地域認知度向上支援事業	H30	伊江村の認知度向上を図るため、本村独自の観光媒体や伊江島イメージキャラクター等を認知度向上戦略の一助として活用し、観光振興に繋げる。	・観光PR媒体の作成 (パンフレット100,000部作成) (小冊子10,000部作製) ・伊江島イメージキャラクター造形制作 (FRP造形伊江島イメージキャラクター4体製作)	・イメージキャラクターにより村の認知度が向上したか(80%以上)を含め、観光客等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 作成した媒体を活用し、伊江村観光振興の向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
5	アジアユース人材育成・ネットワーク形成事業	H29 ~ H31	アジア諸国と、3市村(南城市、伊江村、渡嘉敷村)の中・高校生が、豊かな自然や歴史、文化などの地域資源に恵まれた環境の沖縄で共に生活しながら地域の課題に取り組み、体験交流を深める中で、国や文化を越えた友情を育み、多種多様な文化や社会、考え方があることを直に学ぶ機会を設けることで、国際的な広い視野を持たせる。	研修プログラムの実施(約2週間)	・生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 本事業で構築された人的ネットワークの輪を継続して活かせるよう事業展開する。	【H30成果目標設定の考え方】 生徒の保護者のうち大多数が国際的な視野が広まったと感じられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	H30事業内容		H30活動目標(指標)	今後の展開方針等
5	観光客誘客環境整備事業	H26 ~ H33	伊江村にある主要観光施設であるリリーフィールド公園の機能拡充を実施し、観光客の満足度向上等による観光誘客を図る。	リリーフィールド公園整備工事(駐車場・便益施設)	リリーフィールド公園整備工事の完了(駐車場・便益施設)	【H31成果目標】 駐車場のアスファルト舗装、トイレの新設によりリリーフィールド公園の利便性が向上したか(80%以上)を含め、公園来場者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	【H31成果目標設定の考え方】 リリーフィールド公園利用者の大多数が利便性が向上したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
6	確かな学力を育む学習支援員配置事業	H25 ~ H33	学習支援員等を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	・学習支援員 小学校(2校6人配置) 中学校(1校3人配置)	・沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 5ポイント以上 中学校 3ポイント以上	【今後のスケジュール】 正答率30%未満の児童生徒の割合を小学校で10%以下、中学校においては各教科において30%以下に減らすべく取り組みを継続的に実施していく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績等を勘案して設定した。	
6	各種大会派遣費助成事業	H25 ~ H33	島外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、本村の児童生徒のスポーツ、文化活動において、地区大会や県大会等への派遣旅費について支援する。	・各種大会派遣費の助成:1,000人(単年度) (伊江村児童生徒等の大会派遣等に関する補助金交付要綱に基づく補助)	・対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、児童生徒に広い視野を持たせるため、派遣旅費の支援を継続していく。 派遣人数(累計) H33年度:10,000人	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が児童の視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
7	伊江村型就業意識向上支援事業	H28 ~ H33	中学を卒業と同時に親元を離れ、島から旅立つ子ども達のため、早い段階からジョブシャドウイングや職業人講話等を実施し、就業意識の向上を図る。	・小学生30名 中学生129名 ・企業訪問・体験1回 ・職業人講話4回 ・卒業生による進路講話1回 ・島のみりょく発信1回	・就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 小学生から中学生まで継続的に事業を行う事により就業意識を向上を図る。事業実施前と後にアンケートを実施し、意識の違いを確認する。 参加児童生徒数(累計) H33年度:800人	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が児童生徒の就業意識の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
8	伊江村文化等発信拠点施設機能強化事業	H30	質の高い文化芸術公演に触れる機会の確保を図るため、伊江島はにくすにホール施設の音響設備の機能強化を図る。	・伊江島はにくすにホール音響設備の整備完了(音響機材一式、配線ケーブル及び資材一式の整備)	・伊江島はにくすにホール音響設備の整備完了	【H31成果目標】 整備後、村外のイベント会社等が主催する公演数の増 5件 【今後のスケジュール】 整備後、村外のイベント会社等が主催する公演数の増 5件	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績等を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	H30事業内容		今後の展開方針等	補足説明等
9	伊江村多目的交流センター整備事業	H30 ~ H32	伊江村多目的交流センターの基本構想を策定し、施設に求められる役割や導入機能及び必要規模等の整理や村内の合意形成等を図る事によって、本村の推進するスポーツコンベンションを推進し、合宿や教育旅行民泊の受入れ人数の増加を図る。	・伊江村多目的交流センターの基本構想の策定(施設規模・関係機関協議・事業スキームの決定など)	・施設整備に向けた事業手法の決定(PFI等) ・施設規模の決定 ・事業スケジュールの決定	【今後のスケジュール】 平成30年度:基本構想の策定 平成31年度:基本計画、基本設計、実施設計 平成32年度:施設整備 【平成33年度】 基本構想を踏まえて目標受入れ人数を設定し、当該数値を目標とした施設運営を行う。	【H33成果目標設定の考え方】 基本構想を踏まえて目標受入れ人数を設定する。	
10	水産物高付加価値化推進事業	H30	伊江村で水揚げされる魚類を中心に鮮度保持向上を目的に、荷捌き施設や漁船等(貸出)にNANOバブル発生装置を整備し、付加価値を付けた出荷や販路拡大を図る。	NANOバブル発生装置一式の整備	NANOバブル発生装置一式の整備完了	【今後のスケジュール】 装置整備後の新規販路の拡大を図る。 【H31成果目標】 新規販路拡大 2件	【H31成果目標の考え方】 県内の流通業者との調整状況を勘案し設定した。	
10	離島における陸上養殖可能性調査事業	H30 ~ H32	伊江村の漁業振興に向けて、これまで、夏場の海水温の上昇等により栽培ができなかった海藻養殖等に着目し、産学官連携により、伊江島琉球石灰岩地層の地下水を汲み上げ、新たな過海水による陸上養殖事業として、海藻養殖等の事業化に向けた、海水調査事業を実施する。	陸上養殖の可能性調査	調査結果報告書作成	【今後のスケジュール】 H31 試験栽培 H32 施設整備 【H33成果目標】 調査結果を踏まえて生産量目標値を設定し、当該数値を目標とした陸上養殖を実施する。	【H33成果目標設定の考え方】 調査結果を踏まえて生産量目標値を設定する。	
10	伊江村観光漁業コンテンツ開発事業	H30 ~ H33	伊江村魚類養殖場を活用した、新たな観光漁業のコンテンツ導入を図り、豊かな資源を活用した漁業振興の向上を図る目的として基本計画を策定する。	観光漁業メニュー基本計画の策定(ニーズ調査・先進地調査・規模、利用収益調査)	基本計画策定	【今後のスケジュール】 H31 実施設計 H32 施設整備 H33 施設整備・供用開始 【H34成果目標】 基本計画を踏まえて、養殖場出荷額等の漁業振興に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした運営を実施する。	【H34成果目標の考え方】 基本計画を踏まえて、養殖場出荷額等の漁業振興に係る目標値を設定する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	読谷観光・物産アピールとスポーツコンベンション誘致促進事業	H24～H33	スポーツキャンプ等の誘致を図るため、誘致活動を実施する。キャンプチームの本拠地で観光PRイベントを行うことで本村の認知度向上を図る。キャンプと同時期にイベントを行うことで、来場者数の増を図る。	・各種スポーツキャンプ、大会等誘致活動(4回) ・読谷観光PR活動(3回) ・キャンプチームの本拠地で観光誘客イベントを行う。 ・観光誘客イベント(1回) ・スポーツキャンプと同時期に読谷村で集客イベントを行う。	・スポーツコンベンション誘致件数 21件以上 ・イベント観客数80,000人以上 ・キャンプ期間中の来場者数 16,532人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に誘致活動や観光誘客イベントを実施し、「スポーツキャンプ地読谷村」としての認知度向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	危険生物駆除事業	H25～H33	村民や観光客の安全を確保するため、ハブの捕獲及び駆除等を行う。	・村内の観光地に危険生物であるハブの捕獲器を400器設置 ・定期巡回・管理の実施及び処分 ・危険周知看板100枚の管理	・村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数:0件	【今後のスケジュール】 今後も継続的にハブ捕獲器の設置および管理を実施し、観光客や村民のハブによる咬傷被害の未然防止を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 咬傷被害の未然防止を図る目的を踏まえ、設定した。	
1	ヨミタンJOHO発信事業(読谷観光情報等PRラジオ番組制作・放送事業)	H25～H33	本村の認知度向上を図るため、観光情報番組よみたんラジオを放送する。	観光情報等PRラジオ番組を4/10から3/16まで毎日放送 番組名:観光情報番組よみたんラジオ 放送時間:9:00～9:55 放送回数:341回	メール受信件数:1419件	【今後のスケジュール】 今後も継続的に放送を実施し、観光地としての本村の認知度向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		(仮称)読谷村パークゴルフ場整備事業	H28 ~ H30	パークゴルフ場を整備し、観光誘客と地域住民の福祉の向上を図る。	パークゴルフ場クラブハウスの建築工事の実施 (施設概要) 設置場所: 読谷村字座喜味 主要機能: パークゴルフ場 クラブハウス ホール数: 18ホール 構造: RC造 階数: 1階 床面積: 306.67㎡	建築工事の完了	【H31成果目標】 ・観光客の年間利用者数: 7,340人 ・村民の年間利用者数: 7,060人 【今後のスケジュール】 H30 建築工事 H31 供用開始	【H31成果目標設定の考え方】 近隣同施設の実績をもとに設定した。
1		読谷に一びち観光客誘致プロジェクト事業	H28 ~ H33	リゾートウェディングを目的とする観光客を誘致するため、国内外でプロモーションを実施する。	・国内・国外でのプロモーション(3回) ・パンフレットの作成(1万部)	リゾートウェディング数 2,546組	【今後のスケジュール】 今後も継続的にプロモーションを実施し、観光客の誘致を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1		川回る広場整備事業	H30 ~ H31	ソフトボール競技の公式戦及びキャンプの誘致を図るため、川回る広場を整備する。	ソフトボール場の実施設計の実施 (施設概要) 施設名称: 川回る広場 設置場所: 読谷村字座喜味 主要機能: ソフトボール場(公式グラウンド1面、練習グラウンド1面) 構造: 舗装、張芝、 付帯施設: バックネット、防球ネット、トイレ、倉庫、 駐車場32台	実施設計の完了	【H32成果目標】 ・ソフトボール競技公式戦の誘致: 5件 ・ソフトボールチームのキャンプ誘致: 5件 【今後のスケジュール】 H30 実施設計、開発行為申請等 H31 工事 H32 供用開始	【H32成果目標設定の考え方】 隣接施設の実績を参考に設定した。

H30活動目標(指標): 平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標): 平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		読谷村陸上競技場北側植栽整備事業	H30 ~ H30	スポーツキャンプの誘致のため、北風対策として読谷村陸上競技場北側に植栽を整備する。	読谷村陸上競技場北側の植栽を整備するための実施設計を実施 実施設計予定面積 0.62ha(6,200㎡)	実施設計の完了	【H32成果目標】 ・スポーツキャンプ誘致: 8件 【今後のスケジュール】 H30 実施設計 H31 工事	【H32成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1		スポーツコンベンション誘致促進事業(設備等強化事業)	H26 ~ H30	スポーツキャンプの誘致のため、スポーツ設備の整備を行う。	トレーニング機器購入の実施 パワーラック ダンベル 他37品目	スポーツキャンプ誘致数 21件以上	【今後のスケジュール】 プロチームから各種ナショナルチームなど多くの団体に活用してもらい、スポーツキャンプ地読谷村としての認知度向上を図り、キャンプ誘致へ繋げる。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2		日本語教育支援員配置事業	H24 ~ H33	二重国籍や外国籍児童等、日本語を習得していない児童に対し、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、日本語教育支援員を配置する。	村立小学校に3名の日本語教育支援員を配置 (配置) 村立5小学校	日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合80%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援員を配置し、対象児童の学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。評価者は学級担任とする。
2		小中学校学習支援員配置事業	H26 ~ H33	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(算数・数学)の向上を図る。	村立小中学校に7名の学習支援員を配置し、主に小学校3年生の算数、中学校1年生の数学の学習支援を実施 (配置) 村立5小学校 村立2中学校	沖縄県学力到達度調査における県と村の平均正答率の差 小学校3年生算数 1.7ポイント以上 中学校1年生数学 -2.5ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援員を配置し、対象児童生徒の学力向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		H30成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
2		特別支援教育支援員配置事業	H26 ~ H33	特別な支援を要する幼児児童生徒に対応した支援を行うことにより、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	村立幼稚園、小中学校に19名の特別支援教育支援員を配置 (配置) 村立5幼稚園 村立5小学校 村立2中学校 教育委員会に特別支援教育専門指導員を1名配置	対象となる児童生徒の保護者にアンケートを実施し、特別支援教育支援員の対応への満足したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証	【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援員を配置し、対象児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2		小学校ICT環境整備事業	H25 ~ H30	ICT機器活用により学校教育の質の確保を図るため、小学校に電子黒板を整備する。	小学校1校の4教室へ電子黒板を整備	児童へのアンケートで、電子黒板を活用した授業が分かりやすかったか(80%以上)を含め、電子黒板の活用のあり方について検証	【今後のスケジュール】 整備したICT機器を活用し、学校教育の質の確保を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が効果があったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2		小学校ICTパソコン教室機能強化事業	H26 ~ H31	児童生徒の情報端末操作技術の向上を図るため、小学校に学校教育用パソコンを整備する。	小学校3校のパソコン教室へパソコンを整備	児童へのアンケートで、ICT機器を活用できたと感じたか(80%以上)を含め、ICT機器の活用のあり方を検証	【今後のスケジュール】 整備したパソコンを活用し、児童の情報端末操作技術の向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が効果があったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3		読谷補助飛行場「大木地区」廃棄物処理委託事業	H30 ~ H30	大木地区の土地区画整理事業を進捗させるため、廃棄物の処理を行う。	読谷補助飛行場跡地(大木地区)にて発生した廃棄物処理の実施	廃棄物処理(6,509m ³)の完了	【H31成果目標】 大木地区の土地区画整理事業の進捗率65% 【今後のスケジュール】 H35 大木地区の土地区画整理事業の進捗率100%	【H31成果目標設定の考え方】 現在の進捗率を基に、廃棄物処理後の進捗率を助案し、設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		ユンタンザフィールドミュージアム構築事業	H24 ～ H30	<p>村の歴史・文化の継承と観光誘客を図るため、文化財ガイドマップの作成等を行う。</p>	<p>・自然・歴史・文化資源等の調査(3地区) ・文化財ガイドマップ板設置(3地区) 資源概要をまとめた看板(横108×縦61cm)の設置</p> <p>・文化財ガイドマップタブロイド版製作(3地区) A2版パンフレットを作成</p> <p>・地歴型マップシステムの観光コースサイト制作及び解説動画制作 3つの観光コースの設定 コンテンツを30箇所追加 コンテンツの解説動画を2箇所制作</p>	<p>文化財ガイドマップ等を活用した地域散策参加者数 280人</p>	<p>【今後のスケジュール】 整備した文化財ガイドマップ等を活用した地域散策を実施し、歴史・文化の継承と観光誘客を図る。</p>	<p>【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>
4		沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業	H25 ～ H33	<p>沖縄語の保存継承を図るため、教材を制作する。</p>	<p>・沖縄語の聞き取り等調査 ・教材(パンフレット)の作成・配布</p>	<p>・教材(パンフレット)の作成完了 ・村内小中学校、自治会へ配布</p>	<p>【H31成果目標】 教材の活用により、沖縄語の理解が深まったか(80%以上)を含め、沖縄語の保存継承のあり方をアンケート調査により検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 今後も継続的に教材を制作し、沖縄語の保存継承を図る。</p>	<p>【H31成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>
4		ユンタンザミュージアム駐車場整備基礎調査業務	H30 ～ H30	<p>ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者のための駐車場を整備することにより、来訪者の利便性の確保を図る。</p>	<p>ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者のための駐車場整備に向けた基礎調査の実施</p>	<p>基礎調査の完了</p>	<p>【H34成果目標】 ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該駐車場のあり方をアンケート調査により検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 H30 基礎調査 H31 基本設計 H32 実施設計、用地購入 H33 整備工事 H34 供用開始</p>	<p>【H34成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		H30成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
5		中学生海外ホームステイ派遣事業	H25 ～ H33	海外での生活や体験を通して国際的な視野を持つ人材を育成するため、中学生を英語圏に派遣する。	短期留学費の支援の実施(12人)	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証	【今後のスケジュール】 今後も継続的に派遣を実施し、国際的な視野を持つ人材の育成を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の生徒の国際的な視野が広まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
6		読谷村農業関係施設機能強化促進事業	H28 ～ H30	農産物の地産池消を図るため、読谷村農村女性の家の機能を強化する。	読谷村農村女性の家の機能強化工事の実施 (施設概要) 設置場所:読谷村都屋167番地2 主要機能:農産物加工所 構造:鉄筋コンクリート平屋 床面積:261㎡	読谷村農村女性の家機能強化工事の完了	【H31成果目標】 読谷村農村女性の家で加工し配膳した村内農産物の量 1.12t/年 以上 【今後のスケジュール】 H30 機能強化工事 H31 供用開始	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
7		読谷村工芸品県外プロモーション戦略事業	H26 ～ H33	本村の工芸品の周知とヤチムン等を活用した観光誘客を図るため、県外プロモーションを実施する。	・テストマーケティング等の実施 3回 東京を予定 ・物産展への出展 1回 ニッポン全国物産展(東京)を予定 ・展示会の出展 2回 東京を予定 ・周知用媒体ツールの作成	・陶器市の来場者数 14,057人	【今後のスケジュール】 今後も継続的に県外プロモーションを実施し、本村の工芸品の周知とヤチムン等を活用した観光誘客を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
8		低炭素社会構築事業	H30 ～ H31	既存の防犯灯に環境負荷の少ないLED照明を整備することで、温室効果ガス(CO2)の排出量の削減を図る。	防犯灯へのLED照明導入に向けた現況調査の実施	防犯灯現況調査の完了	【H32成果目標】 防犯灯のLED化によるCO2排出削減量 268.5t-CO2 【今後のスケジュール】 H30 防犯灯現況調査 H31 LED照明整備工事	【H32成果目標設定の考え方】 既存照明からLED照明に切り替え際のCO2排出削減量を基に設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	うたの日コンサート事業	H25 ~ H30	うたの日コンサートは唄の島・芸能の島沖縄を発信することを目的に開催している。そのうたの日コンサートの開催において、本町の観光をPRし、本町において滞在(周遊)観光客の誘客を図るため、会場設営に係る経費の一部を支援し、同コンサートを誘致する。	・実行委員会への補助金交付	来場者数:約8,260人以上	【今後のスケジュール】 引き続きより多くの県外ツアー客の誘客に努めるとともに、本町により長く滞在(周遊)する仕組みづくりに努める。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
	水釜護岸景観整備事業	H27 ~ H33	これまでの基本計画、基本設計も基に本事業の実施設計を完了させる。 ・地質業務 ・公園実施設計業務 ・磁気探査業務	・実施設計の実施(歩道整備、サンセットテラス等の設計報告書、工事設計書等の作成など)	・実施設計書の作成	【H34成果目標】 ・利用者の利便性が確保されているか(80%以上)を含め、来訪者へのアンケートにより当該整備事業のあり方を検証する。 ・水釜護岸へのイベント来訪者数 年間1.1万人以上 【今後のスケジュール】 平成32~33年度:整備工事 平成34年度:供用開始	【H34成果目標設定の考え方】 ・大多数の利用者にとって利便性が確保されていると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・本事業により水釜護岸で新たに実施できるイベント等の参加者数を推計して設定した。	
	屋良東部地区地域振興施設機能拡充事業	H25 ~ H33	観光誘客施設としての魅力を高めるために、施設の規模を拡張し、観光推進を図る。	実施設計の策定	実施設計(その2)の完了	【H34成果目標】 ・施設の来訪者数 77.9万人以上/年 【今後のスケジュール】 平成31年度:整備工事 平成32年度:整備工事 平成33年度:整備工事・供用開始	【H34成果目標設定の考え方】 過去の実績及び県の観光振興基本計画を参照して設定した。	
2	学習支援員配置事業	H24 ~ H33	教師と連携を図りながらチームティーチング、習熟度別授業を行うとともに、長期休業中に個別指導や放課後の補習授業を行う学習支援員を配置することで、学力の向上を図る。 【事業計画書の記載】 町内の小中学校に学習支援員を配置することで、学力の向上を図る。	学習支援員の配置数:5人 (小学校:4人、中学校1人) 算数・数学の授業でチームティーチングや放課後の補習で学習支援を行う。学習支援する児童生徒の人数:60人 (学習支援員1人あたり児童生徒10人に対応する)	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校:-1.3ポイント以上 中学校:-3.7ポイント以上	【今後のスケジュール】 引き続き学習支援を要する児童生徒の学力の向上を図り、単元テストの正答率の向上をめざす。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
	英語力強化事業	H24 ～ H33	教育課程特例校として、小学校では英語に親しむ環境をつくり、中学校は実用的な英語を学ぶため、英会話の講師を配置する。同時に、中学校は個別の学習支援、英会話の実用化のための英語指導員を配置する。	英会話指導員の配置数:5人 (小学校:3人、中学校:2人) 英語指導員の配置数:1人 (中学校:1人) 中学校においては、英検対策や放課後の学習支援を行う。	(小学校) 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、本人のアンケートにより、本事業のあり方を検証する。 (中学校) 英語検定3級以上の合格者45名以上 沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率(英語)の差-2.8ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後は各学年の年間指導計画にゲームやアクティビティを位置づけ、英語に親しみながら、学習の充実を図る。中学校においては、英会話授業の充実、放課後の英語指導の充実を継続する。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 過去の実績を勘案して設定した。 過去の実績を勘案して設定した。	
	ICT活用事業	H24 ～ H33	情報活用能力の育成や学校における情報化を推進するため、ICT支援員を配置することにより、教員のICT機器の習熟度及び学校教育の質を確保する。	パソコン指導員の配置数:3人 (小学校:2人、中学校:1人) 授業支援や児童生徒の情報機器操作能力の向上を図る。	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、アンケートにより効果を検証する。 教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合(80%以上)を含め、アンケートにより効果を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続きICT活用教員のICT機器等の活用率を高め、わかる授業の展開を図り、教師の情報機器の活用力向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数が授業が分かりやすかったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 教員のうち大多数がICT機器の習熟度が上がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
	不登校対策生徒指導支援員配置事業	H24 ～ H33	特別な支援を要する不登校の生徒に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図るため、指導支援員を配置する。	生徒指導支援員の配置数:2人 (中学校:2人)	不登校生徒復帰率:16.7%以上	【今後のスケジュール】 引き続き家庭や関係機関との連携を図りながら、登校支援を行い、学校復帰率を高める。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
	スクールカウンセラー活用事業	H25 ～ H33	学校生活や学級集団への不適応や対人関係での問題が生じている児童生徒に対して、スクールカウンセラーを配置し、児童・生徒、保護者、教師等との相談業務を行い、学校生活に適應できるよう支援する。	スクールカウンセラーの配置数:1人 (青少年センター:1人) カウンセリングの実人数:20名 相談支援件数:20名	相談を受けた児童生徒の内、症状が改善したと判断した割合(68.7%)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き子供たちの悩みを受け止め、学校におけるカウンセリング機能や教育相談体制の充実を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		秋田交流学习体験事業	H26 ～ H30	児童生徒が教育先進地である秋田県大館市の学習規律を学び、教師は指導方法や授業づくりについて学ぶため、交流学习体験を行う。また、秋田県の授業の実践や授業改善等の研修を行うため、大館市の教師を招聘する。	< 秋田県への派遣 > ・児童生徒：20人、教員：9人 < 秋田県からの招聘 > ・教員：3人	(派遣された児童生徒へのアンケート) ・学習規律を学ぶことができたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。 (研修会や報告会を受けた教師へのアンケート) ・授業環境の改善や指導法の工夫を行っていかうというスキル・意欲が身に付けられたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 秋田県学习交流事業の報告会を行い、秋田型授業のよさを理解し、各学校の授業改善を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 派遣された児童生徒のうち大多数が学習規律を学ぶことができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 研修や報告を受けた教師のうち大多数がスキル・意欲が身に付けられたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
		特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ H33	発達障害による特別な支援を要する児童生徒に対し、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、町内の各小中学校に特別支援教育支援員(教育サポーター、介助員)を配置する。	特別支援教育支援員の配置：28人(小学校：20人、中学校：8人)	対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き特別な支援を要する児童生徒に対して、十分な教育を受けることができるよう配置する。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3		廃棄物リサイクル事業	H25 ～ H33	沖縄県は離島県であり、土地利用には限りがあるため、ごみ処理処分場の長寿命化を図る必要があることから、町内から排出される草木をチップ化し、再資源化することで環境に負荷の少ない循環のシステムを構築する。	町民へ再資源化できる、廃棄物の分別徹底の周知を行う。 そのことにより、これまで以上の草木の収集に取り込む。	草木の再資源化(チップ化)量 683t	【今後のスケジュール】 今後も継続的に草木を再資源化することで環境に負荷の少ない循環のシステムを構築する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4		食育まんが啓発推進事業	H26 ～ H31	食育まんがを通じて栄養バランス等を含めた健康的な食生活の情報を周知することで、食生活や生活習慣の改善に対する意識の向上を図る。	食育まんがの製作(2本) 対象世帯等への配布(4,970部) ウェブブック化(2本) 食育推進事業の開催(4回)	アンケートを実施し、食生活の改善に対する意識の向上が図られたか(80%以上)を含め、住民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に食育まんが制作及び配布を行い、町民の食生活や生活習慣の改善に対する意識の向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が意識の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	避難施設防災機能強化整備事業	H25 ～ H31	防災機能強化として、非常食料の備蓄、生活必需品の備蓄、避難所設置応急対策備品の導入を行い、災害時の町内避難者や観光客等の食料及び飲料水等の確保を図る。	町内の避難所へ備蓄品等の配置及び保管用備蓄倉庫の設置(屋良小学校・屋良幼稚園 2ヶ所)	町内避難者及び観光客等の非常食料等備蓄率94%	【今後のスケジュール】 町内の避難所へ備蓄品等の配置 ・H31 2箇所整備 100% 完了予定 町内避難者及び観光客等の非常食料等備蓄率 ・H31 100% 完了予定 ・備蓄を完了後は、保存期限が過ぎた備蓄品の更新を年次的に行い、大災害に備える。 ・整備した資材を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	【H30成果目標設定の考え方】 避難施設数及び避難者数(住民及び観光客)を勘案し設定した。	
5	嘉手納町防災情報発信強化事業	H29 ～ H31	災害時において町民及び観光客等の安全の確保を図るため、屋外拡声装置を取り付けた防災無線子局を設置する他、放送室など親局機能を整備して防災無線システムをデジタル化に構築する。	嘉手納町防災システム基本計画(H29年度策定)を基に防災システムの実施設計を策定する。	防災システムの実施設計書の作成。	【今後のスケジュール】 H30年度策定予定の実施設計を基に、H31年度にて、行政防災無線のデジタル化及び防災情報システムの構築を行う。 【H32成果目標】 防災無線を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する	【H32成果目標設定の考え方】 ・整備した防災無線を活用した避難訓練を実施・検証することで適切な防災体制の確立に資すると考え設定した。また、回数については過去の実績を参考に設定した。	
6	嘉手納町民俗資料館等基本計画事業	H30 ～ H30	嘉手納町民俗資料館等複合施設を整備することで、本町の歴史文化の継承を図るため、嘉手納町民俗資料館等複合施設の建設に向け、基本計画を策定する。	基本計画の策定 事業活動計画 展示計画 運営計画	嘉手納町民俗資料館等複合施設基本計画の策定完了	【今後のスケジュール】 H30 基本計画 H31 基本設計 H32 実施設計 H33～H34 建設工事 H35 展示設営工事 【今後の成果目標】 ・本事業で策定する基本計画を基に、歴史文化の継承に向けた施設整備事業の実施につなげる。	【今後の成果目標設定の考え方】 ・本事業で策定する基本計画に基づき施設整備計画を検討するため、円滑な整備事業の実施につなげることを成果目標として設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		嘉手納町民俗資料室 収蔵品活用事業	H30 ～ H30	民俗資料室に収蔵されている資料をデジタル化し、当該資料を活用した学習会等を開催することで、町民等が歴史民俗に対する理解を深め、学術の振興に寄与する。	嘉手納町民俗資料室収蔵品台帳の作成	嘉手納町民俗資料室収蔵品台帳の作成完了	【H31成果目標】 ・データベース化した資料を活用した学習会等の参加人数 40人 ・学習会参加者を対象にアンケートを実施し、町の歴史民俗に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【H31成果目標設定の考え方】 ・過去に実施した歴史文化講座の参加人数を参考にした。 ・学習会参加者の大多数の理解が深まったと考えられる80%以上を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
7		雇用促進事業	H25 ～ H30	就職相談窓口の開設及び就職支援セミナーを開催し、就労支援を行うことで、新規就労者の増加を図る。	相談窓口開設(毎週火・金曜日) 95日 セミナーの開催日数 45回	相談者及び受講者の内、就職が決まった人数(割合): 5.7%以上	【今後のスケジュール】 セミナーの内容を充実させ、求職者のニーズに合わせた講座を受講できるようにする。他部署(学校や福祉部、教育委員会窓口等)や他機関(社会福祉施設等)と情報共有を密にし、事業の周知徹底を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
8		嘉手納町公共施設等 省エネ化推進事業	H30 ～ H33	嘉手納町公共施設の照明を環境負荷の少ないLED照明にを整備する。	【嘉手納町総合福祉センター・嘉手納町地区コミュニティーセンターLED化事業】 ・照明設備のLED化により温室効果ガスの排出を抑制する。 【公園施設等照明LED化推進事業】 ・公園施設等照明LED化推進工事実施設計	【嘉手納町総合福祉センター】 ・CO2排出削減量 33,747(kg-CO2/年) 【嘉手納町地区コミュニティーセンターLED化事業】 ・CO2排出削減量 44,320(kg-CO2/年) 【公園施設等照明LED化推進事業】 ・公園施設等照明LED化推進工事実施設計の完了	【今後のスケジュール】 ・今後も嘉手納町地球温暖化防止計画目標(3,193,655kg-CO2)の達成に向け、町全体で継続してCO2削減を推進する。 ・H31～H33:LED化整備工事	【H30成果目標設定の考え方】 既存照明をLED化することで見込まれるCO2削減量を推計して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		北谷町観光物産プロモーション事業	H24 ~ H33	北谷町の知名度を一層向上させ、観光客の誘致を図るため、県外及び海外で観光プロモーション等を実施する。また、外国人観光客を誘致するため、多言語対応窓口の設置、多言語観光情報パンフレットの製作等及び外国人観光客へのニーズ調査を実施する。	(1)国内プロモーション 2箇所実施 (2)海外プロモーション 3箇所実施 (3)ちゃたんブランドロゴデザインの企画運営及び媒体露出 (4)外国人観光客ヘニーズ調査実施 (5)多言語対応窓口の設置、多言語観光情報パンフレット等の制作等	・観光情報センター利用者数57,440人以上 (うち外国人利用者数40,910人以上) ・外国人観光客ニーズ調査の完了	【H31成果目標】 外国人観光客ニーズ調査を踏まえ、観光誘客や外国人観光客の利便性の向上に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。 【今後のスケジュール】 外国人観光客ニーズ調査の結果を活用し、効果的な国内及び海外プロモーションを継続して実施する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去実績を勘案して設定した。 【H31成果目標設定の考え方】 調査中のため、当該数値に基づき観光振興施策を実施していくことを成果目標として設定した。
1		コミュニティバス導入調査検討事業	H26 ~ H30	観光客や町内の交通弱者の利便性・回遊性の向上を図るため、町内観光施設や商業施設等を周遊するコミュニティバスの実証運行を行う。	コミュニティバスの実証運行を実施し、その効果検証を行う。	バス利用者に利便性・回遊性の向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 平成29年度に実施したバス利用者アンケートや利用状況の分析等の結果をもとに運行改善等を実施し、本格運行導入の可否を判断するための調査及び検討を行う。	【H30成果目標設定の考え方】 利用者の大多数が利便性・回遊性の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。
2		英語指導助手派遣事業	H24 ~ H33	小学校の児童生徒の英語への興味・関心を高めるため、全小学校に各校1名(計4名)の英語指導助手(AET)を派遣する。(小学校配置のAETは、隣接する幼稚園兼務。月1時間以上) また、中学校生徒の英語能力の向上を図るため、全中学校に各校1名(計2名)の英語指導助手(AET)を派遣する。	各小中学校に1人の英語指導助手(AET)を派遣する。(小学校配置のAETは、隣接する幼稚園兼務。月1時間以上) ・小学校4名(各校1名、幼稚園兼務) ・中学校2名(各校1名)	小学校:児童の英語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 中学校:沖縄県学力到達度調査(英語、2月実施)の本町の平均正答率が、県の平均正答率との差 2.8%以内。	【今後のスケジュール】 次期学習指導要領における、小学校外国語科の導入に伴い、移行措置の段階から授業時数の増加に沿って、必要な勤務時間を増加させる。	【H30成果目標設定の考え方】 小学校:対象児童のうち大多数が興味・関心が高まったと考えられる値として設定。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。 中学校:過去実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	学力向上学習支援員派遣事業	H26 ~ H33	児童生徒の学力の向上を図るため、学習支援員を全小中学校に各校1名(計6名)配置し、個々の学力に応じた学習指導を行う。	学習支援員を全小中学校に1人配置する。 ・小学校4名(各校1名) ・中学校2名(各校1名) 対象科目:算数・数学 対象学年:・小学校 各学校の課題のある学年 ・中学校 1学年	沖縄県学力到達度調査(算数・数学、2月実施)の本町の平均正答率が、県の平均正答率との差 小学校 1.8%以内 中学校0.2%以上	【今後のスケジュール】 沖縄県学力到達度調査の県平均正答率を上回るよう、事業を継続的に実施していく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	スクールソーシャルワーカー派遣事業	H26 ~ H33	児童生徒の問題行動(暴力、喫煙、家出等)の改善を図るため、スクールソーシャルワーカーを1名配置し、問題を抱える児童生徒に対応した支援を行う。	スクールソーシャルワーカーを1人配置する。	町立小中学校の問題行動(暴力、喫煙、家出等)件数 ・小学校 8件以内 ・中学校 19件以内	【今後のスケジュール】 引き続きスクールソーシャルワーカーを配置する	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	北谷町ハワイ短期留学派遣事業	H25 ~ H33	海外での生活や体験を通して国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、本町の中高生をハワイへ短期留学させる。	・中・高校生ハワイ短期留学派遣:15人 ・派遣生の事前研修 ・派遣後の事後報告会及び報告書の作成	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に中・高校生のハワイ短期留学派遣を実施し、国際的な広い視野を持つ人材育成を行っていく。	【H30成果目標設定の考え方】 対象児童のうち、大多数が国際的な視野が広まったと考えられる値として設定。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	
2	北谷町電子黒板整備事業	H30	学校教育の質の確保や教員のICT機器の習熟を図るため、町内4小学校及び2中学校の普通教室、特別支援教室及び理科室へ電子黒板を整備し、動画、書き込み機能等を活用したわかりやすい授業を実践する。	・電子黒板の整備 ・町立小中学校普通教室、特別支援教室及び理科室 合計127台	電子黒板の整備完了	【H31成果目標】 ・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する ・教員にアンケートを実施し、ICT機器の習熟度が上がったか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する 【今後のスケジュール】 整備した電子黒板を積極的に活用し、わかりやすい授業実践に向け取り組む。	【H31成果目標設定の考え方】 ・児童生徒へのアンケート調査を実施し、本事業のあり方を検証する。成果目標としては大多数が理解していると考えられる数値として「80%以上」と設定した。 ・教員へのアンケート調査を実施し、本事業のあり方を検証する。成果目標としては大多数が習熟していると考えられる数値として「80%以上」と設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	跡地利用推進事業	H24 ～ H33	キャンプ瑞慶覧の返還後、速やかに事業着手できるよう、跡地利用基本構想の策定等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ桑江南側：地権者への継続的な情報提供 ・キャンプ瑞慶覧倉庫地区：跡地利用基本構想策定(まちづくりに向けた基本方針等) ・キャンプ瑞慶覧コリドー地区：跡地利用基礎調査の実施(跡地利用に関する基礎的条件の整理等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・跡地利用基本構想の策定(キャンプ瑞慶覧倉庫地区)の完了 ・跡地利用基礎調査の完了(キャンプ瑞慶覧コリドー地区) 	【H32成果目標】 跡地利用計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上 【今後のスケジュール】 H30 基本構想 H31 基本計画	【H32成果目標設定の考え方】 大多数から肯定的な評価を得ていると考えられる数値として設定した。	
4	国際交流派遣事業	H30	海外と本町との繋がりを強めるため、ハワイへ町内無形文化財保存団体を派遣し、ハワイの県人会、町人会との交流会を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・フェスティバル参加(演舞2回) ・県人会、町人会との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会参加者へのアンケート ・海外と本町との繋がりが強まったか(80%以上)を含めアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・交流会参加者数150人 	【今後のスケジュール】 ・町内・外の文化芸能に関する活動の強化 ・町内の指定無形文化財保存団体等同志の情報の共有化を図る	【H30成果目標設定の考え方】 ・参加者の大多数が繋がりが強まったと考えられる値として設定した。また、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・過去の実績を勘案して設定した。	
5	北谷町特定駐留軍用地内土地取得基金事業	H25 ～ H33	駐留軍用地の有効かつ適切な跡地利用を推進するため、基金を造成し、キャンプ桑江の土地の先行取得を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・基金の積立 	特定事業の用に供する土地取得目標3,543㎡(達成率約66%) 達成率：先行取得目標面積(83,000㎡)に対する累積取得面積の割合	【今後のスケジュール】 H31～H33 基金積立及び土地先行取得	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績及び残りの必要取得面積を勘案し設定した。	

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		ツーリズム「北中城」促進事業	H24 ～ H33					
1		あやかりの社滞在型施設活用事業	H24 ～ H33	観光客誘客及び伝統文化等の継承を図るため、沖縄の自然を活かした野外活動や沖縄の伝統文化を体験できる事業を実施する。	・体験交流事業:15事業	・体験交流人数:390人	【今後のスケジュール】 今後も継続的に魅力ある事業を企画し、参加者の確保に努める。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
		北中城まつり活性化事業	H24 ～ H33	観光誘客を図るため、伝統芸能プログラムを中心とした夏の「青年エイサー」、秋の「北中城しおさいまつり」、沖縄の温暖な気候を活かした冬場の「ひまわりin北中城」を開催する。	・北中城村三大まつりの開催支援	・青年エイサーまつり来場者数:6,600人 ・しおさいまつり来場者数:22,700人 ・ひまわりまつり来場者数:48,300人	【今後のスケジュール】 内容改善を行いながらH33まで事業を継続して展開し、まつりを通して伝統芸能等の保存・継承及び地域活性化を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
		観光誘客プロモーション事業	H26 ～ H33	村内への観光誘客を図るため、多言語観光案内業務や観光多言語案内冊子等の製作配布、観光イベントでのプロモーションを実施する。	・多言語観光案内業務の実施 ・観光多言語案内冊子等製作配布(60,000部) ・観光イベントでのプロモーション(国内2イベント、海外2イベント)	・村内主要観光施設(中城城跡・中村家住宅)来場者数:158,000人	【今後のスケジュール】 今後も継続的に県内外イベントへ参加し、北中城村をPRしていくと共に、観光協会と連携した認知度向上や観光客誘客を図っていく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
		公営墓地整備事業	H24 ～ H32	沖縄独特の墓地散在化の抑制と整理、景観的な配慮や住環境の改善を図るため、公営墓地用地取得及び進入路実施設計を実施する。	・用地取得 ・進入路実施設計	・用地取得の完了 ・公営墓地進入路実施設計の完了	【H33成果目標】 ・公営墓地利用世帯:35世帯 【今後のスケジュール】 H30:公営墓地用地取得・進入路実施設計 H31:公営墓地進入路工事・公営墓地整備工事 H32:納骨堂建築工事	【H33成果目標設定の考え方】 北中城村公営墓地整備基本計画の策定時に実施した村内意向調査を加味して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		ライカム交差点交流オアシス整備事業	H28 ～ H31	本村の魅力を伝えられるような景観形成を図るため、ライカム交差点の道路残地を活用した交流スペースの整備を行う。	・オブジェ(13基)の設置実施 ・植栽、人工芝の設置	・オブジェ(13基)の設置完了	【H32成果目標】 供用開始後1年目(H32年度)の目標を以下のとおりとする。 ・地域交流イベント等への参加者に対し、魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 平成28年度 基本設計 平成29年度 実施設計 平成30～31年度 整備工事 平成32年度 供用開始	【H32成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケート調査により検証する。
		地域発信型映画制作事業	H29 ～ H31	村の伝統や文化、美しいロケーションのPRによる観光誘客を図るため、地域発信型映画を活用した観光プロモーションを行う。	・映画祭へのエントリー出品(5カ国) ・県内上映イベント開催(1回) ・村内カフェ上映会(10箇所)	・村内主要観光施設(中城城跡・中村家住宅)来場者数:158,000人	【今後のスケジュール】 H31の取り組み ・村内自治会公民館上映(14自治会) ・県内地上波放送(1局) ・村図書館でのDVD等貸し出し	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
		観光情報インフラ整備推進事業	H28 ～ H33	村内を訪れる観光客からのニーズが高い通信環境の整備を促進し外国人観光客の利便性の確保を図るため、村内観光スポット等を訪れる観光客に対し、Wi-Fi及び付加サービスの提供、観光ポータルサイトの多言語機能を追加する。	・観光ポータルサイト機能追加(多言語化機能追加:韓国語)	・Wi-Fi認証ベース利用数:23,400件 ・利便性が確保されたか(80%以上)を含め、ポータルサイトを韓国語利用した外国人に対するアンケートで、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 Wi-Fiアクセスポイントを利用し、観光客の国籍毎、季節毎の特徴、昼間の観光地、夜の宿泊地の滞在分析、本村内で多く訪れている場所の分析、主要な流入・周遊ルートの実証を行うことで動向を調査する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
		観光周遊バス実証事業	H30 ～ H33	大型商業施設と世界遺産中城城跡を周遊バスで結び、村内への観光誘客を図るため、運行に向けた実証事業の準備を実施する。	・地域活性化公共交通協議会の開催 ・実証事業に向けた検討	・実証事業準備の完了	【H32成果目標】 実証事業開始後(H32)の目標を以下のとおりとする。 ・年間バス利用者数:15,000人	【H32成果目標設定の考え方】 H24北中城村観光コミュニティバス導入検討業務報告書、H28観光要覧(沖縄県)、H28北中城村観光情報インフラ整備推進計画を基に設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	詳細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
		アワセゴルフ場周辺まちづくり整備事業	H27 ～ H31	アワセゴルフ場跡地を中心に、返還予定のロウワープラザ地区やその周辺一体が村の観光交流拠点としてまちづくりが行えるよう基本構想の検討を行う。	・基本構想の検討	・基本構想の策定	【H31成果目標】 策定する基本計画において成果を設定する。 【今後のスケジュール】 H31:基本計画策定	【H31成果目標設定の考え方】 基本計画で成果を策定するものとして設定した。
		リュウキュウマツ保全事業	H28 ～ H33	魅力的な観光資源のひとつとして、自然の保全、景観・美観の創出、継承するため、沖縄県木であるリュウキュウマツの計画的な薬液樹幹注入及び松くい虫被害木の伐倒駆除を実施する。	・樹幹注入:1000本	・薬剤注入完了	【H31成果目標】 予防達成率90%以上 【今後のスケジュール】 H31～H33:伐倒駆除	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
		荻道・大城湧水群周辺環境整備事業	H24 ～ H33	「平成の名水百選」に選ばれた荻道・大城湧水群を新たな観光資源としての活用を図るため、必要な湧水の確保対策に向けた検討及び散策路として整備するための実施設計を行う。	・観光・健康散策路整備実施設計 ・湧水再生に向けた調査・検討	・散策路整備実施設計の策定 ・湧水再生に向けた調査検討完了	【H34成果目標】 散策路整備により満足度が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。 【今後のスケジュール】 H31～H33:散策路整備工事	【H34成果目標設定の考え方】 観光客等のうち大多数が満足度が向上したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケート調査により検証する。
		多言語観光案内サイン整備事業	H30 ～ H33	大型商業施設開業、クルーズ船寄港により増加する外国人観光客の利便性・安全性の向上を図るとともに、観光スポットへ誘導し、本村を周遊することを目的に多言語観光案内板を設置する。	・多言語観光案内板の設置:4基 ・避難誘導サインの設置:2基 ・周辺案内板の設置:3基	・多言語観光案内板設置完了:4基 ・避難誘導サイン設置完了:2基 ・周辺案内板設置完了:3基	【H34成果目標】 多言語案内板等により外国人観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。 【今後のスケジュール】 H31～H33:案内板等設置工事	【H34成果目標設定の考え方】 外国人観光客等のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケート調査により検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	駐留軍用地跡地等利活用事業	H24 ～ H32						
2	アワセゴルフ場地区歴史・まちづくり映像保存事業	H24 ～ H32	駐留軍用地の返還から跡地開発までの一連の流れを後世に伝えるため、アワセゴルフ場跡地の返還合意から跡地利用までの映像による記録及び編集を行う。	・住宅建築や公共施設建築等記録映像の撮影時間:3時間	・全体の記録映像の作成進捗率 78%	【H33成果目標】 ・村HP年間アクセス数:660回 【今後のスケジュール】 今後も継続的に記録映像の撮影を行い、跡地開発についての周知を図る。	【H33成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
	キャンプ瑞慶覧特定駐留軍用地推進基金事業	H25 ～ H30	キャンプ瑞慶覧ロウワープラザ地区の跡地利用を促進するため、これまで積立てた基金を活用し、公有地の先行取得を行う。	・公共用地の取得:1,206㎡	・全体用地取得率:100%	【今後のスケジュール】 公有地取得拡大に向けた先行取得事業の完了を目指す。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	雇用対策事業	H24 ～ H33						
3	雇用サポートセンター事業	H24 ～ H33	地域に密着した就業支援による求人登録企業と失業者のマッチングによる雇用機会の創出を図るため、雇用サポートセンターを設置する。	・登録企業の開拓(50件) ・求職者個別支援(40件)	・就業率:5%以上	【今後のスケジュール】 今後、母子世帯、生活困窮者並びに高齢者等の要支援者に対する就業支援に努める。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
	グッジョブ連携推進事業	H27 ～ H33	児童生徒の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、出前フォーラム、校内ハローワーク等を実施する。	・ジョブシャドウイングの実施(小学校2校) ・職場体験の実施(中学校1校) ・出前フォーラムの開催(高校1校) ・校内ハローワークの開催(1回) ・きたなかティーンJOBクラブの実施	・就業に対する意識が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 沖縄県の基幹産業である観光分野との連携を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数が就業に対する意識が向上したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケート調査により検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	農水産アクティビティ事業	H24 ～ H33						
4	営農支援強化事業	H24 ～ H33	専門性の高い営農指導員の指導を行うことで、農業者に対し生産から販売までの安定した営農体制の支援を実施する。また、安定した農業経営に必要なパイプハウス施設整備支援を行う。	指導員の配置:2名 パイプハウス施設の整備補助:2基	・指導した農家の年間出荷額:3,456千円以上 ・パイプハウス施設の整備完了	【H31成果目標】 パイプハウス施設整備について、当該施設から生産される農作物の年間出荷額 インゲン321千円以上 パッションフルーツ629千円以上 【今後のスケジュール】 新規就農者に対する生産・販売体制の支援、既存農家の営農のレベルアップによる農業経営の安定化を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 【H31成果目標設定の考え方】 北中城村「農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想」で掲げる目標に基づき設定した品目別の目標出荷額から策定した。	
	地域ブランド構築事業	H24 ～ H33	特産品の販売促進を図るため、過年度に開発した商品のブラッシュアップや特産品取扱店舗の維持・開拓、既存商品のテストマーケティングやPR活動を実施する。	・開発した特産品取扱店の維持・開拓 ・既存商品のテストマーケティング及びPR	アーサクッキー販売額:120千円 アーサ麺販売額:880千円 パッションスイーツ販売額:60千円 トロピカルブレンドティー販売額:17千円 パッションフルーツスカッシュ販売額:17千円 パッションフルーツタコライス販売額:55千円	【今後のスケジュール】 既存商品のフォローアップを引き続き行なうとともに、販路拡大等を行なう。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		農を活かした北中城活性化事業	H28 ~ H33	<p>水耕栽培実証実験を継続し、その栽培品目による6次産業化商品の試作開発や市場性等の検証を行う。</p> <p>また、水耕栽培施設に必要なエネルギーや耕作放棄地の再生に資する堆肥等を再生可能資源(食物残渣)で賄うための実証実験に向け、設備・装置の構築(製作)検討を図り、設備・装置の導入及び実証実験の実施に向けた基本計画の策定を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水耕栽培実証実験の実施 6次産業化商品の試作開発及び市場性の検討 再生可能資源を活用したエネルギー化・堆肥化等の設備・装置の構築(製作)検討及び実証実験の実施に向けた基本計画の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 水耕栽培実証実験の完了 6次産業化試作品の開発:3品 再生可能資源を活用したエネルギー化・堆肥化等の設備・装置の構築(製作)検討報告及び実証実験の実施に向けた基本計画の策定 	<p>水耕栽培の実証 【H32成果目標】 水耕栽培農業者の増:0 6人 【今後のスケジュール】 H30:実証実験(4/10品) H31:実証実験(2/10品)及び実験設備の研修活用(マニュアル作成・オペレーション実習等)による水耕栽培農業者づくりを開始</p> <p>再生可能資源の実証 【H35成果目標】 民間によるバイオガス発電設備設置数:0 2件(H35) 【今後のスケジュール】 H31:実証実験設備などの実施設計及び実証実験の実施計画書の策定 H32:実証実験設備導入企業の選定と設備導入・設置及び稼働試験などの実施 H33-H34:実証実験(実施)</p>	<p>【H32成果目標設定の考え方】 北中城村「まち・ひと・しごと創生」総合戦略の指標である新たな新規就農者数を設定した。</p> <p>【H35成果目標設定の考え方】 平成28年度総務省調査で検討された値を勘案して設定した。</p>
		農を活かした健康・福祉のづくりに向けた推進事業	H30 ~ H31	<p>農を活かした健康福祉施設整備を実施するため、県・国等の部局と調整・協議を図り、本事業を推進していくため住民調整・意向把握、実施計画の策定を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 県、国関係部局との調整、協議を実施 住民調整、意向把握の実施 実施計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> 実施計画策定完了 	<p>【H31成果目標】 策定する実施計画において成果を設定する。</p> <p>【今後のスケジュール】 H31:整備検討、地元調整、関係機関調整</p>	<p>【H31成果目標設定の考え方】 実施計画で成果を策定するものとして設定した。</p>
5		国際化・ICT人材教育推進事業	H24 ~ H33					
5		総合英会話指導支援事業	H24 ~ H33	<p>生きた英語に触れることで、児童生徒の英会話への興味・関心を高めるため、村立小中学校に英会話指導員を配置する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 英会話指導員の配置 小学校:1人 中学校:1人 幼小兼務:1人 	<ul style="list-style-type: none"> 英語検定(英検Jr.含む)の受検者数:435人 英会話に対する興味・関心が高まった割合:80%以上 	<p>【今後のスケジュール】 教科担当とチームティーチングによる指導により、文法を活用した会話法などを指導する。</p>	<p>【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		アメリカ教育機関ネットワーク形成事業	H24 ～ H33	英会話力・英作文力・英文読解力の向上を図るため、米国教育機関との小・中・高校生向けのWEBシステムを活用した英語講座を実施する。	・中高生クラス:64回 (前期32回・後期32回) ・小学生クラス:64回 (前期32回・後期32回)	・定期テストにおける英語習熟度:講座を受けた生徒全員80点以上	【今後のスケジュール】 米国教育機関との小・中・高校生向けのWEBシステムを活用した英語講座を行う。	【H30成果目標設定の考え方】 英語力の習熟度が高まったと判断できる値として設定した。
		海外子弟青年交流事業	H24 ～ H33	海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、南米3カ国(ペルー、アルゼンチン、ブラジル)の村人会に研修生を派遣するとともに、当該3カ国から研修生の受け入れを実施する。	・北中城村青年派遣生人数:2人 ・海外移住者子弟受入生人数:3人	・受け入れた研修生が、沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め、アンケートで本事業のあり方を検証する。 ・派遣した研修生が、海外の子弟と交流することによって派遣先の文化や歴史に興味を持ったか(80%以上)を含め、アンケートで本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 南米3カ国(ペルー・アルゼンチン・ブラジル)の村人会に研修生を派遣する。また、上記の3カ国から研修生を受け入れる。	【H30成果目標設定の考え方】 参加者のうち大多数が沖縄・派遣先の文化歴史に興味を持ってたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6		歴史文化継承基盤整備事業	H24 ～ H33					
6		琉球歴史風致資産調査事業	H24 ～ H33	村の伝統や文化を継承し住民の理解を深めるため、歴史風致資産について、文献資料による補足調査を行うとともに、村内で行われている伝統的な民俗祭祀行事について、映像記録の作成・編集、聞き取り調査及び関連史料の収集・内容分析を実施する。	・民俗祭祀行事調査の取りまとめ:30件 ・調査記録の公開に向けた編集及び監修作業:15件	・歴史風致資産等に関する詳細資料の完成	【H33成果目標】 WEB公開による年間アクセス数:660回 【今後のスケジュール】 今後も継続して、文献資料による補足調査、記録映像の撮影、民俗祭祀調査のとりまとめを行い、村の伝統や文化の継承および住民への理解を深める。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
7		教育環境充実サポート事業	H25 ～ H33					
7		特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ H33	特別な支援を要する障害がある児童生徒について、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、村立幼稚園、小学校、中学校に特別支援教育支援員を配置する。	特別支援教育支援員の配置 小学校2校:12名 中学校1校:5名 幼稚園1園:5名	・支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に障害を持った子や発達障害が気になる子に対し、支援員による身辺自立の介助や対人関係の手助け、学習補助などの支援を行う。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が支援員に対して満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		学習支援員配置事業	H27 ～ H33	学習の遅れがちな児童生徒に対する支援を行うため、村立小中学校に学習支援員を配置する。	学習支援員の配置 小学校2校/2名 中学校1校/1名	沖縄県学力到達度調査における平均正答率30%未満の割合及び無答率の減少 ・正答率30%未満の割合 小学5年生:算数(18.5%以下) 中学2年生:数学(37.6%以下) ・無答率 小学5年生:算数(6.8%以下) 中学2年生:数学(10.5%以下)	【今後のスケジュール】 今後も継続的に学習の遅れがちな児童生徒に対し、声かけや助言等を行う。また、補習授業での個別支援を実施する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
		児童生徒の県外派遣旅費等支援事業	H29 ～ H33	県外大会への参加を全児童生徒に等しく機会を与え、児童生徒の視野を広げるため、学校教育の一環として派遣されるものに対し派遣費用を補助する。	県外大会への派遣団体数:5団体	・派遣された児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に派遣費用の補助を行い、県外大会へ参加する全児童生徒に等しく機会を与えることにより、児童生徒の視野を広げる。	【H30成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
		小中学生県外派遣支援(社会教育関連)事業	H29 ～ H33	県外大会への参加を全児童生徒に等しく機会を与え、子ども達の視野を広げるため、社会教育の一環として派遣されるスポーツや文化活動に対し航空運賃を補助する。	県外大会への派遣者数:26名	・派遣された児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に派遣費用の補助を行い、県外大会へ参加する全児童生徒に等しく機会を与えることにより、児童生徒の視野を広げる。	【H30成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
8		健康長寿のまちづくりアクション事業	H26 ～ H33					
8		健康長寿のまちづくりアクション事業	H26 ～ H33	村の健康課題にアプローチし、多くの村民に運動習慣の啓発を図るため、健康イベントを開催する。	・定例健康イベント(5回)	・各種健康イベントへの総参加者数:507人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に定例健康イベントをヘルスツーリズム商品として展開し、観光協会自主事業として展開していく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
9		エコアクション推進事業	H24 ～ H33					
		公共施設等エコアクション推進事業	H24 ～ H33	省エネルギー設備の導入による積極的なエコアクションを推進する取り組みとして、村道や自治会管理の既存照明機器等のLED化を実施する。	・既設街灯電球をLEDへ切替	・既設街灯のLED照明化:14基	【H31成果目標】 既存街灯14基のLED化によるCO2排出削減量 5.9t-CO2 【今後のスケジュール】 LED化の取り組みについて広報等で周知を図り、村民に対し省エネや温室効果ガス削減に向けた啓発を行う。	【H31成果目標設定の考え方】 既存照明からLED照明に切り替えた際のCO2排出削減量を基に設定した。
10		災害対策強化事業	H24 ～ H33					
		防災体制整備事業	H30 ～ H33	住民や観光客を想定した備蓄食料、生活物資、防災用品の整備を行う。	・備蓄食料の整備:1,900食 ・防災用品の整備	・H30 備蓄食料の整備率:25% ・H30 防災用品整備	【H34成果目標】 整備した備蓄品等を活用した防災訓練(3回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 H31～H33:備蓄食料整備	【H34成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
		北中城村地域防災計画等策定事業	H30	新たな法律や基準、観光客等を考慮した地域防災計画の見直しを行う。また、その計画に基づき防災マップを策定し観光客及び住民へ配布する。	・北中城村地域防災計画の策定 ・防災マップの作成	・地域防災計画の作成完了 ・避難勧告マニュアルの作成完了	【H31成果目標】 策定した地域防災計画を活用した防災訓練(3回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 ・見直しを行った地域防災計画に基づき様々な災害に備える。 ・村HP上での公開及び商業施設等での配布を行うことにより、観光客や転入者等へも周知を図る。	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		防災体制整備事業	H26 ～ H30	災害に強く、安心して暮らせる村づくりを推進するため、災害時に村民や観光客等が避難所生活を送ることとなった際に、物資の搬送が開始されるまでの非常食の備蓄整備を行う。また、災害時の効率的・実働的な対応ができるよう災害対策の備品整備等の拡充や防災マップ更新作業を行う。	・非常食 1,250食 ・防災マップの強化 ・ソーラー信号機の整備	・備蓄食料 整備率100% (H30年度末整備率 9,000食 / 全体計画 9,000食) ・防災マップの更新完了 ・ソーラー信号機の整備完了	【H31成果目標】 整備した防災マップ及びソーラー信号機を活用した避難訓練(2回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実施回数を勘案して設定した。
1		防災拠点及び地域交流施設整備事業	H28 ～ H30	災害時等における迅速な対応を行えるよう、防災訓練を行うとともに、地域交流を促進しながら地域一体となった防災への意識を高めるため、防災拠点施設整備を行う。	防災拠点施設の建築工事の実施	防災拠点施設の建築工事の完了	【H31成果目標】 ・整備した防災拠点施設を活用した避難訓練(2回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 ・夏祭りや敬老会等、地域交流イベントの参加者数 350人	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2		吉の浦公園施設機能強化整備事業	H25 ～ H33	プロサッカーチームの一時キャンプや各種スポーツの練習、大会会場や文化交流等、様々なイベント会場として利用されている吉の浦公園各施設の更なる利活用に向けて、サッカー専用の芝生を有するサッカー場の管理体制の強化及び適正管理を行いスポーツコンベンションの推進を図るとともに、吉の浦会館施設の設備機能強化を行い、利用者の利便性確保を図る。	・ごさまる陸上競技場芝生の適正管理 ・ごさまる陸上競技場芝生管理機械購入 ・トイレ設備の機能強化に係る設計の実施	プロサッカーチームの合宿誘致件数:2件 トイレ設備の機能強化に係る設計の完了	【今後のスケジュール】 プロサッカーキャンプを誘致するため継続してサッカー専用芝生の適正管理を行う。 【H32成果目標】 利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について会館利用者へのアンケートで検証する。	【H30成果目標設定の考え方】 キャンプ実施期間(1月～2月)に受け入れ可能なチーム数を目標として設定した。 【H32成果目標設定の考え方】 利用者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2		観光客誘客促進事業	H25 ～ H33	世界遺産「中城城跡」の認知度向上や伝統芸能の発展に寄与させるため、世界遺産を活かした各種観光イベントを実施し、中城村の観光誘客を促進させることで、地域活性化及び商工・観光振興を図る。	観光振興イベントの開催	・イベント来場者数:11,000人 ・伝統芸能団体出演者数:31人	【今後のスケジュール】 イベント内容の強化を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		プロサッカーキャンプ支援事業	H25～H33	スポーツコンベンションの推進による地域活性化や観光地の魅力発信を図るため、プロサッカーチームのキャンプ誘致活動を行うとともに、受入キャンプの支援を行う。	・プロサッカーチームの誘致活動の実施 ・キャンプの支援事業実施	・キャンプ見学者数:8,800人	【今後のスケジュール】 プロサッカーチームのキャンプ受入を支援し、継続的なキャンプ誘致を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績に基づき設定した。
2		観光振興地盤強化整備事業	H28～H30	世界遺産「中城城跡」を活用した観光イベントやプロスポーツキャンプ等、村内の観光振興の受入基盤を強化するため、誘客施設である吉の浦公園付近に公共駐車場を整備し、観光振興の促進を図る。	・建設地磁気探査調査の実施 ・建設地工事の実施	公共駐車場整備工事完了	【H31成果目標】 利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該駐車場のあり方について観光客や村民等へのアンケートで検証する。	【H31成果目標設定の考え方】 利用者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2		観光地周辺環境美化事業	H29～H33	観光地及び観光地へのアクセス道路の美化清掃等を行い、観光客の満足度向上・観光振興を図る。	・環境美化作業員 6名 ・中城城跡環境向上作業員 10名 配置し、美化清掃等を実施。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 継続して美化清掃等を実施	【H30成果目標設定の考え方】 アンケート対象者の大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3		海外移住者子弟研修生受入事業	H25～H33	海外に移住した中城村出身者の子弟を研修生として受け入れ、沖縄の歴史や文化に触れ、村民との交流を通し、それぞれの生まれ育った国や地域への理解を深め、海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図る	・国際交流の機会の提供 ・移住の歴史について興味喚起 ・海外に移住した中城村出身の子弟を研修生として受け入れる。	沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め、子弟へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 ・10月30日の「ウチナーンチュの日」に合わせ受入時期を検討 ・受入研修生数(H33累計):26名	【H30成果目標設定の考え方】 対象者の大多数がより興味を持ったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ～ H33	児童生徒がコンピュータ・や情報通信ネットワークに慣れ親しみ適切に活用できるよう、情報教育補助員を配置し、授業支援や環境整備を行う。	・情報教育補助員 1人配置 ・年200時間の授業支援	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上 ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:80%以上 上記アンケートの結果を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き、学校において情報機器ネットワークに慣れ親しむための環境整備、ITスキルの向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者の大多数が肯定的に評価していると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4			きめ細かな児童生徒支援事業	H24 ～ H33	特別な支援を必要とする児童生徒に対し、個に応じた支援を行うため、特別支援員を配置する。 また、不登校や発達障害等の課題解決を図るため、教育相談員と心理相談員を配置する。	特別支援員配置 21人 幼稚園 6人 小学校 12人 中学校 3人 相談員の配置 教育相談員 3人 心理相談員 1人	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 不登校児童生徒復帰率60%以上	【今後のスケジュール】 引き続き日常的な教育相談活動を通して不登校児童等の減少へと繋げ安全な教育環境の提供を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象児童生徒の保護者の大多数が満足していると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 過去の実績を参考に設定した。
4			学力向上のための学習支援事業	H29 ～ H33	将来の沖縄振興に資する人材の育成に向けて、学力の向上を図るため、村内中学校に学習支援員を配置する。	・学習支援員配置 中学校3人	沖縄県学力到達度調査(数学)において、県と本村との平均正答率の差-4.5ポイント以上	【今後のスケジュール】 引き続き生徒一人一人に合った学習支援を行い、学力の向上につなげる。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績に基づき設定した。
4			子育て保育支援事業	H29 ～ H33	心身に障がいのある児童又は、発達に遅れのある特別な支援が必要な児童を、保育所等で受入れるために保育士を加配し、一般の児童と共に集団保育を行う体制を構築する。また支援が必要な児童へのきめ細かい対応を図るため、専門相談員を配置し、各保育施設等への巡回を行い支援体制の強化を図る。	・加配職員数16人 ・巡回指導対象保育施設件数 公立1ヶ所 法人10ヶ所 認可外6ヶ所	・保育園での生活の困難が改善されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・心理士への相談により育児や保育に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者・保育士へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き、加配職員及び専門相談員を配置し、子育て保育環境の整備を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 ・対象者の大多数が保育園での生活の困難が改善されたと考えられる指標として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・対象者の大多数が改善されたと考えられる指標として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			国際理解人材育成事業	H24 ～ H33	沖縄振興の発展に重要な国際的感覚や視点を身に付ける人材育成のため、英語指導の補助員を配置し、学校の外国語活動及び国際理解教育を充実させる。	・英語指導員配置 中学校 1人 ・授業支援 中学校 490時間	沖縄県学力到達度調査(英語)において、県と本村との平均正答率の差±0ポイント以上	【今後のスケジュール】 ・引き続き国際社会に対応する能力を身に付ける人材育成を推進する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績に基づき設定した。
4			子育て支援施設機能強化整備事業	H30 ～ H30	児童生徒に向けた各種放課後教室等や遊びの場を提供している村内施設を安全に利用できるよう機能強化整備を実施し、健全に成長できる環境を整える。	・機能強化整備の実施	・機能強化整備の完了	【H31成果目標】 ・強化整備実施箇所における危険事例の発生件数:0件	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績に基づき設定した。
4			ひとり親家庭学童利用支援事業	H30 ～ H33	学童クラブがひとり親家庭の学童利用者に対し利用料を減免した場合の補助を実施し、ひとり親家庭でも安心して子育てができる環境を整える。	・学童への支援の実施	安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、ひとり親家庭の保護者へのアンケートにより本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 継続して学童クラブへの支援を実施する	【H30成果目標設定の考え方】 アンケート対象者の大多数の保護者が育児の負担感が軽減されたと考えられる数値として目標値とした。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5			文化財悉皆及び中城村沖縄戦・移民調査事業	H25 ～ H33	村民の文化財保護意識高揚と活用を図るため、囑託調査員による村内文化財の悉皆調査を行い文化財の位置や現況を把握する。 また、中城村内における沖縄戦の経緯などの調査や、中城村の近現代史を語るうえで重要な移民に関する調査について、囑託調査員による調査を行い、それらの記録を残すことで、中城村の歴史を継承していく。	【文化財悉皆調査】 ・各集落での聞き取り調査の実施 ・調査概報(各字ハフレット)の作成:2字 【沖縄戦調査】 ・沖縄戦調査員による沖縄戦調査 【移民調査】 ・移民調査員による移民調査	【文化財悉皆調査事業】 ・悉皆調査率 83% (H30年度調査済15字/全体計画18字) 【沖縄戦調査】 ・沖縄戦の調査における記録 100件 【移民調査】 ・中城村における移民に関する基礎調査の完了	【H31成果目標】 調査した内容を活用した企画展示会の来場者数:1,500人 【今後のスケジュール】 調査した内容を活用した企画展等を開催	【H31成果目標設定の考え方】 類似の企画展等の実績を参考に設定した。
5			村内文化財整備事業	H28 ～ H30	中城村指定有形民俗文化財「津覇のテラ」の環境整備を行い、人々への周知を図り見学してもらうことで、文化財愛護意識を高め文化財の継承を図るとともに、文化財巡り等で活用を行っていく。	環境整備工事、設計・監理委託、測量委託	「津覇のテラ」整備に係る測量・設計完了	【H31成果目標】 津覇のテラを活用した学習会等の参加者数:50人	【H31成果目標設定の考え方】 類似の学習会等の実績を参考に設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	中城村地域多世代交流活性化事業	H29 ～ H33	伝統文化の振興及び継承促進を図るため、組踊の演舞及び継承等を行っている村内団体の活動を支援する。	・村内組踊団体への補助の実施	組踊出演者数 70人 上演来場者数 500人	【今後のスケジュール】 引き続き村内地域における団体等への補助を実施し、交流等とおして伝統文化等の振興を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 演者数及び会場規模を基にした来場者数を成果目標として設定した。	
6	中城村農業振興ビジョン策定事業	H30 ～ H31	年々就業者数や生産高が減少している中城村の農業を推進するため、村の特徴や魅力を活かした総合的かつ計画的な指針を示す農業振興ビジョンを整備する。	ビジョン策定に向けた調査の実施、現状分析及び重要課題の抽出	基礎調査の完了	【H32成果目標】 本事業で策定する農業振興ビジョンで目標生産額を設定し、各種農業施策の展開につなげる。 【今後のスケジュール】 平成31年度 ビジョン策定	【H32成果目標設定の考え方】 本事業において策定する農業振興ビジョンの中で目標生産額や農業施策の展開方針を設定するので、各種施策へつなげることを成果目標として設定した。	
6	中城村農業振興環境整備事業	H30 ～ H33	中城村の農業振興に寄与するため、試験栽培に必要な人材や環境等整備を行い、中城村の農家に適した栽培方法や種苗等の試験栽培を実施する。	試験栽培・営農指導員 2人 圃場及びハウス等整備の実施	試験栽培 2品目 圃場の確保及びハウスの建設完了	【H34成果目標】 試験栽培により得られた効果を活用し、営農指導を行った農家の割合 80% 【今後のスケジュール】 引き続き試験栽培・営農指導を実施する。	【H34成果目標設定の考え方】 農家の大多数に栽培試験の効果を行き渡らせる事ができたと考えられる指標として設定した。	
6	とよむ中城産業まつり事業	H24 ～ H33	中城村内で生産・製造又は提供される産業製品を村内外へPRし、知名度の向上を目指して開催される「とよむ中城産業まつり」を開催する。	イベントを実施するための実行委員会への補助金交付	・来場者数：6,500名	【今後のスケジュール】 引き続き村内商工業の振興を図るイベントとして定期的開催し、村内事業者が商材を広くPRできる環境を整える。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧

西原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			観光地美化・緑化等環境整備事業	H24 ～ H33	沖縄らしい風景を保全するため、公園の芝刈り、樹木剪定、植栽等を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	町内公園の美化・緑化実施:3箇所 西原運動公園 東崎公園 東崎都市緑地	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【H30成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1			文化財環境整備活用事業	H25 ～ H33	西原町内にある文化財及び文化財周辺の環境美化・整備や文化財ガイドの育成及び文化財巡り等イベントを開催し、町民等に歴史の継承を図る。	・文化財及び文化財周辺の環境美化・整備の実施:24箇所 ・町指定天然記念物「内閣御殿のサワフジ(サガリバナ)」の診断・治療 ・文化財ガイドの育成 勉強会:12回(月1回) ・文化財巡り等イベント開催:3回	文化財巡り等イベント参加者数120名以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して文化財の基礎的環境整備、ガイド団体等の人材育成を行いつつ、文化財の案内ルートパターンを増やし、活用及び周知を行う。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			農水産物流通・加工・観光拠点施設整備事業	H24 ～ H32	農水産物直売施設及び地域食材提供施設等を併せ持つ拠点施設を整備し、地産地消、地元食材の消費拡大及び地元産品を活用したグルメ提供を行うことで、生産者の所得向上を図る。	新築1期工事及び工事監理委託業務の実施	新築1期工事及び工事監理委託業務の完了	【H33成果目標】 供用開始後1年目(平成33年度)の目標を以下のとおりとする。 ・直売施設 年間総売上225百万円 【今後のスケジュール】 H30年度 新築1期工事 H31年度 新築2期工事 H32年度 外構工事実施後に、供用開始(平成32年11月予定)	【H33成果目標の考え方】 県内類似直売施設の実績を参考に設定した。
2			小学校外国語活動指導員派遣事業	H24 ～ H33	外国語活動指導員を配置し外国語への興味・関心を高める。	外国語活動指導員2名配置	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 今後、小学校で英語教科が必修化となることに向けて事業の充実を図っていく。	【H30成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が外国語への興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	教育相談員配置事業	H24 ～ H33	町教育委員会教育相談室に教育相談員を配置し、学校生活等に悩みを抱える児童生徒及び青少年やその保護者等に対して支援を行うことで、学校生活等の困難の改善を図る。	・教育相談員配置数:4人 ・教育相談員の定期的な学校訪問 ・教育委員会との会議(児童の情報共有及び情報交換他)の実施(5回以上)	相談員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善に向けて変容が確認できた人数の割合 28%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して教育相談員が関わること、状況の改善を図る。	【H30成果目標の考え方】 平成29年度の実績を勘案して設定した。	
2	学習支援員配置事業	H25 ～ H33	学習支援員を小中学校に配置し、各児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより、児童生徒の学力向上を図る。	学習支援員配置数(全小中学校配置) 小学校:8人 中学校:4人	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県との差 ・小学校 国語 +1.8以上 算数 +2.8以上 ・中学校 国語 -0.2以内 数学 +1.0以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して個々の学習指導を行うことで、学力向上に努める。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ H33	特別支援教育支援員を小中学校に配置し、特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	・特別支援教育支援員配置数 小中学校:13人 状況に合わせて各学校へ配置 ・支援員の資質向上のために、町内研修を実施(4回)	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して個に応じた支援を行い、支援の充実と質の向上を図る。	【H30成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が学校生活や学習上の困難の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	幼稚園特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ H33	幼稚園特別支援教育支援員を幼稚園に配置し、特別な支援を要する障害がある園児に対応した支援を行うことで、学園生活や学習上の困難の改善を図る。	・特別支援対象児の人数に応じた支援員の確保 ・支援計画で集団生活の目標を立て、支援児一人一人に対して適切な支援を実施	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して個に応じた支援を行い、支援の充実と質の向上を図る。	【H30成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が学園生活や学習上の困難の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	認可外保育施設支援事業	H25 ～ H31	支援員を配置し、各認可外保育施設の保育士に対する事務負担の軽減を行うことで、保育業務に専念できる環境を整備し、園児との時間の確保を図る。	・支援員配置数:1人 ・町内認可外保育施設(10箇所)に対し、支援員による巡回実施	保育士へのアンケートで、事務負担の軽減が図られた(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 保育環境の充実により、各施設における受入児童数の増加を図る。	【H30成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が園児との時間の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			親子通園事業	H28 ~ H32	乳幼児健診等の結果から、支援の必要性が高い発達気になる子と保護者の受け入れを行い、日常生活における基本動作の指導や集団生活への適応の訓練及び保護者に対する療育上の助言等を行うことで、保護者の育児不安の軽減を図る。	親子通園受け入れ:8組	対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減が図られたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、継続して受け入れを行うことで保護者の育児不安の軽減を図る。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4			西原町防犯灯・道路灯LED化事業	H29 ~ H33	本町が進めるエコへの取り組みを推進するため、町内の防犯灯・道路灯を環境負荷の少ないLED照明に切り替え、温室効果ガスの排出を抑制する。	防犯灯・道路灯LED化工事(約300基)	道路灯・防犯灯のLED化によるCO2排出量の削減目標値:90,951kg-CO2	【今後のスケジュール】 H30年に引き続きH31~H33においても実施する防犯灯・道路灯のLED化工事により、温室効果ガス(CO2)の排出量を抑制し、低炭素島しょ社会の実現を推進する。	【H30成果目標の考え方】 平成29年度調査・設計業務による成果より算出し、設定した。
5			農家経営安定支援事業	H26 ~ H31	農家への技術指導及び経営指導のため、指導員を配置し、巡回指導・窓口相談及び園芸セミナー(講習会)を開催することで、栽培技術の理解及び向上を図る。	指導員の配置2名 年5回の農業講習会の開催	・巡回指導した農家へのアンケート 栽培技術力が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。 ・園芸セミナー参加者へのアンケート 栽培技術への理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続し、地域農業者の栽培技術向上を図り、町で検討し、推進していきたい品目の普及を図る。	【H30成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が栽培技術の理解及び向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	里道及び水路の境界確定復元事業	H27～H33	戦後、地籍が確定しないまま家屋等が建築された箇所が多々あり、境界問題の解決や公共用地の適正な管理を行うため、境界復元の確定測量及び表示登記を実施する。不明確な里道及び水路の位置を確定することで、災害時の避難経路整備計画図を策定し、避難経路の整備を行う。	確定測量の実施 表示登記申請の実施	確定測量の完了 表示登記申請の完了	【H35成果目標】 平成35年度までに西原町内全域の里道及び水路のうち、小那覇地内の境界画定測量を完了させ、確定した里道及び水路を基に避難経路の検討及び整備計画を行い、災害時の避難路整備を目標としたハード対策に繋げる。 【今後のスケジュール】 H30～35 確定測量・表示登記 H36 避難経路整備計画図策定 H37 避難経路整備	【H35成果目標の考え方】 避難路整備計画で定めた事業計画を基に、整備に繋げていく。	
7	西原町雇用サポートセンター活性化事業	H27～H31	求人企業に既存支援制度の活用に向けた助言等を行い、求職者と企業のマッチングや、就職セミナーやスキルアップ講座を開催することで、雇用の拡大につなげる。	求職者と企業のマッチング 30件 スキルアップ講座等 33回	新規雇用割合35%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続し、求職者、求人企業のサポートを行い、一人でも多くの町民が就業につながるような取り組みを行うことで、雇用の拡大につなげる。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
7	地域型就業意識向上支援事業	H27～H31	高校生及び大学生を中心に商品販売活動や商品開発及び県外視察研修を実施し、就業意識の向上を図るとともに、「西原町」を深く理解し愛着を持つ郷土愛の醸成を育む。	協力企業数 8社 県外実習研修1回	・高校生、大学生へのアンケートを実施し、就業意識向上(85%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。 ・郷土愛の醸成についてアンケートで、評価80%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して商品販売活動や商品開発及び県内外視察研修を実施し、就業意識の向上を図るとともに、郷土愛の醸成を育む。	【H30成果目標の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・対象者のうち大多数が郷土愛の醸成が育まれたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	与那原町観光振興事業	H24 ~ H33	大綱曳や町内観光資源を活かした周遊・滞在型観光の構築に向け、商工会とタイアップしながら、地域の魅力向上、受入体制の強化、誘客活動に取り組むことにより、商工観光の振興を図る。					
1	与那原町魅力発信事業	H26 ~ H33	与那原町の魅力を県内外に発信し、本町の観光資源を活用した大綱曳まつりや各種イベント等を開催することで、観光客の誘客を図る。	・与那原体験ツアーの実施 ・各種イベント (軽便・水路活用・地域活性化イベント) ・ガイドブック作成 ・PRキャラクター制作 ・与那原大綱曳まつり運営補助 ・社交組合イベント(ゆかた祭り・スタンブラー等)運営補助 ・観光動態調査実施	・与那原大綱曳への18,800人誘客 ・ゆかた祭り等のイベント来場者数 2,000人以上	【今後のスケジュール】 継続して魅力を発信する事業を実施し、与那原町の魅力を県内外に発信し続けることで、与那原町に訪れる観光客を増やす。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	観光地美化・緑化きれいなまちづくり事業	H24 ~ H33	観光地としてふさわしい景観及び環境を創出するため、散策コースの美化清掃等を実施する。	・散策コース(10km)環境美化作業員配置 8名 ・町内各所への花木の植樹 ・散策コース周辺整備設計業務委託 ・散策コース周辺整備工事	本事業(剪定・除草・植栽整備等)による環境美化の散策コースについて、観光地としてふさわしい景観及び環境である(80%)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	【今後のスケジュール】 継続して町内散策コースの環境美化・整備を促進し、観光振興を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地としてふさわしい景観及び環境の創出が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	次代を担う人材育成事業	H24 ~ H33	町立幼・小・中学校において児童生徒の「知・徳・体」の向上を図り、沖縄の将来を担う人材育成を目的とし各事業を行う。 「知」・ICT環境の整備や各種専門支援員の配置をし学力向上を図る。 「徳」・児童生徒向けの講演会を実施し、豊かな心の育成を図る。 「体」・専門的な指導員の派遣により、基礎的な体力向上を図る。					

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ~ H33	町内小中学校へのICT環境整備及びICT活用支援員を配置し、学校教員によるICT機器を活用した分かりやすい授業を展開することで学校教育の質の確保を図る。	・情報教育支援員 2名配置 ・タブレット(2小学校、1中学校) ・夏休みのパソコン講座実施(10回)	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上 ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合:80%以上	【今後のスケジュール】 H33年度まで事業を継続し、児童生徒のパソコンの基本操作習得を目指す。研修等を行い、教員の指導力の向上を図り、ICT設備を利活用する。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数がICT機器を活用した授業が分かりやすい、ICT機器の習熟度が上がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	きめ細かな児童生徒支援事業(小学校・中学校)	H24 ~ H33	学習支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。スクールカウンセラー等を配置し、特別な支援を要する不登校の児童生徒に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。	・学習支援員18名配置 ・特別支援教育支援員16名配置 ・スクールカウンセラー1名配置 ・特別支援教育コーディネーター1名配置 ・放課後学習支援員4名配置	・沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校:県との差0.3ポイント以上を目指す。 中学校:県との差5.4ポイント以上を目指す。 ・不登校児童生徒復帰率 10%以上 ・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度80%以上	【今後のスケジュール】 H33年度まで事業を継続し、個に応じたきめ細かな指導により、基礎学力の定着に取り組みつつ、不登校児童生徒についても学習意欲や登校意欲を引き出すような支援に努める。	【H30成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。 ・対象者のうち大多数が不登校の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	きめ細かな児童生徒支援事業(幼稚園)	H24 ~ H33	特別支援教育支援員を配置し、特別な支援を要する障害がある園児に対応した支援を行うことで、園生活や日常生活上の困難の改善を図る。	・特別支援教育支援員 12名配置	・対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度80%以上	【今後のスケジュール】 H33年度まで事業を継続し、個に応じたきめ細かな指導により、幼児の登校意欲や進学意欲、ならびに自己肯定感を高める支援に努める。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が園生活や日常生活上の困難の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	国際理解人材育成事業	H24 ~ H33	英語指導助手を配置し、児童生徒への英語への興味、関心を高める。	・英語指導助手2名配置 原則、小学3年生以上の授業の補助	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 H33年度まで事業を実施するため英語指導助手を配置する。児童の英語学習への興味や関心を高めることにより、英語及び他教科への学習意欲にも繋がることを目指す。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が興味・関心をもったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			豊かな心の教育推進事業	H30 ～ H33	夢や希望を持つきっかけや気づきを得る場の確保を図る為、児童生徒向けの講演会を実施する。	・小学5、6年生向けの講演会(2小学校) ・中学生向けの講演会(1中学校)	・児童生徒へのアンケートで、将来への夢や希望を持つきっかけになったと感じた割合(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 著名人等の講話を定期的に行うことで、児童生徒の道徳教育に繋げ、命の大切さや自己肯定感等の心の育成を目指す。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が将来への夢や希望を持ったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2			体力向上推進事業	H30 ～ H33	水泳指導員を派遣し、児童のレベルに応じたきめ細かな指導により、泳力の向上を図る。	・3、4年生の水泳授業へ水泳指導員の派遣(2小学校、各学年10授業)	・3年生:水に浮くことができる50%以上 ・4年生:25メートル泳ぐことができる30%以上	【今後のスケジュール】 H33年度までに事業を継続し、基礎的な体力を身につけることと同時に達成感や自己肯定感を育み、体育活動の充実を目指す。	【H30成果目標設定の考え方】 小学校学習指導内容に基づき、設定した。
3			与那原町子育て応援推進事業		本事業は、将来を担う子どもたちがおかれる家庭の経済的状況、生活環境又は保育、教育環境に左右されることなく平等で均一化された保育、教育を受ける事により、沖縄の振興発展に資する人材を育むために行う。				
3			ほっとハート子育て応援事業	H24 ～ H33	0歳児の待機児減少を図るため、認可保育所へ経費の一部を助成する。	認可保育所への看護師配置 7施設中1施設(各1名配置) 年度途中1施設(1名配置)	・看護師を配置したことによる0歳児待機児童数15人以内	【今後のスケジュール】 継続して看護師を配置することにより0歳児の受け入れ数が拡充され、0歳児における待機児減少を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
3			公立幼稚園・保育所等保育環境整備事業	H27 ～ H33	幼稚園で給食の提供を行い、保護者の負担軽減を図るため、幼稚園給食配膳支援員を配置する。	公立幼稚園2園7クラスに配膳支援員を配置し、給食を安心安全に提供する。	・給食提供によって、保護者の負担軽減が図られたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	【今後のスケジュール】 配膳支援員を配置し給食提供時、食事時の安全を確保するため、H33年度まで継続する。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が負担軽減となったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	与那原町農業振興推進事業			農業用被覆資材の購入費に対する補助及び小規模農家の耐候性パイプハウスの設置費に対する補助を行う。				
4	農業用被覆資材等導入推進補助事業	H29 ～ H33	農作物の出荷量向上を図る為、資材導入にかかる経費に対し、補助を行う。	台風等の自然災害、病害虫等の被害軽減を図るため被覆資材導入推進を図る。	ゴーヤー出荷量 2,500kg以上 マンゴー出荷量 1,300kg以上		【今後のスケジュール】 今後は、講習会等を通じさらに品質向上に努める。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
5	与那原町海外友好親善大使人材育成事業	H27 ～ H33	海外と本町を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、海外移住者子弟を研修生として受け入れ、文化研修や交流等を行う。	・研修生の受け入れ 2名 ・交流会の実施 2回	・受入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含めアンケートにより本事業のあり方を検証する。		【今後のスケジュール】 今後も継続的に研修生の受け入れを実施し、沖縄伝統文化の継承・発展を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が人材育成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6	走る・よなばる・PR事業	H29 ～ H31	本町の観光資源の認知度向上を図る為、原動機付き自転車等オリジナル標識を交付する。	与那原町原動機付自転車等オリジナル標識を400枚製作する。	・観光客へのアンケート オリジナル標識での与那原町の認知度(50%以上)を含めアンケートにより本事業のあり方を検証する。		【今後のスケジュール】 H31年度 350枚製作	【H30成果目標の考え方】 観光客のうち認知度向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
7	災害対策備蓄整備事業	H28 ～ H32	町内避難者や観光客等の食料等確保の為、備蓄食料等を導入する。	・非常用食料 1,680食 ・粉ミルク 14箱 ・粉ミルク(アレルギー) 1缶 ・発熱セット 27セット ・発熱剤 100個 ・使い捨て哺乳瓶 27箱 ・保存水(超軟水) 1,032本 ・ビスケット 5箱	・町内避難者及び観光客等の備蓄率 60.0%		【今後のスケジュール】 H32年度を達成年度と設定し、H33年度以降も継続的に非常用食糧等を備蓄していく。	【H30成果目標の考え方】 与那原町災害対策備蓄計画に基づき、数値を設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8		東浜水路観光創造水質浄化整備事業	H29 ~ H33	東浜水路の水質を改善や水辺環境の整備を実施することで、東浜水路周辺を観光資源として活用する。本年度は浄化対策アクションプランを策定する。	東浜水路浄化対策手法を検討するため、協議会を開催し、アクションプランを作成する。	・水質浄化対策アクションプラン策定の完了	【H32成果目標】 東浜水路イベントに参加した観光客数440人以上。	【H32成果目標の考え方】 本町で行った類似イベントを参考に数値を設定した。
9		東浜水路散策路照明灯設置事業	H29 ~ H30	東浜水路沿いの親水性護岸及び遊歩道景観に配慮した照明灯を設置し、新たな観光資源として誘客を図る。本年度は、詳細設計を行う。	東浜水路散策路整備にかかる実施設計(与那原地内、距離:602m)	・東浜水路散策路照明詳細設計の完了	【H32成果目標】 東浜水路イベントに参加した観光客数440人以上。 【今後のスケジュール】 H31照明設置工事	【H32成果目標の考え方】 本町で行った類似イベントを参考に数値を設定した。
10		与那原町大型ビジョン活用事業	H29 ~ H30	東浜地区の中心に大型電光掲示板を設置し、町の観光スポットや特産品を紹介する等の観光情報を発信を行い、観光客に本町の観光地への誘致を図る。	大型ビジョン整備工事 大型ビジョン用観光プロモーションビデオ制作委託	・観光情報コンテンツ作成の完了 ・大型ビジョン設置の完了	【H31成果目標】 主要観光施設来場者数90,000人	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
11		与那原町就業意識向上支援事業	H30 ~ H33	求職者に対するきめ細かな支援を行い、雇用の拡大につなげる。また、児童生徒にキャリア教育を実施し、働くことを考えてもらうきっかけづくりを行うことで、勤労観や職業観の育成を図る。	・町内小学校でのジョブシャドウイングの実施 ・わくわくワークの実施 ・就業支援 ・過卒生支援	・就職支援者の就業率20%以上 ・小中高生へのアンケートを実施し、働くことへの興味・関心が湧いた(80%以上)を含め、アンケート調査により本研修のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 継続したキャリア教育の支援による失業率の改善	【H30成果目標の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。 ・対象者のうち大多数が働く事への興味・関心が湧いたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
12		与那原町の文化と歴史の情報発信事業	H30 ~ H31	与那原町の戦前、戦後の移り変わりや、与那原大綱曳等の伝統文化を映像にまとめ発信することにより、町民等が歴史民俗に対する理解を深め、学術の振興に寄与する。	・与那原大綱曳や軽便鉄道などの「今昔」映像編集 ・戦前・戦後の与那原町移り変わりの映像の編集 ・移民した町民の思い、2世、3世等の感想等の編集	映像編集の完了	【H31成果目標】 ・本事業で編集した映像へのアクセス件数 3,000件/年 ・町の歴史民俗に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、町民等へのアンケートにより、事業のあり方を検証する。	【H31成果目標の考え方】 ・町観光ポータルサイトへのアクセス数を勘案して設定した。 ・対象者のうち大多数が歴史民俗に対する理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			H30事業内容	H30活動目標(指標)		H30成果目標(指標)	今後の展開方針等
14		「御新下り」関連史跡復元・周辺整備・歴史資料館(仮称)整備事業	H24 ～ H33	歴史・文化を後世に継承し、歴史文化を発信する為、「御新下り」関連の史跡等を復元、歴史資産を構築し、新たな観光資源としての活用を図る。更に安全に来訪者を迎えるため周辺整備を行う。	・「御殿山」周辺整備工事の実施 ・「親川」広場整備事業基本設計業務及び管理棟基本計画策定業務の実施	・「御殿山」周辺整備工事の完了 ・「親川」広場整備基本設計及び管理棟基本計画策定業務の完了	【H31成果目標】 「御殿山」供用開始後1年目(平成31年度)の目標を以下のとおりとする。 網曳資料館来客者数1,700人以上 【H34成果目標】 「親川」広場供用開始後1年目(平成34年度)の目標を以下のとおりとする。 拝観ツアーの参加者数137人以上 【今後のスケジュール】 H31 ・「親川」広場整備実施設計業務(外構・土木)・管理棟基本設計業務 ・「親川」広場整備に係る物件補償費策定委託および不動産鑑定個別格差算定業務等 ・「親川」広場整備に係る事業認定資料作成委託業務、新聞広告、申請手数料等 H32 ・用地買収、物件補償(6/6件) ・「親川」広場整備実施設計業務(建築)・管理棟実施設計業務及び網曳資料館取壊し業務 H33 ・「親川」周辺整備工事着手・完成、トイレ・管理棟着工・完成	【H31成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 【H34成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	1	青少年国際交流事業	H24 ~ H33	海外移民者との交流や海外での生活体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、青少年を海外へ派遣し、教育・文化・歴史・産業などの視察学習、ホームステイ、現地の学校への体験入学を実施する。	・交流事業派遣生徒数:10名 ・研修後報告会の開催	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、青少年の海外派遣を継続して実施していく。	【H30成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が国際的な視野が広まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	2	小学校英語指導助手配置事業	H24 ~ H33	小学生のうちから英会話に触れさせ、英会話や英語圏の文化について興味を持たせるため、小学校に英語指導助手を配置する。	小学校英語指導助手配置数:4人	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたみたいと思ったか(80%以上)を含め、児童へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して小学校4校に英語指導助手を配置し、英会話や英語圏の文化に興味を持たせるよう努める。	【H30成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が興味を持ったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	3	学力調査等事業	H24 ~ H33	個々の学力の把握及び個々の実態に即した指導を実施し、児童生徒のさらなる学力向上につなげるため、学力調査を実施する。	学力調査等の実施 小学校4校中4校 (国語・算数・5年生理科) 中学校2校中2校 (国語・数学・理科・社会・英語)	・標準学力調査の平均回答率が目標値以上の科目数 小学校:全科目/13科目 中学校:3科目以上/10科目 ・県学力到達度調査の平均正答率が県平均以上の科目数 小学校:全科目/7科目 中学校:全科目/6科目	【今後のスケジュール】 今後も継続して学力調査を実施し、調査結果を基に個々の課題克服のために活用していく。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	4	学習支援員配置事業	H24 ~ H33	通常の授業ではついていけない児童生徒の学力向上に努めるため、小・中学校に学習支援員を配置する。	・学習支援員配置数 小学校:8人、中学校:4人	・標準学力調査の平均正答率が目標値以上の科目数 小学校:全科目/4科目 中学校:2科目以上/8科目	【今後のスケジュール】 今後も継続して全小中学校に学習支援員を配置し、基礎学力向上に努める。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	5	特別支援教育支援員配置事業	H24 ~ H33	特別な支援を要する障害がある児童生徒への学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。	・特別支援教育支援員配置数 幼稚園:20人、小学校:32人 中学校:5人	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して全小中学校に特別支援教育補助員を配置し、児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善に努める。	【H30成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が満足していると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	6	学校ICT推進事業	H24 ~ H33	教員のICT機器の習熟及び学校教育の質の確保するため、ICT支援員を配置する。	・ICT支援員を配置することによる教員のICT機器の習熟 ・ICT支援員配置(2名)	・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合:80%以上 ・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にICT機器の整備及びICT支援員を配置し、教員のICT機器の習熟等を図る。	【H30成果目標の考え方】 ・対象者(教員)のうち、大多数が習熟していると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・対象者(児童生徒)のうち、大多数が理解していると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	7	教育相談支援事業	H24 ~ H33	不登校児童生徒数の改善を図るため、教育相談員などを小中学校に配置し、不登校または不登校傾向にある児童生徒や、不登校や発達障害等の子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対して相談等の支援を行う。	・青少年教育相談員 1名配置 ・特別支援教育相談員 1名配置 ・自立支援教室支援員 2名配置 ・適応指導教室学習支援員 2名配置 ・心の教室相談員 5名配置	不登校児童生徒復帰率60%	【今後のスケジュール】 今後も継続して生徒校外指導員、自立支援教室指導員等を配置し、支援体制を強化していく。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	8	中学校外国人英語指導助手配置事業	H24 ~ H33	中学校英語学力の向上を図るため、中学校に外国人英語指導助手を配置する。	・外国人英語指導助手の配置 中学校 1名	標準学力調査の平均正答率について、目標値との差を縮める。 1年:-2.6ポイント以内 2年:-2.7ポイント以内	【今後のスケジュール】 今後も継続して外国人英語指導助手を配置し、中学校英語力の向上を図る。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	9	南風原町各種大会派遣支援事業	H25 ~ H33	県外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、町内の小・中学校の児童生徒が、学校を代表し、中学校体育連盟等が主催する県外で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の大会派遣費用を支援する。	児童生徒の大会派遣の支援	対象児童等の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童等の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒人材育成のため、大会派遣を継続して支援していく。	【H30成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が視野が広がったと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	10	南風原町県外等派遣支援事業	H25 ~ H33	県外の人との交流等の機会を増やし、児童生徒及び青年会等に広い視野を持たせるため、町内に在住する小学生・中学生及び地域青年会等が、体育協会関連団体の主催する運動競技及び文化活動に参加する際の大会等の派遣費用を支援する。	児童・生徒及び青年会等大会派遣の支援	対象児童等の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者等に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒及び青年会等の人材育成のため、大会等の派遣を継続して支援していく。	【H30成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が視野が広がったと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	11	南風原町幼稚園体育活動充実事業	H28 ~ H33	幼少期に運動する楽しさを実感してもらうことにより、その後に運動習慣を身に付けるため、南風原町内の幼稚園児を対象とし、専門的な知識を持つ講師による体育指導を実施する。	町内4幼稚園での専門的な体育指導の実施	運動する楽しさを実感したか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して幼稚園の体育指導を継続的に実施し、町内の子どもたちの健康の保持促進を図る。	【H30成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が楽しさを実感したと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	12	幼稚園空調機設置事業	H30 ~ H31	気温が高い期間が長期にわたる沖縄で園児の健康維持や熱中症対策をおこなう必要があるため、幼稚園に冷房機を設置する。	幼稚園冷房機設置 ・実施設計 ・工事 4園 8教室の整備	冷房機を設置した幼稚園で暑さによる体調不良となる園児数0人	【今後のスケジュール】 H30年度:実施設計・工事 H31年度:工事	【H30成果目標の考え方】 過去の実績より勘案して設定した。
2	1	南風原町観光景観美化整備事業	H24 ~ H33	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光ルート美化整備を行う。	観光ルート延長L=12,600mの町道メンテナンス(美化清掃)	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して町道メンテナンス(美化清掃)を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【H30成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が景観形成が図られたと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	2	危険生物駆除事業	H27 ~ H33	来町する観光客等をハブ咬傷から守り安全な観光地にするため、ハブトラップを設置するとともに、その周辺を重点地域として巡回する危険生物駆除員を配置する。	・捕獲器を町内に50器設置 ・巡回を実施	観光地内におけるハブ咬傷件数 0件	【今後のスケジュール】 今後も継続して町民や観光客等に注意喚起を行い、ハブ咬傷被害のない安全な観光地作りを目指す。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	3	民泊啓発推進事業	H25 ~ H33	南風原町には宿泊施設がないため、滞在型観光振興の妨げとなっている。そこで、宿泊体験登録家庭数の増と、宿泊体験の増を図ることにより、滞在型観光を促進する礎とするため、民泊の誘致活動や研修等を行う。	・宿泊体験登録家庭の新規開拓 ・修学旅行誘致活動実施	宿泊体験登録家庭数:新規8家庭 民泊体験者数:450人	【今後のスケジュール】 今後も継続して宿泊体験の推進及び滞在型観光を促進し、民泊の誘致活動を実施していく。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	4	ヒーローのまちづくり事業	H25 ~ H33	南風原町が輩出した人材の功績を継承すると共に、観光客を本町へ誘導するため、南風原町が輩出した人材の功績や経歴、所有品の展示等のイベント等を実施する。	・イベント開催:1回 ・脚本賞舞台化:1回	・イベント(上映会、凧上げ、金城哲夫展等)来客者数:3,400人 ・脚本賞の舞台化に係る舞台来客数:500人	【今後のスケジュール】 観光客を本町へ誘導するため、町が輩出した人材の功績や経歴、所有品展示等のイベント継続的に実施していく。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	詳細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	5	シマじまガイド事業	H24 ～ H33	住民が地元の歴史や文化を学ぶ機会を創出すると共に観光誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を実施する。	・ガイド養成新規:2名 ・シマじまガイド開催:12回	シマじまガイド事業参加者:1,460人	【今後のスケジュール】 町内外からの観光客等の誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を継続的に実施していく。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	6	黄金森公園スポーツ施設活性化事業	H25 ～ H33	陸上、サッカー等合宿利用者数の増加及び、Jリーグキャンプ誘致による誘客を図るため、黄金森公園スポーツ施設のJリーグキャンプ受入体制等の整備を行う。	・芝生作業嘱託員:1名 ・花植えプランターメッセージ印刷 ・Jリーグキャンプフリーフレット印刷 ・陸上競技場及び野球場芝生の管理委託 ・トレーニング室へのトレーナー配置 ・Jリーグキャンプ中の花植えプランター設置 ・Jリーグキャンプ中の警備 ・Jリーグキャンプの会場設営等 ・Jリーグキャンプの歓迎旗作成 ・Jリーグキャンプ中の廃棄物収集運搬処理	・陸上、サッカー等合宿利用者数:1,800人 ・Jリーグキャンプ見学者数:8,600人	【今後のスケジュール】 今後も継続的にスポーツコンベンション誘致活動を行い、Jリーグキャンプ及び合宿等の定着を図る。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	7	南風原町地域ブランド構築・展開プロジェクト	H24 ～ H33	本町の魅力の発信及び認証した商品の販売数増を図るため、町内事業者を対象に商品開発に関するワークショップの開催や、「はえばる良品」認証及び、特産品の販路開拓等を行う。	ブランド認証制度の構築・運用 販路開拓セミナーの開催:6回 28年度に認証した商品のPR 販路開拓、拡大、テスト販売:5回	・南風原良品の販売個数増 びよびよシフォン5,035個 ゆめかなえぼしパウンドケーキ380個 滝しカボチャ使って味わうスープの素1,000個 はえばるのまきも60個 ウォッチナー88個 SANGOくっしょん450個 沖縄キビまる豚430個	【今後のスケジュール】 今後も継続的に地元企業やJA等との連携強化及び人材育成、はえばる良品の周知及び販路開拓・拡大を図る。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	8	南風原町観光PR促進事業	H25 ～ H33	本町の認知度向上と地域資源の情報発信を図るため、はえらんや野菜のお友達を活用し、県内外の様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを実施する。	・イメージキャラクターによる観光PR活動(1年で100回)	・はえらん等利用数:50件 ・観光サイトアクセス数:207,000件	【今後のスケジュール】 町のイメージキャラクターを活用し、県内外の様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを継続的に実施していく。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	9	南風原町和牛改良支援事業	H27 ～ H33	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	・優良母牛の導入支援 4頭/年	導入した優良母牛から生まれた子牛と導入牛以外の牛から生まれた子牛との価格差の割合(牝)108%、(去勢)140%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して優良母牛導入の支援を行う。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	10	南風原町乳用牛改良支援事業	H28 ~ H32	本事業により乳用牛の更新・増加を促進し、生産乳量の増加と乳質の向上を図るため、優良乳用牛の導入を支援する。	優良乳用牛の貸付頭数 8頭/年	生産乳量の増加:6,000kg以上 乳質(脂肪率)の向上:0.02%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して優良乳用牛導入の支援を行う。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	1	はえばりサイクルループ事業	H24 ~ H33	沖縄県は離島県であり、土地利用には限りがあるため、ごみ処理処分場の代替施設を容易に建設することができない。現施設の長寿命化を図る必要があることから、生ごみを資源化し、一般廃棄物を削減するため、町内で発生する食品廃棄物を分別回収し、それらで養豚用飼料や堆肥を生産する。そこで生産された飼料ではえばり豚を育て販売し、食品廃棄物の循環を構築する。	町内で排出される食品廃棄物を回収、分別し、飼料や肥料を生産することで、循環構築をはかり、生ごみ(家庭系)の年間資源化の増を目指す。	生ごみ(家庭系)の年間資源化量:30トン	【今後のスケジュール】 今後も継続して町内で発生する食品廃棄物を分別回収し、食品廃棄物の循環構築を図る。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	2	環境学習支援事業	H24 ~ H33	沖縄の豊かな自然環境を守り、自然環境保全の重要性など環境問題に対する児童の意識向上を図るため、専門家による環境教育・環境学習を実施する。	・町内4小学校の4年生を対象に環境学習「買い物ゲーム」の実施。 ・実施回数:16回	環境保全に対する意識向上が図られたか(80%以上)を含め、児童に対するアンケートにより本事業のあり方を検証をする。	【今後のスケジュール】 専門家による環境教育・環境学習を継続して実施していく。	【H30成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が意識が向上したと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	3	草木リサイクル事業	H24 ~ H33	沖縄県は離島県であり、土地利用には限りがあるため、ごみ処理処分場の代替施設を容易に建設することができない。現施設の長寿命化を図る必要があることから、環境に負荷の少ない「循環のシステム」を構築するため、町内家庭から排出される落ち葉等の草木を細かく破碎し堆肥化する。	町内から排出される草木を堆肥化することで、リサイクル量の増をはかる。	草木のリサイクル量(堆肥化):455トン	【今後のスケジュール】 今後も継続して町内から発生する草木を堆肥化し、リサイクル量の増を図る。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	4	低炭素社会化事業(省エネ設備導入事業)	H27 ~ H30	低炭素社会への転換を推進し、地球温暖化対策へ寄与するとともに、防犯灯における二酸化炭素排出量を削減するため、町内にある既存の防犯灯(水銀灯、蛍光灯)等を環境負荷の少ないLED照明等への切り替えを実施する。	既設防犯灯(水銀灯・蛍光灯)のLED灯への切り替え(405灯)	温室効果ガス排出削減量 20.76[t-co2/年]	【今後のスケジュール】 今後も温室効果ガス排出削減に努めていく。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	5	南風原町景観計画策定事業	H28 ~ H30	観光地として魅力ある景観形成を図るため、景観計画書及びガイドラインを策定する。	・住民説明会の開催 ・パブリックコメントの実施 ・景観計画書の作成	景観計画の策定完了	【H31成果目標】 策定した計画について、南風原町景観審議会で大規模開発の適合チェック等(年1回以上)を行うことで、本事業を検証することとする。 【今後のスケジュール】 景観計画書を作成後、条例制定を行い魅力あるまちづくりを展開していく。	【H31成果目標の考え方】 他市町村等を参考に設定した。
4	1	災害時等避難施設機能強化事業	H24 ~ H31	災害時における地域住民の安全を確保するため、バリアフリー化等、避難所の整備を支援する。	災害時避難施設の内外部の補修及び機能強化工事(補助:1件)	避難所整備の完了	【H31成果目標】 整備された避難所を活用した避難訓練の実施(年1回)により、本事業を検証する。 【今後のスケジュール】 災害時における地域住民の安全を確保するため、バリアフリー化等、避難所の整備を継続的に支援していく。	【H31成果目標の考え方】 県の実績を参考に設定した。
4	2	北丘小学校西側避難通路整備事業	H26 ~ H30	災害時の住民の安全を確保するため、避難通路及び法面の整備を行う。	北丘小学校西側避難通路整備工事及び管理委託	整備工事の完了	【H31成果目標】 整備した避難通路を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 H30 工事 H31 供用開始	【H31成果目標の考え方】 県の実績を参考に設定した。
4	3	津嘉山小学校南側避難通路整備事業	H26 ~ H30	災害時の住民の安全を確保するため、避難通路の整備を行う。	津嘉山小学校南側避難通路整備工事及び管理委託	整備工事の完了	【H31成果目標】 整備した避難通路を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 H30 工事 H31 供用開始	【H31成果目標の考え方】 県の実績を参考に設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	1	放課後児童の居場所づくり支援事業	H24 ~ H33	安心・安全に子供を預けることができ、保護者の子育てへの負担感を軽減するため、本町の民間の賃貸住宅等を利用している学童クラブに対して家賃の補助を実施。また、学童クラブが生活保護世帯及びひとり親家庭等の学童利用者に対し利用料を減免した場合の補助を実施する。	(1)家賃補助 基準値(H30):9ヶ所 (2)生活保護世帯及びひとり親家庭等学童クラブ利用支援補助 基準値(H30):79人分	安心・安全に子供を預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して学童クラブへの家賃補助及び対象世帯への学童クラブ利用支援の補助を実施していく。	【H30成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6	1	陸軍病院壕公開活用事業	H24 ~ H33	南風原町の歴史継承及び観光の誘客を図るため、沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行うとともに、整備・公開している20号壕を訪れる県内外からの見学者へのガイド案内を実施する。	開壕日数:313日	見学者数11,500人	【今後のスケジュール】 今後も継続して沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行い、20号壕を訪れる県内外からの見学者へのガイド案内を実施していく。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	2	子ども平和学習交流事業	H24 ~ H33	子どもたちが平和について理解を深めるため、戦争と平和、差別や人権等について、施設を訪ねたり交流や研修を重ね学習する。	・子ども平和学習交流事業参加者数(8人) ・事前学習、本研修の後その報告会を開催	参加児童の平和等に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 子どもたちが平和について理解を深めるため、平和学習交流事業を継続して実施していく。	【H30成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が理解が深まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6	3	伝統芸能保存育成事業	H24 ~ H33	伝統芸能の継承を図るため、伝統芸能保持団体である自治会への道具・衣装・楽器・面玩具等の備品の購入に対し補助をする。	伝統芸能保存育成補助件数:1件	補助団体による伝統芸能上演等回数 H30年度:17回	【今後のスケジュール】 伝統芸能の継承を図るため、伝統芸能保持団体への補助を継続的に実施していく。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	4	南風原町海外移住者子弟研修生受入事業	H24 ~ H33	それぞれの生まれ育った国や地域への理解を深め、海外と本町を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、南風原町出身の海外移住者子弟を研修生として受け入れ、移民の歴史はもちろん、相互の文化と歴史の学習を実施する。	・受け入れ国の数1カ国(アルゼンチン) ・受け入れ研修生の数(1人) ・研修成果の報告会を開催	沖縄の文化や歴史に、より興味を持ったか(80%以上)を含めアンケートで本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 今後も継続的に町出身の海外移住者子弟を研修生として受け入れを実施していく。	【H30成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が興味を持ったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	1	長寿県復活食の応援事業	H25 ～ H33	将来の生活習慣病の予防に向けて、食生活や生活習慣の改善に係る知識の普及を図るため、生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施する。	学童期における生活習慣病予防健診の実施(対象者:町内の小学5年生及び中学2年生)	将来の生活習慣病予防に向けた食生活や生活習慣を理解できたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して将来の生活習慣病の予防に向けて、生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施していく。	【H30成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が理解できたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	渡嘉敷村観光総合推進事業	H24 ～ H33	入域観光客数の増加を図るため、県内外で開催される観光イベント等での観光PR活動、各種広告媒体を活用した情報発信及び、増加する外国人を含む観光客の受け入れ態勢強化に取り組む。	入域観光客数の増加を図るためPRツールを制作し、作成したツールを各種イベント等で配布をし観光客の受入体制を強化する。 ・制作配布PRツール作成・配布 渡嘉敷島MAP(日本語):60,000部・(多言語版):20,000部、ガイドブック:15,000部、PP袋:20,000部、PRうちわ:20,000部、ポストカード:100,000枚 ・PR活動への地域事業者派遣:7人 ・広告掲載(沖縄・離島情報):20万部 ・外国語スタッフの配置:3人 ・多言語観光案内サイン版制作:5基	・年間入域観光客数 136,769人以上 ・外国人観光客数 28,600人以上	【今後のスケジュール】 イベントにおいては、体験メニューを取り入れたブース運営で、島の魅力を発信する。 ・渡嘉敷島MAP等のツール類については、常に最新の情報を取り入れ増刷しPRに活用するほか、WEBを活用したPRにも力を入れていく。 ・とがしきマラソン参加者の安定確保のため、特色を前面に出したPRを展開する。 ・観光振興実施計画に基づく実績の評価(PDCA)を実施していく。 ・ホスピタリティ向上の為多言語人材の確保及び、観光関係事業者を対象に食に関する研修会等を実施する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	渡嘉敷村美化清掃事業	H24 ～ H33	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、村内の海浜、道路、公園などの清掃作業及び花木等の植栽を実施する。	花木植栽8箇所実施 美化清掃8箇所実施	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 H33年まで継続実施し、本村のイメージアップに努める。	【H30成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	渡嘉敷村観光施設整備事業	H26～H33	観光客等利用者の利便性確保及び誘客を目的に、観光施設等の整備を行う。	渡嘉志久トイレ・シャワー施設機能強化工事 ・洗浄便座設置、男女シャワー水栓増設、屋根・外壁・内壁等の改修 多目的広場施設の機能強化工事 ・ステージの屋根及び照明設備の設置	渡嘉志久トイレ・シャワー改修工事の完了 多目的広場施設の機能強化工事の完了	【H31成果目標】 ・渡嘉志久トイレシャワー施設の整備により、利便性が確保されたか(80%以上)含め、利用者アンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 ・多目的広場施設を利用したイベント来場者数:3,000人以上 【今後のスケジュール】 H31:青少年旅行村施設バーベキュー棟整備、青少年旅行村施設オートキャンプ場整備 H32:青少年旅行村施設倉庫整備 H33:シャワー・更衣室棟整備 H33年までに村内の観光客利用施設を整備し、さらなる観光客増加へ繋げる。	【H31成果目標設定の考え方】 ・対象者のうち大多数にとって利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・イベント来場者数については、過去の実績を勘案して設定した。	
1	渡嘉敷村観光振興事業	H29～H33	修学旅行誘致・受け入れ等に取り組む村商工会の観光推進事業の活動を支援する。	・修学旅行誘致活動(県外旅行社17社及び高等学校3校訪問)(関東・関西での修学旅行フェア出展) ・県外旅行会社招聘2社	・修学旅行受入対応 14校 ・旅行社招聘 3社	【今後のスケジュール】 ・修学旅行誘致活動は、これまでの来島校の継続と、特に関東地区と関西地区の新規開拓に向けた取り組みを強化する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	渡嘉敷村観光危機管理計画策定事業	H30	村内を訪れる観光客への自然災害や人的災害などが発生した際の対応を定めた「渡嘉敷村観光危機管理計画」を策定する。	・観光危機管理計画書の策定	・観光危機管理計画書の策定完了	【H31成果目標】 策定した計画を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 ・観光関係事業所との連携を強化し、危機発生時の連絡体制を確立する。	【H31成果目標設定の考え方】 当該計画を活用した避難訓練の実施、検証を行うことで観光客の安全確保に資すると考え、成果目標として設定した。 回数については、実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	渡嘉敷村景観計画策定事業	H29 ~ H31	渡嘉敷村の豊かな景観資源や文化を維持・継承・発展させる条件を整え、良好な景観形成に向けた景観計画を策定する。	・策定調査業務の実施 ・村民ワークショップの開催2回 ・瓦版の作成2回 ・庁内会議開催の支援 ・パブリックコメントの実施	・景観計画の策定に向けた調査業務の完了	【H32成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、観光客や村民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 H31:計画策定 (計画の策定・景観条例の制定)	【H32成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって魅力的な景観形成が図られたと考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ~ H33	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から渡嘉敷島へ輸送される食品や衣類、履物、日用品、医薬品、保健医療用具、器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	食品、衣類、履物、日用品、医薬品、保健医療用具、器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	・生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差-1.4ポイント以下	【今後のスケジュール】 割高な生活コストの低減に向け、引き続き支援を行う。	【H30成果目標の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	
2	自動車航送コスト負担軽減事業	H28 ~ H33	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図るため、渡嘉敷港～那覇泊港間の車両航送利用者に対し運賃の一部を支援する。	年間自動車航送台数 自動車(二輪も含め) 400台	・沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 離島における生活環境のハンディが解消されることにより、本村への定住促進に繋げる。	【H30成果目標の考え方】 対象者の大多数が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業	H25～H33	渡嘉敷村営定期船の欠航時、または予定運行時刻に変更が生じた場合の補完的手段として、那覇空港～渡嘉敷ヘリポート間のヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援することで、利便性を確保する。	定期船欠航時、及び予定運行時刻変更時のヘリコプターチャーター運賃の支援	・ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 宿泊施設やホームページ、船舶予約窓口でのPRにより、利用客数の増加を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者の大多数にとって利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	小学校学習支援員配置事業	H24～H33	子ども達の学力向上の推進及び離島の教育環境を改善するため、学習支援員を配置する。	阿波連小学校学習支援員2名配置 渡嘉敷小学校学習支援員2名配置	・沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率の差+9.4ポイント以上	【今後のスケジュール】 H33年まで継続実施し、児童の学力向上及び離島の教育環境を改善を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	児童・生徒派遣支援事業	H25～H33	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、村外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会県大会や全国大会等に参加する児童生徒に対し、航空運賃等の補助を行う。	阿波連小学校児童派遣 4件 渡嘉敷小学校児童派遣 3件 渡嘉敷中学校生徒派遣 10件	・対象児童生徒の視野が広がったかどうか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き離島の教育的ハンディの克服及び学習意欲の向上を図る。	【H30成果目標の考え方】 大多数の対象児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	家庭教育支援事業	H28～H33	Web会議システムを用いたオンライン双方向授業を実施することにより教育環境格差の大きい離島地域において、村外・県外と同等レベルの教育を受けることができる環境を整備することで、学力の向上を図る。	対象：村内在住の小学校5年生～中学3年生 小学校5年(国語・算数)53授業 小学校6年(国語・算数)54授業 中学校1年(数学・英語)59授業 中学校2年(数学・英語)36授業 中学校3年(数学・英語・国語)100授業 合計 302授業 中2・3年生については10月より習熟度別クラス分けを導入。	・学習塾内で実施するテスト(全国規模)において、全国と本村の平均点の差を-11.7点以上とする。	【今後のスケジュール】 平成33年度まで事業を継続することで持続的な学力向上をめざす。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	歴史文化資産保存活用事業	H29～H31	沖縄戦史等の歴史文化資料等を活用した平和学習等を行うことで、修学旅行生や村民が学べる機会を増やすとともに、観光資源としても活用する。	・文化財遺跡等の実地調査 ・沖縄戦に関わる史実等の聞き取り調査	・文化財遺跡等の実地調査 50件 ・沖縄戦に関わる史実等の聞き取り調査 50件	【H32成果目標】 資料を活用し、平和学習会等を実施した修学旅行学校数 3校 資料を活用した学習会への参加人数 50名 【今後のスケジュール】 ・H31 調査業務(各20件)、資料の公表 ・H32(供用開始後)	【H32成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。学習会の開催予定回数及び予想参加人数から設定した。	
5	渡嘉敷村総合防災体制構築事業	H29～H31	総合的な防災体制を強化し、災害発生時に村民及び観光客等の安全確保を図るため、防災情報ポータルサイトを活用し、防災・災害対応関連情報を整理・公開する 今年度は「地震・津波災害避難計画」、「土砂災害避難計画」及び各種対応マニュアル等の策定を行う。	・地震・津波災害避難計画の策定(避難指示の基準・地域の避難計画、避難所の整理) ・土砂災害避難計画(発令基準・対象地域、避難所の整理) ・各種対応マニュアル等の策定	・地震・津波災害避難計画の策定 ・土砂災害避難計画の策定 ・防災情報ポータルサイトへ関連情報の公開 ・各種対応マニュアル等の策定	【H31成果目標】 観光客等が参加する避難訓練時において、津波・土砂災害避難計画や公開された防災情報を活用することで、安全性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。 【今後のスケジュール】 H31年度 ・渡嘉敷村地域防災計画の見直し	【H31成果目標設定の考え方】 数値については、大多数の住民・観光客にとって安全が確保されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
6	アジアユース人材育成・ネットワーク形成事業	H29～H31	アジア諸国と、3市村(南城市、伊江村、渡嘉敷村)の中・高校生が、豊かな自然や歴史、文化などの地域資源に恵まれた環境の沖縄で共に生活しながら地域の課題に取り組み、体験交流を深める中で、国や文化を越えた友情を育み、多種多様な文化や社会、考え方があることを直に学ぶ機会を設けることで、国際的な広い視野を持たせる。	研修プログラムの実施(約2週間)	生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 本事業で構築された人的ネットワークの輪を継続して活かせるよう事業展開する。	【H30成果目標の考え方】 生徒の保護者のうち大多数が国際的な視野が広まったと感じられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

座間味村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			座間味村海域安全隊事業	H24 ～ H33	村内指定の3ビーチにおいて、観光客の増加する4月末から10月末の期間、遊泳者の水難事故防止及び安全確保を図るためライフセーバー員等を配置する	ライフセーバー員等の配置 ・古座間味ビーチ 2名(3名) ・阿真ビーチ 2名 ・北浜ビーチ 2名 (7月、8月 古座間味ビーチ 1名追加)	ライフセーバー配備期間中の水難死亡事故:0件	【今後のスケジュール】 引き続き海水浴客等の海洋事故防止と安全確保に努め死亡事故“ゼロ”を目指す	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			座間味村がんばる観光支援事業	H24 ～ H33	観光客誘致とリピーター確保と入域観光客数の増加を図るため、各イベント実行委員会へ補助金を交付するとともに、県外でのPRイベント活動を行う。	各種イベント実行委員会への補助金交付 県内外PRイベントの実施	入域観光客数:111,000人以上	【H33成果目標】 入域観光客数:12万人 【今後のスケジュール】 座間味村観光客入域数の増加に向け内容を改善しながら支援事業を継続する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			座間味村観光受入拠点事業	H24 ～ H33	年中無休の観光案内業務とタイムリーな観光情報発信及びマリンスポーツ事業者や民宿事業者への取り次ぎ案内などをスムーズに行い、外国人を含めた観光客誘客に向け、企画立案と事業展開を実施する観光協会へ支援を行い観光客の利便性を確保する。また村内の観光事業従事者を対象とした講習会を実施する。	・観光案内所年中無休(台風時等閉鎖) ・村内外観光客誘客活動年8回 ・観光事業従事者スキルアップ講座 新規メニュー開発 2回 ノルディックガイド養成 1回 心肺蘇生講習会 2回	観光客の利便性が図られたか(80%以上)を含め、観光客へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 観光客へのおもてなしに活用できると感じたか(80%以上)を含め、講習会に参加した観光事業従事者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【H33成果目標】 入域観光客数:12万人 【今後のスケジュール】 座間味村観光客入域数の増加、並びに閑散期の集客拡充に向け内容を改善しながら支援事業を継続する。	【H30成果目標設定の考え方】 ・観光客の大多数が利便性が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・講習参加者の大多数がスキルアップが図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1			座間味村景観計画策定事業	H29 ～ H31	本村には豊かな自然や、歴史ある風景等が残されているものの、観光資源としての利活用が不十分である。そこで、景観計画を策定し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	景観計画区域及び行為の制限等の検討 景観計画の策定及び景観条例の検討	景観計画(案)策定の完了	【今後のスケジュール】 H30 景観計画(案)の策定 H31 景観計画の策定 【H32成果目標】 景観計画策定後のアンケート調査において、魅力的な観光地としての景観形成が維持されているか(80%以上)を含め、アンケートにより、景観行政のあり方について検証する。	【H32成果目標設定の考え方】 大多数が魅力的な観光地としての景観形成が維持されていると考えられる値として設定した。また、景観行政のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

座間味村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	座間味村歴史文化・健康づくり拠点整備事業	H24 ～ H31	本村の新たな観光客の受け入れ態勢の整備と観光誘客を図るため、既存港公園内へビジタセンター建築を行う。また、平時には地域住民向けのイベント等を開催し福祉向上を図る。本年度は建築本体工事(集会棟・管理棟・シアター棟)及び建築施工管理の委託を行う。	建築本体工事及び施工管理の実施 建築工事:管理棟・集会室棟・シアター棟及び関連の電気・機械工事の発注 施工管理:建築工事にかかる現場施工管理の発注	本体建築工事完了 (集会棟、管理棟、シアター棟)	【H32成果目標】 観光客施設利用者数:7,500人以上 村民施設利用者数:2,850人以上 【今後のスケジュール】 H30 本体工事 H31 設備工事	【H32成果目標設定の考え方】 隣接施設の実績を参考に設定した。	
1	座間味村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業	H29 ～ H33	本村には先の大戦当時を物語る遺跡や記念碑等が点在している。これらを歴史の生きた教材として活用し平和学習を目的とした修学旅行の誘致を図るため、周辺環境整備を行う。	進入路、転落防止柵、案内看板設置及び雨天時対策並びに周辺整備工事の発注及び施工管理委託並びに阿嘉・慶留間島整備に向けた実施設計の発注	座間味島平和の塔・忠魂碑・太平洋戦争沖縄戦上陸第一歩の地における進入路、転落防止策、案内看板設置及び東屋設置等の周辺環境整備を実施。また次年度整備予定の阿嘉・慶留間島整備の実実施設計書の完成	【H34成果目標】 修学旅行学校数 17校 【今後のスケジュール】 H31 阿嘉島(シジ山、前浜、秘匿壕)整備 H32 慶留間島(小鳩の塔、世界平和記念碑、秘匿壕)整備 H33 座間味島(昭和白虎隊の碑、忠魂碑、躑躅の塔、集団自決の碑、平和の塔進入路)整備	【H34成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	座間味村サンゴ(海の花)育成・植付事業	H24 ～ H33	サンゴ礁海域の回復に向け、サンゴの種苗の生産と育成を行う。また、人材育成や施設運営の支援を行う。	・サンゴの種苗生産 ・サンゴが減少している海域への生産したサンゴの植付	種苗の植付:1,000本以上	【今後のスケジュール】 今後も植付技術、管理技術、保全技術の習得、種苗の生産本数の増加及び植付ダイビングの実施する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	座間味村島ちゃび解消移動手段安定化対策事業	H24 ～ H33	フェリーや高速船の欠航時に、チャーターヘリの料金補助を行うことで、代替となる移動手段の確保を行い、利便性を確保する。	村営船舶航路欠航時等によるヘリコプターチャーター支援の実施	フェリーや高速船の欠航時等に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 補助事業のPRにより、本村への渡航の利便性を周知し、住民負担の軽減及び観光誘客につなげる。	【H30成果目標設定の考え方】 利用者の大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

座間味村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	座間味村自動車航送運賃低減化事業	H25 ～ H33	村民に対し、フェリーの自動車輸送費への支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図るため、高額である座間味村・本島間のフェリー車両航送に係る運賃の一部を支援する。	車両航送運賃の低減化支援	島民へのアンケートを行い、フェリーの自動車輸送費補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 定住促進のために、経済的、精神的負担を軽減し住みよい環境を整備することで、村の総合計画にて目標としている人口増加に努める。	【H30成果目標設定の考え方】 利用者の大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	座間味村離島食品・日用品輸送費等補助事業	H28 ～ H32	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から座間味村へ輸送される食品や日用品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	食品・日用品の輸送経費等の補助	生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差-3.7ポイント以下	【今後のスケジュール】 引き続き割高な生活コストの低減に向けた施策展開を行う。	【H30成果目標設定の考え方】 本事業実施前のH27年度と比べて本事業開始後のH28年度実績値よりも、さらに価格差が縮小することを目標として設定した。	
4	教育環境充実事業	H28 ～ H33	学外で学びたい児童生徒の学習機会を確保し、当該児童生徒の学力向上を図るため、Web会議システムを用いたオンライン双方向授業を行う『村営学習塾』を開設する。	オンライン授業の実施 賃金職員 4～6名 講師派遣 2名	・受講児童生徒を対象に学習塾で実施される期末テスト(全国規模)において、全国と本村の受講児童生徒との平均点の差をマイナス10点以内に改善する。 ・児童生徒にアンケートを行い、プログラミングに対する関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 H33年度まで継続し、レベルの高い高校進学を目指す。	【H30成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。 ・プログラミングに対する関心が高まったかを含めアンケートを実施し、効果を測定するものとした。 数値については、大多数の関心が高まったと考えられる数値として80%以上を設定した。	
5	座間味村平和・未来プロジェクト事業	H30 ～ H32	本村で起きた悲惨な戦争事実や歴史等を長く後世へ継承し平和学習の推進及び歴史文化遺産の保存継承を図るため文献・書籍・体験者証言を集約し、これらをデジタルコンテンツ化し平和発信の取り組みとして各種イベント(平和学習等)で活用する。	・専門識者によるチームを立ち上げ ・村全世帯への聞き取り調査 ・公文書館及び平和記念会館での資料収集の実施 ・県内マスコミ各社での資料収集の実施 ・一版書籍及び古本等の収集	・専門識者による専門チームの立ち上げ ・現地調査の実施 ・県立図書館等での資料の収集	【H32成果目標】 村小中学生等を対象としたデジタル資料を活用した平和学習参加者:100人以上 【今後のスケジュール】 H30 専門チームの立ち上げ、基礎調査、情報収集 H31 収集した資料のデジタル化やパンフレット作成 H32 平和学習会等を行う。	【H32成果目標設定の考え方】 類似イベントの過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

粟国村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		環境美化促進事業	H24 ～ H33	魅力的な景観地としての景観形成を図るため、観光地及び観光アクセス道路の美化・緑化活動を実施するとともに、外来植物の駆除を行う。	・美化・緑化活動の実施 観光地:5箇所 アクセス道路:13路線	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 H30～H33: ・美化・緑化活動の実施 観光地:5箇所 アクセス道路:13路線	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1		景観計画策定事業	H28 ～ H30	景観計画に基づいた、住民にわかりやすい景観むらづくりガイドラインを作成し、自然や歴史等風景を生かした魅力的な観光地としての景観形成を図るため、住民にわかりやすいガイドラインを作成する。	・景観むらづくりガイドラインの作成	・景観むらづくりガイドラインの作成完了	【H31成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、観光客や村民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 H31～H33年度 景観計画に基づく事業の実施	【H31成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地としてふさわしい景観が保全されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1		粟国村「ア」のくにづくり推進事業	H26 ～ H33	イベントを通して、地域の伝統芸能の保存継承を図るとともに、観光誘客を図るため、粟国村「ア」の国まつりの開催及び広報周知活動を実施する。	・イベント開催:1回	粟国島芸能:演舞者:12人 (むんじゅる節、むんじゅる太鼓、マースヤー、エイサー) イベント来場観光客数:60人/日	【今後のスケジュール】 ・平成33年度までイベントを開催し、観光入客数増加に向けて、村民との交流型イベントを行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1		照喜名原地区整備事業	H27 ～ H31	粟国島を訪れる観光客の受け入れ基盤及び村民の憩いの場を形成するため、「ウーグの浜」を含む照喜名原地区の整備を行う。	・照喜名原地区整備工事	・照喜名原地区整備工事	【H32成果目標】 年間利用者数:900人 【今後のスケジュール】 ・H30～31年度:整備工事 ・H32年度:供用開始	【H32成果目標設定の考え方】 類似自治体の実績等を勘案して設定した。
2		国際交流支援事業	H27 ～ H33	海外での生活体験を通して国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、本村中学生を対象に海外短期留学を実施する。	・海外ホームステイ生徒派遣 5名 ・報告書作成:20部	・帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・派遣予定数 H33年度まで各年度5名	【H30成果目標設定の考え方】 大多数の保護者が国際的な視野が広まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

粟国村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	学力向上支援事業	H27 ～ H33	島内の児童生徒の学習環境の充実及び児童生徒の学力向上を図るため、村内に村営塾を設置する。	・平成30年4月～平成31年3月まで、月平均160コマの村営塾の実施	・沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校:5ポイント 中学校:5ポイント	【今後のスケジュール】 県学力到達度調査で県平均を上回る状況を継続する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	児童・生徒派遣支援事業	H27 ～ H33	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される大会等及びその指導者等に対し、運賃等の補助を行う。	・児童・生徒の島外の大会及び教育活動への参加の支援	・対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒の派遣を今後も継続し、村外での教育活動を通じ、交流活動を続けていく。又、児童生徒の生きる力を育む	【H30成果目標設定の考え方】 大多数の保護者が児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ H33	沖縄本島よりも割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から粟国島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	・食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	・生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差-8.1ポイント以下	【今後のスケジュール】 H33年度まで、沖縄本島から粟国島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援により、生活コストの低減を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	粟国村交通移動手段安定化対策事業	H27 ～ H33	島民及び来島者の利便性の確保を図るため、航空路線の運航日以外にチャーターヘリコプターを利用した場合の運賃を一部支援する。	・航空路線の運航日以外の島民及び来島者のチャーターヘリ利用料金支援	・ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 週7日の定期航空路が再開するまで事業を継続する。	【H30成果目標設定の考え方】 大多数の利用者が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4	粟国村地域防災計画整備事業	H30	災害時において村民及び観光客等の安全を確保するため、「粟国村地域防災計画」の見直し等を行う。	・地域防災計画策定 ・業務継続計画の作成 ・避難勧告基準の見直し及びマニュアルの作成	・地域防災計画の作成完了 ・業務継続計画の作成完了 ・避難勧告マニュアルの作成完了	【H31成果目標】 ・整備した地域防災計画、業務継続計画及び避難勧告マニュアル等を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、計画・マニュアルについて検証する。	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡名喜村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		環境保全・美化推進事業	H24 ～ H33	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、集落内及び観光地周辺の清掃美化、外来植物の駆除及び在来植物の保全育成を行う。	緑化及び美化活動実施箇所 :28箇所 外来植物駆除実施箇所 :8箇所 在来植物保全育成実施箇所 :14箇所	集落内及び観光地周辺の環境及び景観形成について、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 これまで同様事業を実施し、渡名喜らしい観光地づくりをめざし、観光客や地域の方々が安心・快適に過ごせるよう事業を継続していく。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、アンケートを実施し、効果の測定及びあり方の検証を行う。
2		離島苦解消移動手段安定化対策事業	H25 ～ H33	島民及び来島者の交通手段を安定的に確保するため、フェリーの欠航時等に代替手段となるヘリタクシーを利用した場合の運賃を一部支援する。	観光客及び住民に対するフライト実施に係る支援回数 50回	フェリーの欠航時等に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケートにより、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・年間フライト数(見込み) H30年度 50回 H31年度～H33年度 50回	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が事業の目的である利便性が確保されていると感じたと考えられる値として設定した。また、当該事業に関するアンケートを実施し、効果の測定及びあり方の検証を行う。
3		児童・生徒の教育活動助成事業	H26 ～ H33	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで広い視野を持たせるため、村外での教育諸活動(スポーツ・文化)及び交流学習へ参加する児童生徒に対し、航空運賃等の補助を行う。	・スポーツ大会参加 (小学生34名、中学生40名) ・文化発表会等 (小学生16名、中学生10名) ・交流学習 (小学生16名、中学生5名)	申請した保護者へのアンケートで、児童生徒の視野が広がったとの回答割合(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も人数の多い学校での交流学習や沖縄本島地区での大会へ参加し、多くの児童・生徒との交流を通じていくことや、コミュニケーションスキルの向上や、学習意欲の喚起を図っていく。	【H30成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が、児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業についてアンケートを実施し、効果の測定及びあり方の検証を行うものとした。
4		観光振興整備事業	H27 ～ H32	観光案内所や観光スポットである東浜周辺の整備を行うことで、受入体制を整え、観光客の利便性を確保する。	・観光案内所整備の実施 ・観光案内所既存建物解体工事の実施 ・実施設計業務委託の実施 ・観光案内所の備品購入	・観光案内所の整備工事 ・車庫の解体工事(案内所建設予定地にある車庫を解体し、案内所を整備する) ・東浜周辺の植栽、東屋、休憩所の実施設計 ・観光案内所の備品購入	【H31成果目標】 利便性の確保が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 平成30年度: ・観光案内所の建設 (既存車庫の解体含む) ・東浜周辺の植栽、東屋、休憩所の実施設計 ・散策道整備工事の実施設計 ・ターミナル周辺整備工事の実施設計 ・観光案内所版設置工事の実施設計 ・観光案内所の備品購入 平成31年度: ・展望台、トイレ、植栽、東屋、休憩所の整備工事 ・備品購入 平成32年度: ・ターミナル周辺工事 ・散策道整備工事 ・案内板設置工事	【H31成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡名喜村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	H30事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ 細								
5		渡名喜村急患搬送車整備事業	H30	急患搬送車両を導入することで、地域住民や観光客の安全性の確保を図る。	急患搬送車購入 1台	急患搬送車の導入完了	<p>【H31成果目標】 家族や付添人に対して、安全性が確保されていたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 平成30年度:急患搬送車の導入 平成31年度:供用開始</p>	<p>【H31成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が安全性が確保されていたと考えられる値として設定した。また、アンケートを実施し、効果の測定及び事業のあり方について検討する。</p>
6		渡名喜村フォトツーリズム事業	H30 ~ H33	本村は、県立自然公園の指定や国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されるなど、魅力的な景観を残している地域であり、それらを観光資源として、フォトツーリズム事業を行うことで観光誘客を図る。	下記の作成及び納品 ・フォトガイドブック1種(5000部) ・ポスター3種(300部) ・テーブルクロス3種(6枚) ・タペストリー4種(8枚) ・配布ルート提案書(1種)	PRツールの作成完了 ・ガイドブック1種(5000部) ・ポスター3種(300部) ・テーブルクロス3種(6枚) ・タペストリー4種(8枚) ・配布ルート提案書(1種)	<p>【H32成果目標】 ・フォトツーリズム関連の観光客数:25人以上</p> <p>【今後のスケジュール】 平成30年度: ・ガイドブック、ポスター等の作成 平成31年度: ・フォトツーリズム事業のPR活動の実施 平成32年度: ・フォトツーリズム事業のPR活動の実施 ・フォトツーリズムツアーの実施</p>	<p>【H32成果目標設定の考え方】 フォトツーリズム関連の類似事業の実績を参考に設定した。</p>

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡名喜村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	渡名喜村多目的拠点施設整備事業	H26 ～ H33	村民の子育て環境の整備、健康増進、観光振興に加え、歴史民俗資料館、災害時避難施設などからなる多目的拠点施設を整備する。	(子ども預り所・老人福祉施設・災害時避難施設) ・備品購入	施設の運営体制の構築完了	<p>【H31成果目標】 (子ども預り所) 育児に関する負担が軽減されるなど、子育て環境が充実したと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。</p> <p>(老人福祉施設) 施設来場者数 2,351人以上/年</p> <p>【今後のスケジュール】 (子ども預り所・老人福祉施設・災害時避難施設) 平成31年度: 供用開始予定</p> <p>(歴史民俗資料館) 平成31年度: ・基本計画策定、展示基本設計、展示実施設計 平成32年度: ・展示制作工事、展示工事管理業務 平成33年度: ・展示ガイダンス制作業務、収蔵品管理業務 平成34年度: 供用開始予定</p>	<p>【H31成果目標設定の考え方】 (子ども預り所) 対象者のうち大多数が育児に関する負担が軽減されたと考えられる値として設定した。また、アンケートを実施し、効果の測定及び事業のあり方について検討する。</p> <p>(老人福祉施設) 過去の実績を勘案して設定した。</p>	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南大東村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	健康診査用機材搬送事業	H24 ～ H33	本村には健康診断を行う施設機関がない状況である。そこで、村内の住民全てが健診を受けられる環境を整備するため、特定健診等に使用する健診機材及び胸部レントゲン車の海上移送船運賃及び荷役料、検査技師等の来島渡航費を支援する。	1. 集団健診機材の海上輸送運賃の支援 2. 検査技師等スタッフ来島渡航費の支援	集団健診受診率の増:32%以上	【今後のスケジュール】 平成30年度以降過去の集団健診受診率を上回るようにする。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	専門病院受診渡航費助成事業	H25 ～ H33	村内の医療機関では対応できない専門治療等を中断することなく継続して医療が受けられるようにするため、沖縄本島で専門の治療や検査の受診を余儀なくされている住民の渡航費を支援する。	専門病院受診渡航費助成の実施	渡航費支援が必要な人への支援率100%	【今後のスケジュール】 引き続き渡航費支援が必要な人への支援を行い、継続した医療受診につなげる。	【H30成果目標設定の考え方】 島では対応できない専門治療等を受けなければならない人に対して、全員が中断することなく受診できる環境の提供を目標として設定した。	
1	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ H33	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から南大東島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	食品、衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	生活必需品等の価格について、沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前と比較した縮小幅 23ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も沖縄本島から南大東島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援により、生活コストの低減を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	花いっぱいクリーン環境整備事業	H25 ～ H33	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。	観光地及び観光地へのアクセス道路の植栽・美化清掃(観光地 10箇所、アクセス道路 2箇所)	観光客を対象に、観光地としての魅力向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に美化清掃や植栽を行い観光地としての魅力向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南大東村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			大型クルーズ船観光魅力発信支援事業	H28 ～ H33	本村に訪れるクルーズ船客の増加を図るため、島の特異な自然・文化・特産品等の魅力発信を行う。	・島内観光(船11隻、レンタカー15台) ・郷土芸能体験(司会1名、芸能4組)	クルーズ船客350人	【今後のスケジュール】 今後も継続的にクルーズ船誘致を行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3			人材育成派遣事業	H25 ～ H33	島外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される各種大会の派遣費を支援する。	児童生徒の各種大会派遣に対する支援の実施	派遣された児童生徒が広い視野を持たか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する	【今後のスケジュール】 引き続き各種大会派遣に対する支援を実施し、島外での交流等により広い視野を持たせ人材育成につなげる。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持たたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4			南大東村テリハボク高度活用プロジェクト事業	H29 ～ H30	南大東島では、テリハボクは古くから防風林・保安林・農地防風林として植栽され台風等の風や塩害から島を守ると共に島の景観にも溶け込んでいる重要な樹木である。本事業では、テリハボクを資源(オイルや薬用油)とした事業の実施につなげるため、活用方法の調査を行う。	テリハボクの地域資源調査の実施	テリハボクの地域資源調査の完了	【H31成果目標】 テリハボクの種子を活用した事業を実施しうるか確認した後、すみやかに事業化につなげる。	【H31成果目標設定の考え方】 調査中のため、すみやかに事業化につなげることを成果目標とした。
5			南大東村安らぎ空間複合施設整備事業	H30 ～ H33	本村には葬祭場がないため各自宅で葬儀を行っているが、準備等は地域の住民の協力で行われており、遺族や関係者に負担がかかっている。そのため、葬祭場等の複合施設を整備し、葬儀に係る住民の負担軽減を図る。	基本計画・基本設計・実施設計	基本計画・基本設計・実施設計の完了	【H33成果目標】 複合施設の火葬場利用件数に対する葬祭場利用件数の割合80%以上。 【今後のスケジュール】 平成30年度 基本計画・基本設計・実施設計 平成31年度 整備工事 平成32年度 整備工事 平成33年度 整備工事・供用開始	【H33成果目標設定の考え方】 大多数が葬儀に係る負担が軽減されたと考えられる数値として80%以上とした。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北大東村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	地域の観光文化資源の担い手育成事業	H24～H33	島の文化資源である『八丈太鼓』の魅力発信し、県外等での交流発表を開催し、観光誘客を図る。	・文化交流イベントの開催:6回(県外:1回・県内:2回)	・島の観光入客数:1,500以上	【今後のスケジュール】 ・文化資源の担い手育成と他団体との文化交流事業を継続	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	観光アクセス道路美化緑化推進事業	H24～H33	島の観光地周辺や重要なアクセス道路や周回道路等の修景及び美化の重点的な実施を行い、魅力的な観光地づくりを図る。	・アクセス道路及び周回道路の美化実施:清掃員4名	・魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・修景及び美化を実施を継続	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	オンライン双方向授業支援モデル事業	H25～H33	村営塾に学習支援員を配置、また、現役東大生によるオンライン双方向授業により、小中学校の児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	・オンライン双方向授業講師:10人 ・オンライン双方向授業受講生徒:35人	・平成30年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差 小学校 県平均以上 ・3年生:国語、算数 ・4年生:国語、算数 ・5年生:国語、算数、理科 ・6年生:算数 中学校 県平均以上 ・1年生:数学 ・2年生:国語、数学、理科、社会、英語	【今後のスケジュール】 ・今後も支援員配置及びオンライン双方向授業等を実施し児童生徒の学力向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業	H24～H33	子育て基盤の構築に向け、2歳児を含む未就学園児に対する幼稚園の預かり保育支援員を配置し、保護者が安心・安全に子供を預け、育児の負担軽減を図る。	・幼稚園児の預かり保育の実施のための支援員の配置:4人	・対象となる幼児の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた割合(80%以上)を含め事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・預かり保育・特別支援・学習支援配置を継続	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の保護者が育児の負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北大東村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	離島の児童の交流促進事業	H24 ～ H33	離島の不利益を克服し、児童生徒の島外・県外交流の機会増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、スポーツや交流学習における渡航費の支援を行う。	・渡航助成の実施	・派遣された児童生徒が広い視野を持たせたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 ・スポーツや交流学習派遣を継続	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持たたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	離島特別医療質確保推進事業	H24 ～ H33	離島の不利性を克服し、妊婦検診や特定重病患者等に対して、島内で受診できない医療サービスを受ける為の渡航費の支援を行う。	・妊婦検診助成の実施 ・特定重病患者の検診助成の実施	・渡航費支援が必要な人への支援率:100%	【今後のスケジュール】 ・妊婦検診の際の渡航費・滞在費助成を継続	【H30成果目標設定の考え方】 島では対応できない専門治療等を受けなければならない人全員が中断することなく受診できる環境を提供することを目標として設定した。	
4	北大東村景観形成事業	H26 ～ H33	北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向けて、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備を行う。	・村一周海岸道路の植樹環境整備工事の実施:1,000m	・魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・村特有の岩礁や風景を活かした景観形成を行う事で、観光客の誘致、観光産業の振興に繋げる。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
5	北大東村葬祭場建築事業	H30 ～ H31	既存火葬場の老朽化と火葬ホール・霊安室・管理室等の施設機能が十分に果たせていない状況であり、住民の福祉の向上を図るため、葬祭場一式の新築整備を行う。	・葬祭場の設置に向けた基本・実施設計の実施	・実施設計完了	【H32成果目標】 住民の福祉が向上したか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 【今後のスケジュール】 ・H30:実施設計 ・H31:施設整備 ・H32:供用開始	【H32成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が住民の福祉が向上したと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北大東村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6		離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ H33	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から北大東島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	食品、衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	生活必需品等の価格について、沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前と比較した縮小幅18.5ポイント以上	【今後のスケジュール】 ・引き続き沖縄本島から北大東島への輸送経費及び作業経費の支援により、生活コストの低減を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
7		北大東村コミュニティ施設周辺整備事業	H27 ～ H30	北大東村内で毎年行われる祭り行事において、県内・県外から、多くの関係者や観光客が訪れている。コミュニティ施設周辺整備を行い、歴史文化継承及び観光誘客を図る。	・秋葉宮備品格納倉庫工事の実施 ・秋葉宮観覧席工事の実施 ・秋葉宮周公共トイレ工事の実施	・秋葉宮周辺整備の完了	【H31成果目標】 施設を利用した祭りの来場者数 368人以上 【今後のスケジュール】 ・H30:秋葉宮周辺整備	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
8		北大東村認定子ども園整備事業	H30 ～ H32	保育ニーズへの対応及び園児の発育向上を図るため 認定子ども園を整備する。 今年度は実施設計を行う。	・認定子ども園の設置に向けた実施設計の実施	・実施設計完了	【H33成果目標】 (保育部分) ・待機児童0 (幼稚園部分) ・発育度が向上したか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 【今後のスケジュール】 ・H28～30:基本計画・設計(村単費) ・H30:実施設計 ・H31:施設整備 ・H32:施設整備 ・H33:供用開始	【H33成果目標設定の考え方】 (保育園部分) 入園対象児童数を勘案して設定した。 (幼稚園部分) 対象者のうち大多数が発育度が向上したと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
9		農業用水路防災・減災事業	H30 ～ H30	台風等の豪雨による圃場等の洗堀及び干ばつによる、さとうきび等への被害を防ぎ、安定した生産を図るため、農業用排水路の整備に向けた概略設計を行う。	・概略設計業務の実施	・概略設計業務の完了	【H36成果目標】 さとうきび生産量 15,734トン以上 【今後のスケジュール】 ・H30:概略設計 ・H31:事業申請 ・H32:実施設計 ・H33:整備工事 H31～H33の事業は、他の補助金事業を活用。	【H36成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	商工観光産業支援事業	H24 ～ H33	民泊利用者の増加を図るため、伊平屋島観光協会の活動を支援する。	・平成30年度は旅館業法の一部緩和などを踏まえ、参画民家50軒を目標とすべく地域(各戸別訪問)を実施 ・年間受入観光客数 延べ714人以上の受入を目指し他県でのPR活動を実施	民泊利用者数 800人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に伊平屋島観光協会の活動を支援し、民泊利用者の増加を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
	観光地イメージアップ推進事業	H24 ～ H33	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。	草刈り機等のメンテナンスの強化 効率よく作業を行うためのチーム編成等	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方についてアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に観光地及びアクセス道路の美化作業を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
	誘客イベント推進事業	H24 ～ H33	観光誘客を図るため、イベントの開催及び開催支援等を行う。	・委託事業8件 ・補助事業4件	村内入域観光客数 22,861人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にイベントの開催及び開催支援を行い観光誘客を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
	海浜公園植栽及び緑化体制整備事業	H24 ～ H30	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、海浜公園内の植栽管理及び緑化推進体制の整備を行う。	・生育調査及び施肥下刈り ・生育管理研修	・生育調査及び施肥下刈りの完了 ・生育管理研修の完了	【平成33年度成果目標】 観光地として魅力的な景観であると感じるか(80%以上)を含め、米崎海浜公園の景観形成のあり方についてアンケート調査により検証する。 【今後のスケジュール】 今後も継続的に観光地として植栽管理、緑化推進を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【H33成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観であると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
	公園修景等整備事業	H28 ～ H32	国指定天然記念物の念頭平松がある念頭平松公園の整備を行い、利便性を確保する。	・給排水設備工事乗せ工 ・敷地造成工事の施工	・トイレ給排水工事の完了 ・敷地造成工事の完了 (造成、構造物撤去、仮設排水路) ・駐車場敷地造成工事の完了 ・給排水設備工事の完了	【平成33年度成果目標】 利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方についてアンケート調査により検証する。 【今後のスケジュール】 平成29年度～平成32年度 工事	【H33成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		伊平屋村「琉球の兆し」普及啓発事業	H30～H33	文化資源及び観光資源としての価値を高めるため文化財劣化の修復並びに案内サイン版等を設置し活用及び利便性向上を図る。	・螺鈿鞍修復 ・案内サイン版設置	・螺鈿鞍修復率30% ・田名城跡案内版設置完了	【平成33年度成果目標】 民俗資料館入館者数 1,338人/年以上 【平成34年度成果目標】 利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該設備のあり方についてアンケート調査により検証する。	【H33成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 【H34成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2		病害虫防除事業	H24～H30	さとうきびの生産量低下の原因となっている病害虫の防除を図るため、ほ場に薬剤を設置する。	薬剤(性フェロモンチューブ)設置:160ha	さとうきびの生産量 4,900t	【今後のスケジュール】 生産量の安定確保に努めるべく、適宜JAと調査・指導を行う	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
		新伊平屋村製糖工場建設工事	H29～H31	本村の基幹産業であるさとうきび・糖業の安定した生産体制を確立し、継続的なさとうきび・糖業の振興を図るため、含みつ糖製糖施設を整備する。	外構工事(土工・排水構造物工・擁壁工)の実施	外構工事(土工・排水構造物工・擁壁工)の完成	【H31年度成果目標】 製糖期間におけるさとうきびの受け入れ可能割合100%	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
		伊平屋村優良繁殖牛導入事業	H30～H33	本村の畜産業の振興を図る為、畜産農家へ優良繁殖牛導入を支援する。また、農家へ導入費用の一部を助成し、経営の安定化を図るとともに計画的な優良繁殖牛導入を行う。	優良母牛導入の支援 14頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合106%以上	計画的に優良繁殖牛を導入する畜産農家に対して、支援を行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3		伝統文化継承支援事業	H24～H33	伝統芸能及び文化の保存継承を図るため、世代間交流による課外講座の実施や保存会等の活動を支援する。	伝統文化学習講座の開催:14教室/11回 島内伝統芸能保存団体支援:8団体	・伝統文化教室への参加者数 133人 ・伝統芸能演舞者数 25名 ・来場者数 323名	【今後のスケジュール】 児童・生徒の要望等も鑑み多様な学びの機会を提供する。 長期的な展望をもち、継続して後継者を育成する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ H33	特別な支援を要する児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。また、児童生徒の学力に応じた学習指導を行うことで、学力及び学習意欲の向上を図る。	・特別支援を必要とする児童へ支援員を配置する。 ・学習支援員の配置2名	・対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。 ・沖縄県学力到達度調査における平均正答率30%未満の割合の減少 小学5年生:国語(6.4%以下) 小学3年生:算数(11.6%以下) 中学2年生:国語(12.6%以下) 中学2年生:数学(22.2%以下) 中学2年生:理科(35.6%以下) 中学2年生:社会(21.8%以下) 中学2年生:英語(23.8%以下)	【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒に応じた支援指導を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善、学力及び学習意欲向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 ・対象者のうち大多数が学習上の困難の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・過去の実績を勘案して設定した。
		英語学習支援事業	H25 ～ H33	海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、国際的な視野を持つ人材を育成する。	海外短期留学(アメリカ):3名 イングリッシュキャンプ:20名	参加者及び保護者へのアンケートで、海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、児童生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に海外での生活体験や外国人講師との交流を通して、国際的な視野を持つ人材育成を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 参加者及び保護者の多数が国際的な視野が広まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
		伊平屋島児童・生徒島外派遣等支援事業	H26 ～ H33	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で実施される各種大会への参加を支援する。	当該開催イベント及びスポーツ大会、文化交流等への参加(小学生9回・のべ135名) 当該開催イベント及びスポーツ大会、文化交流等への参加(中学生6回・のべ324名)	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に島外で実施される各種大会への参加を支援し、児童生徒に広い視野を持たせる。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持つことができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
		伊平屋島起業家人材育成事業	H26 ～ H31	児童生徒の就業意識の向上を図るため、キャリア教育を実施する。	・商品開発を通じた生徒への研修 ・パッケージデザイン決定 ・本島への職場体験(商品の販売)及びマナー講座 ・商品開発、職場体験を通じた発表会	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的にキャリア教育を実施し、児童生徒の就業意識向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	幼稚園預かり保育支援事業	H24～H33	預かり保育の実施により、保護者の育児における負担感の軽減を図る。	嘱託保育士1人配置	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に預かり保育を実施し、保護者の育児負担感の軽減を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が育児の負担感が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
	慢性疾患等通院時渡航費助成事業	H30～H33	慢性疾患等による島外医療機関での医療が継続して受けられるよう、受診に伴う渡航費を助成する。	広報誌等を活用し住民へ事業の周知。	渡航費支援が必要な住民への支援率100%	【今後のスケジュール】 今後も継続的に渡航に係る経済的負担を軽減し、適正医療受診を目指す。	【H30成果目標設定の考え方】 本事業の目的は、島では対応できない専門治療を受けなければならない人に対して、全員が中断することなく受診できる環境を提供することであるため設定した。	
	ウェルネスいへや推進事業	H27～H33	運動習慣の啓発を図るため、健康イベントを実施する。	毎月1回各字公民館等において健康教室の開催。年2回ウォーキング大会の開催。	各種健康イベントへの総参加者数600人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に健康イベントを実施し、運動習慣の啓発を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
	住民健診フォローアップ推進事業	H27～H33	住民健診・がん検診等において要精密検査と判定された住民が島外医療機関で精密検査を受けられるよう、検査に伴う渡航費を助成する。	広報誌等を活用して事業の周知徹底を図る。住民健診の結果説明会時に精査及び二次検診の受診勧奨を行う。対象者に個別に受診勧奨を行う。	渡航費支援が必要な住民への支援率100%	【今後のスケジュール】 今後も継続的に検査に伴う渡航費を助成し、島外医療機関で精密検査を受けられるようにする。	【H30成果目標設定の考え方】 本事業の目的は、島では対応できない専門治療を受けなければならない人に対して、全員が中断することなく受診できる環境を提供することであるため設定した。	
	自動車航送コスト負担軽減事業	H24～H33	島民に対しフェリー自動車航送費への支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	自動車航送運賃の低減 H30年度:年間6,240台	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に自動車航送費の支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		伊平屋村不法投棄未然防止強化事業	H28 ~ H30	本村は、産業廃棄物処理施設がないため不法投棄が後を絶たずその対策が課題となっているため、不法投棄物を撤去し未然防止策を講じる。	残存事業、新規事業の不法投棄箇所による数量調査後の撤去業務委託。	不法投棄の発生件数 0件	【今後のスケジュール】不法投棄問題解決へ向けて、検討協議会で方向性の確立を図る。	【H30成果目標設定の考え方】不法投棄をなくすことを目標に設定した。
		生ゴミ等循環型資源活用事業	H28 ~ H30	環境保全を図るため、生ゴミの回収・処理を実施する。	生ゴミ処理機導入し、生ごみの堆肥化を図る	堆肥化された生ゴミの量 4.2トン以上	【今後のスケジュール】生ごみの堆肥化を図り、美化作業等に活用する	【H30成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。
		離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ~ H33	沖縄本島よりも割高な生活コストの低減を図るため、生活必需品等の輸送経費等の支援を行う。	食品、衣料、履物、日用品、衣料品、保健医療用具、器具、家庭用品等の輸送経費及び作業経費の支援	生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差 0ポイント以下	【今後のスケジュール】今後も継続的に生活必需品等の輸送経費支援を行い、沖縄本島よりも割高な生活コストの低減を図る。	【H30成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	観光地等クリーンアップ事業	H24 ～ H33	魅力的な観光地としての景観形成を図る。	観光ルート等の雑草の除去及び花木の植栽、肥培管理の実施 まつり会場(1カ所)、フットパスコース(1カ所)、集落内外(5カ所)、フラワーロード(4カ所)、観光施設等(5カ所)	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に美化清掃や植栽を行い、観光地としての魅力向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	いげな尚円王まつり支援事業	H24 ～ H33	いげな尚円王まつりを通して、伝統文化の継承と観光客の誘致を図る。	いげな尚円王まつりの開催支援	来場者数 1,040人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にまつりを開催し、観光誘客を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業	H24 ～ H33	観光誘客を図るため、尚円王に関する旧蔵品等の整備・復元を行う。	旧蔵品修復・復元業務	旧蔵品を活用した祭事への来場者数100人	【今後のスケジュール】 H32まで計画的に旧蔵品等の整備・復元を行い、観光誘客を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	伊是名モータースポーツ支援事業	H26 ～ H33	モータースポーツ大会を通して、観光客の誘致を図る。	ドラックレース大会の開催:2回 スーパードリフト大会の開催:3回 ジムカーナー大会の開催:1回	来場者数 880人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に大会を開催し、観光誘客を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	いいな運天港いちゃり場まつり支援事業	H26 ～ H33	いいな運天港いちゃり場まつりを通して、観光客の誘致を図る。	「いいな運天港いちゃり場まつり」の支援	来場者数 1,100人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にまつりを開催し、観光誘客を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	沖縄らしい風景づくり推進事業	H26 ～ H33	魅力的な観光地としての景観形成を図る。	景観形成への支援 団体支援 5団体	観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援し、観光地としての魅力向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	尚円王マラソン大会支援事業	H28 ～ H33	伊是名尚円王マラソン大会を通して、観光客の誘致を図る。	伊是名尚円王マラソン大会の開催支援	島外からのエントリー者数 293人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に大会を開催し、観光誘客を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。	
1	観光施設整備事業	H29 ～ H30	観光誘客を図るため、本村の観光スポットである二見ヶ浦海岸を一望できる展望台の整備を行う。	展望台整備の実施	展望台整備の完了	【H31成果目標】 入域観光客数 36,494人	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。	
2	伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ H33	島民に対し、フェリー自動車航送費への支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	自動車航送コスト支援の実施	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援し、定住条件の構築を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が定住条件の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ H33	沖縄本島よりも割高な生活コストの低減を図るため、生活必需品等の輸送経費等の支援を行う。	食品、衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差 -2.6以下	【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援し、定住条件の構築を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	伊是名村救急体制強化事業	H30	災害時の住民や観光客の安全を確保する。	緊急車両(消防車)導入の実施	緊急車両(消防車)1台の導入完了	【H31成果目標】 消防団訓練の実施 12回以上/年	【H31成果目標設定の考え方】 当該車両を活用した消防団訓練を月に1回程度実施するものとして設定した。	
2	定住促進住宅整備事業	H30 ~ H33	Uターン・リターンによる移住者等の定住促進を図るため、定住促進住宅を整備する。 今年度は実施設計を行う。	実施設計の実施	実施設計の策定完了	【H32成果目標】 供用開始後1年目(平成32年度)の目標を以下のとおりとする。 入居世帯数:2世帯 【今後のスケジュール】 平成31年度:建築工事 平成32年度:供用開始	【H32成果目標設定の考え方】 定住促進住宅への入居世帯数を設定することで、定住促進の目的が達成されていると考え設定した。	
3	人材育成事業(日高小との交流事業)	H24 ~ H33	北海道での生活や体験を通して、広い視野を持つ人材を育成する。	日高小学校との交流・体験学習の実施 児童:15人 引率者:5人	保護者へのアンケートで、県外の人との交流により、児童の視野が広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に交流・体験学習を行い、人材育成を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	児童生徒島外諸教育活動支援事業	H24 ~ H33	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる。	島外教育活動への派遣費の支援 活動団体数:6団体	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援し、人材育成を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が島内ではできない経験ができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	幼稚園預かり保育支援事業	H24 ~ H33	預かり保育の実施により、保護者の育児における負担感の軽減を図る。	保育士の雇用:2人	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に雇用し、保護者の負担感の軽減を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が負担感の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	グッジョブ連携推進事業	H24 ～ H33	児童生徒の就業意識の向上を図る。	小学校:ジョブシャドウイングの実施 小学校5年生:10人 中学校:職場体験学習の実施 中学校2年生:10人	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に体験学習等を実施し、人材育成を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	学習支援事業	H24 ～ H33	学校への学習支援員の配置及び放課後教室・学習塾の開講を行い、学力の向上を図る。	週3日程度の学習塾を開講 学習支援員の確保:3人	平成30年度沖縄県学力到達度調査での村と県の平均正答率の差 小学校 -6.0ポイント以上 中学校 1.0ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に学習塾を開講し、人材育成を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。	
4	伊是名村土づくり支援事業	H24 ～ H33	さとうきびの生産量の増を図るため、ほ場に堆肥の散布を行う。	堆肥導入数量:2,000t	さとうきびの単収 5,484kg	【今後のスケジュール】 今後も継続的に堆肥を導入し、生産物の増量を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			漁港施設機能強化事業	H24 ～ H33	主要漁港の鮮度保持施設に製氷機の整備を行い、漁獲単価の向上を図る団体へ支援を行う。	鮮度保持施設(1基)の導入に対する補助	漁獲単価646円/kg以上	【今後のスケジュール】 製氷機の整備を行い、漁獲単価の向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			優良雌牛導入事業	H26 ～ H33	本町の繁殖雌牛の生産基盤の拡充・改良を促進し「くめじま牛」のブランド化を推進するため、優良遺伝繁殖雌牛の導入を行う団体へ支援を行う。	優良繁殖雌牛導入(80頭)に対する補助	導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:110%以上	【今後のスケジュール】 H33までの導入頭数(累計):510頭	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			モズク加工工場機能強化事業	H24 ～ H33	モズク生産者の所得を向上させ、経営安定化を図るため、モズク加工工場の塩蔵加工設備を整備する団体へ支援を行う。	塩蔵加工設備(一式)の増設整備に対する補助	モズク加工工場の塩蔵加工設備の整備完了	【H31成果目標】 久米島町のモズク生産者一人当たりの養殖本モズク(時期物)生産による所得820万円	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			久米島紬販売促進事業	H24 ～ H33	久米島紬に係る商品の売上増加に繋げるため、販売会や問屋呉服店への販促訪問等を行う団体へ支援を行う。	・県内・外での展示会参加数 8回 ・男性用着尺の試作品製作 6反	・反物売上額 6,355万円以上 ・小物売上額 1,489万円以上	【今後のスケジュール】 久米島紬に係る商品の売上増加に繋げる。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2			久米島特産品販路開拓事業	H24 ～ H33	島産品の売上増加を図るため、県内外で開催される物産展へ出展する事業所を支援する。また、島の特産品パンフレットを作成し、物産展で配布する。	・県内外での物産展開催・参加 8回 ・特産品パンフレット製作(中国・韓国語表示) 10,000部	・物産展における販売額 2,844万円	【今後のスケジュール】 島産品の売上増加を図るため、県内外で開催される物産展へ出展する事業所を支援する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2			地域型就業意識向上支援事業	H30 ～ H33	児童生徒に早い段階から「働くこと」への意識づけを行い、将来の夢や目標に向けた就業意識向上を図り、地域に貢献できる人材の育成を目指す。	ジョブシャドウイングの実施 中学生職場体験実施・支援 久米島高校との連携(インターソップ・職業人講話・合同企業説明会等) 職業体験型イベント「わくわくワーク」の開催 「リーダー育成プログラム」 小中学校教員向け研修会 協議会の開催	参加した児童生徒へのアンケート 就業に対する意識が向上したと回答した割合(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 若年層の就業意識の向上。地域に貢献できる人材の育成。 地域に愛着を持ち、島でも魅力ある仕事に就けるという個々の意識改革に繋げる。	【H30成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒が意識が向上したと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	久米島観光誘客支援事業	H24 ~ H33	久米島の魅力を活かした広報活動や、各種イベントを実施し、観光客の誘客を図る。	・久米島空港観光案内業務 ・久米島広報推進業務 ・久米島ハワイアンフェスティバル ・久米島のんびりウォーク	入域観光客数 123,000人以上 イベント参加人数(島外)394人以上	【今後のスケジュール】 効果的な広報活動、イベント実施につなげ、さらなる観光誘客を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	久米島観光プロモーション事業	H25 ~ H33	WEB及びマスメディアを活用した観光プロモーションを実施し、久米島の認知度の向上及び観光客の誘客を図る。	久米島の観光の魅力を各種メディア媒体で情報発信する。2社実施。	入域観光客数:123,000人以上	【今後のスケジュール】 ・国内大手のWEB旅行会社にて久米島の旬な観光情報を発信する。併せてマスメディア(テレビ放映)による情報発信を行う。情報の拡散効果を図るためSNSも活用する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	体験交流型観光商品開発販売促進事業	H26 ~ H30	久米島の自然環境、歴史文化、産業などの地域資源と人を活かした体験型・交流型観光を推進することで、修学旅行の誘致と観光誘客を図る。	民泊事業の受入整備、強化 修学旅行の誘致 体験プログラムの構築	・民泊事業者数:38戸以上 ・修学旅行の受入学校数:11校以上 ・体験プログラム利用者数:1,823人以上	【今後のスケジュール】 ・修学旅行実施校の増加と観光入域数の増加を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	久米島町観光振興基本計画策定事業	H30	観光産業の現況及び今後の動向を踏まえ、実効性のある具体的施策を掲げた「新たな戦略と指標」となる「第2次久米島町観光振興基本計画」を策定し観光誘客を図る。	・久米島町観光振興基本計画に係る調査事業及び計画策定	・久米島町観光振興基本計画の策定	【H31成果目標】 本事業で策定する基本計画を基に、観光振興を目的とした事業の実施につなげる。 【今後のスケジュール】 ・観光振興基本計画に基づく事業の実施後(平成31年度以降)の入域観光客数の増加を図る。	【H31成果目標設定の考え方】 本事業で策定する基本計画に基づき観光振興事業を検討し、事業実施につなげることを成果目標として設定した。	
3	航空路線拡充対策事業	H26 ~ H33	給油施設のない久米島空港でのチャーター便の給油及び燃料輸送等に係る費用を負担することで、チャーター便や新規航空会社の誘致を行い、離島航空路線のプログラムチャーター化及び定期便化を促す。	チャーター便実現の為、久米島空港での給油を行う。 新規航空会社の誘致及び誘致に係る調査及び活動を行う。	・チャーター便就航数:40便	【今後のスケジュール】 定期便化につながるチャーター便就航数の増加を目標として展開する。	【H30成果目標設定の考え方】 数値は過去の実績に基づき設定した。	
3	航空運賃コスト負担軽減事業	H30 ~ H33	割高な航空運賃を低減し、航空事業者に対しその差額を負担する。入域者数の増加による地域の活性化を図る。	航空会社が実施する交流人口の航空運賃割引に対して補助を行う。 交流人口とは、島民以外の人で久米島町を訪れる人のことをいい、レジャー目的旅行者の他、ビジネス客等を含む。	久米島町の入域者数:123,000人	【今後のスケジュール】 ・観光振興基本計画に基づき、入域観光客数の増加を目指す。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	複合型防災・地域交流拠点施設整備事業	H29 ～ H31	災害時は、住民、観光客及び災害時要援護者等が安全に避難生活をおくれる避難所として、平時は地域の交流拠点として利用できる施設の整備を行う。	建築実施設計 用地造成実施設計	・拠点施設の実施設計の完了	【H32成果目標】 (災害時) ・施設を利用した避難訓練(2回/年(うち観光シーズンの実施1回))を実施し、安全・確実に避難できたか(80%以上)を訓練参加者に対するアンケート調査により確認するなどし、当該施設のあり方について検証する。 (平常時) ・施設の年間利用者数 延べ3,800人以上(図書館のみの利用は除く) ・図書館の年間貸出冊数44,300点以上 【今後のスケジュール】 H31年度:建築工事 工事施工監理 備品購入費 H32年度:供用開始	【H32成果目標設定の考え方】 (災害時) 当該施設を活用した避難訓練を実施し、アンケート調査等で検証することで、災害時の安全確保が図られているかを確認できるものであり、成果目標として設定した。 数値については、大多数にとって安全が確保されたと考えられる数値として80%以上を設定した。 (平常時) 過去の実績を参考にして設定した。	
4	子育て支援事業	H28 ～ H33	町民や観光客等の利便性の確保を図るため、幼児から小学生が気軽に安心安全に遊べる施設を整備する。また、家族連れの観光客が安心して遊べる公園を整備することにより、観光地としての魅力アップを図る。	・測量設計 ・実施設計	・実施設計書の作成完了	【H33成果目標】 当該施設の整備により利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。 【今後のスケジュール】 H31年度:公園整備工事実施・完了 H32年度:供用開始	【H33成果目標設定の考え方】 利用者の大多数にとって利便性が確保されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	
4	久米島霊園整備事業	H30 ～ H32	墓地の散在化抑制及び集約化を行い景観の保全を図るため、霊園施設を整備する。	・基本計画策定	「久米島霊園整備基本計画」の策定完了	【H33成果目標】 霊園施設利用世帯:16世帯以上 【今後のスケジュール】 H31:基本設計・実施設計 H32:建築・造成工事・備品購入 H33:供用開始	【H33成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
5	スポーツコンベンション施設機能強化事業	H24 ～ H30	プロスポーツ等のキャンプ誘致を促進し観光産業の振興を図るため、現在、受入施設として使用している、久米島野球場関連施設の整備を実施する。	・実施設計 ・機能強化工事	プロ野球キャンプ実施件数 1件 スポーツ合宿招致件数 6件	【今後のスケジュール】 施設等の充実・強化を図り、安心安全で快適な観光地としての施設整備を行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			H30事業内容	H30活動目標(指標)		H30成果目標(指標)	今後の展開方針等
6	文化遺産保存活用事業	H24 ~ H33	町内における歴史資料の修復を行い、企画展等を開催し周知することで、歴史の継承を図るため、町内に残されている歴史資料の修復等を行う。	古文書の修復及び翻刻並びに口語訳を行う。	・修復した資料を活用した企画展の来場者数 400人以上	【今後のスケジュール】 文化財の適切な保護を図るとともに博物館利用者の増加を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 数値は過去の実績を勘案して設定した。	
6	久米島現代版組踊り創作事業	H24 ~ H33	沖縄に古くから伝わる古典芸能「組踊」をベースに、民俗芸能の要素を取り入れた現代版組踊りを島の中高校生が演じることで、歴史・文化の継承を図る。	中高生が古典芸能「組踊」をベースに、民俗芸能の要素を取り入れたミュージカル的な現代版組踊りの公演を実施、並びにイベント出演をする。 H30年度は、中学生による現代版組踊公演の実施、自主公演に向けた指導者の育成を行う。	・参加者(演者)及び来場者へのアンケートで、歴史・文化に対して理解が深まった(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・活動を運営する組織を作り、公演等の活動を継続する。 ・地域づくりへの参画による町おこしと、魅力ある文化観光資源の創出により、地域活性化につなげる。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者の大多数が理解が深まったと考えられる数値として設定した。 また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	
7	英語指導員配置事業	H24 ~ H33	小学校期からの長期的な英語指導によって国際性とコミュニケーション能力の育成を図る。外国語活動及び国際理解教育により英語への興味・関心を高めるために、英語指導員を配置する。	英語指導員配置数:小学校1名 小学校3年生から6年生(3~4年生:120時間、5~6年生:210時間)で実施する。	・英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、児童へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 中学校の外国語教諭と連携を密にし授業改善(内容・単語・センテンス等)について検討する。	【H30成果目標設定の考え方】 対象児童の大多数が興味・関心が高まったと考えられる数値として設定した。 また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	
7	基礎学力向上学習支援員配置事業	H26 ~ H33	学習支援員を配置し、学習未定着の児童にきめ細やかな学習支援を行うことで、学力の向上を図る。担任と支援員(TT式授業)の二人体制で授業を行い、落ち込みのある児童に対してきめ細やかな支援を行う。	基礎学力向上学習支援員を小学校へ3人配置 対象:小学校3年生~6年生の国語・算数	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差:県平均以上とする	【今後のスケジュール】 高校・大学へと進学し久米島を担う人材育成を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
7	特別支援教育支援員配置事業	H26 ~ H33	授業についていけない児童生徒(発達障害など学習面や生活面での特別な教育的補助を必要とする児童)への個別指導や放課後の補習、介助や安全確保等を教師と連携して行う支援員を配置する。	特別支援教育支援員配置 小学校11人・中学校4人	・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き、困難を抱える児童生徒に対して支援を行い、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者の大多数が満足していると考えられる数値として設定した。 また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	児童・生徒各種大会派遣支援事業	H27 ~ H33	島外で開催される各種大会への派遣旅費を支援し、児童・生徒の多様な能力と心身の発達や育成を図る。島外の生徒との競争や交流の機会を増やすことで広い視野を持たせる。	小中学校の課外学習で久米島町外開催の各種大会等へ参加する際の渡航費用等への補助金支給	・派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合80%以上を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き派遣旅費の補助により多くの生徒に派遣機会をもたらす。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者児童・生徒の大多数が広い視野を持ってたと考えられる数値として設定した。 また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	
7	ICTを活用した家庭学習支援事業	H29 ~ H30	小中学生を対象に家庭学習環境の充実を図るため、ICTを活用したオンライン双方向授業を行う「町営学習塾」を開設する。沖縄本島や本土と同等の学習環境を整備し、学力の向上を図る。	ICTを活用した町営学習塾の開設	学習塾で実施される期末テストにおいて、全国と本町との平均点の差を以下のとおりとする。 小学校：-35.0点以内 中学校：-33.0点以内	【今後のスケジュール】 本事業により家庭学習環境が整えられることで、自ら学び、自ら解決する等の問題解決能力の育成が図られるとともに、島外講師との交流により町の将来を担う社会性豊かな人材の育成につなげる。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標)：平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標)：平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	八重瀬町国際交流人材育成事業	H24 ~ H33	海外での生活や体験を通して、国際的な視野を持つ人材を育成するため、中学生をハワイに派遣する。	海外短期派遣生徒数 12人	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して事業を実施し、派遣者のみならず、報告会等の実施による波及効果により町内の児童生徒の英語への学習意欲を高める。H33年度までに、累計120人の派遣を想定。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野が広まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	八重瀬町少年少女人材育成交流事業	H26 ~ H33	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外の児童生徒との交流を実施する。	(夏期) 児童生徒交流者数 12人 (冬季) 児童生徒派遣者数 42人	保護者へのアンケートで、県外の人との交流により、児童生徒の視野が広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して県外児童生徒との交流を実施する。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、県外の人との交流により視野が広まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	渡嘉敷島リーダー研修事業	H26 ~ H33	児童に広い視野を持たせるため、本島外で研修を行う。	・小学生66名(33単位×2名)募る ・渡嘉敷リーダー研修 1回実施	保護者へのアンケートで、本島外での研修により、児童の視野が広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して本島外で研修を行い、安全面の強化と研修の効果をより発揮するため、人数を絞って実施する。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、本島外での研修により視野が広まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	八重瀬町外国語指導強化事業	H24 ~ H32	幼児児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図るため、町内幼小中学校に英語指導助手を配置する。	・英語指導助手:4人 4小(2人は小兼務) 2中は各1人配置(園を兼務)	小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 中学校 沖縄県学力到達度調査(英語)における、県と本町との平均正答率の差 -1ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して町内用小学校に英語指導助手配置し、幼児児童生徒の英語学習意欲及び英語学習能力の向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、英語に関する興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 過去の実績を勘案し設定した。	
1	八重瀬町パソコン指導強化事業	H24 ~ H33	児童生徒の情報端末操作技術の向上を図るため、町内小中学校へパソコン指導員を配置し、パソコンを使用する授業のサポートを行う。	パソコン指導員配置数 小学校に2人配置(2名兼務) 中学校に2人配置	児童へのアンケートで、ICT機器を活用できたと感じたか(80%以上)を含め、ICT機器の活用のある方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して町内小中学校へパソコン指導員を配置し、児童生徒の情報端末操作技術の向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、情報端末操作技術の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	八重瀬町学力向上支援事業	H25 ~ H33	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図るため、町内小中学校に学習支援員を配置する。	学習支援員配置数 小学校:10人 中学校6人	沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 小学校(国語・算数) -2ポイント以上 中学校(国語・数学) -3ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して町内小中学校に学習支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより、学力の向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	八重瀬町特別支援員配置事業	H27 ~ H33	特別な支援を要する幼児児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、町内幼小中学校に特別支援員を配置する。	特別支援員配置数 小学校:14人 中学校6人 幼稚園:16人	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して町内幼小中学校に特別支援員を配置し、特別な支援を要する幼児児童生徒に対する支援を行うことで、学校生活や学習上の困難改善を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、特別支援員の対応に満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	切磋琢磨学力パワーアップ事業	H26 ~ H30	生徒の学力の向上を図るため、町内中学生に対して放課後や休日等に学習支援を行う。	放課後講座 (平成30年6月~平成31年3月) 定期テスト補習講座 長期休業中講座 三年生対象高校入試模試	沖縄県学力到達度調査(国語・数学)における、県と本町との平均正答率の差-3ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して町内中学生に対して放課後や休日の学習支援を行い、生徒の学力向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。	
1	ICT教育強化事業	H26 ~ H30	各小中学校へ電子黒板を配置したが、教室増に伴う電子黒板とパソコンに不足がある為、引き続き配置し、ICT活用状況のアップと学力向上を図る。	電子黒板等(3台) パソコン(3台)	・町内小中学校の普通教室への電子黒板及びパソコン導入率を100%にし、年間授業日数の30%以上の活用を目指す。 ・全国学力学習状況調査の平均正答率を、 (小学校)全国平均+5ポイント以上 (中学校)県平均-3ポイント以上	【今後のスケジュール】 ICT活用の拡大を図り、児童生徒の情報活用能力の向上及び分かりやすい授業を継続する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。	
2	八重瀬町イベント事業	H24 ~ H33	伝統芸能の継承と観光客の誘致を図るため、町内イベントの開催支援を行う。	・青年エイサー祭りの開催支援 ・やえせ桜まつりイベントの開催支援	・青年エイサー祭り:来場者数 11,000人 ・やえせ桜まつり :来場者数 5,500人	【今後のスケジュール】 今後も継続して町内イベントの開催支援を行い、伝統芸能の継承と観光客の誘致を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。	
2	八重瀬町観光地美化清掃事業	H24 ~ H33	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。	観光地や施設及びアクセス道路の美化作業 観光地:13箇所 アクセス道路:4.5路線	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、観光地としてふさわしい景観及び環境であると感じていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	港川フィッシャー遺跡整備事業	H24 ~ H31	本町の歴史の継承と観光誘客を図るため、港川遺跡公園を整備する。	・港川遺跡公園実施設計委託 ・用地購入	・港川遺跡公園実施設計の完了 ・用地購入の完了	【H32成果目標】 訪れた観光客へのアンケートで、利便性の向上が図られたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 H31:整備工事	【H32成果目標設定の考え方】 訪れた観光客等のうち大多数が、利便性が向上したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	生涯学習・文化振興拠点整備事業	H30～H33	伝統芸能の保存継承と観光誘客を図るため、生涯学習・文化振興拠点施設を整備する。	生涯学習・文化振興拠点施設の基本計画策定(導入機能、施設規模)	基本計画策定の完了	【今後のスケジュール】 H31年度 実施設計 H32年度 造成工事 H33年度 建築工事 H34年度 供用開始 【H34成果目標】 供用開始後1年目(平成34年度)において、 伝統芸能演舞者数 660人以上 年間施設利用者数 30,000人以上 を目指す。	【H34成果目標設定の考え方】 本施設で講座等の受講、サークル活動等を行い、伝統芸能を演舞した人数を設定した。 近隣施設の利用実績を参考に設定した。	
2	「ホロホロ - の森の生き物たち」調査及び報告書作成事業	H30	観光誘客を図るため、ホロホローの森の調査・観察会・パネル展等を実施する。	調査で得られた成果から報告書を作成し、また観察会及びパネル展を開催する。	観察会に参加した観光客数 200人以上	【今後のスケジュール】 ホロホローの森を散策コースとして観光資源として活用していく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。	
2	運動公園施設等整備事業	H24～H33	スポーツキャンプの誘致を図るため、運動施設の整備を行う。30年度においては、芝管理業務、東風平サッカー場における防球ネットの機能強化および管理棟トイレ・シャワーに係る設計業務を行う。	・サッカー場、プロ仕様芝生整備 ・サッカー場の管理棟新築設計 ・具志頭運動公園陸上競技場の芝生用肥料、寒冷地型芝生種子等の購入 ・サッカー場防球ネット改修	野球キャンプの受け入れ 6件以上 サッカーキャンプの受け入れ 4件以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して運動施設の整備を行い、スポーツキャンプの誘致を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。	
2	八重瀬町サッカーキャンプ事業	H26～H33	本町でキャンプを行うチームとの事前受入調整を行いキャンプ受入時に必要なものを揃えることで、キャンプの誘致を行う。また、チームの集客力を活かした誘客と来場者が町内周遊できる仕組みづくりを実施する。	・Jリーグ加盟チーム2チーム・海外プロサッカーチーム1チームの計3チームのキャンプ誘致	・キャンプ期間中來客数10,000人以上 ・Jリーグチーム2チーム以上・海外プロサッカーチーム1チーム以上の計3チーム以上のキャンプ受け入れ ・キャンプ來客者が冊子を活用し町内で消費した額370万円以上	【今後のスケジュール】 今後も継続してキャンプ受入に係る調整をし、キャンプの誘致を行うことで、地域活性化を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 來客数については、過去の実績値を勘案し設定した。 受入チーム数については、キャンプ開催時期等を勘案し設定した。 消費額については、費用対効果を勘案し設定した。	
2	八重瀬町観光拠点施設整備事業	H27～H33	観光誘客を図るため、観光拠点施設を整備する。	・小型自動車駐車場整備 11台	小型自動車駐車場(11台)により増加した施設利用者数 165,000人以上	【H30成果目標】 観光拠点施設内の事業内容 ・特産品等の販売 ・観光団体の受け入れ ・観光案内所の開設 ・イベントの開催等 【今後のスケジュール】 H31 自動車充電施設の導入 H33 FM局の導入	【H30成果目標設定の考え方】 施設稼働日数等を勘案し設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3		八重瀬町観光ブランド魅力創出事業	H24 ～ H33	観光誘客を図るため、観光体験プログラムの作成や町内の観光客の受入体制を整備する。	・体験観光プログラムの作成 3個(うち1個は自転車を活用) ・体験観光プログラム提供者間での意見交換会の実施 1回 ・教育機関、学生団体と連携した人材育成・強化プログラムの実施と検証 2回 ・観光意識向上プログラムの実施と検証 2回	作成した体験観光プログラムに参加した観光客数 159人以上 人材育成・強化プログラムへの参加者へのアンケートで、観光客へのおもてなしの心が向上したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。 観光意識向上プログラム等への参加者へのアンケートで、観光への不安が解消されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 八重瀬町の魅力ある観光ブランドを創出し誘客を行っていくために、地域との合意形成を図りながら受け入れ体制の構築とプロモーションを同時に図り、体験滞在型の観光振興を実施していく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去実績を勘案し設定した。 対象者のうち大多数が、おもてなしの心が向上したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 対象者のうち大多数が、不安が解消されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3		八重瀬町ブランド販路構築支援事業	H24 ～ H33	町内にある既存の町産品について、町外・県外への販路拡大を図るため、商談会の実施等を行う。	町外よりバイヤーを招聘し、町内事業者を対象とした商談会の実施 2回 県外商談会、物産・観光展への出展支援 3回、ニーズ調査・PRを目的としたテストマーケティング、イベントの開催 3回	商談が新規成立した事業者数 2件以上	【今後のスケジュール】 小規模事業を八重瀬町ブランドとして確立させるために必要な支援を行い、参画事業者の所得向上につながるよう販路拡大支援企画を継続的に実施していく。	【H30成果目標設定の考え方】 近隣市町村の類似事業などを参考に設定した。
3		八重瀬町観光プロモーション事業	H26 ～ H33	町内への観光誘客のため、観光プロモーションを実施する。	プロモーション支援員 2人配置 観光プロモーション 3回	主要観光施設の入込観光客数 210,000人以上	【今後のスケジュール】 八重瀬町の認知度向上を図るために県内外に観光プロモーションを実施し、観光パンフレット等必要な施策を効果的に構築させることにより魅力ある八重瀬町を観光プロモーションしていく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
4		八重瀬町地産地消フェア事業	H26 ～ H30	町民や観光客等に町産品を広く知ってもらうため、地産地消まつりへの支援を行う。	・地産地消まつり開催支援(2カ所) ・農作物のPR	来場者数 4,206人以上	【今後のスケジュール】 八重瀬町の認知度向上、農作物のPR効果を測定し、今後の事業展開を適切に見直ししていく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
4		農薬飛散防止ネット整備事業	H29 ～ H32	町内にある農作物の生産性の向上を図るため、農薬飛散防止ネットの整備を支援する。	・農薬飛散防止ネットの整備の実施	農薬飛散防止ネット整備箇所における、農薬飛散による苦情件数 0件	【今後のスケジュール】 今後も継続して農薬飛散防止ネットの整備支援を行い、町内にある農作物の生産性向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 苦情件数0件を目標として設定した。
4		八重瀬町和牛改良支援事業	H26 ～ H30	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	優良母牛導入頭数:30頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 112%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して県内外の優良母牛の導入を行うことで、価値の高い子牛を生産し、町のブランド牛としての確立を図っていく。	【H30成果目標設定の考え方】 過去実績を勘案設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		乳用牛改良支援事業	H29 ～ H33	農家の経営の安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の向上を図るため、優良母牛導入の支援を行う。	優良乳用牛導入頭数:30頭	生産乳量:394,700kg以上 乳質(脂肪率):4.12%以上	【今後のスケジュール】 H30年度 優良乳用牛への更新 H31年度 生産乳量の増加、乳質の向上	【H30成果目標設定の考え方】 過去実績を勘案し設定した。
6		「夢・未来」スポーツレベルアップ事業	H30 ～ H33	児童生徒のスポーツへの意識を高めるため、トップアスリートによるスポーツ教室を開催する。また、児童生徒に広い視野を持たせるため、県外で実施される各種大会への参加を支援する。	卓球クリニック・バドミントンクリニックの開催 児童生徒の県外派遣費の助成	スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識が更に高まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。 派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続してトップアスリートによるスポーツ教室を開催し、児童生徒のスポーツへの意識を高める。また、県外で実施される各種大会参加への支援を行い、児童生徒に広い視野を持たせる。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数がスポーツへの意識が更に高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 対象者のうち大多数が広い視野を持ったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
7		運動公園省エネ化推進事業	H28 ～ H33	環境負荷の少ない照明機器の導入により、二酸化炭素排出量の抑制を図る。	東風平運動公園(体育館・テニスコート・サッカー場):LED照明設置	東風平運動公園(体育館・テニスコート・サッカー場)の二酸化炭素排出削減量6.9t	【今後のスケジュール】 H31年度 野球場・LED照明電灯設備工事 H32年度 ソフトボール場・LED照明電灯設備工事	【H30成果目標設定の考え方】 既存照明からLED照明に切り替えた際のCO ₂ 排出削減量を基に設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

多良間村		計画 期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	美化緑化推進事業	H25 ～ H33	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を行う。	公園9カ所の美化・緑化を実施し、観光客等が気持ちよく利用できるように取り組む。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方についてアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 来村者のうち大多数が観光地としてふさわしい景観及び道路環境と感じる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
	多良間村観光危機管理計画策定業務	H30	村を訪れる観光客の安全を確保するため、自然災害や人的災害などが発生した際の対応を定めた「多良間村観光危機管理計画」を策定する。	・関係事業所勉強会 ・庁内検討委員会 ・観光危機管理対応訓練 ・観光危機管理計画の策定	多良間村観光危機管理計画の策定完了。	【H31成果目標】 策定した観光危機管理計画を活用した避難訓練(年1回以上)を実施することにより、当該計画について検証する。 【今後のスケジュール】 策定した危機管理計画を基に村を訪れる観光客の安全確保に繋げる。	【H31成果目標設定の考え方】 避難訓練を年1回以上実施することを目標とし設定した。
2	優良繁殖雌牛導入支援事業	H27 ～ H31	農家の経営の安定化に向けて良質な肉用牛の改良推進を図るため、優良繁殖雌牛導入を支援する。	優良繁殖雌牛の導入頭数:20頭	優良繁殖雌牛導入の支援(20頭)の完了	【H33成果目標】 導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合112.5%以上 【今後のスケジュール】 今後も継続して優良繁殖雌牛導入支援を行い、農家の経営の安定化に向けて良質な肉用牛の改革推進を図る。	【H33成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	児童生徒島外教育諸活動助成事業	H27～ H33	島外の人と競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で実施される各種大会への参加を支援する。	島外で開催される教育諸活動に参加することで、離島の小規模校ではできない他地域との交流や実戦をとおし、精神面の鍛錬・スポーツの技術力向上等が図られる。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き各種大会へ派遣し、児童生徒の意識高揚、能力向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象児童のうち大多数が広い視野を持たたと感じる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
	学力向上推進ALT活用事業	H27 ～ H33	児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図るため、ALTを招聘する。	ALT招聘:年間20回	・小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 ・中学校 英検の合格率50%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にALTを活用し、国際化社会に対応できる国際感覚を養いながら児童生徒の学力の向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象児童のうち大多数が英語に対する興味関心が高まったと感じる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

多良間村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		村営学習塾開設事業	H28 ～ H33	児童生徒の学力の向上を図るため、村営学習塾を開講し、国語・算数(数学)・英語を中心とした学習支援を実施する。	村営学習塾の開設	沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数) -8ポイント以上 ・中学校(国語・数学・英語) -13ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に村営学習塾を開設し、学習支援員(2名)を配置することにより、効果的に学習できる環境を整え、学校外学習支援を強化することで、児童生徒の学力向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
		多良間中学校グラウンド全天候型改修事業	H29 ～ H32	雨天後のグラウンド環境の悪化による大会の中止等をなくすため、多良間中学校グラウンドを全天候型に改修し、児童生徒や村民等の体育環境を改善する。	施設整備工事の実施	一部施設整備工事の完了・排水整備	【H31成果目標】 村内で開催する大会の雨天後のグラウンド環境の悪化による中止・日程変更等の回数 0回 【今後のスケジュール】 平成30年度 工事 平成31年度 工事 平成32年度 供用開始	【H31成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
		教育関連施設省エネ推進事業	H29 ～ H30	教育関連施設に環境負荷の少ないLED照明を整備し、二酸化炭素排出量の抑制を図る。	施設整備工事の実施	施設整備工事の完了	【H31成果目標】 二酸化炭素排出削減量 62,264kg 【今後のスケジュール】 平成30年度 工事	【H31成果目標設定の考え方】 既存照明からLED照明に切り替えた際のCO2排出削減量を基に設定した。
		多良間村就業意識向上支援事業	H30 ～ H33	児童生徒の就業意識の向上を図るため、キャリア教育を行う。	・沖縄本島へ小学6年生(10名)、引率者(5名) ・宮古島市へ中学1年生(12名)、引率者(5名) ・沖縄本島へ中学2年生(12名)、引率者(4名)	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的にキャリア教育を行い、児童生徒の就業意識の向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象児童のうち大多数が職業意識が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

多良間村		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		多良間村自然文化継承事業	H30 ～ H33	村の歴史・自然・しまくとぅばの継承と観光誘客を図るため、郷土資料の修復、自然環境の調査、しまくとぅば副読本の制作等を行う。	・郷土資料、貴重資料等の修復、デジタル化及び公開 ・自然図鑑、しまくとぅば副読本の制作	・所蔵資料の修復と複製本作成及び電子化データの作成完了(1期/4期) ・自然環境の調査完了 ・しまくとぅば副読本の発行	【H34成果指標】 ふるさと民俗学習館の村民利用者数 227人以上 ふるさと民俗学習館の観光客利用者数 591人以上 【今後のスケジュール】 H30年度 修復電子化・現代語訳・副読本制作・自然調査取材 H31年度 修復電子化・現代語訳・動植物撮影 H32年度 修復電子化・現代語訳・シンポジウム・図鑑制作 H33年度 修復電子化・現代語訳・WEB公開システム作成・資料の翻刻・解説版の出版・企画展等	【H34成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4		多良間村自動車航送負担コスト軽減事業	H27 ～ H33	島民に対し、フェリー自動車航送費への支援を行い、宮古島へ移動しやすい環境の構築を図る。	宮古島 多良間島間の自動車航送コスト負担の軽減	宮古島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 自動車航送コストの負担軽減により、離島の地理的条件の不利性を軽減し定住環境の改善に繋げる。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が宮古島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
		多良間村離島食品・日用品輸送費等補助事業	H28 ～ H33	沖縄本島よりも割高な生活コストの低減を図るため、生活必需品等の輸送経費等の支援を行う。	食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差 -5.5ポイント以下	【今後のスケジュール】 今後も継続して生活必需品等の輸送経費等支援を行い、沖縄本島よりも割高な生活コストの低減を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5		防風林及びほ場境界止壁設置事業	H28 ～ H30	防風林を保護し、さとうきびの収穫量の増を図るため、ほ場と防風林の境界に止壁を設置する。	止壁を設置する	止壁設置箇所における防風林帯への大型機械の進入回数 0回	【今後のスケジュール】 止壁設置により、防風林を保護することによりさとうきび等の基幹作物の生産拡大を推進し、農業経営の安定と向上を図り、元気で活力のある農村(村)づくりを行う。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6		多良間保育所前排水路設置事業	H30	排水路を設置する事により雨天時の水たまりをなくし、園児の送り迎え、生徒の登下校の安全を確保する。	排水路約160mの測量設計と設置工事を実施する。	雨天時の多良間保育所前と多良間中学校前への水たまり発生回数 0回	【今後のスケジュール】 雨天時の水たまりをなくし、園児の送り迎え、生徒の登下校の安全を確保する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			妊産婦支援事業	H24 ~ H33	町内の医療機関では対応できない妊婦健康健診受診等を島外で適時に受診できる。また、妊婦健診を中断することなく継続して医療が受けられるようになることを目的とする。	町外(島外)での妊婦健診受診や出産待機等が必要とされている妊婦に対し、渡航等に係る費用を支援する。 ・船賃補助(各島 - 石垣間) ・宿泊費補助(町外宿泊費の一部) ・航空賃補助(石垣 - 県内外間の一部)	・渡航費支援が必要な人への支援率100%	【今後のスケジュール】 子育て世代の負担軽減による定住促進を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 島では対応できない妊産婦健診受診等を受けなければならない人に対して、全員が中断することなく受診できる環境の提供を目標として設定した。
1			健康診査用機材搬送事業	H26 ~ H33	集団検診(住民健診・胃がん検診・婦人がん検診)時における検診車の海上輸送運賃の負担軽減を図る。	検診機材搬送年3回実施 (検診3回×5島6地区=18件)	集団検診受診者数 2,134人	【今後のスケジュール】 町民の健康意識の改善及び健康診査受診率促進を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			竹富町お出かけサポートモデル事業	H26 ~ H30	西表島西部、東部地区で送迎サービスを実施し、高齢者及び障害者等の社会的孤立感の解消を図る。	・西表島西部地区及び東部地区への送迎サービスの実施	・利用者へのアンケートで、社会的孤立感の解消が図れたか(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 アンケート及び利用実績等を分析検討し、30年度以降他地区への展開を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が問題解決が図れたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1			竹富町民等船賃負担軽減事業	H27 ~ H33	島々を結ぶ旅客船の船賃に対し支援を実施し、生活の利便性を確保する。	船賃の一部負担	利用者へのアンケートで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・竹富町民等の交通費に要していた負担を軽減し、利用者の増加と共に生活の利便性を高め、定住条件の整備を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1			干立地区防災機能改善事業	H29 ~ H31	西表島干立地区の金座山に津波避難路を整備し、津波等の自然災害などに対する防災力の向上を図る。	・避難路調査実施設計の実施	・避難路調査実施設計の完了	【H32成果目標】 整備完了後1年目(平成32年度)の目標を以下のとおりとする。 ・整備した避難路を活用した避難訓練(2回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 H31 監理委託業務・施設建設工事	【H32成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		複合型福祉施設整備事業	H27 ～ H33	子どもを産み育てやすい環境を整備するため、働く保護者等の子育て支援の充実を図る。	・建設工事(波照間)の実施 ・実施設計委託業務(西表(東部)・(上原))の実施 ・基本設計委託業務(竹富・小浜)の実施	・建設工事(波照間)の完了 ・実施設計委託業務(西表(東部)・(上原))の完了 ・基本設計委託業務(竹富・小浜)の完了	【H31成果目標】 整備完了後(平成31年度)の目標を以下のとおりとする。 ・子育て支援が充実したか(80%以上)を含め、当該施設のあり方についてアンケート調査により検証する。 【今後のスケジュール】 H31年度:供用開始(波照間) ・西表(上原)・(東部)建設工事 ・竹富・小浜実施設計委託 ・西表・黒島基本設計委託 H32年度:供用開始(西表上原・東部)供用開始 ・竹富・小浜建設工事 ・西表・黒島実施設計委託 H33年度:竹富・小浜供用開始 ・西表・黒島建設工事	【H31成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が子育て支援の充実が図られたと考えられる値として設定した。また、当該施設のあり方について、アンケートにより検証する。
1		竹富町救急患者輸送車両(救急車)導入事業	H30	緊急車両(救急車)を導入し、町民及び観光客の安全性の確保を図る。	・救急患者輸送車両(救急車)の導入実施	・救急患者輸送車両(救急車)の導入	【H31成果目標】 車両導入後(平成31年度)の目標を以下のとおりとする。 家族や付添人に対して、安全性が確保されていたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	【H31成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が安全性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1		西表東部公園整備事業	H29 ～ H33	西表東部に公園を整備し、地域住民の福祉の向上を図る。	・公園整備実施設計作成 ・用地取得業務の実施	・公園整備実施設計の作成完了 ・用地取得業務の完了	【H34成果目標】 公園整備後1年目(平成34年度)の目標を以下のとおりとする。 施設利用者満足度(80%)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。 【事業スケジュール】 H29 西表東部公園基本設計 H30 西表東部公園実施設計 H31～H33 西表東部公園整備工事	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性向上が図られたと考えられる値として設定した。また、当該施設のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	観光誘客・受入対策事業	H26 ～ H30	誘客宣伝活動や受入体制の強化・整備を実施し、観光客の誘客を図る。	・誘客宣伝活動 5回 ・宿泊支援システムの整備・充実 ・滞在型観光関連講義の実施 ・マップ&マナーブックの配布	・入域観光客数 1,089,206人以上	【今後のスケジュール】 平均滞在日数を1.0泊以上に延伸 マップ&マナーブック内容の更新 ガイド事業者・事業内容リスト管理 多言語対応への環境整備	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	西表浦内観光施設整備事業	H24 ～ H30	西表島の観光地であるマリユドゥの滝等のトイレや遊歩道の整備を実施し、観光客の利便性の確保を図る。	遊歩道・トイレ整備工事	観光客へのアンケートで利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 H31年度 5月供用開始予定 ・浦内川観光客数 目標 H31年度 60,000人/年 参考 H26年度 40,000人/年	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、当該施設のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	加屋真島観光関連事業	H29 ～ H33	ダイビングやキャンプ等のスポットとして活用されている加屋真島に棧橋等の施設整備を実施し、観光客の誘客を図る。	・実施設計の実施 ・土質調査の実施 ・磁気探査の実施 ・潜水探査の実施 ・岩礁破碎等の同意取付の実施 ・サンゴ礁調査移設の実施	・実施設計の完了 ・土質調査の完了 ・磁気探査の完了 ・潜水探査の完了 ・岩礁破碎等の同意取付の完了 ・サンゴ礁調査移設の完了	【H34成果目標】 施設整備後1年目(平成34年)の目標を以下のとおりとする。 ・加屋真島観光入域客数 2,700人以上 【今後のスケジュール】 H31 航路浚渫 H32 泊地浚渫、棧橋工事 H33 棧橋工事	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	児童生徒派遣費支援事業	H24 ～ H33	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる。	児童生徒選手等派遣人数 :592人	申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 H31年度～H33年度 児童生徒選手等派遣人数 (毎年度約600人)	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	学校ICT支援員派遣事業	H26 ～ H30	児童生徒の学習意欲の向上を目指し、教育用PC・電子黒板・タブレットPC等のICT機器を効果的に活用した分かりやすい授業の実現を支援するため、各小中学校へICT支援員を派遣する	・各学校へ月に1回の派遣 ・ICT支援員による教職員向け研修(小中学校13校×2回)	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。 ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・計画期間各年度1名支援員派遣 ・教職員のICT機器使用率100%	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が授業が分かりやすかった、習熟度が上がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	外国語指導助手派遣事業	H27 ～ H33	外国語活動指導員を配置し外国語への興味・関心を高める。	・外国語指導助手の派遣 小学校11校 幼稚園3園	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・H31年度～ 外国語指導助手1人派遣	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	家庭学習支援モデル事業	H29 ～ H33	学校外において、沖縄本島や本土と同等の学習環境を整備することで、学力の向上を図る。	町営塾の実施 小学校(算数・国語) 小5～小6 中学校(数学・国語・英語) 中1～中3	町営塾で実施される年に3回の月例テストにおいて、全国と本町の平均点の差-13点以内	【今後のスケジュール】 町営塾受講率 H31年度以降 70%以上	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	竹富町和牛生産推進事業	H24 ～ H33	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	・離島港湾靴底消毒用マット設置 6カ所(竹富・小浜・黒島・波照間・西表 東部・西表西部) ・優良母牛導入支援	導入した優良母牛から生まれた子牛の平均価格が町内全体の子牛セリ平均価格より高価格となることを目標とする。 導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合1.22%以上	【今後のスケジュール】 ・H33年度: 子牛平均価格380,000円 基準年度 (H23年度: 327,000円) ・H24～H33年度目標導入数 900頭	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	竹富町ペット適正飼養・傷病鳥獣保護推進事業	H24 ～ H33	ペットの適正飼育への啓発や逸失したペットの保護・収容を実施し、逸失したペットによるイリオモテヤマネコへの病気感染等を防ぐ。	・逸失ペットや傷病鳥獣の保護・収容 ・適正飼養普及啓発講演会等の開催	・逸失ペット等の保護・収容頭数23頭以内	【今後のスケジュール】 国の特別天然記念物であるイリオモテヤマネコの絶滅保護活動の促進及び生息する町内地域住民の町民生活環境の保全推進を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	文化財保全事業	H24 ～ H33	本町が有する国指定文化財等の美化保全を行い、町民が学べる機会を増やすと共に、観光資源としても活用する。	・指定文化財16箇所の美化清掃の実施	・文化財を活用して行う史跡めぐりの実施5回(5地域年1回程度開催)	【今後のスケジュール】 文化財巡視や観光コース化等、文化財の活用を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 5地域で年1回程度開催することを想定し設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	地域振興対策事業	H24 ～ H33	観光誘客を図るため、「日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会」及び「与那国島一周マラソン大会」への支援を行う。	カジキ釣り大会の補助(7月) 一周マラソン大会の補助(11月)	カジキ釣り大会参加者数 110人 与那国島一周マラソン大会参加者数 700人	【今後のスケジュール】 観光誘客のため、今後もイベントを継続していく。更なる事業効果向上を図るため、参加者数を増やすための課題の把握と対策を検討を行い、成果目標の達成に取組む。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	与那国島特産品アピール力強化事業	H25 ～ H33	離島地区であり、日頃より触れる機会の少ない与那国町の特産品の良さを知ってもらう為に、県内及び県外の物産展などの集客力を利用して出展を行い、特産品のPRを行うことで県内及び県外への販路開拓を図る。	県内外への新しい販路の開拓を行い、与那国島産品の売上増加を図る。	参加した物産展における与那国島産品の売上高:180万円以上	【今後のスケジュール】 前年度の実績を基準値とし、それを上回ることを目指して、事業者のスキルアップ及び新商品開発等の取組みを継続支援し、商工業の活性化を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	与那国町誘客促進活性化事業	H30 ～ H32	トップセールス、PRツール作成、既存事業の充実・PR促進事業強化、観光情報調査を実施することで観光誘客に繋げる。	・トップセールスによる空路開拓、商品造成 ・PRツール作成 ・既存事業の内容充実とPR強化 ・観光客意識調査や市場調査等による情報収集と分析	・チャーター便による観光入域客数527人	【今後のスケジュール】 県外に向けた各誘客活動を集中的に実施することで安定的な観光入域客数の確保及び増加に繋げる。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	与那国町観光地整備事業	H29 ～ H32	利便性と安全性が確保された観光地を提供し観光客等が安心して利用できる環境整備をするため、既存の「サンニヌ台」(景勝地)の整備を実施する。	「サンニヌ台」(景勝地)の遊歩道等の環境整備を実施する。	整備工事の完了	【H31成果目標の設定の考え方】 利便性と安全性が確保されたか(80%以上)を含め、景勝地の整備について観光客等へのアンケートで検証する。 【今後のスケジュール】 サンニヌ台の整備完了後、「西崎」「東崎」の各景勝地にある観光施設の整備を順次実施していく。	【H31成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	与那国町多言語観光案内サイン整備事業	H29 ~ H30	既存の観光案内版は、老朽化が激しく観光客や来島者の利用に支障をきたしている現状にあることから、景観に配慮した観光案内版への更新を実施すると共に、インバウンドへの対応として多言語での整備を実施する。	多言語観光案内版の整備を実施	既存観光案内板改修:16基完了	【H31成果目標の設定の考え方】 利便性が確保されたか(80%以上)を含め、多言語案内板の整備について観光客等へのアンケートで検証する。 【今後のスケジュール】 事業計画のとおり年内12月までに16基の多言語観光案内板を設置完了させ、観光客や来島者の利便性を確保する。	【H31成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	海底景観資源調査事業	H29 ~ H31	与那国を象徴する海底地形に対して、最先端のマルチビーム測深調査を実施し、観光資源として適切な活用及び保全、学術研究の基礎となる海底精密地形図を作成する。	測深データ処理及び潜水調査	マルチビーム測深データ処理16.3平方km 北海岸マルチビーム測深調査7平方km	【H32成果目標の設定の考え方】 作成した海底地形図を活用したグラスボートツアー等の参加者数3,100人 【今後のスケジュール】 H30 測深データの可視化(地図化)を行うためのデータ処理及び地形確認のための潜水調査。 H31 海底精密地形図の完成	【H32成果目標設定の考え方】 過去の実績を助案して設定した。	
1	観光振興対策360度映像利活用事業	H30	与那国島の自然景観等を360度映像として作成し、イベント会場等でPRコンテンツとして活用するとともに、クラウド環境を利用した360度映像をインターネット配信し、与那国島を体感できるサービスを整備する。	360度映像コンテンツ作成及びシステム構築業務委託の実施	・360度映像により素材映像を撮影し、加工編集を行う。 ・VRゴーグル用及びPC用配信映像:12映像作成 ・映像シアタ用配信映像:12映像 ・映像配信システム構築:1システム ・イベント会場でのPR実施:1回	【H31成果目標】 ・イベント会場等における2面スクリーン・VRゴーグルの利用者数:1日あたり210人以上 ・映像配信システムの再生数:47,500回以上 ・映像配信システムの視聴者が与那国島へ行ってみたいと思ったか(80%以上)を含め、本事業のあり方をアンケートで検証する。 【今後のスケジュール】 作成した360度映像コンテンツを活用し与那国島の魅力を効果的にPRし与那国島への誘客促進を図る。	【H31成果目標設定の考え方】 ・イベント会場等における2面スクリーン・VRゴーグルの利用者数:過去の実績を助案して設定した。 ・映像配信システムの再生回数:町観光WEBの閲覧回数及び他市町村の類似の取組の実績を参考に設定した。 ・対象者のうち大多数が与那国島へ行ってみたいと思ったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
パ	細				H30事業内容	H30活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			優良牛繁殖雌牛導入事業	H25 ~ H33	与那国町の和牛生産を推進すると共に、繁殖雌牛の生産基盤の拡充・強化を図り、改良を促進し、肉用牛の資質向上を図るために、与那国町の農業従事者団体に対して、優良繁殖雌牛購入費用の一部を支援する。	優良母牛導入の支援:20頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合109%以上	【今後のスケジュール】 繁殖雌牛の生産基盤の拡充・強化を図るため、改良促進を支援し畜産業の活性化を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			農水産物輸送コスト負担軽減事業	H25 ~ H33	与那国町は、離島のさらに離島であるが為、地理的不利性を解消し、農水産業の活性化を図るため、与那国町漁業協同組合が出荷する生鮮水産物及び農業協同組合、農業生産法人、その他団体が出荷する野菜、果樹、薬用作物の沖縄県内への空路輸送料に対し支援を行う。	生鮮水産物の空路輸送費支援の実施 農産物の空路輸送費支援の実施	生鮮水産物:出荷量に占める沖縄本島への出荷割合:32.0% 農産物:出荷量に占める沖縄本島への出荷割合:65.0%	【今後のスケジュール】 生鮮水産物及び農産物の出荷量に占める沖縄県内への出荷割合が、過去3年の平均値以上となることを目指し、島外への出荷量を増加させ、農林水産業の活性化を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			与那国町漁業担い手育成プラン実施事業	H26 ~ H33	与那国町の漁業従事者団体に支援を行い、新規・既存漁業者に漁業設備の貸出をすることで漁業従事者の維持確保を図る。	漁業従事者団体が、操業に必要な漁船等を新規・既存漁業者に貸し付ける場合の購入支援の実施	漁業従事者数の維持確保:33人以上	【今後のスケジュール】 与那国町の漁業従事者団体に補助を行い、漁業者に漁業設備の貸出をすることで既存漁業従事者の維持確保の支援を継続し漁業の活性化を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4			家庭学習支援モデル事業	H24 ~ H33	小中学生を対象とする家庭学習支援のため、既存の複合型公共施設に設置されているWeb会議システムを用いたオンライン双方向授業を行う「町営学習塾」を開設する。	・町営塾の実施 ・町営塾受講率:60% ・遠方地域の受講生の送迎手段の確保 ・タブレット学習の実施 ・学力テストの実施 4回	・月例学力検査(年4回実施)にて、各学年の年間平均偏差値50の達成割合: 小学校33.3%以上 中学校19.0%以上	【今後のスケジュール】 毎年、町営塾を解説し小中学生の学習支援を行うことで学力の向上を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4			教育諸活動助成事業	H24 ~ H33	町内の児童生徒の各種大会派遣費(航空運賃等)を支援することにより、与那国に住む子供たちが持つ多様な能力・才能を發揮する機会を提供し、本町の未来を拓く子供たちの能力向上を図る。	各種大会派遣支援の実施	対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も事業を継続し、教育環境の充実を図っていく。	【H30成果目標設定の考え方】 大多数の保護者が大会に行く前後で児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	地域国際交流事業	H24 ~ H33	本町の姉妹都市である台湾・花蓮市への小学生のホームステイを行い、国際的な広い視野等を持つ人材の育成を図る。	・ホームステイの実施:21人 ・ホームステイ報告会の実施 ・報告書の作成 ・保護者・学校・児童へ事後アンケート実施	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 小学校6年生全児童を対象に花蓮市へのホームステイを継続実施して人材の育成を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 大多数の保護者が国際的な視野が広まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4	与那国町ジュニア海外語学研修派遣事業	H24 ~ H33	町内の中学生を対象として、ジュニア期の早い時期に欧米への短期ホームステイの支援を行い、豊かな国際感覚を身につけた人材の育成等を図る。	・研修派遣の実施:4人 ・報告会の実施 ・報告書の作成 ・保護者・学校へ事後アンケート実施 ・過去の派遣生徒の進路調査(H24~H26)	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 選考により選ばれた中学生4名を対象に英語圏への短期ホームステイを継続実施して人材の育成を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 大多数の保護者が、派遣後の中学生に国際的な感覚が身についていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
5	与那国方言保存継承支援事業	H24~ H30	2009年UNESCOに消滅危機言語として登録された与那国語の記録保存と伝承、再活性化を目的とし、主として辞書作成を行う。並行して、保存継承のための企画を展開して衰退しつつある言語の使用を推奨する。	・編集委員会による素案原稿の審議。 ・与那国語の概略についての執筆(専門家に依頼) ・スンカニ大会の開催(2月)	・与那国語辞典の作成完了 ・ドゥナンスンカニ大会の開催 歌唱の部:8人以上 作詞の部:23人以上	【H31成果目標】 与那国語辞典を活用した授業や学習会等により、与那国語への理解が深まったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 事業で作成した普及ツール(辞典、ラジオ体操、カルタ)の活用とスンカニ大会の開催を通して、広報活動や人材育成、講習会、学校との連携など、方言の保存継承を促進させるための活動に取り組む。	【H31成果目標設定の考え方】 児童生徒の大多数が与那国語への理解が深まったかと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 【H30成果目標設定の考え方】 スンカニ大会の参加者数については、過去の実績を上回ることを目標に設定。	
6	安心・安全のまちづくり支援事業	H25 ~ H33	就学前児童及び生徒を対象として、教育課程に係る教育時間終了後に公共施設の一室を利用して、子どもにとって安心・安全な場所を設け、保護者の子育て支援をする。	どなん児童クラブの運営 指導員3名の体制維持	安心・安全に子供を預けることができ、育児に関する負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 子供たちが安心・安全に過ごせる環境を維持するため事業を継続し、保護者の子育て支援を図っていく。	【H30成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が安心・安全に子供を預けることができ、育児に関する負担感が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成30年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		H30成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H30活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	少子高齢化対策事業	H24 ~ H33	本町唯一の医療機関である与那国診療所には、各専門医がないため、出産または専門医療を受けるためには、海で離れた石垣島の病院へ通院する必要がある。そのため、島内に住む妊婦等が継続して島外での妊婦健診等医療サービスを受けられるよう、支援を行う。	妊産婦検診、出産時の渡航費、宿泊費の助成事業	島外での妊婦健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合 100%	【今後のスケジュール】 妊産婦が安心して暮らせる環境を維持するため事業を継続し、子育て世代の支援を図っていく。	【H30成果目標設定の考え方】 継続して妊婦健診等医療サービスを受けられることが目的であるため、妊婦健診等医療サービスが必要なすべての方に支援を行うこと目指し、指標を設定した。	
8	公共交通路線支援事業	H24 ~ H33	地方バス運営に必要な支援をすることにより、生活路線バスの安定的な運営を維持し、島民及び来島者の利便性の確保を図る。	公共交通路線バス運行費用への支援	利便性の確保が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も生活路線バスの運行を継続実施することで、住民及び来島者の利便性確保を図る。併せて事業効果を検証するため、11月に利用者へアンケート調査を実施し、より充実したサービスの提供を図る。	【H30成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
8	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ~ H33	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島及び石垣島から与那国島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	食品・日用品等の輸送経費及び作業経費の支援	生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本町の指標における事業実施前との差 -8.2ポイント以下	【今後のスケジュール】 離島における都市部との格差是正を図るため、今年度も事業を実施し事業効果を検証する。次年度以降は、効果検証に基づき事業継続の有効性を調査し、必要に応じた取組みを検討する。	【H30成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

H30活動目標(指標):平成30年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H30成果目標(指標):平成30年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。